令和元年度

松阪市主要施策の成果及び実績報告書

三重県松阪市

目　　次

一 般 会 計 …… 3
令和元年度　松阪市一般会計歳入歳出決算額の総括表 …… 4
令和元年度　一般会計歳入決算状況 …… 6
令和元年度　一般会計歳出目的別・性質別決算状況 …… 7
（款）1 議会費 …… 8
（項）1 議会費 …… 8
（款）2 総務費 …… 13
（項）1 総務管理費 …… 13
2 徴税費 …… 61
3 戸籍住民基本台帳費 …… 69
4 選挙費 …… 73
5 統計調査費 …… 78
6 監査委員費 …… 80
（款）3 民生費 …… 81
（項）1 社会福祉費 …… 81
2 老人福祉費 …… 99
3 児童福祉費 …… 106
4 生活保護費 …… 128
5 災害救助費 …… 131
（款）4 衛生費 …… 132
（項）1 保健衛生費 …… 132
2 清掃費 …… 159
（款）5 労働費 …… 169
（項）1 労働諸費 …… 169
（款）6 農林水産業費 …… 173
（項）1 農業費 …… 173
2 林業費 …… 195
3 水産業費 …… 205
（款）7 商工費 …… 208
（項）1 商工費 …… 208
（款）8 土木費 …… 242
（項）1 土木管理費 …… 242
2 道路橋りょう費 …… 243
3 河川費 …… 249
4 港湾費 …… 253
5 都市計画費 …… 254
6 住宅費 …… 263
（款）9 消防費 …… 265
（項）1 消防費 …… 265
（款）10 教育費 …… 269
（項）1 教育総務費 …… 269
2 小学校費 …… 280
3 中学校費 …… 286
4 幼稚園費 …… 291
5 社会教育費 …… 296
6 保健体育費 …… 300
7 青少年教育費 …… 315
（款）11 災害復旧費 …… 320
（項）1 農林水産業施設災害復旧費 …… 320
2 公共土木施設災害復旧費 …… 322

(款)12 公債費 …… 324
(項) 1 公債費 …… 324
(款)14 諸支出金 …… 325
(項) 1 基金費 …… 325

特 別 会 計 …… 327
競輪事業 …… 328
国民健康保険事業 …… 331
介護保険事業 …… 335
後期高齢者医療事業 …… 341
簡易水道事業 …… 344
戸別合併処理浄化槽整備事業 …… 345
農業集落排水事業 …… 346
住宅新築資金等貸付事業 …… 348

地方自治法第２４１条第５項の規定による書類 …… 349
基金の運用状況 …… 350

注） 一般会計の職員給については、記載をしていません。

注） 前年度決算額は説明の参考として付記しているものであり、按分等のため、必ずしも前年度決算書の金額と一致しない場合があります。

注） 説明の性質上、機構改革前の課名を記載している場合があります。

注） 基金の現在高は令和元年度の予算執行後の増減を示しているため、決算書（3月末）の数値とは差異があります。

注） （繰越分）の前年度決算額は、前年度に繰越分事業費が予算計上されていた事業費の決算額です。

注） 前年度事業を統合した場合は、説明末尾に統合した事業名を記載し、前年度決算額は統合した事業の合算で記載しています。

一　般　会　計

令和元年度　松阪市一般会計歳入歳出決算額の総括表

（歳　　入）　　（単位：千円）

区　　分	予算現額	収入済額	総額に対する割合	予算現額と収入済額との比較
1 市税	21,825,370	22,089,345	29.5%	263,975
2 地方譲与税	607,091	607,091	0.8%	0
3 利子割交付金	21,883	21,883	0.0%	0
4 配当割交付金	112,046	112,046	0.1%	0
5 株式等譲渡所得割交付金	61,465	61,465	0.1%	0
6 地方消費税交付金	2,953,328	2,953,328	3.9%	0
7 ゴルフ場利用税交付金	45,866	45,866	0.1%	0
8 自動車取得税交付金	119,903	119,904	0.2%	1
9 環境性能割交付金	29,892	29,892	0.0%	0
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	367	367	0.0%	0
11 地方特例交付金	499,606	499,606	0.7%	0
12 地方交付税	15,525,408	15,525,408	20.7%	0
13 交通安全対策特別交付金	19,205	19,205	0.0%	0
14 分担金及び負担金	688,210	691,679	0.9%	3,469
15 使用料及び手数料	825,207	883,445	1.2%	58,238
16 国庫支出金	10,722,478	9,995,864	13.3%	△726,614
17 県支出金	4,685,985	4,485,839	6.0%	△200,146
18 財産収入	43,990	46,212	0.1%	2,222
19 寄附金	1,209,741	1,217,106	1.6%	7,365
20 繰入金	3,532,751	3,516,113	4.7%	△16,638
21 繰越金	2,594,416	2,594,417	3.5%	1
22 諸収入	925,735	968,668	1.3%	42,933
23 市債	10,258,783	8,451,383	11.3%	△1,807,400
歳入合計	77,308,726	74,936,132	100.0%	△2,372,594

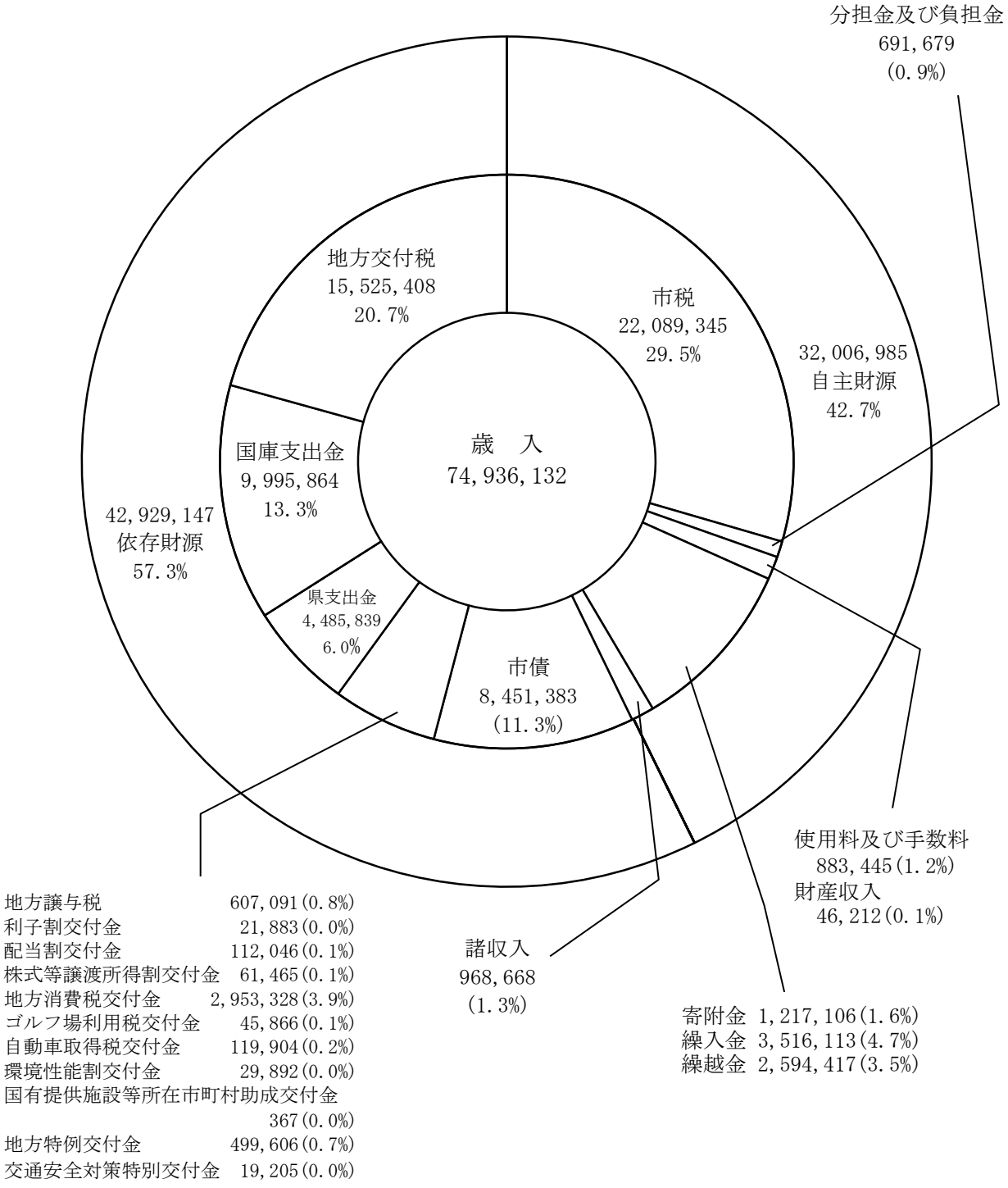
（歳　　出）　　（単位：千円）

区　　分	予算現額	支出済額	総額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1 議　　会　　費	366,627	358,221	0.5%	0	8,406
2 総　　務　　費	6,855,564	6,637,909	9.1%	6,165	211,490
3 民　　生　　費	28,109,082	27,019,578	37.2%	0	1,089,504
4 衛　　生　　費	5,146,798	4,913,973	6.8%	0	232,825
5 労　　働　　費	151,701	149,185	0.2%	0	2,516
6 農林水産業費	1,963,004	1,751,390	2.4%	184,602	27,012
7 商　　工　　費	2,901,543	2,786,103	3.8%	36,500	78,940
8 土　　木　　費	6,747,303	6,281,799	8.6%	389,835	75,669
9 消　　防　　費	2,814,609	2,796,074	3.8%	0	18,535
10 教　　育　　費	12,053,090	9,940,078	13.7%	1,546,408	566,604
11 災害復旧費	215,929	143,663	0.2%	53,702	18,564
12 公　　債　　費	8,791,476	8,786,473	12.1%	0	5,003
13 予　　備　　費	30,000	0	0.0%	0	30,000
14 諸支出金	1,162,000	1,162,000	1.6%	0	0
歳出合計	77,308,726	72,726,446	100.0%	2,217,212	2,365,068

歳入歳出差引額	2,209,686
翌年度へ繰り越すべき財源	205,706
実質収支額	2,003,980

令和元年度　一般会計歳入決算状況

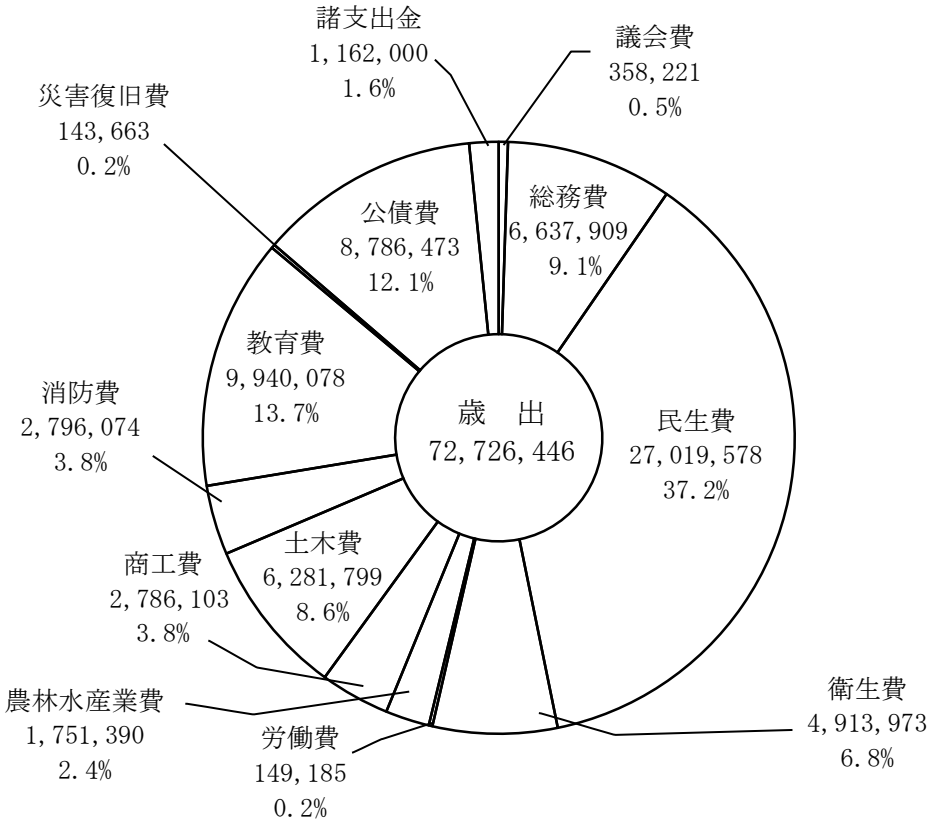
（単位：千円）



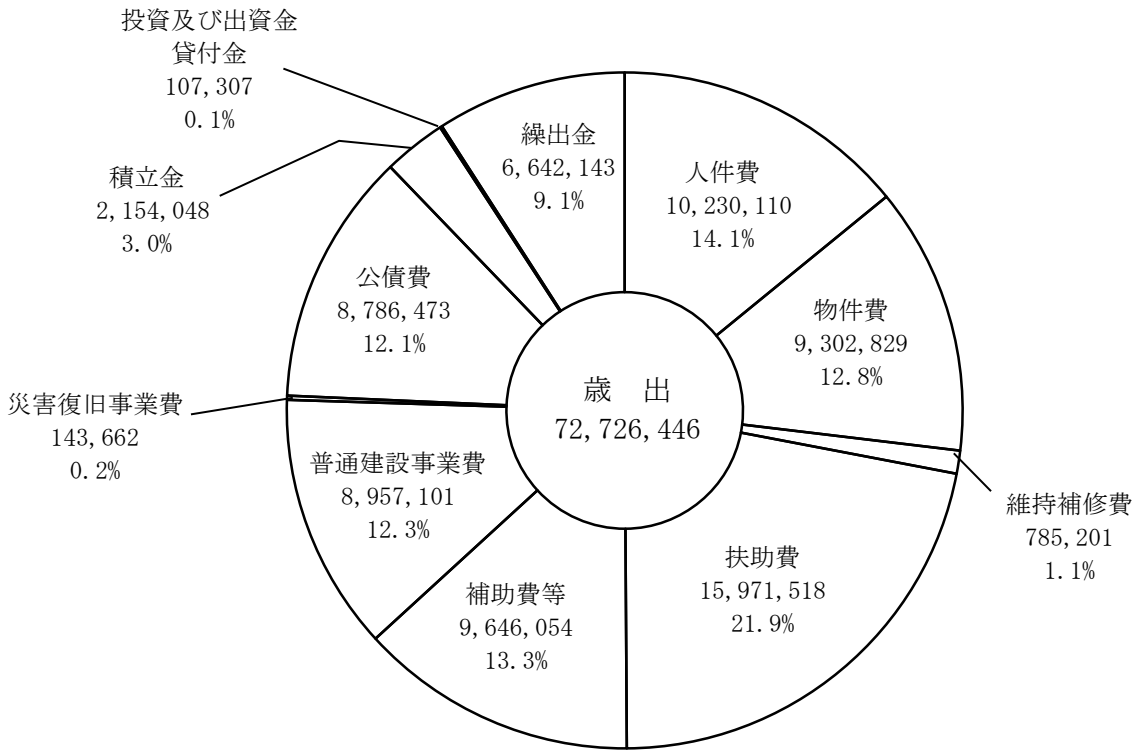
地方譲与税	607,091(0.8%)
利子割交付金	21,883(0.0%)
配当割交付金	112,046(0.1%)
株式等譲渡所得割交付金	61,465(0.1%)
地方消費税交付金	2,953,328(3.9%)
ゴルフ場利用税交付金	45,866(0.1%)
自動車取得税交付金	119,904(0.2%)
環境性能割交付金	29,892(0.0%)
国有提供施設等所在市町村助成交付金	367(0.0%)
地方特例交付金	499,606(0.7%)
交通安全対策特別交付金	19,205(0.0%)

令和元年度　一般会計歳出目的別決算状況

（単位：千円）



令和元年度　一般会計歳出性質別決算状況



(款) 1議会費　　(項) 1議会費　　(目) 1議会費

(単位　円)

事業名	議員報酬・期末手当					議会事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
199,436,158					199,436,158	199,436,158

市議会議員28人の報酬及び期末手当を支給した。

正副議長及び議員報酬　149,951,998円

正副議長及び議員期末手当　49,484,160円

（参考）月額報酬　議長　558,000円、副議長　498,000円、議員　440,000円

事業名	議員共済会負担金					議会事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
54,916,960					54,916,960	56,838,880

地方公務員等共済組合法の一部を改正する法律に基づき、平成23年6月に議員年金制度が廃止となったが、経過措置として議員年金等受給者に対する共済給付金公費負担分を支出した。なお、負担金の算出根拠は各年度の4月1日における当該市議会議員の標準報酬月額の総額が基準となるとともに、事務費については各年度の4月1日における議員の数（条例定数）が基準となる。

負担金　440,000円×36.9%×28人×12か月＝54,552,960円

事務費　13,000円×28人＝364,000円

事業名	議長交際費					議会事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
36,888					36,888	34,810

市議会を代表し、議長が対外的な活動を行った。

区　分	件　数	金　額
慶弔費	0 件	0円
会　費	1 件	5,000円
贈答費	8 件	29,728円
協賛金	0 件	0円
懇談会費	0 件	0円
広告経費	0 件	0円
その他	1 件	2,160円
計	10 件	36,888円

＊その他の理由

議員研修会講師昼食代

事業名	議会活動事業費					議会事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,051,627					5,051,627	5,272,117

全国市議会議長会及び各加盟協議会等へ出席することにより、市政の現状把握及び課題等を認識できるとともに、市議会議員の資質並びに政策形成及び立案能力の向上を図るための一環として議員研修会や行政視察調査等を実施した。

松阪市議会基本条例に基づき、市民に開かれた議会を目指すことを目的として、4月は市内12会場で、11月は市内4会場で議会報告会を開催した。11月の報告会は初めて委員会別に開催し、2部の意見交換会ではそれぞれの委員会で政策提言につなげるためワークショップ形式を取り入れるなど、各委員会に関係するテーマを設けて開催した。

第12回					
開催日	場　所	参加者	場　所	参加者
H31.4.16	第一公民館	19人	松尾地区市民センター	12人
	神戸地区市民センター	14人	茅広江地区市民センター	34人
	小　計			79人
H31.4.17	松ヶ崎地区市民センター	26人	伊勢寺地区市民センター	33人
	西黒部地区市民センター	33人	射和地区市民センター	24人
	小　計			116人
H31.4.19	中川コミュニティセンター	14人	飯南コミュニティセンター	10人
	小野江コミュニティセンター	11人	飯高老人福祉センター	11人
	小　計			46人
合　計				241人

第13回			
開催日	委員会名 テーマ	場　所	参加者
R1.11.13	建設水道委員会 駅西再開発について	産業振興センター	24人
R1.11.14	環境福祉委員会 子育て・孫育てについて	嬉野地域振興局	29人
R1.11.15	総務企画委員会 中山間地域の振興について ～地域防災・移住～	飯高地域振興局	50人
R1.11.16	文教経済委員会 子どもの安全教育について ～今日の安心・あしたの元気～	松阪公民館	26人
合　計			129人

議員研修会等講師謝礼金　　203,988円

実施内容　・令和元年6月5日 環境福祉委員会勉強会　（市議会第1・第2委員会室）
地域包括ケアシステムの現状と課題、そして今後に期待すること
・令和2年2月3日 議員研修会　（市議会第1・第2委員会室）
質問力で高める議員力・議会力 ～質問力をより高めるポイント～

各委員会行政視察調査旅費　2,774,060円
（総務企画委員会、環境福祉委員会、文教経済委員会、建設水道委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会）

各種議長会出席等旅費　　893,580円

各種議長会負担金等　　1,078,524円

議会報告会における託児業務委託料、並びに賠償保障保険料　14,496円

その他、備品消耗品購入等　　86,979円

事業名	政務活動費補助金				議会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,822,214					4,822,214	4,992,314

地方自治法第100条第14項から第16項及び、松阪市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき交付する補助金で、松阪市議会議員の政策立案、調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、松阪市議会における会派及び会派に所属しない議員に対して交付した。

交付額　月額 25,000円×28人×12か月＝8,400,000円

精算後交付額　＝4,822,214円（執行率57.41%）

事業名	議会広報事業費					議会事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,208,360					8,208,360	9,873,602

議会活動における取組み及び成果について積極的に発信し、説明責任を十分に果たすことを目的に、市議会だより「みてんか」を年間5回発行した。

市議会だより印刷製本費等　3,773,050円

市議会だより折込手数料等　846,030円

市議会だより号数		発　行　月	発行部数	ページ数	主な掲載内容
第75号	2月定例会号	令和元年 6月発行	65,000	28	2月定例会概要、代表質問等 第12回議会報告会等
第76号	6月定例会号	令和元年 9月発行	65,000	20	6月定例会概要、一般質問等
第77号	8月臨時会号	令和元年10月発行	65,000	4	常任委員会及び各委員会の構成等
第78号	9月定例会号	令和2年 1月発行	65,000	24	9月定例会概要、決算審査状況、 第13回議会報告会等
第79号	11月定例会号	令和2年 3月発行	65,000	20	11月定例会概要、一般質問、行政視察調査報告等
計			325,000	96	

本会議の全日程をケーブルテレビによる生中継やユーチューブによるネット配信を実施し、市民に向けて、議会のより開かれた審議状況を提供することができた。

放送機器操作業務委託費　3,589,280円

事業名	会議録作成事業費					議会事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,356,936					3,356,936	4,662,576

本会議及び全員協議会並びに委員会等の会議内容を記録整理し、会議録を作成した。

会議録作成委託費　2,577,930円

(内訳)

本会議会議録作成　107時間　(1,563ページ)　1,154,142円				
	会 議 名	時間（ページ）	会 議 名	時間（ページ）
	第57号 2月定例会号	35時間(523P)	第59号 8月臨時会号 9月定例会号	30時間(438P)
	第58号 6月定例会号	21時間(314P)	第60号11月定例会号	21時間(288P)
全員協議会会議録作成　4時間　(49ページ)　43,164円				
	会 議 名	時間（ページ）	会 議 名	時間（ページ）
	平成31年3月全員協議会	2時間（25P)	令和2年2月全員協議会	2時間（24P)
委員会等会議録作成　129時間　(1,686ページ)　1,380,624円				
	会 議 名	時間（ページ）	会 議 名	時間（ページ）
	総務企画委員会	16時間(210P)	議会改革特別委員会及び同作業部会	23時間(236P)
	環境福祉委員会	16時間(234P)		
	文教経済委員会	13時間(187P)	地域医療と松阪市民病院のあり方調査特別委員会	10時間(135P)
	建設水道委員会	10時間(124P)		
	決算調査特別委員会及び各委員会分科会	28時間(375P)	予算説明会等	11時間（157P)
			自治会連合会理事と松阪市議会議員との懇談会	2時間（28P)

会議録をホームページ上に掲載し、会議録の検索が容易にできるような形でのインターネット配信を行った。

インターネット配信及び保守管理業務費　196,200円

データ作成業務費（1,564ページ×189円＋1,492ページ×192.5円）　582,806円

事業名	議会一般経費					議会事務局	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
6,706,565				3,104	6,703,461		6,147,278

議会運営及び議会活動に関する一般事務経費や議会事務局職員としての知識等を深めるための研修会へ参加した経費

議会事務局職員研修参加旅費・負担金　50,040円
非常勤職員賃金、共済費　1,313,488円
書籍等購入・追録、コピーカウント料等消耗品　2,334,018円
公用車燃料、食糧費等　97,650円
公用車等備品点検、修繕等　127,144円
通信運搬費　177,539円
議場等音声・映像設備保守等の業務委託　1,837,980円
プリンター借上料等　100,826円
広告料、手数料　24,200円
パソコン等の備品購入　643,680円

※ 令和元年度 会議開催状況

本会議　定例会　開催回数　4回（会期日数　133日　実会議日数　28日）
　　臨時会　開催回数　1回（会期日数　　2日　実会議日数　　2日）

区　分		定例会	臨時会
議　案		127件	－
	原案可決	105件	－
	否　決	－	－
	承　認	4件	－
	同　意	9件	－
	認　定	4件	－
	賛　成	5件	－
報　告		35件	－
発　議		11件	2件
	原案可決	11件	－
	許　可	－	2件

区　分		定例会	臨時会
請　願		8件	－
	採　択	4件	－
	一部採択	0件	－
	不採択	4件	－
選　挙		5件	10件
	選　挙	1件	7件
	選　任	4件	3件
動　議		－	－
	可　決	－	－
	否　決	－	－
その他		3件	－
	承　認	3件	－
	報　告	－	－

委員会

区　　分	回　数
総務企画委員会	7回
文教経済委員会	6回
環境福祉委員会	7回
建設水道委員会	6回
議会運営委員会	30回
議会改革特別委員会	4回
作業部会	13回
広報広聴委員会（打合会18回含む）	27回

区　　分	回　数
地域医療と松阪市民病院のあり方調査特別委員会（準備会1回含む）	7回
決算調査特別委員会	2回
総務企画分科会	1回
環境福祉分科会	1回
文教経済分科会	1回
建設水道分科会	1回

その他会議

区　分	回　数	区　分	回　数
全員協議会	1回	政策討論会（総務企画分科会）	1回
総務企画委員会協議会	2回	議員研修会	1回
環境福祉委員会協議会	3回	会派代表者会議	13回
文教経済委員会協議会	3回	予算説明会	2回
建設水道委員会協議会	3回	常任委員会での勉強会 （総務企画2回、環境福祉2回）	4回

(款)　2 総務費　(項)　1 総務管理費　(目)　1 一般管理費

(単位　円)

事業名	市長交際費					秘書広報課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
87,900					87,900		94,240

市政に関与された関係者の慶弔費などを支出した。

区分	件数(件)	金額(円)
慶弔費	7	74,600
会費	0	0
贈答費	1	3,300
賛助金	0	0
懇談会等	1	10,000
計	9	87,900

事業名	市長会等事業費					秘書広報課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,538,450					2,538,450		2,567,640

県下、東海、全国各市間の連絡調整を図り、地方自治の伸展に関する市からの要望や意見を国政に反映させるとともに、国政からの情報を得、市政の運営に資することができた。令和元年度は、「地域経済に関する重点提言」をはじめとする計28件の重点提言を全国市長会から関係府省等に行った。

全国市長会分担金　705,000円
三重県市長会分担金　1,672,000円
旅費　136,450円　ほか
全国市長会（東京都）、東海市長会（静岡県・岐阜県）、その他会議等（東京都ほか）

事業名	市政功労等顕彰事業費					秘書広報課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
98,942					98,942		81,518

市政功労者等に対する表彰式を開催
市勢の伸展に各分野で貢献された個人を、市政功労者として表彰した。
また、市に対して高額の寄付をされた個人及び団体を、市政特別協力者として表彰した。
市政功労者表彰　（個人3人）
市政特別協力者表彰　（個人4人、5団体）

事業名	大学奨学金給付事業費					総務課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,651,374				5,640,000	11,374		4,990,810

社会に有為な人間の育成を目的として、奨学金を給付した。
月額 30,000円×12か月×13人（県外大学奨学生）
月額 20,000円×12か月×4人（県内大学奨学生）

選考委員会を1回開催し、大学奨学生を公平公正に選考した。
応募者34人から4人を採用した。
県外大学4人

事業名	大学奨学基金積立金				総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
24,422				24,422		25,698

大学奨学基金利子に伴う積立金

令和元年度末基金現在高　50,486,756円

事業名	情報公開事業費				総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,692,050				185,653	1,506,397	1,542,399

令和元年度情報公開制度実施状況

請求（申出）件数　413件　請求延人数　413人

公開 384件　部分公開 124件　非公開 6件　公文書不存在 10件　存否応答拒否　2件

取下げ　9件　　計 535件

審査請求件数　3件

情報公開審査会の開催　3回

事業名	個人情報保護事業費				総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
169,020					169,020	165,360

令和元年度個人情報保護制度実施状況

開示請求件数　26件　請求延人数　26人

開示 21件　部分開示 3件　不開示0件　不存在 2件　取下げ 2件　　計 28件

審査請求件数　0件

個人情報保護審査会の開催　0回

個人情報保護制度研修会（11／11）

講師　第一法規株式会社　営業局東海営業第二部長　出席人数　92人

事業名	弁護士法務支援事業費				総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,971,440					1,971,440	1,948,720

適正な行政運営を行うため、複雑化・高度化する市業務について、法務上あるいは政策選択上の相談を行った。

定期法務相談件数 40件　臨時法務相談件数 35件　　計　75件

事業名	文書管理事業費				総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,736,032					8,736,032	7,509,819

郵便物等の取扱い　162,056件

公文書廃棄処理　28.4トン

市の本庁と各施設との連絡文書等の集配業務　35か所

事業名	指定寄附基金積立金					総務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
23,781,493				23,781,493		23,132,781

市に対する寄附金及び指定寄附基金利子に伴う積立金

令和元年度末基金現在高　48,810,742円

事業名	電子入札システム事業費					契約監理課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
43,916,600					43,916,600	29,133,255

電子入札システムは、建設工事について平成16年度から、物品調達について平成22年度からそれぞれ導入している。令和元年度は、建設工事428件（全446件のうち96.0%）、物品調達359件（全405件のうち88.6%）について電子入札を実施した。電子入札システムの使用により入札及び契約に係る業務の効率化、速報性の向上、透明性の確保とともに、入札参加者においても入札事務が省力化されるよう努めた。また、導入から長期間経過したサーバー機器類の老朽化やOSのサポート切れ等に伴いシステムの更新（一括購入から予算の平準化のためリース方式を採用）し、今後も安定的に一般競争入札を継続して実施できるよう対応を行った。

事業名	行政不服審査事業費					総務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
92,560					92,560	46,440

松阪市行政不服審査会の開催　3回　　審査請求　3件

行政不服審査法に基づく3件の審査請求のうち1件は年度内に松阪市行政不服審査会を開催しなかった（開催した3回のうち1回は平成30年度に審査請求のあったもの）。

事業名	秘書一般経費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,454,939					4,454,939	3,738,669

秘書業務を円滑に進めることができた。

旅費　　443,430円

会津若松市制120周年記念式典、東京駐在官業務報告等

広告料　　595,500円

加入団体会費　479,700円　ほか

事業名	総務一般経費					総務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,025,212					12,025,212	11,098,846

法令書籍追録　3,349,704円　例規集データベース更新業務委託　4,415,772円

大型印刷機賃借料　1,178,064円　行政手続基準管理システム利用料　419,868円　ほか

事業名	契約監理事業費					契約監理課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,862,896				5,288	3,857,608	3,917,945

【工事関係】

工事関係入札件数　446件（工事354件、委託84件、不調等8件）
建設工事の入札においては、条件付き一般競争入札により、公正性、公平性、競争性、透明性の確保に努めた。その内、低入札価格調査制度による入札を15件実施し、低入札調査を経た調査基準額未満での契約は13件であった。働き方改革に伴う建設現場の就労環境の改善の一環として、週休2日制工事の発注や工事の平準化に取り組んだ。

令和元年度入札実施件数　（単位　件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土木一式	9	11	24	24	5	20	18	23	13	5	2	5	159
建築一式	10	6	19	2	2	7	6	8	2	1	0	0	63
水道本管、給水	0	3	3	2	1	1	2	3	2	2	1	0	20
管	4	1	2	4	2	1	0	2	1	0	0	0	17
舗装	12	3	9	1	2	5	2	4	6	7	0	4	55
電気	2	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	5
造園	7	0	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	12
その他	1	1	3	0	3	6	2	4	2	1	0	0	23
委託	8	9	18	9	11	7	7	5	2	8	0	0	84
不調	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0	5
中止	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	3
計	53	34	80	44	27	48	37	54	32	25	3	9	446

【検査関係】

工事検査件数　520件（工事344件、委託148件、その他28件）
検査においては、専任の検査員5人と併任検査員30人を任命し、建設工事・業務委託の完成検査、中間・出来高検査を行い目的物の品質確保に努めた。併任検査員へは検査指導を行い評価基準の平準化を図り検査を行った。また、完成検査においては評価をもとに、優遇措置や処分規定を設け受注業者の指導・育成に努めた。

令和元年度工事検査実施件数　（単位　件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土木関係	2	5	5	18	18	38	3	9	16	11	27	62	214
建築関係	0	1	1	4	9	32	5	9	12	3	12	26	114
水道関係	0	1	1	2	1	0	0	0	1	0	1	9	16
委託関係	0	1	9	1	5	17	1	14	19	5	10	66	148
その他	0	0	0	1	4	1	2	8	2	2	7	1	28
計	2	8	16	26	37	88	11	40	50	21	57	164	520

※区分欄の「その他」は、補助金交付に係る履行確認、物品調達に係る納品確認、出来高検査、中間検査、設備修繕の完成確認とする。

【物品業務委託関係】

物品業務委託関係入札等件数　405件（条件付き一般競争入札260件、定時見積合せ132件、不調等13件）
物品調達の入札においては、条件付き一般競争入札、定時見積合せを原則として契約における公正性、公平性、競争性、透明性の確保に努めた。

令和元年度物品入札件数　　（単位　件）

区分	条件付き 一般競争入札	定時見積合せ	計
リース、賃借	88	0	88
一般印刷	20	27	47
消耗品	28	31	59
電算帳票印刷	2	2	4
備品	56	48	104
燃料	0	24	24
業務委託	66	0	66
不調	2	1	3
中止	9	1	10
計	271	134	405

【入札等監視委員会】

入札及び契約の過程並びに契約内容の透明性及び公正性の確保を目的とし、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の指針に基づき設置する学識経験者等による第三者機関である。定例会5回、臨時会2回を開催し、全契約案件から145件を抽出して入札及び契約の内容等について審議し、入札制度の更なる改善につなげるべく意見具申を行った。

【参考　所属別契約件数】

令和元年度契約件数一覧（契約監理課契約分を除く。）

所属	指名競争	随意契約	プロポーザル	計
秘書広報課	4	10	0	14
防災対策課	0	8	1	9
環境生活部	9	42	0	51
企画振興部	5	31	0	36
総務部	6	41	1	48
健康福祉部	7	84	0	91
建設部	2	90	2	94
産業文化部	15	95	1	111
上下水道部	18	31	0	49
教育委員会事務局	21	109	0	130
農業委員会事務局	0	1	0	1
選挙管理委員会事務局	0	17	0	17
議会事務局	2	4	0	6
計	89	563	5	657

※表中の件数は、建設工事公表要領及び物件等公表要領に基づき公表された件数の集計であり、各所属において契約を行った件数である。

（工事は予定価格130万円以上、工事以外は予定価格50万円以上に限る。）

事業名	被災地支援事業費					職員課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
135,132					135,132	1,021,978

東日本大震災による被災地の復旧・復興支援のため職員1人を1年間陸前高田市に派遣した。また、令和元年台風第19号災害復旧事業のため、令和2年度より職員を1年間長野県長野市と長野県上田市に派遣することにともない、事前準備・打ち合わせのため両市に職員を派遣した。

松阪牛まつりへの陸前高田市ブース出店にともなう旅費	55,960 円
長野市・上田市への事前準備等にともなう旅費	47,295 円
事務用品等	31,877 円

事業名	債権回収対策事業費					債権回収対策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,427,396				5,288	2,422,108	2,523,843

担当課で徴収困難と判断された未収金について聞き取りの結果、「介護保険料」「後期高齢者医療保険料」「保育園保育料」「下水道受益者負担金」の公課について移管を受け、滞納処分等の徴収を行った。
滞納者に滞納処分をすることができる財産がない等、回収見込みがない他の公課については所管課へのアドバイスを行い、債権管理の適正化を図った。

【移管引継滞納額】　単位：人・円

	人数	本料	督促	計
介護	45	5,503,170	46,960	5,550,130
後期	17	2,637,623	14,720	2,652,343
保育	21	2,434,166	10,480	2,444,646
下水	7	1,608,590	5,280	1,613,870
計	90	12,183,549	77,440	12,260,989

【徴収実績】　単位：人・円・％

	人数	本料	督促	延滞金	計	収納率
介護	36	2,489,886	21,120	104,854	2,615,860	45.24
後期	15	1,456,937	6,320	123,100	1,586,357	55.17
保育	15	727,656	5,440	80,100	813,196	29.99
下水	7	414,395	1,520	0	415,915	25.77
計	73	5,088,874	34,400	308,054	5,431,328	41.79

※収納率は延滞金を除く

【差押状況】　単位：人・円

	差押滞納額			差押換価額				
	人数	本料	督促	人数	本料	督促	延滞金	計
介護	18	1,349,130	13,440	21	284,620	4,000	10,296	298,916
後期	9	555,390	7,280	7	16,077	400	0	16,477
保育	15	1,419,045	5,040	16	105,538	480	27,000	133,018
下水	3	67,440	1,920	3	2,345	0	0	2,345
計	45	3,391,005	27,680	47	408,580	4,880	37,296	450,756

※合計人数は延人数

事業名	債権回収支援事業費				債権回収対策課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
363,280				11,721	351,559	―

非強制徴収公債権・私債権においては担当課と共同し6債権に対し支払督促・少額訴訟・債権執行を行った。
未収債権に関する状況調査を行うとともに、担当課からの相談を随時受付け、協力体制をとりながら事務を進めた。
債権の適正管理についての職員研修を2回（第1回：7課12人出席、第2回：4課9人出席）開催した。

【訴訟及び強制執行等状況】　　単位：件

	生活保護返還金	児童扶養手当	水道管破損損害賠償金	休日夜間診療費	幼稚園保育料	医療費助成返還金	計
支払督促	3	1	1	1	1	1	8
少額訴訟	1	1	1	1	0	0	4
債権執行	2	0	0	0	0	0	2
計	6	2	2	2	1	1	14

事業名	行財政改革推進事業費				市政改革課	
決算額	財源内訳					【参考】H30決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
714,806					714,806	673,552

『松阪市行財政改革推進方針』の推進と進捗管理

平成28年度策定の『総合計画』がめざす将来像を実現するため、「持続可能な市政運営の推進」、「公民連携と開かれた市政運営の推進」、「合理的で質の高い市政運営の推進」という行財政改革の方向性を示す「３つの基本方針」と、具体的な取組みとして「10の改革の視点」で構成する『松阪市行財政改革推進方針』（平成29年3月策定、以下「行革方針」という。）に基づき行財政改革を推進した。

「行財政改革」に関する職員アンケートの実施

今後ますます深刻化が予想される「人口減少（少子化）」、「超高齢社会」、「公共施設の老朽化」等に対応するため、統一的な視点で事務・事業の見直しを促進していく必要がある。職員の声を反映した令和2年度以降の「新たな行財政改革の方針」を見定める手がかりとするため、職員アンケートを実施した。

対象　全職員1,448人（特別職、市民病院採用職員、臨時職員、非常勤職員、派遣・出向中の職員等を除く）※調査期間中に長期休職中であった職員は対象外）

方法　職員ポータルアンケート機能及び調査用紙
設問　全27問（15分程度）
期間　8月28日～9月27日
回答　1,329人（回答率91.8%）

松阪市行財政改革推進委員会

「行革方針」に基づき、行財政改革を推進するため、学識経験者、民間企業の経営者、自治会連合会等の代表者等で構成する「松阪市行財政改革推進委員会」を開催し、外部視点からの意見や助言等をいただくとともに、各分野における行財政改革の取組みの進捗状況等の報告・確認等を実施した。

委員会開催内訳（構成委員数　7人）

開催日	内容	出席人数
8月6日	令和元年度　行財政改革取組、部局長の実行宣言　ほか	6人
11月20日	行財政改革に関する職員アンケートについて　ほか	5人

『部局長の「実行宣言」』の作成（17部局長）

各施策の責任者である各部局長が、前年度の部局運営を評価し、当該年度の改善や目標設定につなげる「ＰＤＣＡサイクル」の一環として「実行宣言」を作成した。「実行宣言」は、事務・事業の成果及び「総合計画」関係施策の進捗状況を、定量的な指標によって評価することで「施策や事務・事業の進捗管理」及び「事務・事業の見直し」の基礎資料とし、実行宣言の評価結果は「施策評価システム」の基礎データとして、実施計画策定や予算編成での活用につなげることができた。また、市民にとって見やすくわかりやすい内容と表現に努め、令和元年7月17日の市長定例会見で広く市民への公表を行うとともに、市ホームページや本庁舎及び各地域振興局でも参照できるよう情報公開窓口に配置した。

行政経営品質改善活動

部局単位で「行政経営品質改善チーム（17チーム）」を編成し、『部局長の「実行宣言」』において部局長が掲げる「部局マネジメント方針」に基づき、行動計画や目標等を設定し、業務や職場の改善活動を進めた。年度末の行政経営品質改善委員会では各チームの取組み結果を報告し、更なる改善活動の推進と職員の意識高揚等を図った。

委員会開催内訳（構成委員数　17人）

委員会名	開催回数
行政経営品質改善委員会	１回

職員アワード表彰制度

・グッドパフォーマンス部門

「本市職員が互いを認め合い、高め合う組織風土を醸成し、効率的で効果的な行政経営と、質の高い行政サービスを実現すること」を目的とし職員表彰を実施。職員アンケートの意見（仕事はチームでするものであり、一人が選ばれるのはどうか）を踏まえ、職員一人を表彰する制度から各部局内の取組みを表彰する制度へリニューアル。部局長推薦による今年度実施の25取組の中から、市長及び副市長の審査により11取組を表彰した。

・グッドアイデア部門

職員アワード表彰制度では、取組み実績を評価し表彰する「グッドパフォーマンス部門」に加え、組織の枠を超えて職員から「より良い市政」に寄与する提案を募集する「グッドアイデア部門」を新設。既成概念に捉われない施策・事業を創出するとともに、職員の政策形成能力向上を図り、行政事業のスクラップアンドビルドを促進する。令和2年3月募集開始、令和2年度上期の審査・表彰者決定を予定。

行革かわら版『「行革」ノスヽメ』の発行

行財政改革の推進や「行革方針」の認知度の向上等をめざし、庁内ネットワークを活用し、「行革方針」や「市の行財政改革の取組」等をわかりやすく伝える庁内向け「行革かわら版」を発行した。

号	発行月	タイトル・内容	主な担当課
第1号	H29.8	「行革」のイロハ	市政改革課
第2号	H29.10	“３つ”の「基本方針」と“10項目”の「改革の視点」	市政改革課
第3号	H29.12	自主財源の確保と徴収強化	市政改革課
第4号	H30.3	ICTを活用した情報化の推進	情報企画課
第5号	H30.5	事務・事業の見直し	経営企画課
第6号	H30.6	「ワーク・ライフ・マネジメント」「「職員力」の強化」	職員課
第7号	H30.8	市民参画・協働の推進	地域づくり連携課
第8号	H30.10	公共施設マネジメント	市政改革課
第9号	H30.12	民間活力の導入	市政改革課
第10号	H31.3	受益者負担の検証	市政改革課
第11号	R1.5	機能的な行政組織	市政改革課

これからの松阪市行政のあり方の検討

市長から「これからの松阪市行政のあり方庁内検討委員会」への諮問
（令和元年5月10日付け「松阪市行政組織について」）
・より効率的かつ効果的に市民ニーズに応えられる組織体制の構築
・市民ニーズに応じた行政窓口体制の構築
・地域振興局・出張所等の役割、機能の整理
・住民自治組織の一本化にともなう行政の役割の整理
について、委員会等で検討を行い、令和2年度から実施すべき項目について、令和元年12月17日市長に一部答申を行った。令和2年度引き続き検討を進める。

委員会等開催内訳（構成委員数　23人）

委員会名	開催回数
庁内検討委員会	3回
分科会（窓口関係ワーキンググループ）	3回
分科会（支所出張所ワーキンググループ）	7回

主な経過等

区分	実施日	主な内容
市長諮問	5月10日	・松阪市行政組織について
一部答申	12月17日	・ライフイベントに対応した「書かない窓口」の実施 ・定型手続きのワンストップ化の実施 ・地域振興局における当直業務の見直し

先進市視察
・窓口業務の民間委託等に関する視察
名張市役所 総合窓口センター視察　7月25日　1人ほか他課職員3人
加賀市役所 橋立出張所　2月 3日　2人ほか他課職員3人　ほか

広告審査事業

市の新たな財源を確保し、市民サービスの向上及び地域経済の活性化を図るため、市の財産等を広告媒体（封筒、ホームページ、広報紙、暮らしのガイド、ネーミングライツ等）として活用しており、民間企業等の広告を掲載することに関して、広告内容や表現、事業主の適格性の観点から、広告審査委員会を開催し、審査を行った。

委員会開催内訳（構成委員数　8人）

委員会名	開催回数
広告審査委員会	9回

実施日	内　容
H31.4.18	・松阪市オリジナル婚姻届及び広告入り書き方冊子 ・松阪市民病院モニター広告
H31.4.25	・松阪市オリジナル婚姻届及び広告入り書き方冊子（継続審査）
R1.5.24	・松阪市ホームページ広告
R1.5.28	・松阪市ホームページ広告（継続審査）
R1.5.28	・松阪市広告入り窓口用封筒 ・松阪市モニター広告
R1.7.25	・松阪市美術展覧会目録
R1.8.30	・広報まつさか掲載広告 ・松阪市モニター広告
R1.10.29	・松阪市納税通知書用封筒広告
R2.1.21	・松阪市名入封筒広告事業 ・松阪市モニター広告事業

公民連携等の推進

効率的で効果的な事務・事業の実施、公の施設の最適な管理運営に向けた指定管理者制度の運用等について、民間委託等検討委員会を開催し、協議・検討を行った。

委員会開催内訳（構成委員数　18人）

委員会名	開催回数
民間委託等検討委員会	2回

実施日	内　容
R1.5.21	・松阪市中心市街地活性化複合施設 （カリヨンプラザ、カリヨンパーキング）
R1.5.28	・松阪市リバーサイド茶倉 ・松阪市飯高グリーンライフ山林舎 ・松阪市飯高森林とのふれあい環境整備施設(つつじの里荒滝)

・民間活力の導入に関する手引きの検討

事務・事業の「選択と集中」、「行政経営」の考えのもと、限りある経営資源（ヒト・モノ・カネ・時間　等）を効率的で効果的に活用し、「公民連携と開かれた市政運営の推進」を図るため、「松阪市行財政改革推進方針」では、「民間活力の導入」を掲げている。職員一人ひとりが、自身の携わる「行政サービスや事務・事業」の実施計画、予算編成など「事務・事業の見直し」を行う際に、「民間活力の導入」の可能性を点検する手がかりとするため『民間活力の導入に関する手引き』を令和2年6月に策定することを目標とし、準備を進めた。

・より効果的な公民連携手法、制度の検討

民間活力、民間ノウハウを有効に活用するため、平成30年度から自由な民間提案を受け付ける公民連携窓口「共創デスク」を経営企画課に設置してきた。これまで市政改革課で所管する課題設定型の民間提案募集制度「ジョイントパートナー制度」や、新たな取組み「サウンディング市場調査」、その他先進自治体の提案制度等の研究を継続しつつ、まずはわかりやすい提案窓口をめざし「共創デスク」を市政改革課に移管し、本市公民連携制度（窓口）の一元化を図った。（令和2年4月1日移管）

研修会開催内訳

・行財政改革研修会（外部講師）

実務レベルのワークマネジメントを担う課長補佐級及び係長級職員をメインターゲットとし、生産性(サービス)向上の観点からの「働き方改革」の必要性を改めて認識し「経営資源の有効活用、効率的・効果的な働き方」に関する意識改革を目的とした研修を実施。

研修内容　　職員による「行財政改革」と「働き方改革」
講　　師　　人事院公務員研修所　客員教授　高嶋直人　氏
開 催 日　　11月6日　参加人数　96人

・行財政改革研修会（内部講師）

職員の行財政改革に関する認知度・理解度向上等を目的とし、若年層職員対象に市政改革課（内部講師）による研修を実施。

実施日	研修名	内容	参加人数
4月25日	令和元年度新任係長級職員研修	行財政改革について	29人
10月10日	令和元年度新規採用職員後期研修	行財政改革について	35人
10月11日	平成30年度採用職員フォロー研修	行財政改革について	32人

事業名	公共施設マネジメント推進事業費					市政改革課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,189,633					1,189,633		770,614

公共施設マネジメント

公共施設の老朽化が著しい状況の中で、建替え等にかかる財政負担を将来世代へ先送りせず、持続可能な市政運営を実現するために、公共施設の保有総量の適正化及び既存施設の有効活用の取組みを進めた。また、公共施設等総合管理計画の中で、40年で40%、10年で20%の延べ面積の総量削減を目標に定めており、その目標設定については、大きく現実と乖離していることから、目標の見直しを令和2年度中に行う。

施設マネジメント推進委員会

施設所管課長等で構成し、公共施設マネジメントの全庁推進体制である「施設マネジメント推進委員会」を開催し、施設所管課等の協力のもとで、『公共施設等総合管理計画』に基づき、保有総量の適正化及び既存施設の有効活用の検討などの公共施設の全体最適化の取組みを行った。

委員会開催内訳（構成統括推進委員数　11人）

委員会名	開催回数
松阪市施設マネジメント推進委員会	3回

「施設カルテ」の更新及び公表

市が保有する公共施設を対象に施設の現状を的確に把握し、施設の情報を一元化していくため、「施設カルテ」を作成し、3月に公表を行った。

公共施設マネジメントの横断的協議

施設分野や部局を超えた横断的マネジメントを進めるため関係所管課等による施設の統合や民間活力導入等の具体的なマネジメント手法についての協議を行った。

横断的協議開催内容

協議名	開催日数	協議案件
公共施設マネジメントの横断的協議	3回	8件

施設使用料等検討委員会

平成25年から27年に検討された使用料見直し案を元に、課題を抽出し、令和元年から2年にかけて計6回程度開催し、使用料基本方針の提言をまとめる。
令和元年度は、3回開催し、原価計算方法、性質別負担割合などを議論し、令和2年度は、減免基準やその他の基準を議論する。

委員会開催内訳（構成委員数　7人）

委員会名	開催回数
松阪市施設使用料等検討委員会	3回

研修会開催内訳

公共施設マネジメント研修会（外部講師）

研修内容①「公共施設等を取り巻く環境と生きる手段としてのPPP／PFI」
～発想の転換／ユルクトンガル／アカルイミライ～

講師①　特定非営利活動法人　日本PFI・PPP協会　業務部長　寺沢　弘樹

研修内容②「包括管理業務の実際　～公共施設マネジメントの一手として～」

講師②　日本管財株式会社　執行役員　窪田　豊信

11月22日（午前・午後）　参加人数　計128人

事業名	公共施設マネジメント基金積立金				市政改革課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
111,535,863				111,535,863		64,661,443

公共施設マネジメント基金利子、クリーンセンター発電電力売電収入（一部）及び建物売払収入（海上アクセス松阪港旅客ターミナル建屋）に伴う積立金

令和元年度末基金現在高　2,201,996,190円

事業名	公共施設点検管理事業費				市政改革課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
42,897,800					42,897,800	―

公共建築物定期点検業務委託　小中学校、幼稚園等　計72施設

（款）2総務費　　（項）1総務管理費　　（目）2広報費

（単位　円）

事業名	広報松阪発行事業費				秘書広報課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
92,182,989				780,000	91,402,989	92,747,817

広報まつさかを毎月1回発行。自治会等を通じて配布し、市政等の情報を提供した。

12回発行（令和元年5月号～令和2年4月号）発行部数　65,000部／月

A4版　28ページ　1回
32ページ　4回
36ページ　7回

事業名	ホームページ管理運営事業費				秘書広報課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,364,180				1,700,000	2,664,180	3,588,640

ホームページのサーバーの適切な維持管理を行い、市政情報を広く提供した。また、ホームページの操作研修を行い、意識と技術の向上を図った。ホームページのあり方等についても情報のかけ橋委員会を定期的に開催し、検討を行った。

情報発信に関する市職員研修　　2回
情報のかけ橋委員会（委員6人）　6回

事業名	市民対話活動事業費				秘書広報課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
910,797				25,785	885,012	901,950

市政への関心と理解を深めていただくため、市内の公共施設等を見学する市政バスの実施や、様々なテーマに沿った市民懇談会「市長と語る会」を開催した。また、市民の意見を市政に活かすため、電子メール、ファックス、郵便、窓口等幅広い方法で市民の意見を聴いた。市政情報や暮らしに役立つ情報について学んでもらう出前講座を開催した。

市政バス　49回、参加人数　992人
市長と語る会　幼稚園･保育園 8回、中･高齢者 9回、各地域(自治会等) 8回、参加人数　計456人
市民の声　156件（Eメール　93件、手紙　55件、電話　5件、FAX　2件、窓口　1件）
出前講座　254回（うち消防　23回）、参加人数　8,976人（うち消防　632人）

事業名	広報広聴業務推進事業費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
69,647,246					69,647,246	69,621,342

松阪市自治会連合会に、ポスターの掲示、回覧物の周知、懇談会、説明会等への参集呼びかけ等、業務委託を行った。

事業名	行政情報番組制作事業費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
34,169,514				1,148,395	33,021,119	37,960,988

行政情報番組「アイウエーブまつさか」を制作・放送し、行政情報や地域の話題などを分かりやすく情報提供した。

放送本数

通常番組	95	本	1日18回のリピート放送　週2回更新
特集・特別番組	65	本	暮らしの安全情報、いきいき健康情報 等
議会放送	65	回	生中継28回、録画放送37回
文字放送、市民の掲示板	270	件	22件／月

事業名	広報一般経費					秘書広報課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,908,843				5,288	6,903,555	6,218,335

市政の情報を積極的に発信するため記者クラブの円滑な運営を推進した。また、新聞広告や外部のテレビ局の番組を活用し、市政情報の発信を行った。

記者クラブ非常勤職員賃金、共済費　2,047,004円

新聞掲載による広告の活用

特集広告（2回）・松阪市政だより（5回）　2,647,272円

外部のテレビ局の番組の活用

テレビ番組制作・放送委託（みえ松阪マラソンPR）　1,320,000円　ほか

（款）2総務費　（項）1総務管理費　（目）3公平委員会費

（単位　円）

事業名	公平委員会事業費					総務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
437,740					437,740	403,040

公平委員会研修会等

審査決定機関としての審査能力を向上するための研修会に参加した。

名　　称	開 催 日	場所	参加人数
全国公平委員会連合会東海支部総会及び事務研究会	5／21	愛知県知多市	3人
全国公平委員会連合会本部研究会	7／11～12	東京都	3人
三重県公平委員会連合会総会及び事務研修会	10／16	鈴鹿市	4人
全国公平委員会連合会通常総会	10／25	東京都	2人

（款）2総務費　　（項）1総務管理費　　（目）4人事管理費

（単位　円）

事業名	特別職退職手当				職員課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,728,120					13,728,120	―

副市長、教育長退職手当（2人分、任期満了による）

事業名	一般職退職手当				職員課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
921,999,288				37,255,140	884,744,148	933,704,830

退職手当66人分

区分	人数	うち定年退職
行（一）	47人	24人
行（二）	14人	12人
教育	1人	0人
特定任期付	2人	1人
退職者計	64人	37人
失業者の退職手当	2人	―
計	66人	37人

退職手当1人平均 14,396,992円

（退職手当不支給者、失業者の退職手当支給者の人数及び支給額を除く）

事業名	職員研修事業費				職員課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,954,344				54,150	7,900,194	6,767,203

総合的な職員研修の実施と研修機関への派遣等を実施した。また、内閣府と第一勧業信用組合へも職員を派遣した。

区分	内容	人数等	金額
集合研修	階層別研修	726人	1,239,440
	特別研修	1,359人	2,489,888
	専門研修	239人	171,420
	諸経費等		410,281
	小計	2,324人	4,311,029
派遣研修	内閣府派遣	1人	834,640
	第一勧業信用組合派遣	1人	354,180
	自治大学校（事後研修）	1人	28,200
	市町村アカデミー	5人	225,305
	三重短期大学	1人	0
	三重県自治会館	326人	709,120
	県、民間、その他	45人	1,011,030
	団体会費等		50,000
	小計	380人	3,212,475
自己啓発研修	イブニングセミナー	14職場	0
	職場研修専門講師利用	10職場	430,840
	小計		430,840
合計		―	7,954,344

【研修派遣】

・内閣府（兼内閣官房）派遣　　R1.7.1～R2.3.31

・第一勧業信用組合派遣　　H31.4.1～R2.3.31

事業名	職員採用試験事業費					職員課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,582,102					3,582,102	3,154,329

より優秀な人材をいち早く獲得するため、前期試験を新たに設け、令和2年度採用の職員採用試験を行った。（人事試験研究センター等の業者に一部委託）

［前期募集］

1次試験　・・・ 令和元年 6月9日（日）　場所：市立鎌田中学校

2次試験　・・・ 令和元年6月23日（日）、28日（金）、7月2日（火）、4日（木）

採用試験受験状況

		1次試験	2次試験	採用者数
事務職		179人	25人	9人
技術職	土木	9人	4人	2人
	建築	4人	2人	2人
	電気	5人	4人	2人
	機械	0人	0人	0人
保健師職		11人	6人	2人
労務職		2人	1人	0人
計		210人	42人	17人

［スケートパーク職員募集］　※前期募集で採用できなかったことによる再募集

1次試験　・・・ 令和元年 8月3日（土）　場所：松阪市役所

2次試験　・・・ 令和元年 8月7日（水）

採用試験受験状況

	1次試験	採用者数
労務職	4人	1人
計	4人	1人

［後期募集］

1次試験　・・・ 令和元年 9月22日（日）　場所：市立殿町中学校

2次試験　・・・ 令和元年10月26日（土）、28日（月）、29日（火）、
11月5日（火）、6日（水）、14日（木）、15日（金）、16日（土）

採用試験受験状況（一般・社会人）

		1次試験	2次試験	3次試験	採用者数
事務職		97人	48人		22人
技術職	土木	6人	6人		2人
	機械	3人	2人		1人
幼教・保育士職		45人	40人		21人
労務職		14人	11人		3人
事務職（社会人経験者）		87人	22人	6人	2人
計		252人	129人	6人	51人

採用試験受験状況（障がい者対象）

	1次試験	2次試験	3次試験	採用者数
事務職	10人	4人		2人
計	10人	4人		2人

［こども局子ども発達総合支援センター職員募集］

採用試験受験状況（採用試験は子ども発達総合支援センターで実施）

	1次試験	2次試験	3次試験	採用者数
臨床心理士	3人	3人		2人
計	3人	3人		2人

事業名	職員通信教育講座受講補助金					職員課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
357,804					357,804		275,696

職員の自己啓発意欲の支援のため、通信教育修了者に対し受講費用の1／2を補助した。

受講講座修了の47人に対し補助（申込者60人）

事業名	職員資格取得等補助金					職員課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
7,425					7,425		48,200

職員の現在の担当業務及びその業務に関連のある市政の施策の推進に必要なもので、当該年度に予算化されていない法令に基づく国家資格及び官公庁等が認定する公的資格等の取得に必要な登録料、受講料の1／2を助成した。

2件（第三種電気主任技術者2,425円×1件、建築基準適合判定資格者登録5,000円×1件）

事業名	職員福利厚生事業費					職員課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
99,566,542				180,222	99,386,320		122,261,659

産休・育休・病休等職員の代替非常勤職員の賃金等を支給した。

区分	人数	賃金	共済費
産休・育休代替等	24人	38,172,500	6,540,722
病休代替	3人	1,924,235	291,768
欠員補充	21人	35,387,217	6,432,413
計	48人	75,483,952	13,264,903

労務職員等（ 夏：149人、冬：150人）に対して作業服の貸与を行った。　2,355,458円

夏用：上着　241着、ズボン　271着

冬用：上着　146着、ズボン　149着

松阪市職員共済組合に業務を委託し、職員が松阪市勤労者サービスセンター会員となり、各種サービスを選択することで、職員の親睦、保健、元気回復などの福利厚生事業を実施した。　7,981,829円

抗体検査助成費　480,400円

事業名	安全衛生事業費					職員課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,015,592				352,990	10,662,602	10,437,120

療養補償費（非常勤職員の公務災害による治療費等　平成30年度発生1件）　536,632円
こころの健康相談　医師報償費　（相談件数　計17件）　210,000円
産業医委託料　180,000円
健康診断委託料　10,088,600円
その他事務経費　360円

労働安全衛生法に基づき、職員の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。
※三共済組合員の定期健康診断については、健康事業の巡回ドック事業を利用

定期健康診断

		受診結果	
受診人員		1,155人	100.0%
	要治療	110人	9.5%
	要二次検査	401人	34.8%
	要経過観察	429人	37.1%
	軽度異常	124人	10.7%
	異常なし	91人	7.9%

ストレスチェック

		受検結果	
受検人員		1,848人	100.0%
	高ストレス者	222人	12.0%

一人あたり単価

		～R1.9.30	R1.10.1～
健康診断委託料	三共済組合員	7,040円	7,040円
	非常勤職員等	8,070円	8,220円
ストレスチェック		660円	672円

事業名	当直関連業務事業費					職員課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,871,080					7,871,080	7,396,710

市役所本庁舎の当直職員（9人）の賃金を支給した。
11,570円×656回(年休分含む)　7,589,920円
15,620円×　18回(年末年始)　281,160円

事業名	人事評価制度事業費					職員課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,520,528					1,520,528	1,536,661

質の高い市民サービスを提供するため、人材育成型の人事評価制度を運用した。
人事評価制度構築支援業務委託　692,128円
面談・部下指導研修委託　205,200円
人事評価及び目標管理研修委託　205,200円
評価・マネジメント研修委託　209,000円
自己評価研修委託　209,000円

事業名	人事管理一般経費					職員課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
21,989,045				955,477	21,033,568		13,789,144

特別職報酬等審議会報酬（令和2年1月10日、1月24日、2月6日の計3回開催） 147,000円
2019年度全国市長会防災・減災費用保険保険料分担金 1,500,000円
源泉徴収票および支払調書作成業務委託料 316,662円
給与支払明細表作成業務委託料 2,028,316円
人事・給与厚生業務委託料 6,532,000円
会計年度任用職員制度における勤務条件通知書入力委託 726,000円
旧恩給組合負担金 155,775円
会計年度任用職員制度対応関連改修業務委託料 4,265,250円
三重県東京事務所派遣職員公舎使用にかかる負担金 1,594,000円
その他事務経費 4,724,042円

（款）2総務費　（項）1総務管理費　（目）5財政管理費

（単位　円）

事業名	財政管理事業費					財務課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,392,819					1,392,819		1,500,028

起債協議・借入、交付税算定、財政公表、予算編成事務等経費

令和元年度当初予算編成事務説明会の開催

開催日	開催場所	出席者数
R1.10.17	産業振興センター3階研修ホール	231人

財政公表

公表対象期間	公表時期
平成30年度下半期（前年10月1日～3月31日）	広報まつさか6月号掲載
令和元年度上半期（4月1日～9月30日）	広報まつさか12月号　折込み　64,900部

（款）2総務費　（項）1総務管理費　（目）6財産管理費

（単位　円）

事業名	庁舎等維持管理事業費					財務課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
117,804,265				10,711,822	107,092,443		128,757,994

本庁舎等の維持管理、既存設備の保守管理等

本庁舎等光熱水費（電気・ガス・水道・下水道） 32,713,446円
本庁舎等維持修繕費 9,996,023円
本庁舎等電話代等 10,534,604円
本庁舎管理業務等手数料 1,646,353円
建物等保険料 17,274,706円
本庁舎管理等委託料 30,603,154円
使用料及び賃借料等 15,035,979円

事業名	庁舎等整備事業費					財務課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
416,821,523			317,900,000		98,921,523		372,430,772

本庁舎本館空調設備の老朽化に伴う改修、本庁舎本館1階・2階の案内サイン表示の改修、本庁舎本館1階への授乳室設置及び、本庁舎駐車場拡幅事業のための用地購入を行った。

本庁舎本館空調設備他改修工事監理業務委託料	19,280,000円
本庁舎本館案内サイン表示改修業務委託料（1・2階）	9,240,000円
本庁舎本館1階授乳室設置修繕料等	2,245,100円
本庁舎駐車場拡幅事業に係る土地購入費（A=978.68㎡）	18,792,520円
本庁舎駐車場拡幅事業に係る物件移転補償費	43,958,723円

工事名	工事内容	工事費
本庁舎本館空調設備他改修工事	本庁舎本館の空調設備を一括空調方式から個別空調方式に改修する工事を行った。（空調室外機14台、空調室内機150台ほか）	316,469,780
本庁舎第一分館空調設備改修工事	本庁舎第一分館1階事務室の空調設備の取替工事を行った。（空冷ヒートポンプエアコン6馬力1台及び4馬力1台）	2,952,400
本庁舎第一分館屋上防水改修工事	本庁舎第一分館屋上の防水改修を行った。（ウレタン塗膜防水282㎡）	3,883,000

事業名	市有財産管理事業費					財務課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,484,498				5,288	5,479,210		7,011,670

総括的な公有財産の把握及び新たに取得した公有財産の台帳整理並びに普通財産の管理

登記業務委託等手数料	156,600円
草刈清掃等業務委託料	2,813,804円
パソコン等借上料	59,346円
その他非常勤職員賃金、消耗品等	2,454,748円

事業名	車両管理事業費					財務課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
21,730,494				1,103,913	20,626,581		21,046,530

集中管理車両の維持・保守管理等

車検、点検等修理代	793,106円
自動車燃料費	3,797,129円
自動車借上料	8,076,426円
自動車保険料等	9,063,833円

事業名	財務書類作成事業費					財務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,535,292					10,535,292	10,860,924

統一的な基準による地方公会計に則した固定資産台帳更新及び財務書類作成等

固定資産台帳更新及び財務書類作成支援業務委託料　9,141,000円

新地方公会計システムサーバ導入業務委託料　463,032円　ほか

統一的な基準による地方公会計研修（会場：産業振興センター3階 研修ホール）

開催日	研修内容	出席者数
R1.8.5	財務4表の見方に関する説明会	44人
R1.11.15	財務4表作成に関する説明会	52人

事業名	土地開発基金積立金					財務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
518,324				518,324		584,787

土地開発基金の利子等積立金

令和元年度末基金現在高　1,522,504,531円

事業名	財政調整基金積立金					財務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,124,947				5,124,947		5,322,240

財政調整基金の利子等積立金

令和元年度末基金現在高　8,383,070,546円

事業名	減債基金積立金					財務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
30,209				30,209		30,186

減債基金の利子等積立金

令和元年度末基金現在高　75,583,018円

事業名	財産管理一般経費					財務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
257,601					257,601	315,282

財産管理における一般事務経費

（款）2総務費　（項）1総務管理費　（目）7会計管理費

（単位　円）

事業名	会計管理一般経費					会計管理課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,855,523				485,551	6,369,972	7,047,463

適正な予算執行や収入調定のチェック、日々の収入や支払い、資金運用、決算調製等の事務を行った。

口座振込通知書、納入通知書、名入封筒等の印刷費　1,767,668円

支払い通知書郵送料、伝送回線使用料等　2,093,065円

金融情報把握のための調査委託料　344,316円　ほか

（款）2総務費　　（項）1総務管理費　　（目）8企画費

（単位　円）

事業名	定住自立圏構想推進事業費					経営企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
304,818					304,818		77,354

「松阪地域定住自立圏共生ビジョン」に示した圏域の将来像をめざし、圏域市町（松阪市、多気町、明和町、大台町）における連携項目の各分野の代表者等で構成する共生ビジョン懇談会を引き続き設置し、事業の実績や計画の報告や共生ビジョンの進捗管理を行うとともに、令和2年3月に「第二次松阪地域定住自立圏共生ビジョン」の策定を行った。

共生ビジョン懇談会開催内訳（委員数　14人）

回等	開催日	場　　所	出席委員数
1	R1.6.6	本庁舎議会棟2階第3・4委員会室	12人
2	R1.8.6	本庁舎議会棟2階第3・4委員会室	12人
3	R1.11.21	産業振興センター カリヨン別館	11人
4	R2.2.20	本庁舎議会棟2階第3・4委員会室	11人

委員謝礼金　266,000円　ほか

事業名	松阪市政推進会議事業費					経営企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
374,185					374,185		483,572

社会経済情勢の変化や様々な行政課題等へ対応していくため、市政全般に関して、長期的な展望を踏まえた意見を求めるために、外部有識者等で構成する松阪市政推進会議を引き続き設置し、事業等に対し様々な視点から意見をいただいた。

松阪市政推進会議開催内訳（委員数　15人）

回等	開催日	場　　所	出席委員数
1（通算16）	R1.6.13	本庁舎議会棟2階第3・4委員会室	12人
2（通算17）	R1.7.17	本庁舎議会棟2階第3・4委員会室	12人
3（通算18）	R2.1.31	本庁舎議会棟2階第3・4委員会室	11人

委員報酬　210,000円

委員費用弁償　154,012円　ほか

事業名	総合計画策定事業費					経営企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
146,920					146,920		2,853,280

施策評価システムにより、総合計画の進捗度を可視化するとともに、ヒアリング時には指標の見直しや事業改善等の指示を行った。職員が施策評価システムへの理解を深める目的で研修会も開催した。また、令和2年度を初年度とする総合計画の策定等に向け、市民意識調査を実施した。

評価システム説明会講師謝礼等　60,000円　ほか

事業名	若者チャレンジ松阪創造事業費					経営企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
13,762					13,762		168,160

H30年度から引き続き、若者の市政参画への意欲の向上と、若者の意見を次期総合計画策定に反映することを目的に、16歳から35歳までの市内在住者等を対象に「まつさか若者クラブ～MYC～2nd season」を開催した。次世代を担う若者の感性をもって、30年後のその先も「みんな大好き松阪市」であり続けるために、松阪市がめざす姿を構想し、市長への報告を行った。

まつさか若者クラブ～ＭＹＣ～2nd season開催内訳（参加申込者数　17人）

回等	開催日	場　　所	出席委員数
1（通算 9）	H31.4.20	産業振興センター2階和室	3人
2（通算10）	R1.5.25	産業振興センター2階和室	5人
3（通算11）	R1.6.19	市民活動センター	5人
4（通算12）	R1.6.22	産業振興センター人材育成講座室	5人
市長報告	R1.8.31	産業振興センターカリヨン別館	6人

消耗品費　13,762円

事業名	超高齢社会対策検討委員会事業費					経営企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
484,933					484,933		―

様々な分野の外部有識者による検討委員会で、長期的な視点で松阪市の地域特性に合った方向性や目標等について検討いただいており、次期総合計画への反映を行っていく。

超高齢社会対策検討委員会開催内訳（委員数　9人）

回等	開催日	場　　所	出席委員数
1	R1.7.25	本庁舎議会棟2階第3・4委員会室	9人
2	R1.11.3	本庁舎5階特別会議室	6人
3	R2.1.13	本庁舎5階特別会議室	8人
4	R2.3.28	本庁舎5階特別会議室	6人

委員報酬　290,000円

委員費用弁償　162,673円　ほか

事業名	企画一般経費					経営企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
669,269					669,269		603,159

手話通訳者謝礼　6,000円

旅費　72,136円

通信運搬費　45,483円

プリンター借上料　4,212円

各種団体等負担金 150,880円

全国半島振興市町村協議会負担金　20,000円

全国過疎地域自立促進連盟会費及び三重県ふるさと振興協議会会費　119,000円

総合計画策定セミナー研修会負担金　11,880円

事務消耗品　388,158円　ほか

（款）2総務費　　（項）1総務管理費　　（目）9ＩＴ推進費

（単位　円）

事業名	庁内ＯＡ化推進事業費					情報企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
67,746,070				5,312,319	62,433,751		64,427,099

職員用パソコンを調達、貸与し、アンチウイルスシステム等によりセキュリティを向上させて、職員の業務の省力化及び省時間化を図ることができた。また、職員用パソコンの調達は、最新の基本ソフト及びセキュリティソフトにより、操作性や安全性の向上を図ることができた。

職員用パソコン賃借料及び保守委託料（パソコン1,830台）　61,060,839円
総合行政ネットワーク（LGWAN）機器賃借料及び保守委託料　4,272,264円　ほか

事業名	システム管理事業費					情報企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
188,821,427				33,053,676	155,767,751		203,824,674

住民基本台帳、国民年金、福祉医療、学齢簿など約30業務について、データの管理及びバッチ処理等の各種電算処理機能の一括運用を行い、事業の円滑化・効率化を図ることができた。また、グループウェア、文書管理、財務会計、職員申請、人事・給与など8業務について、内部事務処理及びバッチ処理等の各種電算処理機能の運用を行った。

住民情報システム賃貸借・保守委託料　143,152,670円
住民情報システム改元対応委託料　5,433,696円
総務管理事務システム賃貸借・保守委託料　29,297,748円
総務管理事務システム改元対応委託料　1,024,380円
グループウェアシステム使用料　1,962,000円
無停電電源装置保守点検委託料　1,242,840円　ほか

事業名	庁内ネットワーク管理事業費					情報企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
200,740,237					200,740,237		207,929,789

本庁舎、各地域振興局及び外局施設の間で、各種システム及び各業務に係る情報をつなげるネットワークを適正に管理運用を行うと共に、インターネット分離システムの利用、三重県自治体情報セキュリティクラウドへの接続により、セキュリティを向上させ、安全で安定した庁内ネットワークサービスを提供した。

庁内ネットワーク回線等利用料　45,217,085円
庁内ネットワーク機器等賃借・保守委託料　114,574,763円
インターネット分離システム賃貸借・保守委託料　24,430,194円
庁内ネットワーク配線修繕　7,718,180円
三重県自治体情報セキュリティクラウド負担金　3,867,305円　ほか

事業名	減債基金積立金					情報企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,140				1,140			1,105,447

減債基金利子の積立　1,140円
令和元年度末現在高　2,416,205円

事業名	住民情報システム更新事業費					情報企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
49,156,848					49,156,848		―

令和元年9月末日の契約満了に伴い、住民情報システムを更新した。システム更新の委託業者とも念入りな打ち合わせを重ねるなど、事前に入念な準備を施した上でシステム切り替えに臨んだことにより、大きな不具合が生じることなく更新することができた。

住民情報システム更新業務委託料　49,156,848円

事業名	情報化推進事業費					情報企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,923,725					2,923,725		588,227

松阪市総合アプリ「松阪ナビ」を導入並びに公開し、速報性と双方向性を兼ね備えた新しい広報媒体を市民に提供した。また、情報化推進計画の実施状況等を評価・分析し、ICTの視点による市民サービスの利便性向上、行政事務の簡素化・合理化のほか、効率的・効果的な業務運営を目指した。

公衆無線LANサービス認証基盤利用料　420,000円
松阪市総合アプリ導入構築業務委託　1,760,000円
松阪市総合アプリ保守運用業務委託　195,800円　ほか

事業名	社会保障・税番号制度システム改修事業費					情報企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
13,481,144	4,370,000				9,111,144		11,596,688

社会保障・税番号制度（いわゆるマイナンバー制度）の運用において、子育てワンストップサービスを充実するためのシステム改修、特定個人情報データ標準レイアウトの変更に伴うシステム改修等を行った。

特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機の設置等関連業務の委任に係る交付金　6,744,000円
データ標準レイアウト改版対応業務委託　2,696,760円
子育てOSSにおけるマイナポータル連携対応のための住民情報システム保守業務委託　2,317,968円
データヘルス時代の母子保健情報の利活用に関する改修費　1,083,500円
子育てワンストップLGWAN-ASPサービス利用料　447,120円　ほか

事業名	プリンタ等統合事業費					情報企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
7,197,595					7,197,595		2,147,661

本庁、振興局等に存在する情報系プリンタを高機能複合機に置き換え、全体台数の削減と、印刷事務の利便性を目指すもので、平成27年度から隔年で実施し令和元年度には新たに11台の複合機を導入し、これらの複合機でICカード認証プリントシステムを利用可能とした。

ICカード認証プリントシステムライセンス追加業務委託　4,353,690円
ICカード認証プリントシステム保守及びライセンス使用　2,418,441円　ほか

事業名	ＩＴ推進一般経費					情報企画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,709,463				5,288	2,704,175		2,736,384

非常勤職員賃金、共済費　2,047,004円　ほか

（款）2総務費　　（項）1総務管理費　　（目）10地域づくり連携費

（単位　円）

事業名	松阪市自治会連合会補助金					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,500,000					6,500,000	6,500,000

地域の円滑な発展と住民自治の確立に寄与するために、松阪市自治会連合会に補助した。
総会1回、役員会・常任理事会・理事会等21回、研究会・委員会等29回、理事視察研修1回
知事との懇談会1回、市議会議員との懇談会1回、松阪市の住民自治のあり方検討会への出席、
安全・安心フェスタまつさかの開催

事業名	地域マネジメント推進事業費					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,037,406					1,037,406	1,327,882

住民協議会が核となる地域主体のまちづくりの実現に向けて、次のような取組みを行った。

職員等のサポート体制の確立
　地区市民センター所長会議（新任所長研修　1回、情報共有　5回）
　サポート連携会議　　（地域振興課との連携会議）　6回
　地域計画見直しに伴う職員サポート研修　1回
　地域計画生かし方研修　2回
住民協議会の人材育成・情報提供
　事務局実務研修　2回
　地域計画見直しのための研修　3回
　実現可能な地域計画の作り方研修　1回
地域主体のまちづくりのしくみの検討
　松阪市の住民自治のあり方検討会　3回
　松阪市の住民自治のあり方検討会に係る二者合同会議　2回
　新組織検討会　2回
　活動交付金の充実に向けた検討（地域の元気応援事業審査委員会及び審査会　3回）

事業名	地区集会所建設補助金					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,687,000					11,687,000	15,617,000

地区においてのコミュニティ活動の拠点となる集会所の整備等に対し補助することにより、地区の
まちづくりを推進した。（対象：16地区集会所）

内訳

種別	実施件数	補助額　　（円）
新築	1	5,000,000
改修	15	6,687,000
計	16	11,687,000

事業名	住民協議会活動交付金					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
79,621,201				79,621,201		81,307,938

住民協議会の運営及び事業の活性化と安定化を図り、地域の住民自治の拡充に資するため、43の住民協議会の活動に対して交付した。

均等割　21,670,649円（39地区×515,000円、1地区×455,000円、1地区×345,000円、1地区×514,000円、1地区×271,649）

人口割　51,216,057円（人口分　26,017,000円　事務人件費加算　25,199,057円）

地域特定加算　166,795円（飯高管内火葬場加算　4地区）

コンペ式加算　3,340,000円

（地域力アップ部門　200,000円×11事業

地域づくりスポンサー賞　200,000円×5事業、140,000円×1事業）

ふるさと応援寄附金加算　3,227,700円

（松阪中央721,000円、第二地区7,000円、朝見7,000円、掃水14,000円
宇気郷56,000円、機殿14,000円、射和77,000円、嬉野宇気郷105,000円
嬉野中川105,000円、有間野21,000円、粥見70,000円、宮前371,000円
川俣70,700円、森945,000円、波瀬644,000円）

事業名	地域の元気応援事業市民活動サポート補助金					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
228,185				228,185		151,404

NPOなどの市民活動団体が住民協議会との連携や支援に取り組む優れた事業に対し公開審査会を実施し、採択された事業に対して補助を行った。

市民活動サポート補助金　228,185円

（特定非営利活動法人　isierra 100,000円、松阪ハーモニックジュニアバンド100,000円
まつさか子育てママチーム　28,185円　）

事業名	市民活動振興基金積立金					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,450,000				1,450,000		1,000,000

企業協賛金を基金に積み立て、住民協議会活動交付金に充当した。

※ふるさと応援寄附金から市民活動振興基金へ積み立てる分（9,357,000円）は
地域ブランド課で計上。積立額の合計は10,807,000円。

令和元年度末基金現在高　20,071,836円

事業名	市民活動センター管理運営事業費					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,009,269				13,799	20,995,470	27,439,732

市民活動センターについて指定管理者制度を活用し、管理・運営を行った。

（令和元年度　登録団体数　484団体、来場者数　19,871人、会議室利用数 1,221回）

管理・事業運営業務委託料　20,983,509円

AED賃借料　25,760円

事業名	市民活動センター施設整備事業費				地域づくり連携課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
320,760					320,760	291,600

市民活動センターのLED照明器具等整備を実施した。

事務所照明器具改修　320,760円

事業名	地域づくり連携一般経費				地域づくり連携課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,312,523				5,360	2,307,163	2,338,292

非常勤職員賃金、通信運搬費、一般事務用品代等。地域づくり連携に係る一般経費。

事業名	コミュニティ助成事業補助金（地域づくり）				地域づくり連携課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
18,600,000				18,600,000		5,000,000

一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用して、テントや放送設備などコミュニティ活動用備品の購入を行い自治会の活性化を図った。また、今年度はコミュニティセンター助成事業（集会所等の改築）に採択され、地域住民の絆が強まり、相互扶助の機運を高める事ができた。

内訳

団体名	内　　容	助成決定額(円)
花岡住民協議会	テントほか自治会活動用備品の整備	2,500,000
中原まちづくり協議会	イベント用放送設備一式の整備	1,100,000
駅部田町自治連絡協議会	駅部田公会堂の改築 ※山の世古、万庄第一、土岐、東出西の4自治会	15,000,000
計		18,600,000

（款）2総務費　　（項）1総務管理費　　（目）11地区市民センター費

（単位　円）

事業名	地区市民センター管理運営事業費				地域づくり連携課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
87,098,516				1,377,892	85,720,624	81,506,081

地区市民センター21館の維持・管理・事務経費

非常勤職員賃金	45,879,342円	役務費	2,984,826円
共済費	7,452,410円	委託料	4,882,472円
消耗品費	2,018,082円	使用料及び賃借料	2,566,003円
燃料費	978,696円	備品購入費	324,370円
光熱水費	12,832,691円	研修負担金	45,000円
修繕料	7,134,624円		

事業名	地区市民センター施設整備事業費					地域づくり連携課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
50,253,280			44,700,000	981,000	4,572,280	44,391,240

松ヶ崎地区市民センター外壁改修他工事　3,095,400円
港地区市民センタートイレ改修工事　14,802,480円
橋西地区市民センタートイレ改修工事　9,510,600円
松尾地区市民センタートイレ改修工事　7,942,000円
射和地区市民センター外１棟トイレ改修工事　14,902,800円

（款）2総務費　（項）1総務管理費　（目）12地域振興局費

（単位　円）

事業名	嬉野地域振興局管理運営事業費					嬉野地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
34,535,564				229,996	34,305,568	35,050,020

地域振興局管内の経常的経費を一括に管理し、経費の見直し・削減に努めるとともに、事務の合理化・効率化を図った。

事業費	内　訳					
	賃金	需用費	役務費	委託料	使用料	その他
34,535,564	10,423,895	9,527,150	2,570,533	3,198,587	7,780,007	1,035,392

事業名	三雲地域振興局管理運営事業費					三雲地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
23,349,796				1,109,120	22,240,676	23,236,715

地域振興局管内の経常的経費を一括に管理し、経費の見直し・削減に努めるとともに、事務の合理化・効率化を図った。

事業費	内　訳					
	賃金	需用費	役務費	委託料	使用料	その他
23,349,796	8,453,443	8,580,042	1,417,508	2,137,450	1,947,363	813,990

事業名	飯南地域振興局管理運営事業費					飯南地域振興局地域振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
20,404,044				114,052	20,289,992	21,661,564

地域振興局管内の経常的経費を一括に管理し、経費の見直し・削減に努めるとともに、事務の合理化・効率化を図った。

事業費	内　訳					
	賃金	需用費	役務費	委託料	使用料	その他
20,404,044	10,507,844	4,325,316	1,254,230	1,039,548	2,130,369	1,146,737

事業名	飯高地域振興局管理運営事業費				飯高地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
32,861,805				1,501,777	31,360,028	31,875,126

地域振興局管内の経常的経費を一括に管理し、経費の見直し・削減に努めるとともに、事務の合理化・効率化を図った。

単位：円

事業費	内　訳					
	賃金	需用費	役務費	委託料	使用料	その他
32,861,805	10,038,244	10,411,873	1,656,284	3,857,538	5,952,189	945,677

事業名	飯高山岳救助隊支援事業補助金				飯高地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
248,000					248,000	248,000

飯高管内における山岳救助活動を行う飯高山岳救助隊の支援を行った。

遭難発生件数 1件（飯高山岳救助隊出動5回）、登山口巡視1回、登山道整備2回

事業名	飯南地域振興局施設整備事業費				飯南地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
743,040					743,040	1,928,880

老朽化した空調機を整備し来庁者の利便性を図った。

飯南地域振興局庁舎空調機更新工事　　743,040円

事業名	地域活性化事業費				嬉野地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,702,779	1,482,000				13,220,779	13,150,000

各実行委員会等と協力し、地域特性や歴史・伝統・文化等の地域資源を活かした事業を支援し、地域の活性化を図った。

	委託料	団体数	内　容
嬉野管内	4,950,000	4団体	嬉野おおきん祭り事業、嬉野ハロウィン事業等
三雲管内	7,252,779	3団体	武四郎まつり事業、みくもの七夕笹かざり事業等
飯南管内	1,500,000	1団体	いいなん・ふれあい祭り事業
飯高管内	1,000,000	1団体	香肌峡ふれあいフェスティバル事業
計	14,702,779		

事業名	中山間地域活性化事業補助金				嬉野地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,034,969					6,034,969	7,176,630

中山間地域の歴史・伝統・文化等の地域資源を活かした地域間交流、地域文化伝承事業を支援し、地域コミュニティの連携、地域の活性化を図った。

	補助額	団体数	内　容
嬉野管内	950,000	2団体	なめり湖桜まつり事業、やまゆりおもてなし茶会事業等
飯南管内	2,641,594	10団体	棚田まつり事業、深野和紙保存事業等
飯高管内	2,443,375	11団体	ふるさと川俣夢まつり事業、宮前フェスティバル事業等
計	6,034,969		

事業名	飯高総合開発センター管理事業費				飯高地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,990,227				19,580	4,970,647	4,681,952

教育・文化の中心的な施設として、また、地域のコミュニティの拠点施設として地域住民等の利用促進を図った。

利用件数330件、利用人数5,511人

事業名	飯南コミュニティセンター管理事業費				飯南地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,800,196				37,470	1,762,726	1,660,269

地域コミュニティの拠点施設として、地域住民等の利用促進を図った。

利用状況　　研修室　116件　延1,744人、トレーニング室　130件　延3,254人

事業名	飯南コミュニティセンター施設整備事業費				飯南地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,898,800					3,898,800	—

老朽化した空調機の整備、屋上の防水工事、和式トイレから洋式トイレへ改修し来所者の利便性を図った。

飯南コミュニティーセンター空調機更新工事　1,285,200円
飯南コミュニティーセンター屋上防水改修工事　2,124,100円
飯南コミュニティーセンタートイレ改修工事　489,500円

事業名	出張所管理事業費				飯南地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,941,270				21,523	10,919,747	11,312,350

地域振興局管内の各出張所の適正な維持管理に努め、地域住民サービスに従事した。

地域	出　張　所	事業費
飯南	柿野出張所	325,881
飯高	波瀬出張所	262,214
	森出張所	1,039,412
	川俣出張所	962,556
事務補助員賃金等　4人 （柿野、森、川俣、波瀬）		8,351,207
計		10,941,270

事業名	中川新町地域交流センター管理運営事業費				嬉野地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,239,267				3,912,907	1,326,360	5,121,706

新しい街を形成する地域コミュニティの拠点施設として、中川新町住民とその周辺地域住民の相互交流や多世代間の交流支援事業、市民活動支援事業などを行った。

利用状況　　多目的室、会議室　754件　延11,653人、交流室　延5,353人　計　延17,006人

自主事業　　親子であそぼう会（延398人）、ふれあい健康体操（延351人）
絵本の読み聞かせ（延180人）、利用者発表会（278人）

事業費	内　訳					
	賃金	需用費	役務費	委託料	使用料	その他
5,239,267	2,560,504	1,121,806	133,001	688,916	61,563	673,477

事業名	地域集会所管理事業費				嬉野地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
335,880					335,880	464,508

地域コミュニティの拠点施設として、地域住民等の利用促進を図り施設本来の機能を取り戻すための事業を行った。

赤桶集会所ドア取替修繕、田引集会所漏水修繕

事業名	中川新町地域交流センター基金積立金				嬉野地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
36,110				36,110		37,082

平成21年2月10日に嬉野中川駅周辺土地区画整理組合から1億円の指定寄付を受け、松阪市中川新町地域交流センターに要する経費に充てる目的で積み立てた基金に発生した利息の積立金

令和元年度末基金現在高　84,650,321円

事業名	空家バンク活用補助金				嬉野地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,331,000					2,331,000	1,007,000

移住・定住等による空家の利用促進と、空家所在地の地域活性化を行った。

新規登録物件　嬉野2件、飯南5件、飯高12件　計19件

契約成立件数　嬉野2件、飯南2件、飯高11件　計15件

	件数	改修補助額	件数	家財処分補助額
嬉野管内	0	0	0	0
飯南管内	2	1,000,000	0	0
飯高管内	3	1,131,000	2	200,000
計	5	2,131,000	2	200,000

事業名	過疎地域交流施設管理運営事業費				飯南地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,403,285		772,350			4,630,935	4,660,155

飯南・飯高過疎地域の歴史文化遺産、自然スポットを訪れる行楽客等が、公衆トイレや遊歩道などを気持ちよく利用できるように維持管理を行い観光交流と地域の活性化を図った。

公衆トイレ維持関連経費　2,554,106　円
　飯南深野公衆トイレほか8か所
遊歩道整備業務関連経費　2,849,179　円
　富士見ヶ原ほか10か所

事業名	過疎地域魅力アップ整備事業費				飯南地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,509,640					2,509,640	10,997,020

富士見ケ原、宮ノ谷遊歩道等の豊かな自然環境及び地域資源を整備し安全で気軽に楽しんでもらう環境の確保を行い、交流人口の増加、過疎地域を活性化を図った。

施設設備修繕料　1,298,940円
　烏岳登山道整備修繕ほか5件
植栽管理業務委託料　500,000円
　飯南富士見ケ原植栽管理業務委託料
登山道環境整備事業　710,700円
　高見山登山道環境整備ほか4件

事業名	地域おこし協力隊活動事業費				飯南地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,183,500					1,183,500	―

地域おこし協力隊1名を採用し、地域の暮らしや魅力を発信することにより若者・子育て世代の移住・定住を促進し地域コミュニティーの活性化を図った。

地域おこし協力隊報償費　10月～3月分　999,900円
地域おこし協力隊募集のための広告料　183,600円

事業名	田舎暮らし交流移住促進事業費				飯南地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,517,544				414,594	3,102,950	5,383,637

中山間地域の自然や歴史文化を生かす体験イベント等をはじめ、お試し住宅などを通じ田舎暮らしを促進し、地域の活性化と交流人口の増加及び若者等の移住・定住を図った。

体験イベント一覧　　2,615,702円

事業内容	開催日	参加者数
まつさかサイクルチャレンジin香肌峡2019	平成31年3月24日～令和元年12月1日	延159人
田舎暮らし体験	年4回	30組（72人）
魅力いっぱい「香肌峡」自然体験	年4回	延53人
地域活性化セミナー	年3回	延158人
まつさかサイクルチャレンジin香肌峡インスタdeフォトコンテスト	令和元年9月～12月	10名、233作品
香肌峡フォトコンテスト	令和元年5月～令和2年3月	22名、71作品

田舎暮らしお試し住宅　　850,200円

利用者数　6組（15人）

移住相談会等　　51,642円

県外　4回（相談件数　20件）

市内　7回（相談件数　9件）

事業名	旧消防車庫解体事業費				飯高地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,987,200				1,685,880	301,320	―

公共施設等総合管理計画に基づき、旧消防車庫を解体し、跡地整備を行った。

旧小屋切消防車庫　13.8㎡　鉄骨折板屋根平屋

旧美滝消防車庫　11.9㎡　鉄骨小波スレート葺き平屋

事業名	地域おこし協力隊活動補助金				飯南地域振興局地域振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
900,000					900,000	―

地域おこし協力隊が地域の暮らしや魅力を発信し、移住・定住を促進するための活動に関する経費を補助金として交付することにより、地域コミュニティーの活性化を図った。

地域おこし協力隊の活動補助金　　900,000円

（款）2総務費　　（項）1総務管理費　　（目）13防災対策費

（単位　円）

事業名	防災一般経費					防災対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
12,896,941				5,360	12,891,581		12,846,747

防災対策に係る一般管理経費、防災対策業務管理及び非常勤職員の雇用等により、各種防災対策に係る基礎業務を展開した。
加えて、職員の防災士育成を実施した。

非常勤職員賃金、保険料等（第2種：1人）　2,080,063円
出張旅費（説明会、視察等：延22人）　402,600円
防災士養成講座（1人）　76,450円
消耗品、コピーカウント等　865,462円
郵送料　218,094円
防火防災訓練災害補償等共済制度　163,000円
自動車借上料（公用車1台）　199,584円
燃料代（公用車1台）　151,444円
レンタカー借上料（陸前高田市産業まつり出店及び現地視察）　15,759円
備品購入費　76,485円
危機管理士等講座受講料等　40,000円
三重県防災ヘリコプター連絡協議会負担金　5,329,000円
三重県防災行政無線運営協議会分担金　2,812,000円
中越大地震ネットワークおぢや協議会会費　10,000円
DONETシステム構築事業負担金　457,000円

事業名	防災啓発事業費					防災対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
8,109,894		533,000		1,904,000	5,672,894		7,338,546

市民の防災意識高揚を図るため、出前講座等を実施するとともに、小学生親子を対象とした親子防災学習会、電光式避難所看板の設置等を実施し、三重県が指定する土砂災害警戒区域等を対象に土砂災害ハザードマップの作成を行った。
また、平成24年3月作成の「松阪市避難所運営マニュアル」を見直し「避難所運営マニュアル基本モデル」を作成した。他に、避難行動要支援の取り組みとして、避難行動要支援者名簿を西黒部、鵲、大石のモデル地区へ提供した。また、名簿提供の同意を他地区へ展開するため名簿の作成及び情報提供に対する本人同意確認を行うための送付文書作成業務を委託し、対象者への送付文書を作成した。

親子防災学習会（R1.8.4（日）開催：30人）　30,068円
土砂災害ハザードマップ印刷（茅広江、射和、大河内）、増刷　1,442,500円
避難行動要支援者名簿情報提供意向確認文書郵送料　99,880円
電光式避難所看板設置委託　3,842,640円
避難所運営マニュアル基本モデル検討会謝礼金　40,000円
防災アドバイザー等謝礼金　90,000円
安全・安心フェスタ業務委託　396,990円
松阪市避難行動要支援者名簿作成及び名簿情報提供意向確認文書作成業務委託　1,876,638円
消耗品等　291,178円

［平成30年度の自主防災組織活動支援事業費1,226,259円を統合］

事業名	防災訓練事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
696,784					696,784	756,551

市民・地域の防災意識の向上や災害に対応する技術習得を図るとともに各防災関係機関との連携をより強固なものとするために総合防災訓練を実施し、災害発生時の迅速な対策の確立や被害の最小限化等に努めた。令和元年度は、松阪市を会場に実施された「緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練」と連携し、三重県と合同による「三重県・松阪市総合防災訓練」として実施した。

開催日　　：R1.10.27（日）
開催場所　　：港地区全域（港小学校区）、松阪ショッピングセンターマーム　ほか
参加者　　：345人
防災訓練実施業務委託　696,784円

事業名	一般木造住宅耐震診断事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
23,233,420	11,611,000	4,681,060			6,941,360	25,303,950

昭和56年5月31日以前に建てられた一般木造住宅の耐震診断を実施し、住宅の耐震性能の把握と耐震補強工事等への手掛かりとするとともに家屋倒壊の被害の減少に努めた。
また、住宅の耐震に関する意識高揚、診断の受診率を向上させるために業務委託を行い、専門的知見から耐震診断についてきめ細かく説明することで、更なる普及啓発を図った。

改修事業者向け木造住宅耐震補強等講座講師謝礼金　9,500円
耐震診断（400戸）　18,724,240円
耐震化促進啓発業務委託　4,450,000円
耐震診断PRチラシ（8,000枚）　49,680円

事業名	防災設備等管理事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
42,449,123					42,449,123	40,210,090

防災対策に関わる防災行政無線をはじめとする各種防災対策システムの保守点検、修繕等を行い、各関係機関等との連絡体制の整備・災害対策業務の体制確立に努めた。また、市民向け「防災情報メール」「緊急速報メール（エリアメール等）」を活用し防災情報を発信した。他に本部機能強化としてIP無線機の購入を行った。

防災行政無線屋外拡声子局等電気代　2,519,634円
防災行政無線（同報系）等修繕　5,338,692円
防災情報メール・職員参集メール等利用料　690,769円
災害用衛星携帯電話・携帯電話使用料　865,695円
防災行政無線等遠隔操作等通信費　132,177円
河川監視カメラ等インターネット通信費　739,824円
災害対策本部通信システム借上等　108,176円
災害対策本部用電話回線利用料　152,101円
災害対策本部用ファクシミリ借上、使用料　46,521円
防災地震計電話回線使用料　235,507円
防災行政無線等通話料　2,504,304円
防災行政無線（同報系・移動系）等保守点検　24,662,182円
防災行政無線電柱共架料　119,531円
防災行政無線（同報系・移動系）電波利用料　602,300円
IP無線購入費（50台）　3,678,750円
防災行政無線用光ファイバーケーブル撤去等手数料　52,960円

事業名	一般木造住宅耐震補強等事業費補助金					防災対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
34,831,000	10,822,000	3,402,000			20,607,000		26,065,000

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅で耐震診断の結果、補強工事が必要と判断された家屋の耐震補強にかかる設計費と工事費及び耐震補強工事と同時施工のリフォーム工事や除却工事に対し補助金を交付し、家屋倒壊被害の減少に努めた。

耐震補強設計補助（4戸）　320,000円
耐震補強工事補助（4戸）　5,022,000円
除却工事補助（99戸）　29,489,000円

事業名	防災行政無線整備事業費					防災対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
166,140,640			163,400,000		2,740,640		271,723,040

市域全域に防災行政無線の親局、中継局、屋外拡声子局等を年次的に整備し、市域に迅速かつ的確な緊急情報の提供に努めた。
飯南・飯高管内のデジタル化にむけて平成29年度に行った実施設計に基づき整備工事を平成30年度、令和元年度の2年間で行った。また、阿坂・大河内・宇気郷地区の子局に対し電波環境調査・強化改善実施設計を行った。

防災行政無線電波環境調査・強化改善実施設計業務委託　2,640,000円
防災行政無線（飯南・飯高管内デジタル同報系）整備工事監理業務委託料　2,764,000円
防災行政無線（飯南・飯高管内デジタル同報系）整備工事　160,680,000円
検査旅費等　56,640円

事業名	高齢者世帯家具等転倒防止支援事業費					防災対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
318,164					318,164		1,279,476

65歳以上の高齢者のみの世帯又は身体障がい者等が居住する世帯の家具等の転倒防止対策を講じることで、地震による家屋内での圧死等を未然に防止し、発災時における人的被害の防止に努めた。

家具固定事業実施業務委託（28世帯）　318,164円

事業名	国民保護法推進事業費					防災対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
134,789					134,789		135,184

武力攻撃やテロ等に備え、「松阪市国民保護計画」の不断の見直しを行うとともに、松阪市国民保護協議会を開催し、国民保護をめぐる情勢の共有や国民保護計画について関係機関との連携を図った。

（松阪市国民保護協議会：R2.3.17（火）　開催、35人）
委員報酬（17人分）　119,000円
消耗品費　15,789円

事業名	コミュニティ助成事業補助金					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,000,000				2,000,000		―

一般財団法人自治総合センターの「コミュニティ助成事業」について、平成30年度中に市内から5団体の応募があり、市で1団体（川井町西自治会）を選定し県を通じて自治総合センターへ提出したところ、事業が採択となり令和元年度中に防災資機材（かまどセット、アルミ製折りたたみ式リヤカー、発電機等）の購入整備を行った。
当該事業は市町村が申請者となることから、6月補正にて事業措置を行い、補助金を受け入れ、団体へ交付を行った。

コミュニティ助成事業補助金（川井町西自治会）　2,000,000円

事業名	防災行政無線基地局舎管理事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,002,158					3,002,158	3,566,337

同報系防災行政無線の親局及び松阪市における災害対策の拠点となる防災行政無線基地局舎（第四別棟）の維持管理経費及び各地域振興局等への防災行政無線専用線通信経費等

防災行政無線基地局舎
- 電気代　689,685円
- ガス代　10,448円
- 電話代　217,814円
- 通信費　1,818,670円
- 警備委託料　58,860円
- 空調設備保守点検業務委託料　46,870円
- ファクシミリ等借上　88,746円
- ケーブルテレビ視聴料　49,248円
- NHK放送受信料　21,817円

事業名	地域防災計画策定事業費					防災対策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,153,826					1,153,826	1,468,608

平成30年度に修正した地域防災計画を作製した。松阪市防災会議にて、防災関係者参画のもと多角的に審議・共有し、各防災関係機関の連携を強化した。

（松阪市防災会議：R2.3.17（火）　開催、35人）
- 委員報酬（17人分）　119,000円
- 地域防災計画印刷代（平成30年度修正）　1,010,880円
- 消耗品等　23,946円

事業名	災害用備蓄管理事業費				防災対策課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,245,620		1,428,000			11,817,620	13,518,752

災害時における被災住民の生命の安全と安心を確保するために、災害用資機材等の保守・点検及び非常用食料、災害用資機材等の備品整備を図った。
災害時の指定避難所を中心にフリーズドライご飯、飲料水、毛布、排便収納袋、粉ミルク、LEDバルーン照明（発電機付）、プライベートルーム等を配備し、災害時初動期及び避難生活で必要となる資機材等の配備を行った。

災害備蓄用フリーズドライご飯（20,000食）　6,048,000円
災害備蓄用飲料水（250箱）・毛布（400箱）・排便収納袋（3,000枚）　4,804,920円
災害備蓄用粉ミルク（アレルギー対応：8箱、スティックタイプ：600箱）　329,832円
災害備蓄用LEDバルーン照明（発電機付：5セット）　1,258,200円
災害備蓄用プライベートルーム（7張）　393,120円
災害備蓄用簡易ベッド（6台）　77,760円
災害備蓄用ろ水機保守点検（20機）　238,788円
アレルギー対応災害時備蓄品調達業務委託　95,000円

事業名	地域防災活動推進助成金				防災対策課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
957,000					957,000	373,000

地域の防災力向上を図るため、住民協議会単位で実施する防災訓練やその他防災活動、自治会単位を主体とし、5年以上の防災活動実績のある自主防災組織の防災資機材修繕や、追加配備に要する経費への助成を行い、ソフト、ハード両面からの地域防災活動に関する支援を行った。

資機材新規　　単位：円

NO	管内	組織名	補助金額
1	本庁	田原町自治会	200,000
2	三雲	こもれびの園自治会	150,000
3	本庁	焼橋自治会	200,000
計			550,000

防災訓練　　単位：円

NO	管内	組織名	補助金額
1	本庁	大石地区まちづくり協議会	30,000
2	本庁	花岡住民協議会	69,000
3	三雲	米ノ庄住民協議会	30,000
4	本庁	機殿まちづくり協議会	24,000
5	三雲	鵲まちづくり協議会	20,000
6	三雲	天白まちづくり協議会	33,000
7	本庁	伊勢寺地区住民協議会	30,000
8	本庁	鈴の森住民協議会	40,000
9	嬉野	嬉野宇気郷住民協議会	30,000
10	本庁	宇気郷住民協議会	11,000
計			317,000

資機材修繕・追加配備　　単位：円

NO	管内	組織名	補助金額
1	本庁	久保山防災隊	30,000
2	本庁	通り上川町自主防災隊	7,000
3	本庁	広瀬町自治会	15,000
4	本庁	日丘町自治会	30,000
計			82,000

防災士　　単位：円

NO	管内	組織名	補助金額
1	嬉野	中原まちづくり協議会	8,000
計			8,000

事業名	津波避難対策事業費					防災対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
176,600					176,600		4,153,000

津波避難困難地域の解消に向け、整備方針を示した松阪市津波避難計画を基に、地域独自の避難方法及び避難経路を定めた地区避難計画の策定を進め、「自助」「共助」の意識高揚を図った。また、気象庁より南海トラフ地震臨時情報が発表された際の対応等を協議するため津波避難対策検討会を開催した。

津波避難対策検討会謝礼金　20,000円
津波ハザードマップ増刷代　156,600円

事業名	津波避難施設整備事業費					防災対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
18,846,300	11,422,400				7,423,900		―

津波避難困難地域2地区（五主町・松名瀬町）の解消に向け、令和元年度より3ヶ年の計画で津波避難タワーの整備を行う。
令和元年度は、建設候補地の選定、用地測量、地質調査、建設する津波避難タワーの構造・形状・避難床高などの基本設計業務を行った。

不動産鑑定手数料　477,400円
測量調査業務委託　3,999,600円
地質調査業務委託　9,036,500円
基本設計業務委託　5,332,800円

事業名	危険ブロック塀等除却事業補助金					防災対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,296,000					5,296,000		5,682,000

避難道路狭あい地域や通学路等に面するブロック塀等について、地震での倒壊等による事故を未然に防止し、通行人の安全と避難経路の確保を図るため、倒壊等の危険性のあるブロック塀を除却する費用に対して補助を行い、震災時における避難経路の確保や住民及び通行人の安全確保に努めた。

除却件数　　75件　　5,296,000円

（款）2総務費　　（項）1総務管理費　　（目）14交通安全対策費

（単位　円）

事業名	交通安全啓発事業費					地域安全対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
4,207,272				188,036	4,019,236		4,574,782

悲惨な交通事故の犠牲者を1人でも少なくするため、関係機関・団体等との連携を密にして、幼児から高齢者または地域へと、幅広く交通安全啓発を行った。

市民参加イベントでの交通安全啓発活動

内　　容	実施日	啓発人員等
松阪やたいむら2019	7月28日	150人
嬉野おおきん祭り	8月3日	300人
健康フェスティバル2019	9月15日	700人
しょうわ交通安全フェスタ2019	9月23日	300人
第8回深野棚田まつり	10月26日	450人
第58回氏郷まつり	11月3日	2,650人
香肌峡ふれあいフェスティバル	11月10日	100人
飯南ふれあいまつり	11月17日	300人
安全・安心フェスタまつさか	12月22日	600人
武四郎祭り	2月23日	300人

松阪市交通安全の日における早朝街頭指導（毎月11日）
交通安全の日における防災行政無線を活用した市長の交通安全メッセージ
四季の交通安全運動の実施（懸垂幕掲示、市公用車への広報用マグネット貼付）
中学校交通安全推奨像リレー　4校
交通安全啓発スポット事業（FM三重ラジオコマーシャル）
路線バス（5台）への広告掲載
松阪市交通安全サポート事業所の登録募集
反射材（反射タスキ等）の配布（反射タスキ　3,094本、リストバンド等　11,257本）
交通安全啓発のぼり旗の配布（914枚）
交通安全標語入り年賀スタンプコーナーの設置及びアンケート調査（12月1日～12月27日）
緊急啓発用ポスターの配布（声かけプロジェクト、交通死亡事故多発等　2,500枚）

事業名	交通安全教育推進事業費					地域安全対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,277,802				688,000	4,589,802		8,320,175

市民一人ひとりに交通安全意識を浸透させ、正しい交通ルールやマナーを周知徹底するために、交通安全教育指導員「とまとーず」を活用して、市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校での交通安全教育や高齢者に対する交通安全教室を行った。

「とまとーず」による交通安全教室の開催

R1

対象	回数	対象人数
保育園	86回	延5,323人
幼稚園	50回	延2,732人
小学校	65回	延4,849人
中学校	16回	延2,476人
高齢者	27回	延1,089人
一般その他	11回	延227人
計	255回	延16,696人

事業名	地域交通安全対策活動事業費					地域安全対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,567,880					1,567,880		1,930,872

交通事故のない松阪を実現するためには、市民一人ひとりの交通事故防止の意識高揚を図っていく必要があることから、路面標示シートの配布等、地域の状況に応じた交通安全対策を行った。また、交通指導員を設置し、地域における通学時等の安全確保を行った。

地域への配布物品

路面標示シート（大　439枚　小　409枚）

交通指導員の設置　37人（新規：8人、継続：29人）

各地域での交通安全指導

平成31年4月4日、委嘱状交付式及び研修会開催

令和元年11月11日、研修会開催

事業名	自転車駐車対策事業費					地域安全対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
9,723,470				1,403,040	8,320,430		9,397,862

松阪駅・伊勢中川駅周辺において自転車の放置を防止することで、通行機能の確保と市民安全を図るため、巡視員による放置自転車の確認業務、市営有料自転車駐車場の受付業務及び市営無料自転車駐車場の整理業務を行った。また、松ヶ崎駅、伊勢中原駅、櫛田駅周辺の市営無料自転車駐車場の整備及び管理を行い、良好な道路交通環境を構築した。

放置禁止区域自転車撤去台数（R2.3.31時点）

区分	台数
所有者引取台数	30台
警察引渡台数（盗難車）	4台
保管台数	46台
計	80台

市営有料自転車駐車場登録件数（納付件数）

月	件数	月	件数
4月	71件	10月	55件
5月	59件	11月	40件
6月	51件	12月	63件
7月	60件	1月	49件
8月	45件	2月	38件
9月	61件	3月	41件
計			633件

事業名	交通安全対策一般経費					地域安全対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,019,425				5,360	5,014,065		5,222,136

交通死亡事故多発に伴い交通安全対策委員会を開催し、対策事項等に関する協議を行った。また、交通安全活動を直接推進すべき任務をもつ各機関と団体が積極的かつ緊密な連携体制を確立し、統一的意志のもとにその活動を円滑かつ効率的に推進し、もって交通事故のない明るい社会づくりに寄与することを目的とした松阪多気地区交通安全対策会議に対し、負担金を支出した。

松阪市交通安全対策委員会　令和元年7月30日（委員 20 人出席）　委員報酬　14人　98,000円

交通事故相談の実施　年12回　55,000円

非常勤職員賃金・一般事務用品代等

松阪多気地区交通安全対策会議負担金　1,814,000円

（款）2総務費　　（項）1総務管理費　　（目）15人権啓発費

（単位　円）

事業名	人権啓発事業費					人権・男女共同参画課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,592,717		263,000			3,329,717	3,918,347

市民の人権意識の高揚を図り、人権問題についての正しい理解と認識を深めていただくため、人権啓発を集中的に行う6月の人権啓発強調月間や12月の人権週間にあわせて街頭啓発や講演会、映画会等のさまざまな催しにより、啓発を行った。また、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、恒久平和の実現に向けて戦争と平和を考えるパネル展を開催した。

人権啓発強調月間（6月1日～30日）

区分	内　　容
街頭啓発	R1.6.3に松阪駅、伊勢中川駅、市内大型店舗等10か所にて、人権擁護委員、法務局職員、県職員、市職員による街頭啓発を行い、人権尊重の大切さを訴えた。啓発物品3,600個を配布
人権 パネル展	R1.6.1～R1.6.30、ショッピングセンターマーム2Ｆエスカレーター前とR1.6.23農業屋コミュニティ文化センターロビーにおいて、「2018年度松阪市人権図画ポスター入選作品」「第18回人・命・ふれあい人権フォトコンテスト入選作品」（三重県人権センター所有）のパネル展示を行った。
人権講演会	R1.6.23農業屋コミュニティ文化センターでスマイリーキクチさんを迎え「インターネットと人々のかかわり合い」と題した講演会を開催した。 ・入場者数　150人　啓発物品、相談窓口チラシ等を配布
その他	人権啓発強調月間（講演会）のチラシを自治会、市施設、市内保・幼・小・中学校、市内企業へ配布　チラシ･･･17,000枚 ポスターを公共施設、スーパー、ドラッグストア等へ配布　ポスター･･･180枚 人権啓発標語入りマグネットシートを公用車71台に貼付して道行く人に人権尊重の大切さを訴えた。 本庁舎前・各地域振興局前へ懸垂幕の掲出 広報、各新聞社（記者クラブ）、市ホームページ、フェイスブック、モニター広告等の活用

戦争と平和を考えるパネル展

R1.8.1～R1.8.15各地域振興局・松阪公民館ギャラリー

「平和首長会議原爆展ポスター」パネル、松阪市戦没兵士の手紙集「ふるさとの風や」松阪市編の一部、「原爆展」等を展示

本庁舎前懸垂幕の掲出（R1.8.1～R1.8.13）

人権関係職員等養成講座

開催日	開催場所	講座内容	参加人数
9／5・12・19・26の4日間 （8講座）	産業振興センター人材育成講座室　ほか	ワークショップ、貧困問題、自殺問題、同和問題、LGBTの人権、外国人の人権、障がい者の人権など	35人 （延158人）

人権文化フェスティバル松阪

区分	内　　容
人権のつどい劇、映画会等	R1.6.16　トーク＆ピアノコンサート　斎藤守也 ハートフルみくもスポーツ文化センター　（参加：210人） R1.12.8　人権啓発映画会「ワンダー君は太陽」 人権図画ポスターの表彰 農業屋コミュニティ文化センター　（参加：180人） R1.12.14　人権講演会　渡辺りえこ 人権のつどいうれしの（人権標語発表・表彰、人権作文発表・表彰、作品展示） 中川コミュニティセンター　（参加：237人） R1.12.19　人権講演会　文屋範奈 飯高地域振興局　2階大会議室　（参加：　46人） R1.12.21　人権啓発映画会「こどもしょくどう」 青少年健全育成ならびに人権に関する作品表彰式 飯南産業文化センター　（参加：150人）
その他	人権文化フェスティバル啓発チラシを自治会、市施設、市内保・幼・小・中学校、市内企業へ配布　チラシ…13,000枚 氏郷まつり（R1.11.3）街頭啓発　人権擁護委員と市職員が参加 1,000セットのチラシと啓発物品を配布　人権擁護委員のブースで缶バッジと風車をつくり啓発を行った。 本庁舎前懸垂幕の掲出（R1.12.4～R1.12.10） 広報、各新聞社（記者クラブ）、市ホームページ、モニター広告の活用 県主催街頭啓発（R1.12.4）松阪駅、伊勢中川駅、市内大型店舗等

人権啓発映画・講座

開催日	開催場所	講座内容	参加人数
R1.8.9	嬉野ふるさと会館	人権啓発映画上映会「万引き家族」	200人
R2.2.20	産業振興センター	講座「誰もが生きやすい社会をめざして」 東村武幸	25人
R2.2.28	ハートフルみくもスポーツ文化センター	講座「少子高齢化社会における高齢者の人権について」大谷徹	34人

人権図画ポスターの募集及び表彰　応募総数　495件（小学生　90作品、中学生　405作品）
　　小学生の部　5作品、中学生の部　5作品が入選

［平成30年度の人権啓発活動推進事業費の一部 130,926円と人権施策推進事業費 220,420円を統合］

事業名	多文化共生推進事業費					人権・男女共同参画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
844,564					844,564		304,863

多文化共生社会づくりのため外国人住民と日本人が、異なる文化や生活習慣の違いについて、相互理解を深める、国際交流イベント「松阪やたいむら2019」を開催した。

松阪やたいむら2019

開催日　R1.7.28　松阪農業公園ベルファーム

10か国による屋台7ブースとステージショー

参加者　3,500人

事業名	地域自殺対策強化事業費					人権・男女共同参画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
330,088		162,000		125,000	43,088		1,096,783

市民に命の大切さを認識し、関心を持っていただくため、講演会や街頭啓発等の取組みを実施する一方、市民に対する生きる支援策として三重県や民間団体等と連携し、合同相談会や相談窓口の関係担当者に人材養成を目的とした研修会を実施した。

人材養成事業

相談業務担当職員及び関係機関従事者に対する人材養成研修会

開催　3回、受講者　98人

普及啓発事業

坂元　薫さん講演会

開催日　R2.3.8　農業屋コミュニティ文化センター

新型コロナウィルス感染症予防のため中止

メンタルパートナー出前講座

開催　5回　受講者　100人

街頭啓発

R1.9.10　県主催自殺予防週間による啓発

県市職員等　23人参加　啓発物品　1,200個配布

三重県、いのちの電話協会と連携協力し、松阪駅及び伊勢中川駅で啓発を行った。

自殺対策強化月間懸垂幕の掲出

R2.2.29～R2.3.31　本庁舎前、各地域振興局前懸垂幕の掲出

自殺対策に関するパネル展

R1.9.2～R1.9.17　松阪公民館ギャラリー

雇用・生活・こころと法律の合同相談会

R1.9.25　産業振興センター　相談人数　11人　相談件数　20件

R2.3.18　産業振興センター　相談人数　20人　相談件数　26件

自殺対策強化月間のぼり旗掲出

R2.3.2～R2.3.31　各振興局、地区市民センター、公民館、保健センター等

事業名	生活オリエンテーション事業費					人権・男女共同参画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
6,386,249				16,494	6,369,755		6,783,700

市庁舎本館1階ロビーに通訳者を配置し、外国人住民に対し母語による生活情報等の提供・説明や窓口業務の支援を行った。

通訳者　フィリピノ語　1人、ポルトガル語　1人

対応言語　フィリピノ語、ポルトガル語、英語

対応件数　フィリピノ語（英語含む）　5,808件

ポルトガル語（英語含む）　1,916件

事業名	人権啓発一般経費					人権・男女共同参画課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,856,080					2,856,080	2,729,157

各種専門委員報酬及び各種団体負担金、新聞・雑誌購読料、通信運搬料、一般事務用品代等

松阪市人権施策行動計画の評価・検証について審議を行った。

人権施策審議会開催　　第1回（R1.11.22）　出席者数　10人　報酬対象者　10人
　　第2回（R1.12.26）　出席者数　11人　報酬対象者　11人

弁護士人権相談の実施　34件

三重県人権・同和行政連絡協議会負担金　15,000円　　交付先：三重県人権・同和行政連絡協議会

日本非核宣言自治体協議会負担金　60,000円　　交付先：日本非核宣言自治体協議会

全国研究集会等への参加（市民公募　4人）

松阪人権擁護委員協議会への助成（H30.4.1現在人口×6円）

［平成30年度の人権啓発活動推進事業費の一部 1,572,080円を統合］

（款）2総務費　　（項）1総務管理費　　（目）16男女共同参画費

（単位　円）

事業名	男女共同参画行政推進事業費					人権・男女共同参画課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,567,004					1,567,004	1,714,975

男女共同参画社会の実現に向けて、さまざまな事業を実施し、市民啓発を行った。

男女共同参画さ・し・す・せセミナーの開催

開催日	会　場	内　容	講師名	参加人数
R1.8.21	産業振興センター	「DVの視点から子ども虐待を考える」	NPO法人女性と子どものヘルプライン･MIE 代表 堤順子	18人
R1.9.27	飯高地域振興局	「あなたの心に寄りそって」	エッセイスト 谷口照男	44人
R1.11.18	嬉野生涯学習センター	「整理収納はじめの一歩～更に笑顔で暮らしていくために～」	smile home 代表 須藤有紀	54人
計				116人

男女共同参画松阪フォーラムの開催

男女の社会参画の促進及びその機会づくりを提供することを目的として、松阪フォーラム実行委員会に事業運営委託を行い、男女共同参画松阪フォーラムを開催した。

開催日	会　場	内　容	参加人数
R2.2.8	農業屋コミュニティ文化センター	・オープニング：松阪工業高校ダンス部パフォーマンス ・講演会：「Jリーグクラブと地域創生 ～スポーツ界における男女共同参画について～」 講師：小倉隆史 (FC.伊勢志摩理事長、元プロサッカー選手) ・アンガーマネジメントキッズ講座 講師：酒井由美 (子育て応援プロジェクト☆パイン代表、 アンガーマネジメントキッズインストラクター、 チャイルドコーチングアドバイザー) ・WAKU･WAKUショップ	250人

男女共同参画情報紙の発行

市民スタッフにより男女共同参画情報紙「ひまわり」23号を66,000部作成
令和2年3月各自治会を通じて全戸配布するとともに公共施設に設置し啓発を行った。

三重県内男女共同参画連携映画祭の開催

三重県内の男女共同参画を推進するため、県内の5センターと20市町が連携し、映画祭を開催した。

開催日	会　　場	上映作品	参加人数
R1.7.6	農業屋コミュニティ文化センター	「海よりもまだ深く」	470人

企業に対する男女共同参画意識の啓発

市内20事業所を訪問し啓発を行った。

男女共同参画週間（R1.6.23～R1.6.29）

区　分	内　　容
街頭啓発	R1.6.24に男女共同参画週間の周知及び男女共同参画意識の高揚のため、松阪駅（JR側、近鉄側）と伊勢中川駅（東口、西口）にて、市職員による街頭啓発を行った。

オリジナル啓発パンフレットの作成

松阪市で取り組む男女共同参画事業についての情報（次回開催する事業や講座案内、相談窓口等）パンフレットを作成し、男女共同参画週間街頭啓発、三重県内男女共同参画連携映画祭、セミナーや関連講座開催時に配布し、事業内容の周知を図り広くPRを行った。

「女性に対する暴力をなくす運動」啓発展示

「女性に対する暴力をなくす運動」期間（R1.11.12～R1.11.25）

県内のセンターや各市町で同時期に啓発展示等を実施して県内の連携や取組みを強化した。

男女共同参画関連講座の開催

開催日	会　　場	内　　容	参加人数
R1.11.9	松阪公民館	「子育て応援講座　子どものしあわせと読書」 講師：増田喜昭 （子どもの本専門店メリーゴーランド店主）	22人
R1.12.21	松阪公民館	「大人のアンガーマネジメント」 講師：柴田佐織（キャリアコンサルタント、アンガーマネジメントファシリテーター）	28人

事業名	男女共同参画一般経費					人権・男女共同参画課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,448,281				5,324	2,442,957		3,405,036

男女共同参画プランに掲げる各施策について、評価と検証及び男女共同参画事業について審議を行った。

男女共同参画審議会委員　19人

第1回（R1.8.27）出席者数 15人　委員報酬支払対象者 14人

第2回（R2.3.27）出席者数 16人　委員報酬支払対象者 15人

非常勤職員賃金、その他消耗品費等

（款）2総務費　　（項）1総務管理費　　（目）17諸費

（単位　円）

事業名	安全・安心なまちづくり推進事業費				地域安全対策課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,334,665					1,334,665	1,827,559

安全・安心な松阪（まち）づくりを目指し、平成31年3月に策定した「松阪市安全で安心なまちづくりの推進に関する行動計画」に基づいた取り組みを推進するため、松阪市安全・安心施策推進協議会を2回開催した。また、小学校15校において地域ふれあいタウンウォッチングを実施し、行政や地域、学校が協力して地域の安全・安心なまちづくりのきっかけづくりに取り組んだ。

また、安全・安心フェスタ まつさか、出前講座などを開催し、防犯意識の向上や特殊詐欺等の防止に努め、地域の安全・安心なまちづくりに取り組んだ。

松阪市安全・安心施策推進協議会

（第1回：令和元年11月21日開催、16人　報酬支払対象者： 7人）

（第2回：令和２年 3月12日開催、22人　報酬支払対象者：12人）

委員報酬　133,000円

お茶代　　4,560円

地域ふれあいタウンウォッチング

啓発物品　441,766円

事務用品等　122,803円

お茶代　　16,440円

印刷代（実施校15校）198,684円

運転管理業務委託料（米ノ庄小学校・港小学校・射和小学校・豊田小学校）　32,412円

実施年月日	学　　校	学　　年	児童人数	関係者参加人数
令和元年5月17日	中原小学校	4年	20人	18人
5月24日	豊地小学校	3年	32人	4人
5月30日	米ノ庄小学校	4年	35人	14人
6月11日	粥見小学校	3年	18人	13人
6月25日	南小学校	3・4年	20人	10人
6月28日	西黒部小学校	4年	19人	17人
10月17日	港小学校	6年	48人	3人
10月19日	天白小学校	4年	79人	16人
11月16日	第一小学校	全児童	170人	30人
11月18日	射和小学校	4年	32人	2人
11月28日	朝見小学校	3・4年	32人	8人
11月29日	中川小学校	3年	101人	11人
12月7日	機殿小学校	全児童	49人	13人
12月12日	豊田小学校	4年	25人	9人
令和2年1月30日	松江小学校	4年	63人	12人

安全・安心フェスタまつさか（令和元年12月22日開催）　講師派遣業務委託　385,000円

防犯相談や専門家による防犯機器等の説明・展示、バルーンアーティストによる防犯グリーティング、 警察職員による護身教室の実施、啓発物品の配布による防犯PR等を行った。

事業名	防犯対策事業費					地域安全対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
12,109,057					12,109,057		13,387,576

市管理既設防犯灯の維持管理及びLED化修繕を実施し、夜間の防犯対策、犯罪の未然防止に努めるとともに自治会への移管を行った。また、児童等の防犯意識の向上を図るため、新入学児童などに防犯啓発小旗を配布したほか、各種イベント等において防犯啓発品を配布し、各種犯罪への注意喚起を行った。

松阪警察署管内の犯罪等の防止を図ることを目的に、松阪市、明和町、多気町等と連携し、松阪地区生活安全協会に対し、負担金を支出したほか、犯罪被害者及びその家族や遺族の支援等を行うため、みえ犯罪被害者総合支援センターに対して、負担金を支出した。

市管理防犯灯電気代 2,067,544円
市管理防犯灯修繕料 981,875円

防犯啓発小旗代 128,527円
防犯啓発物品等 305,324円
その他事務用品等 125,902円
公用車ガソリン代 80,739円
防犯啓発用公用車借上料 224,208円
松阪地区生活安全協会 地域安全・暴力追放部会負担金 7,579,000円
みえ犯罪被害者総合支援センター負担金 409,658円
旧松ヶ崎駐在所ブロック塀等修繕工事 206,280円

事業名	防犯カメラ設置補助金					地域安全対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
433,000					433,000		996,000

地域の防犯対策の一環として、防犯カメラを設置する自治会に対し、購入費及び設置費用に係る補助金を交付することで、地域の防犯力向上に寄与した。（平成30年度「防犯カメラ設置補助金」を新設。防犯カメラ購入費および設置費用の2分の1を補助対象。（上限10万円））

地区	自治会名	総事業費	市補助額
花岡	山室町自治会	260,000	100,000
橋西	南井村自治会	312,235	100,000
松尾	平成町自治会	72,360	36,000
幸	新道自治会	128,350	64,000
花岡	駅部田町さつき園自治会	83,138	41,000
神戸	大津町杉自治会	184,910	92,000

事業名	犯罪被害者日常生活支援事業費					地域安全対策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
0							—

日常生活が困難となった犯罪被害者やその家族等を対象とした支援事業を令和元年度に新設。令和元年度は、利用者はなかった。

(款) 2総務費　　(項) 2徴税費　　(目) 1税務総務費

(単位　円)

事業名	税務証明交付事業費					市民税課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
736,917				736,917		621,978

税務証明の交付に係る経費

税務証明等の発行件数

区　分	件　数	区　分	件　数
評価証明（一般）	5,102件	課税証明（住民税）	5,619件
評価証明（登記用）	2,902件	非課税証明	2,950件
公租公課証明	1,528件	事業証明	154件
課税証明（固定税）	141件	納税証明（一般）	3,454件
住宅用家屋証明	664件	完納証明	1,791件
建築確認証明	145件	納税証明（車検用）	7,994件
比隣地証明	742件	税務照会	1,328件
仮評価証明	55件	税務閲覧	1,059件
所得証明	10,329件	その他	5,343件
所得課税証明	7,153件	計	58,453件

コンビニ交付利用状況（上記発行件数の内数）

区　分	件　数
所得課税証明	298件
課税・非課税証明	83件
計	381件

事業名	固定資産評価審査委員会事業費					総務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
25,360					25,360	302,780

固定資産評価審査委員会の開催　1回

地方税法の規定に基づく固定資産の評価額に関する不服申立てに対する審査決定機関としての事務を行った。

事業名	税務一般経費					市民税課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,325,430				9,553,607	5,771,823	15,616,770

課税事務作業における一般経費

（款）2総務費　　（項）2徴税費　　（目）2賦課徴収費

（単位　円）

事業名	個人市民税賦課事業費					市民税課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
65,408,298				60,000	65,348,298	62,877,658

個人市民税の賦課業務に係る委託料、特別徴収事務綴りの印刷費等

個人市民税の状況

区分	納税義務者数	調　定　額
特別徴収	62,047人	6,752,331,707円
普通徴収	18,804人	1,527,728,493円
計	80,851人	8,280,060,200円

事業名	法人市民税賦課事業費					市民税課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,311,269					1,311,269	1,264,355

法人市民税の賦課業務に係る委託料等

法人市民税の状況

	区分	調　定　額
法　人　数	均等割	426,543,000円
	法人税割	1,005,019,300円
4,103社	計	1,431,562,300円

事業名	軽自動車税賦課事業費					市民税課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,765,712				53,600	11,712,112	11,521,270

軽自動車税の賦課業務に係る委託料等

軽自動車税（種別割）の状況

内　訳	件　数	調　定　額
納税義務者数	53,503人	542,105,400円
課税台数	82,114台	

軽自動車税（環境性能割）の状況

内　訳	件　数	調　定　額
課税台数	470台	7,944,500円

※市税の調定状況（現年度分）

税　　目		調　　定　　額			
		元年度	30年度	増　減	伸び率
市　民　税		9,711,622,500円	9,801,749,560円	△90,127,060円	△0.9%
	個人	8,280,060,200円	8,352,320,560円	△72,260,360円	△0.9%
	法人	1,431,562,300円	1,449,429,000円	△17,866,700円	△1.2%
軽自動車税		550,049,900円	526,522,300円	23,527,600円	4.5%
	種別割	542,105,400円	526,522,300円	15,583,100円	3.0%
	環境性能割	7,944,500円	0円	7,944,500円	皆増
市たばこ税		1,096,501,693円	1,094,554,830円	1,946,863円	0.2%
計		11,358,174,093円	11,422,826,690円	△64,652,597円	△0.6%

・市たばこ税

内　　訳	件　　数	調　定　額
課税本数	193,732,866本	1,096,501,693円

事業名	固定資産税賦課事業費				資産税課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
45,304,650				120,000	45,184,650	43,911,728

固定資産税、都市計画税の土地、家屋、償却資産の賦課を行うための課税計算業務委託や図面等の作成業務、その他賃借料等

事業名	固定資産税評価替事業費				資産税課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
62,650,996					62,650,996	16,590,570

地価下落に伴う時点修正業務を行い、土地評価の均衡を進め適正な賦課を行った。
令和3年度実施する評価替えに伴い適正な価格の決定に向けて準備作業を行った。

固定資産税等の課税件数及び調定内訳

税　　目		内　　訳	件　　数	調　定　額
固定資産税	土地	評価筆数	371,655筆	3,036,465,700円
	家屋	評価棟数	138,392棟	4,137,352,900円
		(新増築棟数)	793棟	
	償却資産	申告者数	4,235人	2,287,293,700円
	土地・家屋・償却資産	納税義務者数	72,628人	9,461,112,300円
	交付金	対象件数	5件	123,357,700円
都市計画税	土地	評価筆数	66,310筆	571,403,300円
	家屋	評価棟数	56,301棟	597,960,500円
		(新増築棟数)	556棟	
	土地・家屋	納税義務者数	38,769人	1,169,363,800円

事業名	市税等過誤納還付金				収納課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
62,219,667					62,219,667	89,815,618

地方税法に基づき、過誤納金（還付加算金含む）を遅滞なく還付することに努めた。

過誤納還付金　　単位：件、円

税　　目	件数	金額
市県民税（特別徴収含む）	860	26,110,224
軽自動車税	35	223,480
固定資産税・都市計画税	155	6,015,720
法人市民税	345	21,058,800
市県民税（株式譲渡等）	677	7,930,843
計	2,072	61,339,067

還付加算金　　単位：件、円

税　　目	件数	金額
市県民税（特別徴収含む）	42	82,600
軽自動車税	0	0
固定資産税・都市計画税	74	337,700
法人市民税	70	459,200
市県民税（株式譲渡等）	1	1,100
計	187	880,600

事業名	市税徴収事業費				収納課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
92,309,043		89,215,167		3,093,876		80,593,427

自主財源の確保と徴収強化に視点を置き、納期内納税の推進や地方税法及び市税条例等に基づく、適正な滞納整理等の収納業務に努めた。

市税の徴収実績　　単位：円、％

区　　分	現年課税分	滞納繰越分	合　　計
調定額	22,112,007,893	1,471,238,584	23,583,246,477
収入額	21,786,982,901	302,361,611	22,089,344,512
収納率	98.53	20.55	93.67

納付方法別収納状況

納税者のニーズに応じた利便性の高い納付方法を検討し、口座振替の他に24時間現金支払いができるコンビニ支払い、インターネットを利用してのクレジットカード納付ができる公金クレジット支払い、スマートフォンアプリを利用した納付システムに加え、令和元年10月からエルタックスを利用した電子納税が開始され、収納率向上を図った。

口座振替納付状況　　単位：件、円、％

税　　目	件数	前年度件数	納付額	前年度納付額	前年比件数	前年比納付額
市県民税（普通徴収）	21,782	22,068	1,208,582,337	1,347,919,122	98.70	89.66
軽自動車税	24,019	24,989	141,517,900	143,478,400	96.12	98.63
固定資産税・都市計画税	166,936	167,533	5,740,878,720	5,548,295,320	99.64	103.47
市　税　計	212,737	214,590	7,090,978,957	7,039,692,842	99.14	100.73
国民健康保険税	99,463	104,144	1,782,333,800	1,860,883,000	95.51	95.78
合　　計	312,200	318,734	8,873,312,757	8,900,575,842	97.95	99.69

コンビニ納付状況　　単位：件、円、％

税　　目	件数	前年度件数	納付額	前年度納付額	前年比件数	前年比納付額
市県民税（普通徴収）	22,342	23,541	450,227,519	458,993,731	94.91	98.09
市県民税（特別徴収）	1,275	1,168	26,657,960	22,444,260	109.16	118.77
軽自動車税	26,929	26,149	199,778,090	187,222,316	102.98	106.71
固定資産税・都市計画税	39,659	37,765	631,478,708	598,445,819	105.02	105.52
法人市民税	41	47	1,026,060	1,062,660	87.23	96.56
市　税　計	90,246	88,670	1,309,168,337	1,268,168,786	101.78	103.23
国民健康保険税	35,653	37,637	434,591,656	456,528,825	94.73	95.19
合　　計	125,899	126,307	1,743,759,993	1,724,697,611	99.68	101.11

公金クレジット納付状況　　単位：件、円、％

税　　目	件数	前年度件数	納付額	前年度納付額	前年比件数	前年比納付額
市県民税（普通徴収）	583	446	28,660,800	24,448,580	130.72	117.23
軽自動車税	619	462	4,662,100	3,302,600	133.98	141.16
固定資産税・都市計画税	1,233	951	67,425,580	52,243,700	129.65	129.06
市　税　計	2,435	1,859	100,748,480	79,994,880	130.98	125.94
国民健康保険税	524	476	12,612,529	14,030,500	110.08	89.89
合　　計	2,959	2,335	113,361,009	94,025,380	126.72	120.56

スマートフォンアプリによる納付状況　　単位：件、円、％

税　　目	件数	前年度件数	納付額	前年度納付額	前年比件数	前年比納付額
市県民税（普通徴収）	158	58	4,322,580	1,354,539	272.41	319.12
市県民税（特別徴収）	20	11	630,140	251,600	181.82	250.45
軽自動車税	38	29	301,040	198,560	131.03	151.61
固定資産税・都市計画税	196	77	3,721,060	1,507,180	254.55	246.89
市　税　計	412	175	8,974,820	3,311,879	235.43	270.99
国民健康保険税	204	40	2,583,380	659,861	510.00	391.50
合　　計	616	215	11,558,200	3,971,740	286.51	291.01

エルタックスによる納付状況　※令和元年10月より実施　　単位：件、円、％

税　　目	件数	前年度件数	納付額	前年度納付額	前年比件数	前年比納付額
市県民税（特別徴収）	158	－	7,065,200	－	－	－
法人市民税	82	－	38,657,300	－	－	－
合　　計	240	－	45,722,500	－	－	－

三重地方税管理回収機構　徴収実績

徴収困難案件について、三重地方税管理回収機構へ移管し、県域を対象に広域的に滞納整理を行い、滞納額縮減に努めた。

徴収第一課（高額案件）

移管実績　　単位：件、円

移管件数	移管滞納額
45	109,631,187

徴収実績　　単位：円

移管年度	本税額	督促手数料	延滞金	計
令和元年度	14,603,201	21,520	2,807,920	17,432,641
平成30年度	17,558,915	39,200	5,341,702	22,939,817
計	32,162,116	60,720	8,149,622	40,372,458

徴収第二課（少額案件）

移管実績　　単位：件、円

移管件数	移管滞納額
370	80,225,682

徴収実績　　単位：円

移管年度	本税額	督促手数料	延滞金	計
令和元年度	46,899,606	183,864	8,232,150	55,315,620
平成30年度	3,910,994	12,400	3,208,690	7,132,084
平成29年度	94,418	320	304,048	398,786
平成28年度	80,812	480	230,140	311,432
計	50,985,830	197,064	11,975,028	63,157,922

電話催告納付実績

納期限が過ぎた後に督促状を発行し早期納付を促しているが、それでも納付がされない方を対象に「納税コールセンター」から架電を行い自主納付を促し、収入未済額の縮減に努めた。

単位：回、人、円

架電回数	架電人数	通話者の納付人数	通話者の納付金額
59,244	13,855	5,093	147,799,879

臨戸訪問滞納整理　　単位：人、件、円

		区　分	人数	件　数	税　　額
本庁職員と各振興局職員による滞納整理	訪問人数47人	市　税	42	65	3,999,903
		国保税	21	111	1,216,513
		計	63	176	5,216,416

納税相談

日曜窓口は午前10時から午後4時まで（3月・4月は午前8時30分から午後5時15分まで）、夜間窓口は午後6時から午後8時までの時間帯で、納税相談に努めた。

日曜窓口相談　　単位：人、件、円

		徴収実績			
		区　分	人　数	件　数	税　　額
平日の来課困難者のために日曜日の納税相談を実施	実施日数6日間対応者212人	市　税	59	229	2,726,640
		国保税	23	156	2,800,220
		計	73	385	5,526,860

※合計人数は実数

夜間窓口相談

単位：人、件、円

		徴収実績			
		区　分	人　数	件　数	税　額
平日昼間の来課困難者のために夜間の納税相談を実施	実施日数 8日間 対応者 91人	市　税	34	64	1,245,820
		国保税	9	35	205,600
		計	39	99	1,451,420

※合計人数は実数

督促状発送

納期限が過ぎても完納されていない場合に、督促状を滞納者へ発送し納付を促した。

単位：回、件、円

		税　　目	回数	件　数	税　額
各税目の督促状を発送	市税の合計 43,944件 979,031,953円 市税と国保税の合計 71,396件 1,391,404,833円	市県民税（普通徴収）	12	12,344	350,657,925
		市県民税（特別徴収）	12	5,061	137,408,968
		軽自動車税	7	6,977	52,847,300
		固定資産税・都市計画税	6	19,396	426,750,960
		法人市民税	12	166	11,366,800
		国民健康保険税	12	27,452	412,372,880

未納明細書・催告書発送

督促状を発送しても完納されていない場合に、未納明細書・催告書を滞納者へ発送し納付を促した。

単位：回、件、人、円

		税　　目	回数	件　数	人　数	税　額
現年度及び滞納繰越分催告書を発送	市税の合計 14,160件 234,252,977円 市税と国保税の合計 29,944件 409,470,178円	市県民税（普通徴収）	3	4,992	2,018	115,287,176
		市県民税（特別徴収）	3	208	95	4,145,700
		軽自動車税	2	2,734	1,446	20,071,818
		固定資産税・都市計画税	3	6,192	1,722	92,712,783
		法人市民税	3	34	30	2,035,500
		国民健康保険税	3	15,784	2,045	175,217,201

差押の執行

滞納処分

滞納者の実態調査を行い、財産があるにも関わらず、納付がされない滞納者については、差押えによる強制徴収を行い、滞納額縮減に努めた。

単位：人、件、円

	市税	国保税	区分	人数	件　数	税　　額
差押執行	608人 5,752件 145,809,002円	443人 10,128件 184,493,992円	不動産	47	694	58,432,600
			預貯金	265	4,229	68,382,897
			給　与	191	5,359	110,123,689
			債権等	202	5,598	93,363,808
			計	705	15,880	330,302,994
換　　価	市税	国保税	区分	人数	件　数	税　　額
	1,075人 3,345件 43,843,206円	1,232人 5,000件 64,664,348円	不動産	0	0	0
			預貯金	268	1,493	20,649,355
			給　与	1,155	4,040	50,199,491
			債権等	476	2,812	37,658,708
			計	1,899	8,345	108,507,554

交付要求の状況

滞納者の財産について競売や差押えなどの強制換価手続きが行われた場合に、その先行する執行機関に対し交付要求書を交付して、未納の税金への配当を受ける手続きを行った。

	市税	国保税
交付要求	87 人 721 件 27,113,256 円	43 人 500 件 10,708,922 円
	市税と国保税の合計　101人　1,221件　37,822,178円	

※合計人数は実数

納付誓約の状況

滞納者の生活状況等を聴取しながら、早期完納となるよう納付誓約を行った。

	市税	国保税
納付誓約	3,002 人 23,170 件 585,647,684 円	2,059 人 39,567 件 781,826,811 円
	市税と国保税の合計　3,695人　62,737件　1,367,474,495円	

※合計人数は実数

執行停止の状況

地方税法第15条の7第1項に基づき、滞納処分の執行の停止を行った。

	市税	国保税
執行停止	55 人 646 件 25,229,302 円	70 人 1,551 件 22,961,153 円
	市税と国保税の合計　81人　2,197件　48,190,455円	

※合計人数は実数

(款）2総務費　　（項）3戸籍住民基本台帳費　（目）1戸籍住民基本台帳費　　（単位　円）

事業名	個人番号カード交付事業費					戸籍住民課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
31,648,405	30,040,688			370,956	1,236,761	18,356,458

マイナンバーカード・通知カードの交付及び、マイナンバーカードの日曜窓口交付、各地区市民センター及び地域振興局管内の公民館へ巡回しカードの申請受付を行った。

通知カード・個人番号カード関連事務委任負担金　22,338,400円
非常勤職員賃金　4,891,220円
通信運搬費　3,002,402円　ほか

令和元年度マイナンバーカード交付状況（累計R2.3.31現在）

交付済数	34,171	枚	8,834枚増加
交付率（対人口）	20.76	%	5.45%増加

【参考】平成30年度マイナンバーカード交付状況（累計H31.3.31現在）

交付済数	25,337	枚
交付率（対人口）	15.31	%

マイナンバーカード日曜窓口　　開設日数：18日

交付枚数	616	枚
申請受付数	610	件

地区市民センター巡回申請受付数：256件
地域振興局管内公民館等巡回申請受付数：305件
企業等巡回申請受付数：791件

事業名	証明書コンビニ交付事業費					戸籍住民課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,579,666				11,345,178	2,234,488	11,803,971

マイナンバーカードの利用者証明用電子証明書を利用し、全国のコンビニエンスストア及び市役所庁舎内に設置されたマルチコピー機にて、住民票・印鑑登録証明書・戸籍全部（個人）事項証明書・戸籍附票等の各種証明書の交付を行った。

システム保守委託料　4,120,200円
システム賃借料　2,550,528円
コンビニ交付サービス参加負担金　4,700,000円　ほか

コンビニ交付利用件数

証明書種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
住民票の写し	273	262	293	305	268	316	310	349	396	516	445	725	4,458
住民票記載事項証明書	15	14	10	11	5	10	13	16	17	25	22	39	197
印鑑登録証明書	268	270	295	242	304	293	415	420	435	519	530	741	4,732
戸籍全部事項証明書	48	40	51	68	49	35	45	54	54	83	70	82	679
戸籍個人事項証明書	19	25	22	24	23	24	41	24	24	47	34	47	354
戸籍の附票の写し	6	9	4	4	5	7	5	8	9	7	12	14	90
計	629	620	675	654	654	685	829	871	935	1,197	1,113	1,648	10,510

事業名	戸籍住民基本台帳一般経費					戸籍住民課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
39,976,562	63,000	155,539		39,758,023		41,721,625

戸籍事務、住民基本台帳、印鑑登録、自動車臨時運行許可など多岐にわたる事務を円滑に行った。

住所異動に関係する各課と連携し、3月29日、4月5日の2日間、日曜窓口を開設した。
また、時間外窓口を開設し、各種証明書の発行及び印鑑登録業務を行った。
　　実施日時：毎週月曜日から金曜日　17：15～20：00

新生児への記念品として、絵本またはフォトフレーム、タオルを進呈した。
（フォトフレーム　280件、絵本　592件、タオル　231件）
婚姻記念品（松阪茶・水出し煎茶のお祝いギフト）　736件
　　非常勤職員賃金　3,576,000円
　　報償費　3,292,040円　ほか

各種事務取扱件数

戸籍届書	7,793　件
新戸籍編製等事務	4,573　件
住民基本台帳事務（異動届等）	21,424　件
住民基本台帳事務（各種通知）	6,687　件
人口動態調査事務	4,332　件
特別永住者証書の交付等	19　件
身上調査等事務	1,437　件
既決犯罪に関する事務	455　件
印鑑登録関係事務	10,202　件
自動車臨時運行許可事務	645　件
新生児記念品授与事務	1,103　件
後見人登記事務	40　件
届出期間経過通知	158　件
計	58,868　件

各種証明書等発行件数

区分		件数
有料	本庁	129,514　件
	嬉野地域振興局	14,791　件
	三雲地域振興局	13,190　件
	飯南地域振興局	3,986　件
	飯高地域振興局	3,038　件
公用		24,314　件
無料		62　件
計		188,895　件

時間外窓口取扱件数

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数（回）	20	21	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	242
来客数	271	256	250	252	200	211	304	304	297	320	334	499	3,498
証明書発行（件）	315	294	294	259	209	260	352	384	354	372	403	609	4,105
印鑑登録（件）	81	85	51	53	40	60	41	34	33	47	42	60	627
問合（窓口）（件）	8	9	7	5	3	7	4	3	5	2	7	17	77
計	404	388	352	317	252	327	397	421	392	421	452	686	4,809

1回当り平均取扱件数	19.9件
H30年度平均取扱件数	17.3件

日曜窓口取扱件数

	R2.3.29 (R元年度)	R2.4.5 (R2年度)	計
住民異動	35件	43件	78件
戸籍届出	1件	6件	7件
証明書発行	68件	99件	167件
印鑑登録	4件	10件	14件
その他	68件	41件	109件
計	176件	199件	375件

（戸籍関係事務内訳）

戸籍届書　7,793　件

出生	1,593　件
婚姻	1,664　件
死亡	2,309　件
離婚	429　件
養子縁組	146　件
養子離縁	54　件
入籍	329　件
法77条の2	179　件
転籍	824　件
分籍	33　件
氏・名変更	41　件
その他	192　件

新戸籍編製等事務　4,573　件

新戸籍編製	1,146　件
戸籍全部消除	1,416　件
届出期間経過通知	7　件
非本籍地届書発送	2,004　件

人口動態調査事務

4,332　件

出生	1,215　件
死亡	1,954　件
婚姻	850　件
離婚	288　件
死産	25　件

既決犯罪に関する事務　455　件

既決犯罪通知	143　件
仮釈放期間満了通知	15　件
自由刑等執行終了通知	19　件
財産刑執行終了通知	26　件
公職選挙法第11条通知	61　件
民刑事項通知	55　件
刑の消滅照会	130　件
執行猶予取消	6　件

その他　1,437　件

身上照会	1,175　件
その他	262　件

（住民基本台帳関係事務内訳）

異動届等　21,424　件

転入	4,086　件
転出	4,368　件
転居	3,476　件
世帯変更	791　件
その他職権記載等	5,688　件
出生	1,095　件
死亡	1,920　件

各種通知　6,687　件

住民票記載事項通知	465　件
附票記載事項通知（郵送）	2　件
附票記載事項通知（住基ネット）	6,007　件
戸籍照合通知	17　件
本籍転属通知	196　件
その他	0　件

（特別永住者証書の交付等事務内訳）　19　件

居住地以外の記載事項の変更届出	0　件
有効期限の更新	10　件
紛失等による再交付	0　件
返納	9　件

戸籍事務の効率化を図り、迅速に証明書を発行し、住民サービスの向上に努めた。

システム保守委託料　5,472,200円

システム賃借料　10,993,088円　ほか

印鑑登録システムにより、印鑑登録データ及び印鑑登録カード発行管理を適正に行った。（令和元年9月末に、情報企画課住民情報システムへ統合した。）

住基バックアップシステムにより、自動交付機での住民票発行や、情報企画課が管理する総合情報システム（e-AD2）に障害が発生した際に住民票の写し等の証明書を発行できるよう、窓口混乱リスクの軽減を図った。

令和元年9月30日まで自動交付機を1台稼動して休日や夜間でも住民票の写し・印鑑登録証明書を交付した。

システム保守委託料　817,536円

システム賃借料　512,557円　ほか

令和元年11月5日施行の住民票等への「旧姓併記」制度への対応として印鑑登録システム改修を行った。

印鑑登録システム改修業務委託料（旧姓併記）　2,053,700円

令和元年度自動交付機利用状況　（R元年9月30日まで）　設置場所：本庁舎本館1階（1台）

	自動交付機 証明書交付件数	自動交付機・本庁窓口 証明書交付件数	自動交付機 利用率
全種	17,586 件	87,926 件	20.0 %
印鑑登録証明書	10,239 件	33,510 件	30.6 %
住民票の写し	7,347 件	54,416 件	13.5 %
時間外交付件数	4,315 件	―	―
うち平日時間外交付件数	1,442 件	4,439 件	32.5 %
時間内平均交付件数	110 件/日	―	―
平日時間外平均交付件数	12 件/日	―	―
休日平均交付件数	46 件/日	―	―

令和元年度印鑑登録カード発行状況

年度内印鑑登録カード発行枚数	5,359 枚
印鑑登録者数（R2.3.31現在）	109,187 人

印鑑登録事務総件数　10,202 件

市町村の区域を超えた住民基本台帳ネットワークシステムにより、他市町村と転入通知・戸籍附票記載事項通知の送受信を行うことで、特例転入・特例転出届の受付、住民票の写しの広域交付、マイナンバーカードの発行等を行い、住民の利便性の向上と（住民基本台帳）事務の効率化を図った。

システム保守委託料　1,342,445円

システム賃借料　791,512円　ほか

住民票の写し広域交付件数

松阪市での交付分　87件　他市町村での交付分　149件

本庁・4振興局・6出張所に専用FAXを設置し、システム化できていない平成原附票・届書の写し等の紙帳票を所管外の窓口でも発行し、住民サービスの向上につなげた。

システム賃借料　624,154円　ほか

［平成30年度の結婚お祝い事業費 1,627,389円を統合］

(款）2総務費　　（項）4選挙費　　（目）1選挙管理委員会費

（単位　円）

事業名	選挙管理委員会事業費				選挙管理委員会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,045,045		6,208			3,038,837	2,912,028

選挙管理委員会を開催し、選挙事務に関する諸事項の審議を行った。

選挙人名簿の登録及び抹消事務、公職選挙法に基づく各種制度の運用等を行い、公平、公正な選挙の管理執行に備えた。

選挙人名簿の調製

定時登録　年4回（6月、9月、12月、3月）登録

登録基準日	登録者数		
	男	女	計
6月 1日現在	64,694人	70,782人	135,476人
9月 1日現在	64,475人	70,614人	135,089人
12月 1日現在	64,346人	70,493人	134,839人
3月 1日現在	64,269人	70,415人	134,684人

在外選挙人名簿の登録（随時）

登録基準日	登録者数		
	男	女	計
3月2日現在	26人	42人	68人

裁判員・検察審査員候補者予定者名簿の調製

松阪市への割当員数　　裁判員候補者予定者 251人　　検察審査員候補者予定者　79人

選挙管理委員会委員報酬

委員長　　月額　53,000円 × 12 × 1人 ＝　636,000円

委員　　月額　43,000円 × 12 × 3人 ＝ 1,548,000円

委員会開催回数　　20回

現委員の任期　　平成29年3月2日～令和3年3月1日

(款）2総務費　　（項）4選挙費　　（目）2選挙啓発費

（単位　円）

事業名	選挙啓発事業費				選挙管理委員会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
880,360					880,360	782,473

明るい選挙啓発ポスターコンクール

応募数　　小学生：27作品　中学生：217作品　計：244作品

市審査で委員長賞・協議会会長賞と入選を受賞した計20作品を県に提出。そのうち県審査で1作品が特選、2作品が入選を受賞し、特選の1作品は全国審査に送られた。市審査にて入選以上の20作品は1月18日～1月26日に松阪ショッピングセンターマーム内に展示し、表彰式を開催した。

未来の有権者啓発活動

学校の生徒会選挙の際に、市が保有する選挙器材（投票箱・記載台）の貸出しや本物と同じ素材で作製した投票用紙の提供を行い、実際の選挙の雰囲気を体験してもらうことで主権者意識の醸成を図った。10月2日に粥見小学校、12月19日に松阪商業高校で実施した。

また、選管職員による出前授業を12月19日に松阪商業高校（生徒会選挙と併せて実施）、1月30日に豊地小学校で実施した。

松阪市明るい選挙推進協議会による啓発活動

嬉野おおきん祭り（8月3日）、いいたか文化祭（10月19日）、氏郷まつり（11月3日）、いいなんふれあい祭り（11月17日）、武四郎まつり（2月23日）の各会場にて啓発活動を実施した。また、12月18日には明るい選挙推進協会から講師を招いて協議会委員向け研修会を実施した。

三重県明るい選挙推進連合会理事会並びに総会及び市町推協会長等研修会出席

11月25日　三重県勤労者福祉会館　講堂

参加者　松阪市明るい選挙推進協議会会長および副会長、事務局の3名が出席

明るい選挙推進のための諸方策について、特に若年層への啓発活動のあり方を中心に研究討議を実施した。

（款）2総務費　　（項）4選挙費　　（目）3参議院議員選挙費

（単位　円）

事業名	参議院議員選挙費					選挙管理委員会事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
49,438,051		49,433,968		4,083		―

令和元年7月28日任期満了による参議院議員通常選挙

公示日　7月4日　選挙期日（投票日）　7月21日

選挙区　定数　1人　立候補者　3人

比例代表　定数50人　立候補者　13政党　155人

ポスター掲示場設置数　6区画2段式　358か所

期日前投票・不在者投票

期日前投票は告示日の翌日から投票日の前日まで16日間（7／5～7／20）

期日前投票所：9か所　　開設期間　7／5～7／20　1か所（本庁舎本館）

開設期間　7／13～7／20　5か所（各地域振興局、マーム）

開設期間　7／18～7／20　3か所（飯高管内各出張所）

投票管理者	延65人
投票立会人	延130人
事務従事者（兼務書記）	延266人
事務従事者（応援職員）	延138人
事務従事者（非常勤職員）	延158人

		選挙区	比例代表
期日前投票者数		22,030人	22,031人
不在者投票者数		552人	552人
	病院等	459人	459人
	滞在地等	68人	68人
	郵便	22人	22人
	18歳未満	3人	3人
在外投票者数		12人	14人
当日投票者数		44,264人	44,261人
総投票者数		66,858人	66,858人
当日有権者数		135,059人	135,059人
投票率		49.50%	49.50%

当日投票

投票所	61か所
投票管理者	61人
投票立会人	122人
事務従事者	372人

開　票

	選挙区	比例代表
開　　始	7月21日　午後9時30分	7月21日　午後9時30分
結　　了	7月22日　午前0時20分	7月22日　午前3時55分
開票管理者	1人	
開票立会人	3人	5人
事務従事者	182人	
場　　所	松阪市ハートフルみくもスポーツ文化センター	

選挙公報の配布

7月10日の朝刊（朝日、伊勢、産経、中日、日経、毎日、読売の各新聞）に折り込みによる方法で48,450部配布したほか、市内公共施設に配架。

投票所の借上げ

61投票所のうち11か所については、民間施設を借り上げた。

臨時啓発

啓発チラシを作成し、7月7日の朝刊折り込み等により配布
路線バス、コミュニティバスにバスマスクを掲示
本庁舎、各振興局、マームで懸垂幕掲示
松阪市ホームページに特設サイトを開設
本庁舎、市民病院、コミュニティバスの広告モニターに啓発広告を掲載
広報車巡回による投票参加の呼びかけ
夕刊三重（7月4日付）に啓発広告を掲載
明るい選挙推進協議会と協力し、市内商業施設等で街頭啓発を実施

（款）2総務費　　（項）4選挙費　　（目）4三重県知事選挙費　　（単位　円）

事業名	三重県知事選挙費					選挙管理委員会事務局	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
30,902,147		30,900,449		1,698			11,424,053

平成31年4月20日任期満了による三重県知事選挙

告示日：3月21日　　選挙期日（投票日）：4月7日
定数：1人　　立候補者：2人
投票所入場券郵送件数：70,875世帯
ポスター掲示場設置数：6区画2段式　358か所

期日前投票・不在者投票（4月1日～4月6日分）

期日前投票は告示日の翌日から投票日の前日まで16日間（3／22～4／6）
期日前投票所：9か所　　開設期間　3／22～4／6　1か所（本庁舎本館）
開設期間　3／30～4／6　5か所（各地域振興局、マーム）
開設期間　4／4～4／6　3か所（飯高管内各出張所）

投票管理者	延45人
投票立会人	延90人
事務従事者（兼務書記）	延136人
事務従事者（応援職員）	延72人
事務従事者（非常勤職員）	延92人

期日前投票者数		9,295人
不在者投票者数		498人
	病院等	469人
	滞在地等	9人
	郵便	20人

投　票

投票所	61か所
投票管理者	61人
投票立会人	122人
事務従事者	320人

当日有権者数	134,475人
総投票者数	50,316人
投票率	37.42%

開　票

開票管理者	1人
開票立会人	3人
事務従事者	118人

開　始	4月7日　午後 9時30分
結　了	4月7日　午後11時15分
場　所	松阪市ハートフルみくもスポーツ文化センター

投票所の借上げ

61投票所のうち11か所については、民間施設を借り上げた。

臨時啓発（4月1日以降実施分）

本庁舎、各振興局、マームで懸垂幕、のぼり旗を設置
松阪市ホームページに特設サイトを開設
ポスターコンクール入賞作品を使った選挙啓発ポスターを作成
広報車巡回による投票参加の呼びかけ

(款) 2総務費　　(項) 4選挙費　　(目) 5三重県議会議員選挙費

(単位　円)

事業名	三重県議会議員選挙費				選挙管理委員会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,199,277		5,199,277				4,414,976

平成31年4月29日任期満了による三重県議会議員選挙

告示日：3月29日　　選挙期日(投票日)：4月7日

松阪市選挙区 定数：4人　　立候補者：4人　　⇒ 無投票

投票所入場券郵送件数：70,875世帯

ポスター掲示場設置数：8区画2段式　358か所

(款) 2総務費　　(項) 4選挙費　　(目) 6市長選挙費

(単位　円)

事業名	市長選挙費				選挙管理委員会事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
41,237,517				3,192	41,234,325	―

令和元年10月3日任期満了による市長選挙

告示日：9月1日　　選挙期日（投票日）：9月8日

定数：1人　　立候補者：2人

ポスター掲示場設置数：6区画2段式　358か所

期日前投票・不在者投票

期日前投票は告示日の翌日から投票日の前日まで6日間（9／2～9／7）

期日前投票所：9か所　　開設期間　9／2～9／7　　6か所（本庁舎、各地域振興局、マーム）

開設期間　9／5～9／7　　3か所（飯高管内各出張所）

投票管理者	延45人
投票立会人	延90人
事務従事者（兼務書記）	延120人
事務従事者（応援職員）	延72人
事務従事者（非常勤職員）	延82人

期日前投票者数		15,781人
不在者投票者数		489人
	病院等	470人
	滞在地等	5人
	郵便	14人

投　票

投票所	61か所
投票管理者	61人
投票立会人	123人
事務従事者	319人

当日有権者数	134,010人
総投票者数	51,298人
投票率	38.28%

開　票

選挙長	1人
選挙立会人	3人
事務従事者	117人

開 始	9月8日　午後 9時30分
結 了	9月8日　午後10時55分
場 所	松阪市ハートフルみくもスポーツ文化センター

選挙公報の配布

9月4日の朝刊（朝日、伊勢、産経、中日、日経、毎日、読売の各新聞）に折り込みによる方法で46,950部配布したほか、市内公共施設に配架。

投票所の借上げ

61投票所のうち11か所については、民間施設を借り上げた。

臨時啓発

啓発標語を公募し、68作品の中から「この票が令和市政の第一歩」を選定

啓発チラシを作成し、8月25日の朝刊折り込み等により配布

三重交通路線バスにバスマスクを掲示

本庁舎本館、各地域振興局、マームで懸垂幕掲示

松阪市ホームページに特設サイトを開設
本庁舎、市民病院、コミュニティバスの広告モニターに啓発広告を掲載
広報車巡回による投票参加の呼びかけ（啓発音声は松阪高校と三重高校の放送部に依頼し録音）
夕刊三重（8月31日付）、ふぁみんぐ（9月号）に投票日等の周知啓発広告を掲載
啓発のぼり旗を作製し、市施設周辺等に掲出
明るい選挙推進協議会と協力し、市内商業施設等で街頭啓発を実施

（款）2総務費　　（項）5統計調査費　　（目）1統計調査総務費

（単位　円）

事業名	統計調査一般経費				経営企画課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,811,583				6,674	3,804,909	747,371

統計調査一般経費　3,811,583円

統計調査業務にかかる統計調査交付金の交付対象外となる経費

（款）2総務費　　（項）5統計調査費　　（目）2基幹統計調査費

（単位　円）

事業名	各種基幹統計調査事業費				経営企画課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
18,558,304		18,558,304				9,769,857

各統計調査別経費内訳

調査名等	事業費	成　　果
三重県人口推計調査	248,000	＜概要＞　国及び県の人口を推計するため、松阪市の人口・世帯数を県に報告した。 ＜期日＞　毎月末日
学校基本調査 〔文部科学省所管〕	30,000	＜概要＞　学校基本調査は昭和23年から実施されており、学校に関する基本事項（在学者数、教職員数、学校施設等）を調査し、教育行政上の基礎資料を得ることを目的に実施した。 ＜期日＞　令和元年5月1日〔毎年実施〕 ＜内訳＞　学校教育法に定める学校　81校 ＜方法＞　郵送又はインターネット調査
経済センサス 調査区設定 〔総務省所管〕	28,000	＜概要＞　平成26年経済センサス基礎調査において設定した調査区について、必要な修正を行うことにより、事業所及び企業を対象とする各種統計調査の共通フレームとして調査の重複・脱漏を防ぐとともに、調査結果の精度向上を図った。 ＜期日＞　令和元年6月1日 ＜内訳＞　調査区数　513 調査区
2019年工業統計調査 〔経済産業省所管〕	872,000	＜概要＞　工業統計調査は、明治42年から実施されており、我が国の工業の実態を明らかにし、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となり、また、我が国の経済統計体系の根幹を成し、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種の経済指標へデータを提供することを目的として調査を実施した。 ＜期日＞　令和元年6月1日〔毎年調査〕 ＜内訳＞　調査区数　513 調査区 事業所数　567事業所 甲　調査（従業者数30人以上）　88事業所 乙1　調査（従業者数4人～29人）　233事業所 乙2　調査（従業者数3人以下）　246事業所 ＜方法＞　指導員2人　調査員31人

2019年度経済センサス -基礎調査 〔総務省所管〕	1,825,000	＜概要＞　経済センサス-基礎調査は、我が国のすべての産業分野における事業所の活動状態等の基本的構造を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の母集団情報を整備することを目的として実施した。 ＜期日＞　令和元年6月1日から令和2年3月31日まで〔5年毎〕 ＜内訳＞　調査区数　513調査区 調査対象　8,105事業所 ＜方法＞　調査員　第1期～第5期　延20人（各期4人）
2019年全国家計構造調査 〔総務省所管〕	3,050,000	＜概要＞　全国家計構造調査は、家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的として実施した。 ＜期日＞　令和元年10月及び11月の2か月〔5年毎〕 ＜内訳＞　調査区数　15 調査区（松阪市全体1,515調査区） ＜方法＞　指導員5人　調査員　10人
国勢調査調査区設定 〔総務省所管〕	763,000	＜概要＞　令和2年10月1日現在で実施する国勢調査について、国勢調査員の担当区域を明確にし、調査の重複・漏洩を防ぎ、もって調査の正確性を期することを目的として、調査区の設定を行った。 ＜内訳＞　調査区数　1,587調査区
経済センサス-活動調査 試験調査 〔総務省・経済産業省所管〕	450,304	＜概要＞　前回調査より見直しを行う調査事項、調査書類及び調査事務について、国が指定する8都県16市区において実施検証を行い、令和3年の「経済センサス-活動調査」の実施計画策定に必要な基礎資料を得ることを目的に実施した。 ＜期日＞　令和元年10月1日〔5年毎〕 ＜内訳＞　調査区数　30 調査区（松阪市全体513調査区） ＜方法＞　調査員　4人
2020年農林業センサス 〔農林水産省所管〕	11,292,000	＜概要＞　農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握することを目的として実施した。 ＜期日＞　令和2年2月1日〔5年毎〕 ＜内訳＞　調査区数　420 調査区 ＜方法＞　指導員　39人　調査員　410人
計	18,558,304	

(款）2総務費　　（項）6監査委員費　　（目）1監査委員費

（単位　円）

事業名	監査委員活動事業費					監査委員事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,200,291					7,200,291	7,392,891

識見監査委員（代表）1人　3,000,000円
識見監査委員　1人　2,400,000円
議選監査委員　1人　695,999円
旅費　280,940円
工事技術調査委託料　95,590円
全国都市監査委員会会費　37,000円
東海地区都市監査委員会会費　7,000円
三重県都市監査委員会会費　2,900円
消耗品費、研修会参加負担金　ほか

監査委員による監査等の実施状況

区　分	部　署　等	時　期
例月現金出納検査	会計管理課、上下水道部、市民病院	毎月
決算審査	一般・特別会計	元年 7月17日～ 元年 8月14日
	水道・公共下水道・病院事業会計	元年 6月 1日～ 元年 8月14日
基金運用状況審査	松阪市土地開発基金	元年 7月17日～ 元年 8月14日
財政健全化審査	一般・特別・企業会計、一部事務組合等	元年 8月 9日～ 元年 8月14日
経営健全化審査	水道・公共下水道・病院事業会計	元年 6月17日～ 元年 8月14日
	簡易水道・戸別合併処理浄化槽整備・農業集落排水事業特別会計	元年 8月 9日～ 元年 8月14日
定期監査（1次）	全課、局、出先機関等	元年 6月19日～ 元年11月18日
定期監査（2次）	保育園、幼稚園、小・中学校（21か所）	2年 1月 9日～ 2年 2月 3日
随時監査	工事　2件	元年11月14日 元年11月15日
財政援助団体等に対する監査	補助金・出資団体及び公の施設の指定管理者　4件	元年12月18日 元年12月19日
住民監査請求	5件	31年 4月15日～ 31年 4月22日（却下）
		元年11月29日～ 元年12月10日（却下）
		2年 1月10日～ 2年 1月20日（却下）
		2年 1月10日～ 2年 1月20日（却下）
		2年 1月10日～ 2年 1月20日（却下）

(款）3民生費　　（項）1社会福祉費　　（目）1社会福祉総務費

（単位　円）

事業名	社会福祉協議会補助金					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
213,016,645				299,747	212,716,898	208,703,000

住民の社会福祉に関する関心と理解を深め、地域住民の参加と協力を得て福祉活動を積極的に実践するため、地域福祉活動の中核となる松阪市社会福祉協議会に対し補助金を交付した。

内訳	金額	実績・効果
運営費補助	179,887,645	職員34人分（実人数）の人件費
社会福祉大会補助	1,802,000	第15回松阪市社会福祉大会・福祉フェスティバル 令和元年12月15日（日） 松阪市嬉野ふるさと会館 大会参加者：約800人 社会福祉功労者の顕彰（個人80人・法人等44団体）と、記念講演会を実施し、社会福祉事業の推進を図った。
ボランティア事業補助	6,800,000	ボランティア活動の体制整備と地域における福祉コミュニティの形成を図った。
地域福祉活動計画事業費補助	16,379,000	総合相談事業（心配ごと相談・法律相談）の充実と地区福祉会活動の推進を図った。
社会福祉センター運営費補助	8,148,000	当施設は社会福祉事業の充実と地域福祉の向上を図っており、施設の維持管理・運営は全て社協が担った。

事業名	保護司会補助金					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,623,000					1,623,000	1,295,000

松阪保護司会の実施している犯罪予防活動の推進、研修会への参加、街頭指導、社会を明るくする運動等の経費に対し補助金を交付した。

事業名	遺族会補助金					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,123,200					1,123,200	1,119,600

松阪市遺族会連合会の実施している戦没者遺族の福祉の向上、戦没者遺族の相談、援護活動等の経費に対し補助金を交付した。（遺族会会員：1,996人）

事業名	厚生団体補助金					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
45,000					45,000	45,000

母親の立場から様々な問題の解決に向け取り組む母親運動を推進し、記念講演を行う松阪地区母親大会実行委員会に対し、補助金を交付した。

第60回松阪地区母親大会　令和元年10月20日（日）
花岡地区市民センター（参加者　約100人）

事業名	民生委員児童委員協議会連合会活動費補助金					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,542,000					5,542,000	5,259,000

民生委員・児童委員の資質の向上を図るための各種研修会や諸活動に関する松阪市民生委員児童委員協議会連合会の経費に対して、補助金を交付した。

（民生委員・児童委員定数：R1.11まで 387人　R1.12から 388人）

事業名	民生委員児童委員一斉改選事業費					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
584,902					584,902	―

3年ごとの民生委員・児童委員の一斉改選（改選前任期：H28.12～R1.11　改選後任期：R1.12～R4.11）に伴う新任民生委員・児童委員委嘱式及び退任慰労式等を実施した。

日時　　令和元年12月2日（月）13：00～
場所　　農業屋コミュニティ文化センター
参加者　　新任及び退任民生委員・児童委員　約500人

事業名	社会福祉統計調査事業費					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
409,718		409,086			632	―

厚生労働省より三重県を通じて調査区に選定されたことから、社会福祉統計調査（国民生活基礎調査、家庭の生活実態及び生活意識に関する調査）を実施した。

事業名	戦没者追悼式事業費					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
770,720					770,720	770,908

松阪市内の戦没者及び戦災死没者の冥福を祈り、平和を祈念する意識を高めるため、松阪市戦没者追悼式を開催した。

日時　　令和元年10月31日（木）10：00～11：00
場所　　クラギ文化ホール
参加者　　松阪市遺族会連合会関係者及び来賓　約600人

事業名	中国残留邦人等生活支援給付事業費					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,406,883	4,298,000				2,108,883	5,364,341

永住帰国した中国残留邦人等に対して、老後の生活安定のため老齢基礎年金の満額支給を実施することとし、満額の老齢年金を受給してもなお生活の安定が十分に図れない者に対して、老齢基礎年金制度による対応を補完する生活支援を行った。また、中国残留邦人等に理解が深く、中国語のできる支援・相談員1人を配置した。

支援給付の状況　　R2.3.31現在

被支援給付世帯数		2世帯
	世帯員数	3人

区分	生活支援給付	2,236,333円
	住宅支援給付	1,218,430円
	医療支援給付	2,712,144円
	介護支援給付	110,632円
計		6,277,539円

支援・相談員相談件数　48回

事業名	社会福祉法人指導監査等事業費					地域福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
730,933					730,933		619,121

主たる事務所が松阪市内にあり、松阪市内のみでその事業を実施する社会福祉法人にあっては、権限移譲により松阪市が所轄庁となった。これに伴って社会福祉法人（所轄法人 26法人）の定款変更等の届出の受理や法人運営及び会計経理に対する指導監査、その他運営に関する助言等を行った。

・定款変更認可　　15件
・指導監査　　9法人で実施
　法人運営における指摘（文書指摘　10件、口頭指摘　28件、助言　9件）
　会計経理における指摘（文書指摘　14件、口頭指摘　28件、助言　4件）

事業名	地区民生委員児童委員協議会補助金					地域福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
9,705,846					9,705,846		9,780,830

民生委員・児童委員の活動強化のための各種研修会、諸活動に関する松阪市地区民生委員児童委員協議会（13地区）の経費に対して、補助金を交付した。

事業名	飯南ふれあいセンター管理事業費					高齢者支援課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
11,996,385				351,100	11,645,285		10,300,227

飯南高齢者・障害者福祉施設ふれあいセンターを指定管理者制度により松阪市社会福祉協議会に管理委託をし、高齢者・障がい者及び住民の福祉の増進を図った。

指定管理者に係る委託料　10,756,685円　ほか

事業名	生活困窮者自立相談支援事業費					地域福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
16,356,246	12,555,660				3,800,586		16,430,881

生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、自立促進を図る目的で、就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のための自立支援計画作成及び各種支援の包括的実施のための関係機関との連絡調整を行った。

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会へ業務委託　委託料　15,801,000円　ほか
・新規相談受付件数　360件（人）
・継続相談受付件数　2,834件、継続相談対象人数　574人
・プラン作成件数　70件
・就労支援対象者数　23人

事業名	生活困窮者住居確保給付金支給事業費					地域福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
520,200	520,200						352,000

就労能力や就労意欲はあるにもかかわらず、離職等により経済的に困窮し、住居を失っている方又は失うおそれのある方を対象とし、申請日において65歳未満であって、かつ、離職等の日から2年以内で、収入額が一定水準以下の者に対して賃貸住宅の家賃3か月分の支援給付を行った。

相談件数　56件、申請件数　8件、支給決定件数　8件

事業名	生活困窮者家計改善支援事業費					地域福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,148,960	3,471,000				1,677,960		5,150,000

家計収支の均衡が取れていないなど、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者とともに家計計画表等を用いて家計の「見える化」を図り、「家計再生プラン」を作成し、改善支援を提案した。

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会へ業務委託　委託料　5,130,000円　ほか

家計改善支援事業相談対応件数　1,206件

家計再生プラン作成件数　44件

事業名	生活困窮者就労準備支援事業費					地域福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,866,998	3,963,000				1,903,998		5,895,240

生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、勤労意欲が低下している等の理由で就労にむけた準備が整っていない相談者に対して、相談者の抱える課題や支援の目標、具体的内容を記載した就労準備支援プログラムを作成し、日常生活自立、社会自立、就労自立に関する支援を相談者の状況に応じて行った。

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会へ業務委託　委託料　5,866,998円

就労準備支援事業相談対応件数　167件

就労準備支援プログラム作成件数　9件

事業名	生活困窮世帯学習支援事業費					地域福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,158,073	2,342,000				816,073		3,252,821

生活保護および就学援助受給世帯の小学6年から中学3年の希望する子どもたちを対象に、学習の場を設け、基礎学力の向上を図るため、学習支援員が寄り添った学習支援を行った。

令和元年7月より2か所目の教室を嬉野地域振興局に開校した。

開催数　福祉会館44回、嬉野地域振興局25回

利用登録者数76人、延参加者数1,274人

事業名	社会福祉費国県支出金返還金					地域福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,802,613					1,802,613		1,382,056

平成30年度中国残留邦人等生活支援給付費負担金（医療支援給付費及び介護支援給付費分）の精算に伴う返還金　403,293円

平成30年度生活困窮者自立相談支援事業費等負担金の精算に伴う返還金　899,320円

平成30年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金の精算に伴う返還金　500,000円

事業名	社会福祉一般経費					地域福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,137,016		38,000		5,367	3,093,649		2,902,894

社会福祉に関する取り組み等に対する一般経費

決算額内訳

報酬　42,000円、共済費　289,073円、賃金　1,790,646円、報償費　43,000円、
旅費　89,004円、需用費　632,844円、役務費　177,529円、使用料及び賃借料　4,020円、
負担金、補助及び交付金　68,900円

令和元年度の主な内容

①施設のバリアフリー化推進のための現地確認を行った。
　調査施設：松阪市福祉会館、松阪市総合運動公園スケートパーク前トイレ
②三重県単位民生委員児童委員協議会会長研修会への参加
③松阪市民生委員推薦会委員報酬

事業名	国民健康保険事業特別会計繰出金					保険年金課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,514,979,455	162,308,022	518,230,318			834,441,115		1,557,194,630

国保会計での一般会計繰入金の種類	決算額
保険基盤安定繰入金	907,384,455
出産育児金等繰入金	40,320,000
財政安定化支援繰入金	240,837,000
人件費等繰入金	326,438,000
計	1,514,979,455

(款) 3民生費　　(項) 1社会福祉費　　(目) 2障がい者福祉費

（単位　円）

事業名	重度障がい者外出支援事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
20,985,355					20,985,355		21,916,624

重度心身障がい者の外出を支援するため、自動車燃料費の一部、タクシー料金の一部及び福祉タクシー料金の一部を助成した。

自動車燃料費助成　利用者：397人
タクシー料金助成　利用者：565人
福祉タクシー料金助成　利用者：76人

［平成30年度の重度身体障がい者自動車燃料費助成事業費10,071,494円を統合］
［平成30年度の重度心身障がい者タクシー料金助成事業費9,371,870円を統合］
［平成30年度の重度身体障がい者福祉タクシー料金助成事業費2,473,260円を統合］

事業名	障がい者ケア事業費				障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
364,200					364,200	364,200

障がい者の相談に応じて必要な援助を行う障がい者相談員を委託するとともに、精神障がい者の社会復帰を支援し、自立への意欲向上や円滑な社会生活への移行を推進するため、レクリエーション活動などの集団活動を実施した。なお、緊急一時的に施設入所が必要な事案はなかった。

障がい者相談員設置

身体障がい者相談員：7人（視覚障がい者　1人、聴覚障がい者　1人、肢体不自由者　5人）

知的障がい者相談員：4人

精神障がい者デイケア事業

委託先：社会福祉法人フレンド

実施回数：12回　参加者数：延211人

［平成30年度の障がい者相談員設置事業費211,200円を統合］

［平成30年度の障がい児通所施設等医療的ケア支援事業費0円を統合］

［平成30年度の精神障がい者デイケア事業費153,000円を統合］

［平成30年度の施設入通所措置事業費0円を統合］

事業名	障がい者団体活動事業費補助金				障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,746,000					1,746,000	1,983,000

障がい者団体の活動事業に対し一部を補助することにより、団体の育成及び障がい者の社会参加の促進を図った。

松阪市身体障害者福祉協会、松阪市障害者団体連合会、松阪市視覚障害者協会、
松阪市ろうあ福祉協会、松阪市肢体不自由児者父母の会、松阪地域家族会まつの会、
松阪市手をつなぐ親の会

事業名	障がい者計画等策定事業費				障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,447,000					3,447,000	―

障がい者計画策定委員会の審議を基に、先行調査として市民アンケートを実施した。

○障がい者計画策定委員会会議：１回開催

○市民アンケート

対象者：　障がい者1,600人、障がい児400人、一般市民1,000人

回収　：　障がい者805人、障がい児178人、一般市民446人

事業名	心身障害者扶養共済掛金助成金				障がい福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						―

三重県心身障害者扶養共済制度加入者の内、共済掛金の一部を助成する低所得者世帯の加入者がいなかった。

事業名	手話普及啓発事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,524,946					1,524,946		1,555,784

「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」に基づき、手話イベントや手話研修会等を開催することにより、手話の普及啓発を図った。

○手話施策推進会議：4回開催

○手話イベント「まちかどミニ手話教室」開催（R1.11.9）

場　所：松阪ショッピングセンター「マーム」

参加者：約200人

内　容：手話普及啓発ポスター表彰式、手話クイズ、スタンプラリー等

○「手話で話そう」講座開催

○企業等手話研修：4回

事業名	障がい者福祉給付事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
974,040					974,040		815,160

障がい者の日常生活の便宜を図るため、65歳未満の重度障がい者（児）に対して紙オムツを給付した。また、ひとり暮らし障がい者の緊急時に適切な対応を図ることができるよう緊急通報装置を貸与した。なお、小児慢性特定疾患児日常生活用具については、給付の申請がなかった。

障がい者紙オムツ給付対象者：27人

緊急通報装置貸与者数：3人

［平成30年度の緊急通報装置貸与事業費98,280円を統合］

［平成30年度の重度障がい者（児）紙オムツ給付事業費716,880円を統合］

［平成30年度の小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業費0円を統合］

事業名	特別障害者手当等給付事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
70,201,380	52,423,035				17,778,345		73,313,890

20歳以上の著しく重度の障がいの状態にあり、日常生活において常時特別の介護を必要とする障がい者等に対して特別障害者手当等を支給した。

特別障害者手当　　月額：27,200円　受給者数：225人

福祉手当（経過措置）　月額：14,790円　受給者数：2人

［平成30年度の給付事務費382,000円を統合］

事業名	障害者グループホーム等施設整備費補助金					障がい福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
15,000,000		7,500,000			7,500,000		—

障がい者が地域において自立した生活を送ることができる場を確保するため、社会福祉法人等が本市に設置するグループホームの整備に要する費用の一部を補助した。

対象団体　1団体

事業名	障がい者福祉一般経費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
27,598,073	844,000	37,000		288,507	26,428,566	22,137,056

障がい者福祉業務全般に係る一般事務経費
非常勤職員賃金、手数料、共済費 ほか

(款) 3民生費　　(項) 1社会福祉費　　(目) 3障害者総合支援費

(単位　円)

事業名	介護給付費等給付事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,556,474,080	1,726,725,835	937,549,917			892,198,328	3,339,645,314

障がい者（児）が自立した日常生活を営むことができるよう、介護等が必要な障がい者に対して介護給付費を、訓練等が必要な障がい者に対して訓練等給付費を支給した。

	＜利用者数＞	＜延利用件数＞	＜給付費＞
介護給付費			
居宅介護	433人	5,059件	471,947,831円
重度訪問介護	9人	113件	147,287,792円
同行援護	38人	457件	27,472,379円
行動援護	19人	204件	12,372,655円
療養介護	26人	310件	81,485,290円
生活介護	462人	5,851件	1,282,338,969円
短期入所	157人	1,151件	74,142,301円
施設入所支援	177人	2,064件	320,072,794円
訓練等給付費			
共同生活援助	150人	1,622件	245,616,202円
自立訓練（機能訓練）	5人	25件	3,703,273円
自立訓練（生活訓練）	20人	119件	9,931,125円
宿泊型自立訓練	18人	120件	15,236,489円
就労移行支援	49人	279件	40,117,031円
就労継続支援（A型）	166人	1,570件	213,967,876円
就労継続支援（B型）	445人	4,540件	505,849,354円
就労定着支援	1人	12件	389,896円
特定障害者特別給付費	298人	3,407件	38,948,872円
相談支援	1,340人	3,717件	60,512,455円
高額障害福祉サービス等給付費	27人	150件	1,467,501円

［平成30年度の介護給付事業費2,400,447,138円を統合］
［平成30年度の訓練等給付事業費939,198,176円を統合］

事業名	自立支援医療費給付事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
217,949,732	118,500,000	59,250,000			40,199,732	220,290,308

障がいを除去、軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる障がい者又は障がい児に対して提供される医療費の一部を助成した。また、常時介護を必要とする障がい者の病院において行われる療養上の看護、医学的介護等のうち医療に係る療養介護医療費を支給した。

更生医療　　受給者数　147人
育成医療　　受給者数　75人
療養介護医療　延べ給付件数　366件

事業名	障害者補装具費給付事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
22,698,740	15,132,494	7,566,246				38,973,867

障がい者（児）が日常生活を円滑に送ることができるよう、身体機能を補うための補装具費（義肢・装具・補聴器等）を支給した。

購入交付件数　221件

修理交付件数　115件

事業名	障害者日常生活用具給付等事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
37,663,979	11,411,000	5,706,000			20,546,979	44,872,175

障がい者（児）の日常生活の便宜を図るため、自立生活支援用具等の日常生活用具を給付した。

用具：特殊寝台、特殊便器、入浴補助用具、ストーマ用具など

給付件数　3,620件

事業名	障害者日常生活支援事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
90,733,101	24,924,000	12,461,000			53,348,101	84,166,425

日常的に介護を行っている家族の一時的な休息の確保を図るため、障がい者（児）が日中活動できる場を提供する日中一時支援事業を実施するとともに、障がい者の社会参加を促進するため、体育レクリエーション事業の開催や、自動車運転免許取得費、自動車改造費等の一部を助成した。また、障がい者の自立生活の推進のため、機能訓練、生活訓練等を行った。

日中一時支援　利用者数：337人　延べ利用回数：39,331回

知的障がい者(児）体育レクリエーション事業　参加者　200人

声の広報発行事業　12回（毎月発行）

自動車改造費助成　2人

重度身体障がい者生活訓練事業　22回　参加者：延145人

知的障がい者（児）生活訓練事業　4回　参加者：延318人

視覚障がい者生活訓練事業　対象者：30人　訓練：465回

障がい者訪問入浴サービス　利用者数：8人　利用回数：785回

職親委託　5事業所　利用者数：6人

［平成30年度の障害者日中一時支援事業費64,345,262円を統合］

［平成30年度の障害者社会参加促進事業費1,445,000円を統合］

［平成30年度の生活訓練等支援事業費7,613,440円を統合］

［平成30年度の在宅身体障がい者訪問入浴サービス事業費8,602,723円を統合］

［平成30年度の職親委託措置事業費2,160,000円を統合］

事業名	移動支援事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
73,431,884	25,573,000	12,787,000			35,071,884	81,946,169

地域における自立生活及び社会参加を促進するため、屋外での単独移動が困難な障がい者（児）に対し、外出のための支援を行った。

利用者数　339人

延べ利用時間　25,841時間

事業名	地域活動相談支援事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
37,915,679	1,382,000	690,000			35,843,679		38,415,127

障がい者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がい者、障がい児の保護者等からの相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のための必要な援助など総合的な相談支援の提供を行った。

相談支援事業

委託先：社会福祉法人　愛恵会

相談支援員：11人（管理者含む）　　相談実績：5,416人

地域活動支援センター事業

委託先：社会福祉法人　愛恵会

精神デイケア・社会参加活動等　延べ利用人数：356人

［平成30年度の障害者相談支援事業費29,415,127円を統合］

［平成30年度の地域活動支援センター事業費9,000,000円を統合］

事業名	意思疎通支援事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
13,163,173	3,228,000	1,614,000		21,293	8,299,880		11,067,098

聴覚及び音声言語障がい者に対し、手話通訳者、要約筆記者を派遣することにより円滑な生活の支援を行った。また、障がい福祉課に手話通訳ができる職員を3人配置し、聴覚及び音声言語障がい者の来庁時の手話通訳等を行った。さらに、通訳者への研修を実施し、より円滑な意思疎通ができるよう技術の向上を図った。

派遣人数：延325人　　派遣時間：延965時間25分

うち、設置通訳者通訳人数：延256人　対応時間：延717時間40分

事業名	福祉ホーム運営事業費補助金					障がい福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
319,200	78,000	39,000			202,200		319,200

在宅での生活が困難な身体障がい者に対し、福祉ホームの利用に係る経済的負担を軽減することにより、地域で自立した生活を送るための支援を行った。

利用人数：1人

事業名	障害者総合支援認定審査事業費					障がい福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
11,167,309				1,192,538	9,974,771		12,051,178

松阪市介護給付費等の支給に関する審査会を開催し、障害福祉サービスを利用するための障害支援区分などの審査判定業務を行った。

審査会委員：20人

審査会開催数：23回　審査件数：560件

事業名	自立支援協議会事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
241,746					241,746	865,613

障がい者への支援体制を整備するため、関係機関、障がい者団体、福祉、医療、教育、雇用に関連する従事者等により構成する自立支援協議会を開催し、相互連携、情報共有を図った。また、松阪市障がい者差別解消支援地域協議会を設置し、障がいを理由とする差別の解消に向け、関係機関の相互連携を図った。

・松阪市障害者地域自立支援協議会
　協議会委員　19人
　協議会全体会議　1回　　個別ワーキングチーム会議等　2回
　障害福祉サービス事業者研修会　1回
・松阪市障がい者差別解消支援地域協議会
　協議会委員　17人　　協議会会議　1回

(款）3民生費　　(項）1社会福祉費　　(目）4障がい者医療費

（単位　円）

事業名	医療費助成事業費					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
431,015,312		188,727,998		214,956	242,072,358	434,100,235

身体障害者手帳1～3級の認定者、療育手帳A1・A2・B1の認定者、判定機関で知的障害者と判定された方のうち知能指数50以下の方、精神障害者保健福祉手帳1級の認定者を対象（所得制限あり）に医療費の助成（精神障害者保健福祉手帳1級の方は通院分のみ）を行った。

また、平成31年4月診療分から未就学児に対して現物給付・一部現物給付を実施した。

区　　分	65歳未満	（内）未就学児 ※1		65歳以上※2
		現物給付	一部現物給付	
医療費助成金（証明手数料含）	226,935,211円	144,410円	114,270円	198,589,805円
助成件数	44,454件	75件	48件	65,590件
受給者数の月平均	2,046人	9人	5人	2,318人
年間1人当たりの医療費助成金	110,917円	16,046円	22,854円	85,673円
1件当たりの医療費助成金	5,105円	1,925円	2,381円	3,028円
その他事務経費	5,490,296円			

※1 未就学児については、平成31年4月診療分（6月決定）から令和2年1月診療分（3月決定）までの10か月分の実績。

※2「高齢者の医療の確保に関する法律」による被保険者。

(款）3民生費　　(項）1社会福祉費　　(目）5障害者福祉センター費

（単位　円）

事業名	障害者福祉センター管理運営事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,058,681				611,242	4,447,439	5,157,931

障害者福祉センターの建物等の維持管理経費
　光熱水費：1,292,899円、通信運搬費：166,901円、エレベーター等の保守管理委託料：2,611,276円、送迎車借上料等：392,918円、外構コンクリート塀修繕料：287,655円　ほか

貸館業務：334件　延3,223人

事業名	障害者福祉センター活動事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,984,346	3,322,000	1,661,000		102,271	6,899,075	9,861,562

通所する障がい者の生きがいを高め、社会参加の促進を図るため、創作的活動や社会適応訓練を行った。また、障がい者の身体機能及び生活能力の維持向上を図るため、機能（回復）訓練を行った。

障がい者社会参加促進事業	172回	延1,768人
送迎事業	610回	延1,499人
障がい者等機能訓練事業	46回	延216人
送迎事業	80回	延150人

［平成30年度の障害者福祉センター創作活動等事業費9,099,285円を統合］
［平成30年度の障害者福祉センター機能訓練事業費762,277円を統合］

（款）3民生費　　（項）1社会福祉費　　（目）6福祉会館費

（単位　円）

事業名	福祉会館管理運営事業費					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,763,896				678,658	9,085,238	8,730,596

社会福祉に奉仕しようとする団体等の活動、研修のための会場を提供した。

利用状況

利用団体	利用回数	利用人数
各種福祉団体等関係	74回	982人
ボランティア関係	400回	5,830人
社会福祉協議会関係	604回	6,307人
行政関係	205回	5,424人
調理グループ関係	102回	1,340人
その他	6回	145人
計	1,391回	20,028人

事業名	新福祉会館施設整備事業費					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
98,252,240				69,437,812	28,814,428	393,831,683

旧福祉会館解体他工事及び駐車場整備工事を行った。

松阪市旧福祉会館解体他工事	70,197,840円
松阪市福祉会館跡地駐車場整備工事	28,054,400円

(款）3民生費　　（項）1社会福祉費　　（目）7隣保館費

（単位　円）

事業名	隣保館管理運営事業費				地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
25,843,312		13,840,000		539,078	11,464,234	26,834,104

社会福祉の向上及び人権問題の解決を図るための拠点施設としての役割に加え、地域に密着したコミュニティセンターとしての役割を果たすため、利用促進を図るとともに、良好な施設環境の維持に努めることができた。

隣保館運営委員数（令和2年3月末現在）

第一隣保館　　12人
第二隣保館　　17人
中原文化センター　　10人

運営委員会等の開催状況

会議の名称等	回数等	人数（延）	事業費
第一隣保館運営委員会	4回	44人	308,000
第一隣保館運営委員視察研修（職員含む） 視察先：　満蒙開拓平和祈念館、戦没画学生慰霊無言館、人権センターながの（長野県）	R1.9.28 ～9.29	9人	451,078
第二隣保館運営委員会	7回	117人	819,000
第二隣保館地区代表者会議	8回	39人	273,000
第二隣保館運営委員視察研修（職員含む） 視察先：　高松市香川県立ミュージアム（香川県） 徳島市あいぽーと徳島（徳島県） 堺市舳松人権歴史館（大阪府）	R1.10.26 ～10.27	14人	685,967
中原文化センター運営委員会	2回	20人	140,000
中原文化センター運営委員視察研修（職員含む） 視察先：　学校法人「ねむの木学園」（静岡県）	R1.11.23	11人	197,878
松阪市隣保館合同運営委員会	1回	25人	175,000

隣保館利用状況等

施設の名称	利用者数	年間開館日数	一日平均利用者数
第一隣保館	21,163人	240日	88.2人
第二隣保館	12,379人	240日	51.6人
中原文化センター	10,138人	240日	42.3人

決算額内訳

報酬　2,009,000円、共済費　925,916円、賃金　7,061,232円、旅費　390,000円、
需用費　5,915,798円、役務費　402,813円、委託料　6,479,909円、
使用料及び賃借料　2,394,644円、負担金、補助及び交付金　264,000円

事業名	隣保館施設整備事業費				地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,553,000		10,337,000			4,216,000	14,031,360

中原文化センタートイレ内装改修他工事　14,553,000円

事業名	隣保館事業費					地域福祉課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
8,012,012		4,384,000			3,628,012		7,964,590

市民の社会福祉の向上及び人権問題の解決を図るための拠点施設として、また、地域に密着したコミュニティセンターとして隣保館が機能するため、地域住民を代表する運営委員と連携し、地域住民の生活や人権に関する課題の解決を図るための事業に取り組むことができた。

自立支援に関する事業　　269,673 円

（相談事業）

第一隣保館

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
法律相談	弁護士による相談	2回	4人	30,000
健康相談	健康相談、血圧測定、尿検査等	92回	682人	－
就職相談	ハローワーク職員による就職相談	3回	3人	－
計			689人	30,000

第二隣保館

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
法律相談	弁護士による相談	2回	2人	30,000
健康相談	健康相談、血圧測定、尿検査等	90回	679人	－
計			681人	30,000

（健康管理）

第一隣保館

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
健康機器利用	スカイウェル、マッサージ機の利用促進	240日	8,556人	－
健康講座	日常の健康管理に関する講座の開設	2回	21人	－
保健だより	健康管理等に関する啓発	12回	1,350部	－
おひなさまめぐりウォーキング	地域住民の健康増進と教養を深めるため、二見浦周辺の散策	1回	28人	19,419
計			8,605人	19,419

第二隣保館

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
健康機器利用	スカイウェル、マッサージ機の利用促進	240日	6,364人	－
保健だより	健康管理等に関する啓発（1,250部／月）	12回	1,250部	－
計			6,364人	0

（高齢者福祉事業）

第一隣保館

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
健康講座	高齢者の日常の健康管理等に関する講座の開設	6回	106人	3,895
ふれあい交流会	園児及び児童と高齢者の交流及び生きがいづくりの実施	1回	50人	86,591
ふれあいの集い	隣保館講座の発表や講演会などによる高齢者の交流等（新型コロナによる中止）	中止	－	5,685
計			156人	96,171

第二隣保館

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
介護予防教室	介護予防並びに健康維持などに資するため、包括支援センターの協力で体験型の健康教室を開催し、高齢者の自立を支援	4回	45人	0
高齢者福祉講座	健康体操や講話を開催し、健康の維持・増進について学ぶ場と地域住民の交流を深める場を創出	1回	52人	80,083
計			97人	80,083

中原文化センター

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
いきいき講座	地域の高齢者の交流を目的に、健康や諸問題について講座を開催	4回	106人	14,000
計			106人	14,000

人権問題に関する啓発及び広報事業　　706,133 円

第一隣保館

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
人権学習会	人権問題に対する意識の高揚を図るために人権学習会、講演会を開催	2回	345人	65,000
啓発図書等貸出	人権問題に対する啓発図書、DVDを貸出	毎日	11人	―
隣保館だより	隣保館事業の広報、人権啓発、健康情報等の発信を実施	12回	1,350部	89,353
計			356人	154,353

第二隣保館

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
人権講演会	人権問題に対する意識の高揚を図るための人権講演会等の開催	1回	52人	150,420
隣保館だより	隣保館事業の広報、人権啓発、健康情報等の発信を実施（1,250部/月）	12回	1,250部	29,859
懸垂幕による周知	人権問題に対する意識の高揚を図るための懸垂幕を作成・掲出	1本	―	36,720
のぼり旗による周知	生活困窮者支援の一環として地域のフードバンク団体にのぼり旗を提供し活動を支援	2本	―	9,612
計			52人	226,611

中原文化センター

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
人権啓発映画会	高度経済成長期の中で小さな家族の大きな歴史の物語「焼肉ドラゴン」を上映	1回	124人	224,367
センターだより	センター事業の広報、人権啓発、健康情報等を発信	12回	1,100部	100,802
人権講演会	中原小学校PTAと協力し子ども向け保護者向けに分けインターネットに関する講演を開催	1回	81人	0
計			205人	325,169

地域交流事業　　4,937,515 円

第一隣保館

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
定期講座	生け花講座	41回	162人	287,000
	茶道講座	48回	217人	336,000
	新舞踊講座	38回	135人	266,000
	ゆかいな中国語	48回	321人	336,000
	いきいき体操	81回	1,913人	567,000
特別講座	夏休み親子料理教室等	6回	90人	46,690
地域文化祭	作品展示等	1回	600人	214,802
防災訓練	地域住民とともに災害時の避難及び救助等訓練	1回	48人	35,244
計			3,486人	2,088,736

第二隣保館

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
定期講座	編物教室	48回	598人	336,000
	押花教室	24回	50人	168,000
	ピアノ教室	49回	445人	336,000
	書道教室	44回	282人	308,000
	将棋教室	46回	397人	322,000
	洋裁教室	48回	201人	336,000
特別講座	ハーバリウム作り	1回	10人	10,000
	パソコン講座	2回	16人	7,000
ふれあい文化祭	作品展示等	1回	144人	38,928
紅白歌合戦	カラオケ大会	1回	107人	115,197
計			2,250人	1,977,125

中原文化センター

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
定期講座	華道教室	12回	70人	84,000
	茶道教室	10回	61人	70,000
	編物教室	12回	83人	84,000
	英会話教室	11回	97人	77,000
健康いきがい教室	歌謡教室	24回	260人	168,000
	太極拳教室	24回	156人	168,000
	ヨガ体操教室	24回	274人	168,000
特別講座	ミニ盆栽講座等	7回	70人	49,000
地区文化祭	作品展示等	1回	480人	3,654
計			1,551人	871,654

社会調査及び研究事業　　387,820 円

施設の名称	内　容	回数等	人数	事業費
第一隣保館	全国隣保館連絡協議会「東日本ブロック館長職員研修会」、三重県隣保館連絡協議会「館長・指導職員研修」等への参加	4回	4人	136,280
第二隣保館		4回	4人	116,560
中原文化センター		4回	4人	134,980
計			12人	387,820

教育及び学習に関する事業　　1,318,813 円

第一隣保館

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
土曜クラブ	生活体験等を通じて子どもたちの豊かな心や生きる力を育成	3回	167人	111,870
わくわく教室	基礎学力の向上及び仲間づくり活動の支援を通じて健全育成を促進	10回	128人	7,000
子ども習字	硬筆、毛筆の習得	42回	480人	294,000
子ども英語	英語に親しむ	43回	214人	301,000
計			989人	713,870

第二隣保館

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
集中学習会	児童生徒の学力保障の支援の場として、学校が主体となり放課後に隣保館を利用して学習会を実施	60回	343人	―
わくわく塾（仲間づくり事業）	子どもたちの“気持ちや心”の育ちに必要な支援を地域社会と学校が連携して実施（社会見学、ふれあい活動等）	3回	165人	350,182
学習支援講座	長期休暇期間における児童の学習会を開催	10回	33人	70,000
計			541人	420,182

中原文化センター

事業の名称	内　容	回数等	人数（延）	事業費
なかよし会	夏休みを活用し、遊びや体験を通じて児童たちの仲間意識を育成	5回	545人	154,499
ふれあい活動	幼稚園児と講座会員をはじめとする地域の方々との交流の場の創出	2回	86人	30,262
計			631人	184,761

広域隣保活動事業　　392,058　円

第一隣保館

事業の名称	内容	回数等	人数（延）	事業費
人権講演会・学習会	隣保館が設置されていない地域において、人権同和問題に対する意識の高揚を図るために人権講演会、学習会を開催	6回	994人	99,000
県外研修	鎌田中学校人権サークルのメンバー及び教員の人権に対する意識の高揚を図るために実施 （視察先） 「水平社博物館」、「生野コリアンタウン」	1回	22人	125,940
施設見学	松阪市リサイクルセンター、松阪市総合運動公園スケートパーク	1回	15人	62,127
ふれ合い交流会	地域の高齢者と三郷保育園児との交流会	1回	39人	20,000
鎌田中学校区人権・同和教育推進協議会総会等	各種事業実施のための事務局打合せ等	22回	118人	84,991
計			1,188人	392,058

決算額内訳

報償費　5,667,420円、旅費　246,620円、需用費　1,143,760円、役務費　19,018円

委託料　16,280円、使用料及び賃借料　775,714円、負担金、補助及び交付金　143,200円

(款) 3民生費　　(項) 1社会福祉費　　(目) 8国民年金事務費

(単位　円)

事業名	国民年金事務事業費					保険年金課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,063,929	8,058,625			5,304		12,336,788

・ 国民年金窓口相談、資格異動事務

被保険者の受給権の相談、資格異動関係の手続き及び年金制度を理解していただくための総合的な業務であり、被保険者が年金制度について理解し将来の生活の保障である年金が受給できるよう慎重かつ丁寧に指導、対応を行った。また平成31年4月から開始された産前産後期間の免除制度の受付を行った。

資格取得	925件	手帳再交付	65件
再 取 得	2,043件	法免該当・消滅	168件
資格喪失	84件	産前産後期間免除	88件
種別変更	449件	その他	238件
口座振替	335件		
前納申出	330件	計	4,725件

・ 年金請求事務

請求者及び届出者から提出される書類や添付書類などの点検を正確、迅速に行うとともに書類不備については適切に指導し、受給権の確保に努めた。また令和元年10月の消費税引き上げに伴う年金生活者支援給付金の受付を行った。

老齢基礎年金	32件	障害状態確認届	94件
障害基礎年金	72件	額改定請求書	3件
遺族基礎年金	1件	年金生活者支援給付金	109件
寡婦年金	1件	受取機関変更届	9件
死亡一時金	18件	住所変更届	14件
死亡届	11件	その他	37件
未支給年金	294件	計	695件

・ 免除制度の促進

経済的理由などで納付が困難な方の年金受給権を確保するため、免除制度は大変重要な役割を占めている。免除制度の内容を広く市民に理解を得るため、窓口での啓発はもちろんのこと、「広報まつさか」などを通じて制度の周知を行い、利用者の拡大を図った。

申 請 免 除	3,286件	法 定 免 除	1,746件
(全額免除)	(2,798件)	学生納付特例	1,713件
(3／4免除)	(236件)	納付猶予	580件
(1／2免除)	(173件)		
(1／4免除)	(79件)	計	7,325件

・ 年金制度の周知

被保険者及び受給者の権利保護を図るためには、制度の内容を周知し理解を得るための広報が必要不可欠であることから、窓口に啓発冊子を設置し、「広報まつさか」には各種手続きの案内について年間7回の記事掲載を行った。
また、法改正による新しい内容についても各関係部署へリーフレットの配布及びポスター掲示を行い、松阪市ホームページに掲載し周知を図った。

(款) 3民生費　　(項) 2老人福祉費　　(目) 1老人福祉総務費

(単位　円)

事業名	後期高齢者医療事業特別会計繰出金					保険年金課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,275,532,402		342,973,051			1,932,559,351	2,284,250,346

広域連合事務費繰出金	57,889,000
健康診査事業費繰出金	26,890,000
保険基盤安定制度繰出金	457,297,402
療養給付費繰出金	1,673,147,000
市特別会計事務費繰出金	60,309,000
計	2,275,532,402

事業名	介護保険事業特別会計繰出金					介護保険課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,737,416,776	59,589,684	29,794,842			2,648,032,250	2,567,316,904

介護給付費繰出金	2,155,055,000
地域支援事業繰出金（介護予防・日常生活支援総合事業）	50,824,000
地域支援事業繰出金（介護予防・日常生活支援総合事業以外）	55,148,000
低所得者保険料軽減繰出金	119,179,000
低所得者保険料軽減過年度分	8,776
職員給与費等繰出金	184,527,000
事務費繰出金	172,675,000
計	2,737,416,776

事業名	介護保険暫定サービス利用者負担助成金					介護保険課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
99,634					99,634	—

介護保険の被保険者で、要介護認定等の新規申請後に暫定サービス計画等に基づく介護サービスを利用した方が訪問調査前に死亡した場合において、暫定サービスに対する保険給付に相当する助成を行った。

暫定サービスの種類
福祉用具貸与（特殊寝台、特殊寝台付属品、床ずれ防止用具、車いす、スロープ）　3人
居宅介護支援費　3件

事業名	高齢者虐待防止緊急一時保護事業費					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						143,000

虐待を受けた等の理由で高齢者を緊急に一時保護する際、資力がない方に対し、施設での宿泊等にかかる費用を負担する事業だが対象者がなかった。

対象者0人　0日間　（委託料　1日　11,000円）

事業名	老人クラブ活動事業補助金					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,351,708		2,951,000			4,400,708	7,935,360

健全で豊かな老後を送るため、社会奉仕活動や生きがいを高める各種活動、健康づくり活動等を行う老人クラブに補助を行った。

交付先　松阪市老人クラブ連合会　　1クラブ
　　単位クラブ　　49クラブ

事業名	社会福祉法人等利用者負担軽減措置事業費					介護保険課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						—

低所得者で生計が困難である方に対して、介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等が利用者負担を軽減した場合に、その負担した額が本来受領すべき利用者負担額の一定割合を超えた部分を社会福祉法人等に対して市が所要の支援を行う事業であるが、対象者はなかった。

事業対象者　0件

事業名	長寿者祝事業費					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,709,266					1,709,266	1,716,790

・ 満100歳になられた高齢者を市長が訪問し、記念品と祝状を贈呈した。（対象者　40人・訪問者　25人）
・ 市内最高齢者を市長が訪問したほか、令和元年9月末時点で満101歳以上の長寿者に記念品と祝状を贈った。（対象者　80人）
・ 令和元年9月1日時点で満80歳以上の高齢者に対し市長からのメッセージ入りの長寿祝はがきを送付した。（対象者　16,004人）

事業名	離島等地域特別加算利用者負担軽減措置事業費					介護保険課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
68,140		67,000			1,140	53,982

離島等地域の訪問系介護サービスの利用には15%相当の加算があることから、利用者負担の一部を軽減することで当該地域外との均衡を図ることができた。

事業対象となる者の人数 39人（うち実際の軽減人数37人）

事業名	福祉有償運送運営協議会事業費					介護保険課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
108,712					108,712	111,332

NPOや社会福祉法人等の法人が、高齢者や障がい者等の公共交通機関を使用して移動することが困難な人を対象に、通院・通所等を目的に有償で行う車両による送迎サービスである「福祉有償運送」の申請事業所の適正について協議するための運営協議会を開催し、運営状況の報告、7事業者の更新登録について協議を行った。

委員　12人　開催実績　2回
報酬　91,000円（7,000円×13人）
更新登録事業者（7事業者）
特定非営利活動法人　ホワイトライフ　　特定非営利活動法人　和親
社会福祉法人　洗心福祉会　　社会福祉法人　愛恵会
社会福祉法人　聖ヨゼフ会松阪　　社会福祉法人　あおば会
社会福祉法人　松阪市社会福祉協議会

事業名	地域敬老事業推進特別交付金					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
16,091,000					16,091,000	16,015,000

高齢者を敬うための住民協議会の活動を支援し、住民協議会の活動の活性化及び運営の安定化を図ることを目的として交付金を交付した。

交付先　43地区住民協議会

事業名	高齢者等活力推進事業費					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,290,396					7,290,396	6,583,583

介護予防・健康増進を目的として活動する団体の活動や、高齢者の社会参画を推進することを目的とした「お元気応援ポイント事業」を実施した。

登録団体数　576団体（令和2年3月31日現在）

事業名	老人福祉費国県支出金返還金					介護保険課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
269,000					269,000	136,000

平成30年度　精算返還金

国庫支出金	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金返還金	
	認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業（社会福祉法人むつみ福祉会）	130,000円
県支出金	ホームヘルプ等利用者負担軽減事業費補助金返還金	
	社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度事業	112,000円
	離島等地域における特別地域加算に係る利用者負担額軽減措置事業	27,000円

事業名	終活情報登録事業費					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
722,372					722,372	―

認知症や孤独死が社会問題となるなか、高齢者自身や家族が終活を考えるきっかけとするための「松阪市版エンディングノート」作成に向けて検討会を行った。また市販のエンディングノートを用いて、普及に向けた啓発を行った。

終活情報検討委員会　（委員12人）　3回開催
ワーキンググループ検討会（委員5人）　3回開催
エンディングノート購入　（900部）　276,372円

事業名	老人福祉一般経費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,646,515					4,646,515	5,798,631

高齢者福祉に関する一般経費を支出した。

事務補助員賃金　778,200円
救急医療情報キット（本体・玄関用シール）購入　278,300円
うきさと憩センター電気代　698,845円
うきさと憩センターにかかる維持管理経費　445,270円　ほか

事業名	高齢者生活管理指導短期宿泊事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
31,450					31,450	68,590

基本的な生活習慣が欠如しているために、一時的に擁護する必要がある場合に短期宿泊することにより、日常生活に対する指導、支援を行った。

利用者数：1人、利用期間：5日間

事業名	緊急通報装置貸与事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,687,362				65,000	12,622,362	13,299,846

ひとり暮らしの高齢者が急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図るため、緊急通報装置を貸与した。

新規設置台数　83台　（令和2年3月31日現在の設置台数　549台）

事業名	高齢者在宅生活支援事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
805,230					805,230	625,140

在宅の高齢者等に対し、人材を派遣し庭の草取り等軽易な日常生活援助を行うことにより自立した生活を送れるよう支援した。

松阪市シルバー人材センター　160時間　利用延人数　44人
三重県健康福祉生活協同組合　209時間　利用延人数　27人
三重中高年雇用福祉事業団　17時間　利用延人数　4人
ＪＡ松阪ふれあいの里　3時間　利用延人数　1人

事業名	寝具丸洗乾燥事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,049,112				299,748	749,364	990,198

ひとり暮らしや寝たきりの高齢者を対象に寝具を無料で年1回、丸洗い乾燥を行った。（1人2枚まで）

利用者数　282人
利用枚数　542枚（敷布団　159枚、掛布団　200枚、毛布　183枚）
実施日　8月20日～9月30日

事業名	訪問理美容サービス事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
69,000					69,000	57,000

老衰、心身の障がい及び疾病等の理由により、理髪店等に出向くことが困難な高齢者に対して、居宅で手軽に整髪等のサービスを受けられるように出張理美容のサービスを提供した。なお、技術料は利用者負担とし、出張に係る経費を支出した。

実利用者数　20人

利用回数　46回　（委託料　1回　1,500円）

事業名	日常生活用具給付事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
214,623					214,623	288,034

おおむね65歳以上の火の元の心配な要援護高齢者に対して日常生活用具の給付（原則1品）を行い、在宅生活の継続を支援した。

電磁調理器　10台、火災報知器　2台、自動消火器　1台

事業名	在日外国人高齢者福祉給付金支給事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						70,000

日本に在留する外国人高齢者で、国民年金や他の公的年金を受けることができない者に福祉給付金を支給することにより、当該高齢者の福祉の増進を図る事業だが支給対象者がなかった。

支給対象者　0人

令和元年10月1日要綱廃止、事業終了

事業名	老人ホーム入所措置事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
251,849,916				53,648,189	198,201,727	259,154,462

・ 環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な高齢者を措置した。

入所者数　10施設　123人（令和2年3月31日現在）

・ 老人ホーム入所判定委員会を開催し、老人ホームの入所措置の要否判定を適切に行った。

開催回数　12回

事業名	地域介護・福祉空間整備費補助金				介護保険課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,988,000	14,988,000					13,332,000

令和元年度地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用し、認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業に対して補助を行った。

法人名	社会福祉法人三重ベタニヤ	有限会社こころ
事業所名	いこいの家小規模多機能型居宅介護事業所	グループホームこころ
改修内容	屋上・外壁に係る防水、塗装工事、給湯器の取替並びに空調設備の改修	非常用自家発電設備の整備
補助金額	7,258,000円	7,730,000円
補助率	国10／10	国10／10

事業名	公的介護施設等整備費補助金					介護保険課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,993,000		9,993,000				147,030,000

令和元年度三重県地域医療介護総合確保基金事業補助金を活用し、既存の特別養護老人ホーム等のユニット化改修等支援事業に対して補助を行った。

法人名	社会福祉法人太陽の里
事業所名	特別養護老人ホームまごころ苑
改修内容	既存の特別養護老人ホームにおける多床室のプライバシー保護のための改修
補助金額	9,993,000円
補助率	県10／10

事業名	地域介護・福祉空間整備費補助金					高齢者支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
984,000	984,000					—

令和元年度地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用し、認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業に対して補助を行った。

法人名	医療法人社団　嘉祥会
事業所名	松阪市第四地域包括支援センター
改修内容	熱中症予防対策等として冷暖房設備の設置等
補助金額	984,000円
補助率	国10／10

事業名	介護・福祉空間整備費補助金（繰越分）					介護保険課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,892,000	19,786,000				106,000	—

平成30年度地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用し、認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業、高齢者施設等の防犯対策及び安全対策強化事業に対して補助を行った。

法人名	社会福祉法人三重ベタニヤ			社会福祉法人長寿会	
事業所名	地域密着型特別養護老人ホームグレイスホーム	いこいの家　小規模多機能型居宅介護事業所	めぐみの園保育園	グループホームなでしこ苑	第二デイサービスセンターなでしこ苑
改修内容	非常用自家発電設備の整備			ブロック塀の改修	
補助金額	13,971,000円	5,104,000円	498,000円	181,000円	138,000円
補助率	国10／10			国1／2　市1／4　事業者1／4	

(款) 3民生費　　(項) 2老人福祉費　　(目) 2老人福祉センター費

(単位　円)

事業名	松寿園管理運営事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,261,001				47,427	12,213,574	8,727,773

60歳以上の高齢者を対象に各種の相談に応じ、健康の保持、教養の向上及びレクリエーションの利便性を総合的に提供した。

年間利用者数　8,431人
年間利用団体数　496組
施設稼働率　85.7%

老人福祉センター松寿園運営委員会
運営委員　12人（うち職員2人）　報酬　7,000円×9人＝63,000円
令和元年6月3日開催

事業名	飯南高齢者生活福祉センター管理事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,303,792				1,444,900	12,858,892	12,057,275

介護支援機能・居住機能及び交流サービスを提供する施設として、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援した。また施設の管理運営については、松阪市社会福祉協議会へ指定管理委託を行った。（令和元年度～令和5年度）

居住事業入居者　5人　（令和2年3月31日現在）
※空調設備改修工事（脱衣室）　420,984円
※給湯ボイラー用給湯配管漏水修繕　594,000円

事業名	飯高高齢者生活福祉センター管理事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,901,798				644,000	13,257,798	12,523,885

高齢者に対して介護支援機能・居住機能及び交流機能を提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が過ごせるよう支援した。また施設の管理運営については、松阪市社会福祉協議会へ指定管理委託を行った。（令和元年度～令和5年度）

居住事業入居者　7人　（令和2年3月31日現在）

事業名	飯高高齢者生活福祉センター施設整備事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
17,831,000			17,800,000		31,000	—

浴場循環設備他改修工事（工事概要：温水ボイラー、浴槽循環ろ過ユニット、空冷ヒートポンプエアコン更新）を施工した。

事業名	飯高老人福祉センター管理運営事業費				高齢者支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,161,454				213,072	6,948,382	6,939,278

高齢者や地域住民に対して、各種の相談、教養の向上、レクリエーション等のための施設管理を行った。

飯高老人福祉センター運営委員会
運営委員　8人（うち職員2人）　報酬　7,000円×5人＝35,000円
令和元年7月31日開催

(款）3民生費　　（項）3児童福祉費　　（目）1児童福祉総務費

（単位　円）

事業名	子ども・子育て支援推進事業費					こども支援課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,270,813					3,270,813		3,507,604

松阪市子ども・子育て会議において、平成30年度実施のアンケート調査結果等をもとに第2期子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）策定に関する審議を行った。また、現行の「松阪市子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価等を行った。庁内においては子育て支援を一体的に進めるために、子ども・子育てプロジェクト庁内推進委員会で具体的な取り組みについて、情報共有を図った。また、祖父母世代を対象とした「孫育て講座」を開催し、子どもの成長を支える子育て・子育ちを支援した。

開催日(令和元年度)	講演会・研修会等	対象者	参加者数
7/11、9/26、11/28、2/13	松阪市子ども・子育て会議（4回）	委員	延67人
12/4、6、13	孫育て講座（3回）	一般	延102人
3/23	松阪市子ども・子育てプロジェクト庁内推進委員会（1回）	委員	6人

※第2期子ども・子育て支援事業計画（令和2年3月策定）
　計画書 300部印刷、同概要版 100部印刷

事業名	児童手当支給事業費					こども支援課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,519,287,376	1,738,422,332	382,278,832			398,586,212		2,576,412,861

中学校修了前までの児童の養育者に対し、年3回（6月・10月・2月）児童手当を支給した。

延支給対象児童数及び支給額　229,664人　2,507,955,000円
（内本則給付）　218,301人　2,451,140,000円
（内特例給付）　11,363人　56,815,000円

支給額（児童1人あたりの月額）

（本則給付）3歳未満15,000円、3歳以上小学校修了前10,000円(第3子以降は15,000円)、中学生10,000円
（特例給付）所得制限限度額以上の場合は年齢に関係なく5,000円

事業名	新型コロナウイルス感染症対策臨時休業時ファミリーサポートセンター利用支援補助金					こども支援課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
28,000	28,000						―

新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業等によりファミリーサポートセンター事業を利用した方に対して利用料の全額を補助した。

支給対象者　1人

事業名	児童福祉一般経費					こども支援課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
62,150					62,150		16,320

児童福祉に関する一般経費（消耗品費、旅費、通信運搬費）を支出した。

事業名	子育て支援センター管理運営事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,699,107	5,333,479	5,333,479		11,032,149		20,980,613

乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う子育て支援センターにおいて、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行い、他機関との連携を図りながら、地域の子育て機能の充実及び育児不安等の緩和を図ることができた。

利用者数

名 称	場 所	開設年月	利用者数		
			保護者	児童	計
ふれんず	第三小学校内ふれあい会館２階	H10. 5	4,332人	5,104人	9,436人
森のくまさん	旧阪内幼稚園	H16. 5	2,959人	3,347人	6,306人
げんきっこ	三雲南幼児園内	H16. 4	3,353人	3,694人	7,047人
かんがるー	飯南ふれあいセンター内	H13. 4	2,675人	3,159人	5,834人
やまっこ	やまなみ保育園内	H22. 4	392人	410人	802人
	計5施設		13,711人	15,714人	29,425人

（※出張ひろば368人、合同企画290人を含む）

活動内容

ふれあいルームでの親子のふれあい、あそぼう会、面接・電話による子育て相談、絵本の貸し出し、出張ひろば、情報誌の発行（各支援センターだよりホームページ毎月更新・公私立子育て支援センター合同ポスター年1回）、公立5施設合同企画（人形劇2回、講演会1回を健康センターはるるで開催）、利用者アンケートの実施等

※出張ひろば

名 称	実施回数	開催場所	利用者数		
			保護者	児童	計
はっぴぃくまさん（ふれんず・げんきっこ）	7回	櫛田地区市民センター	47人	57人	104人
	1回	神戸地区市民センター			
	1回	機殿地区市民センター			
	1回	朝見地区市民センター			
にこにこタイム（森のくまさん・かんがるー）	10回	射和地区市民センター	85人	91人	176人
こんにちは赤ちゃん（げんきっこ）	6回	ハートフルみくも	44人	44人	88人
計			176人	192人	368人

※合同企画

名 称	実施日	開催場所	利用者数		
			保護者	児童	計
このゆびとまれ（人形劇）パート.1	令和元年6月29日	健康センターはるる	65人	58人	123人
ファミリー講座（講演会）	令和元年8月24日	健康センターはるる	30人	24人	54人
このゆびとまれ（人形劇）パート.2	令和元年11月30日	健康センターはるる	55人	58人	113人
計			150人	140人	290人

事業名	ファミリーサポートセンター事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,410,000	2,520,000	2,520,000			5,370,000	9,599,000

乳幼児や小学生を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、「子どもの預かりの援助を受けることを希望する者（依頼会員）」と「援助を行うことを希望する者（援助会員）」との相互援助活動に関する連絡、調整、会員の研修を行う「まつさかファミリーサポートセンター」の事業運営を特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンターに委託し、子育てに関する多様なニーズに対応した。

会員数　669人（依頼会員数　396人、援助会員数　234人、両方会員数　39人）

活動件数　1,105件

保育施設の保育開始前や保育終了後における子どもの預かり	37件
保育施設等までの送迎	412件
放課後児童クラブへの送迎及び自宅への送り	233件
冠婚葬祭や他の子ども学校行事の際の子どもの預かり	5件
買い物等外出時における子どもの預かり	18件
子どもの習い事等への送迎	203件
妊娠・出産時の援助	60件
保護者等の就労時の援助	79件
その他　（援助に伴う送迎等）	28件
救急時の預かり（病児・病後児等）	30件
計	1,105件

事業名	私立保育園子育て支援センター運営事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
18,800,000	6,400,000	6,400,000		6,000,000		19,200,000

乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う子育て支援センターにおいて、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行い、他機関との連携を図りながら、地域の子育て機能の充実及び育児不安等の緩和を図るため、私立保育園が運営する子育て支援センターに事業を委託した。

名　　称	実施主体	開設年月	委託金額	利用者数		
				保護者	児童	計
なかよし広場	山室山保育園	H17. 4	2,400,000	614人	618人	1,232人
こどもセンターわかすぎ	わかすぎ保育園	H17.10	2,400,000	1,339人	1,796人	3,135人
わくわくの森	嬉野保育園	H17.10	2,000,000	1,067人	1,120人	2,187人
じゃれっこひろば	みどり保育園	H18. 4	2,400,000	660人	667人	1,327人
さくらキッズ	さくら保育園	H22. 4	2,400,000	1,386人	1,514人	2,900人
いきいきわくわく子育てひろば	久保保育園	H23. 5	2,400,000	262人	266人	528人
こどもセンターわかすぎ第二	わかすぎ第二保育園	H23. 5	2,400,000	1,093人	1,145人	2,238人
こどもセンターわかすぎ第三	わかすぎ第三保育園	H29. 4	2,400,000	379人	540人	919人
計8施設			18,800,000	6,800人	7,666人	14,466人

事業名	病児・病後児保育事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,047,920	7,005,000	7,005,000		6,512,000	525,920	14,839,000

病気の回復期に至らない場合又は病気の回復期にあって集団保育を受けることが困難な児童を持つ保護者が安心して就労ができるよう、医療機関2施設に委託し、当該児童の一時的な保育を実施した。また、松阪市在住者だけでなく多気町、明和町、大台町の住民も利用できるよう、各町との協定に基づき広域対応を行った（平成23年1月から広域対応）。

委託先	登録児童数			延利用児童数		
	松阪市	広域利用	計	松阪市	広域利用	計
医療法人　おおはし小児科	171人	5人	176人	223人	2人	225人
医療法人妙光会　安田小児科内科	201人	31人	232人	401人	33人	434人
計	372人	36人	408人	624人	35人	659人

事業名	三世代同居・近居支援補助金					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,982,630					5,982,630	5,955,440

市外から転入し、子育て支援を目的として新たに三世代（親世帯・子世帯・孫）で同居・近居するための住宅の新築・購入及び増改築・リフォームを行った費用の一部を補助した。三世代の同居・近居により世代間で子育てを協力することで、子世帯の負担軽減・不安の緩和につながるよう支援を行った。

支給件数 27件

同居（上限30万円）： 8件

近居（上限20万円）：19件

（単位　件）

支給内容		支給世帯		支給者の年代						地域別(支給者)				
新築・購入	増改築・リフォーム	子世帯	親世帯	20代	30代	40代	50代	60代	70代	本庁	嬉野	三雲	飯南	飯高
21	6	17	10	4	11	2	5	3	2	15	7	5	0	0

転入世帯		転入前住所	
子世帯	親世帯	県外	市外
24	5	6	23

※両世帯転入の2件を含む

※　転入者・・・88人（子世帯80人、親世帯8人）

事業名	一時預かり事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,364,450	1,121,000	1,121,000		2,122,450		4,733,750

日常生活上の突発的な事情や社会参加、保護者の育児疲れ等により、一時的に家庭での保育が困難となった児童を預かることで、安心して子育てができるよう、病児・病後児保育施設に併設した2施設にて実施した。

委託先	登録児童数	延利用児童数
医療法人　おおはし小児科	68人	122人
医療法人妙光会　安田小児科内科	113人	267人
計	181人	389人

一時預かり事業を利用する主な理由（令和元年度の利用理由）

就労30.3%、家事都合26.2%、通院19.5%、兄弟姉妹の用事11.6%等

事業名	子育てのための施設等利用給付事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,941,832	8,528,558	3,413,274				―

令和元年10月から開始された幼児教育・保育の無償化に伴い創設された制度で、保育を必要とする幼児が認可外保育施設などを利用する場合、3歳以上月額37,000円、3歳未満（住民税非課税世帯に限る）月額42,000円を上限として、保護者に対して支給した。

利用施設	延給付対象児童数	内3歳未満	支給額
松阪乳幼稚園	221人	6人	8,200,000円
メープルリーフインターナショナルスクール	61人	0人	2,257,000円
Happy Tree International School	23人	0人	851,000円
その他	21人	2人	633,832円
計	326人	8人	11,941,832円

事業名	幼児教育無償化システム改修等事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
22,173,274	22,173,274					―

令和元年10月の子ども・子育て支援法の改正による幼児教育・保育の無償化に対応するため、電算システム改修等を行った。

内訳　委託料（子育て支援システムの法改正（幼児教育無償化）機能追加業務委託）15,490,200円
職員手当（職員時間外勤務手当）5,940,000円
賃金（非常勤職員賃金）528,420円
消耗品費（コピーカウント料）44,338円
印刷製本費（食材料費口座振替依頼書）41,040円
備品購入費（書庫購入）129,276円

事業名	保育士修学支援事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
17,500,000				7,467,000	10,033,000	12,000,000

保育士確保を目的とし、市内の保育園で働く未来の保育士を育てるため養成施設への入学を予定し、保育士をめざす学生に対して奨学金の貸付制度を平成29年度に設置し、平成30年度から貸付を開始した。

委託先　社会福祉法人　松阪市社会福祉協議会
令和元年度新規貸付関係
申請者数　10人
貸付予約者　10人　1人あたり年60万円（月5万円×12か月分）
松阪市保育士修学資金貸付審査委員会（委員8名）令和元年12月13日開催
平成30年度貸付者（在学2年目）10人　1人あたり年60万円（月5万円×12か月分）
令和元年度貸付者（在学1年目）10人　1人あたり年60万円（月5万円×12か月分）
平成30年度貸付者の養成施設卒業後の業務従事先等については松阪市内の保育園8人、4年制大学1人、他施設へ就職1人となった。

(款）3民生費　　（項）3児童福祉費　　（目）2私立保育園費

（単位　円）

事業名	私立保育園管理運営事業費補助金					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
107,964,000	3,317,000	3,091,000			101,556,000	96,742,000

私立保育園の運営に必要な経費の一部を補助するとともに保育人材の確保を図るため、保育人材確保事業として、保育体制強化、保育補助者雇上強化事業を加え、補助を行った。

交付先　私立保育園15園（全園）

私立保育園　利用定員計　2,560人　利用児童数計　2,413人(令和元年10月1日時点)

保育人材確保事業　・保育体制強化事業（つくし、さくら、山室山、つぼみ、わかすぎ第三）
計3,782,000円　保育以外に携わる者の雇用にかかる経費が対象

・保育補助者雇上強化事業（つくし第二、山室山、つぼみ）　計2,668,000円
保育士資格を有せず、保育を補助する者の雇用にかかる経費が対象

ICT化推進事業・重大事故防止事業

・ICT化推進事業（若葉）　計750,000円
保育士業務負担軽減に必要な機能を備えたシステム導入にかかる経費が対象

・重大事故防止事業（みどり、つくし、つくし第二）　計1,125,000円
睡眠中の保育の質の向上につながる機器導入にかかる経費が対象

勤続報奨金　勤続5年以上6年未満（5万円）17人・勤続10年以上11年未満（10万円）7人
勤続15年以上16年未満（15万円）3人・勤続20年以上21年未満（20万円）3人
合計2,600,000円

就職準備金　市外から転入し市内私立保育園に採用された場合（3年勤務が前提）　10万円

交付実績6人（つくし1人、神戸1人、さくら1人、つぼみ3人）、合計440,000円
（内訳：1年目4人、2年目2人。うち要件の3年勤務を満たさず2人（つぼみ2人）が一部返金（△160,000円）となった。）

保育園名	補助金額	(内)勤続報奨金	保育園名	補助金額	(内)勤続報奨金
松阪仏教愛護園	5,168,000	200,000	山室山保育園	9,277,000	450,000
若葉保育園	6,724,000	300,000	わかすぎ第二保育園	6,029,000	0
みどり保育園	8,049,000	650,000	つぼみ保育園	9,763,000	0
つくし保育園	6,758,000	0	ひまわり保育園	3,661,000	0
神戸保育園	7,831,000	100,000	わかすぎ保育園	6,323,000	50,000
久保保育園	6,078,000	150,000	嬉野保育園	6,781,000	100,000
さくら保育園	13,883,000	400,000	わかすぎ第三保育園	5,262,000	0
つくし第二保育園	6,377,000	200,000	計	107,964,000	2,600,000

事業名	私立保育園延長保育促進事業費補助金					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,032,000	2,811,000	2,811,000			410,000	5,460,000

就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、午後6時から午後7時（1時間）の延長保育を実施する私立保育園に対し、その経費の一部を補助した。

延利用児童数　13,303人

延長保育を実施する市内私立保育園　15園（全園）

保育園名	延利用児童数	補助金額	保育園名	延利用児童数	補助金額
松阪仏教愛護園	51人	300,000	山室山保育園	50人	103,000
若葉保育園	485人	300,000	わかすぎ第二保育園	1,312人	250,000
みどり保育園	1,214人	1,382,000	つぼみ保育園	613人	300,000
つくし保育園	730人	300,000	ひまわり保育園	51人	64,000
神戸保育園	2,279人	1,505,000	わかすぎ保育園	759人	300,000
久保保育園	266人	300,000	嬉野保育園	1,799人	300,000
さくら保育園	2,213人	28,000	わかすぎ第三保育園	695人	300,000
つくし第二保育園	786人	300,000	計	13,303人	6,032,000

事業名	私立保育園運営事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,215,446,800	880,161,729	382,417,170		387,553,470	565,314,431	2,142,643,620

子ども・子育て支援法附則第6条第1項の規定により、私立保育園に対し、国が定めた保育に通常要する費用の額を支出した。

交付先　私立保育園15園（全園）

（園児数は令和元年5月1日現在）

保育園名	園児数	扶助費	保育園名	園児数	扶助費
松阪仏教愛護園	128人	120,471,050	山室山保育園	164人	158,401,620
若葉保育園	140人	128,845,390	わかすぎ第二保育園	149人	132,901,130
みどり保育園	162人	162,088,950	つぼみ保育園	199人	187,650,070
つくし保育園	123人	120,999,830	ひまわり保育園	94人	84,415,930
神戸保育園	195人	172,981,720	わかすぎ保育園	158人	140,115,510
久保保育園	148人	137,145,650	嬉野保育園	175人	150,113,710
さくら保育園	301人	287,854,700	わかすぎ第三保育園	118人	112,349,580
つくし第二保育園	137人	119,111,960	計	2,391人	2,215,446,800

事業名	私立保育園障がい児保育事業費補助金				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
64,471,000					64,471,000	62,131,000

障がい児保育を実施する私立保育園に対し、障がい児を担当する保育士の配置（加配）に要する経費の一部を補助した。

対象保育士数　28人　対象児童数　52人

交付先　私立保育園13園

保育園名	対象児童数	対象保育士数	補助金額	保育園名	対象児童数	対象保育士数	補助金額
松阪仏教愛護園	1人	1人	2,302,000	つくし第二保育園	5人	3人	6,908,000
若葉保育園	3人	2人	4,605,000	山室山保育園	5人	3人	6,908,000
みどり保育園	5人	2人	4,605,000	わかすぎ第二保育園	2人	1人	2,302,000
つくし保育園	5人	3人	6,908,000	ひまわり保育園	2人	1人	2,302,000
神戸保育園	4人	2人	4,605,000	わかすぎ保育園	2人	1人	2,302,000
久保保育園	5人	3人	6,908,000	嬉野保育園	4人	2人	4,605,000
さくら保育園	9人	4人	9,211,000	計	52人	28人	64,471,000

事業名	私立保育園低年齢児保育推進事業費補助金				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,499,000		4,749,000			4,750,000	11,400,000

低年齢児保育（0・1歳児）を実施し、保育士を追加で配置している私立保育園に対し補助した。

対象期間　令和元年度 4月から9月のうち保育士を追加で配置していた期間

延対象児童数　2,293人（0歳児 646人、1歳児 1,647人）

交付先　私立保育園12園

保育園名	延対象児童数	補助額	保育園名	延対象児童数	補助額
松阪仏教愛護園	170人	950,000	さくら保育園	445人	950,000
若葉保育園	194人	950,000	つくし第二保育園	168人	950,000
みどり保育園	282人	950,000	山室山保育園	121人	475,000
つくし保育園	54人	316,000	つぼみ保育園	267人	950,000
神戸保育園	241人	950,000	ひまわり保育園	110人	950,000
久保保育園	37人	158,000	嬉野保育園	204人	950,000
			計	2,293人	9,499,000

事業名	私立保育園施設整備費補助金				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
294,734,000	261,986,000		31,100,000		1,648,000	239,958,000

待機児童対策として保育園を整備した私立保育園に対し、経費の一部を補助した。

事業期間　令和元年度から令和2年度

負担割合　国　2/3 市　1/12　事業者　1/4

交付先	交付額	構造等	延床面積	定員	進捗率
久保保育園	121,923,000	鉄骨造2階建	456.12㎡	220人（40人増員）	90%
神戸保育園	117,983,000	鉄骨造2階建	1,488.15㎡	240人（30人増員）	40%
山室山保育園	54,828,000	鉄骨造2階建	1,543.35㎡	210人（40人増員）	20%
合計	294,734,000		110人増員		

事業名	児童福祉費国県支出金返還金				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,544,571					1,544,571	2,300,000

平成30年度の実績による精算で返還金が発生したため、国及び県へ返還を行った。

国庫支出金	子どものための教育・保育給付交付金国庫交付金(私立保育園運営事業費)	1,053,775
県支出金	施設型給付費・地域型保育給付費県費負担金（私立保育園運営事業費）	490,796

(款) 3民生費　　(項) 3児童福祉費　　(目) 3公立保育園費

（単位　円）

事業名	保育園外国語翻訳・通訳サポート事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,896,693				23,627	9,873,066	9,101,201

外国籍児童の入園に伴い、翻訳通訳人を拠点の保育園に配置し、児童及び保護者との通訳や「保育園だより」、「保健だより」等の翻訳、また面接・電話等による相談等を行った。

対象児童数　112人（公立保育園13園　55人、私立保育園12園　57人）

外国語翻訳通訳人　7人（タガログ語　1人、ビサイア語　2人、中国語　1人、スペイン語　1人、ポルトガル語　1人、ベトナム語　1人）

事業名	保育園嘱託医・嘱託歯科医報酬				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,441,875					7,441,875	7,514,220

小児科（内科）医による定期健康診断　対象　全児童　（年2回実施　延3,329人受診）
歯科医による歯科健診　対象　2歳児～5歳児（年1回実施　延1,296人受診）

事業名	保育園管理運営事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
713,734,904				94,711,316	619,023,588	771,986,597

公立保育園22園（うち1園は休園）の正規職員の不足に伴う補充や職員の産休・育休・病休の代替として非常勤職員を雇用する経費及び管理運営に要する経費を支出した。平成30年度より導入した「入園基準」を見直し、より公平性を高めた。また、保育士不足解消にむけての潜在保育士復職・就職支援研修会や「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」に基づき、保育園・幼稚園の今後についての意見交換会を開催した。

（平成31年4月1日現在）

非常勤職員種別	人数	非常勤職員種別	人数	非常勤職員種別	人数
正規補充保育士	107人	病休代替保育士	0人	育休代替労務員	0人
産休代替保育士	0人	正規補充労務員	24人	病休代替労務員	0人
育休代替保育士	19人	産休代替労務員	0人	計	150人

（令和元年5月1日現在）

保育園名	園児数	保育園名	園児数	保育園名	園児数
第一保育園	102人	つばな保育園	41人	ひかり保育園	112人
第二保育園	92人	花岡保育園	77人	ひかり保育園こだま分園	14人
白鳩保育園	72人	みなみ保育園	19人	三雲北保育園	145人
東保育園	48人	若草保育園	95人	三雲南保育園	145人
西保育園	140人	三郷保育園	91人	飯南ひまわり保育園	39人
大河内保育園	54人	駅部田保育園	75人	飯南たんぽぽ保育園	55人
春日保育園	113人	大津保育園	68人	やまなみ保育園	52人
計（21園）					1,649人

保育園職場改善検討会（委員数　10人）

開催回	開催日	検討内容	参加者人数
第1回	平成31年4月25日	職場改善検討会一年間の取り組みについて　他	10人
第2回	令和元年5月29日	保育園業務支援システム(HOICT)、各園からの意見について	9人
第3回	令和元年6月27日	働き方、保育園業務支援システム(HOICT)について	10人
第4回	令和元年7月8日	今後の保育園について(各園、園長・副園長参加)	39人
第5回	令和元年7月23日	働き方、行事の見直しについて	9人
第6回	令和元年8月29日	働き方、行事の見直しについて	10人
第7回	令和元年10月9日	働き方、行事の見直しについて、主任会話し合い報告等	10人
第8回	令和2年2月27日	園長会代表者・職場改善代表者会報告、今後に向けて	10人

潜在保育士復職・就職支援研修会

開催日	開催場所	参加者人数
令和2年1月15日・16日・17日（3日間）	松阪市産業振興センター、各保育園	10人

保育士として復職・就職した人は10人中6人(令和2年5月現在)

保育園・幼稚園の今後についての意見交換会【大石地区】

開催回	開催日	開　催　場　所	参加者	参加者人数
第1回	平成31年4月18日	大石地区防災センター	大石幼稚園保護者	10人
第2回	平成31年4月19日	大石地区市民センター	みなみ保育園保護者	11人
第3回	平成31年4月24日	大石地区市民センター	市民一般	33人

今後の保育園・幼稚園等を考える会【大石地区】

開催回	開催日	会議名	会議内容	参加者人数
第1回	令和元年6月17日	大石地区における今後の保育園・幼稚園等を考える会	認定こども園について	10人
第2回	令和2年2月14日	大石地区における今後の保育園・幼稚園等を考える会	認定こども園について	12人

認定こども園プロジェクト会議【飯南・飯高地区】

開催回	開催日	会議名	会議内容	参加者人数
第1回	平成31年4月15日	認定こども園プロジェクト代表者会議	・すり合わせ事項の内容検討（比較表について） ・今後の予定	11人
第2回	平成31年4月22日	認定こども園プロジェクト全体会議	・内容検討（運営、行事・カリキュラム、保健・衛生給食）	32人
第3回	令和元年5月23日	認定こども園プロジェクト代表者会議	・行事、フッ化物洗口について ・研修会、保護者説明について	8人
第4回	令和元年5月23日	認定こども園プロジェクト全体会議	・各部会からの報告 ・比較表の内容検討	34人
第5回	令和元年6月12日	認定こども園プロジェクト代表者会議	・給食について ・飯南・飯高3園の行事	19人
第6回	令和元年6月26日	認定こども園プロジェクト全体会議	・比較表の内容検討 ・水筒の持参について	32人
第7回	令和元年7月8日	認定こども園プロジェクト代表者会議	・比較表の字句チェック	16人
第8回	令和元年7月22日	認定こども園プロジェクト代表者会議	・比較表最終確認 ・今後の予定（地域説明等）	16人
第9回	令和元年8月2日	やまなみ保育園保護者説明会	・比較表の説明、質疑応答	14人 （内保護者7人）
第10回	令和元年8月6日	飯南ひまわり保育園保護者説明会	・比較表の説明、質疑応答	15人 （内保護者10人）
第11回	令和元年8月8日	飯南たんぽぽ保育園保護者説明会	・比較表の説明、質疑応答	16人 （内保護者11人）

認定こども園プロジェクトメンバー【飯南・飯高地区】

保育園長　13人・保育園副園長　4人・保育園主任　3人・保育園労務員　3人
幼稚園園長　3人・幼稚園主任　3人・こども未来課職員　11人　計40人

認定こども園プロジェクト代表者メンバー【飯南・飯高地区】

保育園長　6人・幼稚園園長　3人・こども未来課職員　7人　計16人
（内容により 保育園労務員　3人・こども未来課職員　4人）

認定こども園プロジェクト会議【大石地区】

開催回	開催日	会議名	会議内容	参加者人数
第1回	令和元年7月29日	認定こども園プロジェクト代表者会議	・メンバーの選出 ・今後の予定	13人
第2回	令和元年8月23日	認定こども園プロジェクト代表者会議	・今後の進め方	13人
第3回	令和元年9月6日	認定こども園プロジェクト全体会議	・今後の予定	42人
第4回	令和元年10月31日	認定こども園プロジェクト代表者会議	・視察について	10人
第5回	令和元年11月25日	「津みどりの森こども園」視察	―	10人
第6回	令和2年1月31日	認定こども園プロジェクト代表者会議	・視察報告 ・今後の進め方	10人
第7回	令和2年1月31日	認定こども園プロジェクト全体会議	・視察報告 ・今後の進め方	38人
第8回	令和2年3月13日	認定こども園プロジェクト代表者会議	・講演会について ・部会について	10人

認定こども園プロジェクトメンバー【大石地区】

保育園長　5人・保育園副園長　10人・保育園主任　4人・保育園労務員　3人
幼稚園園長　5人・幼稚園主任　13人・こども未来課職員　11人　計51人

認定こども園プロジェクト代表者メンバー【大石地区】

保育園長　4人・幼稚園園長　4人・こども未来課職員　7人　計15人

実待機児童の状況

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和2年3月1日現在	260人	48人	37人	6人	3人	0人	354人
平成31年3月1日現在	217人	21人	21人	7人	3人	0人	269人

事業名	延長保育事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,796,848				483,500	2,313,348	4,046,648

就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、公立保育園にて午後6時から午後7時（1時間）の延長保育を実施した。

保育園名	延利用児童数
第一保育園	557人
白鳩保育園	382人

事業名	保育園看護師等配置事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,414,513				43,743	19,370,770	15,220,788

乳児（0歳児）等を多く抱える保育園及び家庭環境に対する配慮などが特に必要とされる児童を抱える保育園に看護師を配置し、保健・健康に関する相談・助言を行った。また、歯みがき指導・歯科健診の実施の際には、必要に応じて各園を巡回し健康管理、衛生指導等を行うことで健康と衛生を保つことができた。

看護師の配置(平成31年4月1日現在)
花岡保育園 1人、三雲北保育園 1人、西保育園1人、飯南たんぽぽ保育園1人
三郷保育園1人、若草保育園1人、春日保育園1人

※令和元年10月より西保育園1人、若草保育園1人　新たに2人採用

看護師会議

開催回	開催日	会議内容	参加者人数	うち看護師
第1回	平成31年4月19日	業務内容について、情報共有	10人	7人
第2回	令和元年7月23日	各園の業務内容報告、情報共有	10人	7人
第3回	令和2年2月21日	来年度の入園申請児童の状況について、情報共有	12人	9人

事業名	保育園広域入園事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,435,180				958,120	9,477,060	5,846,710

市内に居住する児童が、家庭の都合等により他市町の保育園に入園を希望されたため、当該市町の保育園に入園を委託した。

2市4町　13園　18人　　2市（津市、伊勢市）
4町（多気町、大台町、大紀町、南伊勢町）

事業名	日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
606,685				401,280	205,405	663,990

公立保育園で発生した傷病に対して、保護者と設置者が共済掛金を負担し、災害共済給付を行った。

傷病発生による医療費給付件数　　56件（20園）

事業名	春日保育園移転改築事業費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
397,808,014			288,500,000		109,308,014	303,866,728

「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」に基づき、老朽化が進んでいた春日保育園の園舎移転改築に伴う委託及び工事を行い、園舎が完成した。引き続き、令和2年度においては、園庭、駐車場等の整備工事を実施する。

事業期間　平成29年度から令和2年度
構 造 等　木造平屋建
延床面積　1,704.28㎡
定　　員　200人（70人増員）

事業内容	H30事業費	R1事業費	R2事業費（予定）	合計
園舎改築工事（建築）	210,000,000	253,073,000	126,175,000	589,248,000
園舎改築工事（電気設備）	31,263,408	46,895,112	0	78,158,520
園舎改築工事（機械設備）	39,346,560	59,019,840	0	98,366,400
造成工事	12,283,920	0	20,000,000	32,283,920
委託料（工事監理）	2,980,000	4,173,000	2,783,000	9,936,000
委託料（製材業務）	7,530,840	0	0	7,530,840
委託料（引越等）	0	446,748	0	446,748
借上料（仮駐車場）	342,000	612,000	126,000	1,080,000
手数料（開発許可等）	120,000	103,300	641,000	864,300
消耗品費	0	3,996,947	0	3,996,947
備品購入費	0	29,230,967	0	29,230,967
補償費（電柱移転補償）	0	0	715,000	715,000
その他（旅費、修繕費）	0	257,100	114,000	371,100
計	303,866,728	397,808,014	150,554,000	852,228,742

事業名	保育園一般経費					こども未来課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,461,472				70,718	4,390,754	4,516,759

保育行政推進のための一般経費（こども未来課の第2種非常勤職員賃金2人分ほか）を支出した。

（款）3民生費　　（項）3児童福祉費　　（目）4母子父子福祉費

（単位　円）

事業名	自立支援教育訓練給付金					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
431,223	431,223					241,640

ひとり親家庭の父又は母が、適職に就くために必要な資格や技能を身につけるため、厚生労働大臣指定の教育訓練講座を受講した場合にその受講費用の一部を助成することで、ひとり親家庭の自立を支援した。

支給対象者　7人

- 介護福祉士実務者研修　3人
- 介護職員初任者研修　1人
- 医療事務　1人
- 宅地建物取引士　1人
- 准看護師養成（専門実践枠）　1人

事業名	高等職業訓練給付金					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,680,000	11,926,000				3,754,000	10,393,000

看護師、准看護師等の専門的な資格を取得するために1年以上養成機関で修業するひとり親家庭の父又は母に対して、修業期間中の生活の経済的負担を軽減するため、支給対象者14人に対して高等職業訓練促進給付金を毎月支給した。なお、内2人（看護師1人、准看護師1人）が修了となり市内医療機関に就職した。

支給対象者　高等職業訓練促進給付金 14人（看護師5人、准看護師2人、保育士1人、社会福祉士1人
理学療法士1人、美容師3人、理容師1人）
高等職業訓練修了支援給付金 1人（看護師）

事業名	児童扶養手当支給事業費					こども支援課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
920,505,079	303,820,440				616,684,639		716,496,828

父母の離婚などにより、父又は母と生計を同じくしていない児童のいるひとり親家庭等の保護者に対し、年5回（4月・8月・11月・1月・3月）児童扶養手当を支給した。

延支給対象児童数及び支給額　33,476人　913,046,570円

支給月額　（全部支給）対象児童1人目42,910円

（一部支給）対象児童1人目42,900円～10,120円

※本人又は扶養義務者の所得により、全部支給、一部支給、支給停止の区分を決定
金額は令和2年3月分まで

令和2年3月末現在

受給資格者数　1,566人（全部支給838人、一部支給518人、支給停止210人）

支給対象児童数　2,070人

事業名	ひとり親家庭等ファミリーサポートセンター利用支援補助金					こども支援課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
95,090					95,090		168,500

ひとり親家庭等の仕事と育児の両立や子育ての負担軽減を目的としてまつさかファミリーサポートセンターを利用しやすくするために利用料の補助をした。補助対象世帯は、ひとり親世帯、低所得世帯、ダブルケア世帯、障がい者世帯とした。（補助率：利用料の50%　※障がい者世帯は30%）

利用者数 8人（補助要件：ひとり親7人、低所得1人）

延利用日数 200日（保育施設までの送迎など）

事業名	児童福祉費国県支出金返還金					こども支援課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
587,000					587,000		1,878,553

平成30年度

国庫支出金	母子家庭等対策総合支援事業費補助金（自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練給付金）	587,000

事業名	母子寡婦福祉会活動補助金					こども支援課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
480,000					480,000		480,000

母子及び父子並びに寡婦家庭の経済的自立、安定した生活の確保及び児童の健全育成を推進するために当事者間の情報交換、各種福祉制度の研修などの事業費の一部に対して補助するとともに、会員募集などPR等に協力したことで、母子及び父子並びに寡婦の家庭が抱える課題の軽減等につながった。

交付先　松阪市母子寡婦福祉会

事業名	母子・父子寡婦福祉資金貸付事務事業費					こども支援課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
96,770					96,770		51,000

三重県の事務処理の特例に関する条例に基づき、母子・父子家庭や寡婦の方に経済的自立や子どもの福祉向上を図るため、各種福祉資金の貸付に係る事務を行った。

申請取扱件数　26件（修学11件・就学支度14件・就業支度1件）

事業名	未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金支給事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,514,000	2,514,000					―

未婚の児童扶養手当受給者に臨時・特別給付金を支給し、未婚のひとり親に対して適切な配慮を行った。

支給総額　2,450,000円、支給対象者　140人、支給額　17,500円／人

(款) 3民生費　　(項) 3児童福祉費　　(目) 5こども医療費

（単位　円）

事業名	医療費助成事業費				地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
503,500,603		188,917,006		73,880	314,509,717	500,078,859

満18歳になった最初の3月31日までの子ども（平成31年4月診療分から年齢制限を満15歳から満18歳に拡大）の医療費について、所得が市の定める制限額未満の保護者（扶養義務者を含む）に対し助成（年齢拡大対象となった高校生世代の保護者の所得に応じて全額又は2分の1）を行った。
また、平成31年4月診療分から未就学児に対して現物給付・一部現物給付を実施した。

区　　分	計	（内）未就学児※		（内）高校生世代※	
		現物給付	一部現物給付	全額助成	2分の1助成
医療費助成金（証明手数料含）	481,060,169円	42,039,408円	73,953,767円	12,183,724円	18,884,113円
その他事務経費	22,440,434円				
助成件数	246,234件	27,017件	46,818件	5,148件	15,287件
受給者数の月平均	21,910人	2,660人	4,810人	918人	2,621人
年間1人当たりの医療費助成金	21,956円	15,804円	15,375円	13,272円	7,205円
1件当たりの医療費助成金	1,954円	1,556円	1,580円	2,367円	1,235円

※ 未就学児、高校生世代については、平成31年4月診療分（6月決定）から令和2年1月診療分（3月決定）までの10か月分の実績。

(款) 3民生費　　(項) 3児童福祉費　　(目) 6一人親家庭等医療費

（単位　円）

事業名	医療費助成事業費				地域福祉課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
99,868,513		48,282,705		41,280	51,544,528	96,567,862

母子・父子家庭の満18歳になった最初の3月31日までのこどもと母または父（父母のいないこども、重度障がいの父または母を持つこどもを含む）を対象（所得制限あり）に医療費の助成を行った。
また、平成31年4月診療分から未就学児に対して現物給付を実施した。

区　　分	計	（内）未就学児※
		現物給付
医療費助成金（証明手数料含）	96,787,210円	5,014,440円
その他事務経費	3,081,303円	
助成件数	39,494件	3,335件
受給者数の月平均	3,495人	368人
年間1人当たりの医療費助成金	27,693円	13,626円
1件当たりの医療費助成金	2,451円	1,504円

※未就学児については、平成31年4月診療分（6月決定）から令和2年1月診療分（3月決定）までの10か月分の実績。

(款）3民生費　　（項）3児童福祉費　　（目）7児童センター費

（単位　円）

事業名	児童センター管理運営事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,615,571				5,302	6,610,269	4,618,641

児童等が常に快適に利用できる環境の維持とともに、健全で情操豊かな心身ともに健やかな児童を育成することに努めた。

利用状況

区分	幼児	小学生	中学生	保護者	計
延利用者数	144人	1,528人	1,815人	242人	3,729人

年間開館日数　287日
1日平均利用者数　13.0人

事業名	児童センター施設整備事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,517,400					1,517,400	―

門柱、門扉の撤去等の外周整備により、車の乗り入れを容易にするとともに駐車スペースを増やし、施設の安全性と利用者の利便性の向上を図った。駐車可能台数4台→7台

(款）3民生費　　（項）3児童福祉費　　（目）8家庭児童支援費

（単位　円）

事業名	児童福祉費国県支出金返還金				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
757,660					757,660	―

平成30年度

国県支出金	児童入所施設措置費等国庫支出金精算返還金 児童入所施設措置費等県支出金精算返還金	505,107 252,553

事業名	家庭児童相談事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,941,422	2,265,000			15,573	4,660,849	6,684,202

身体上・精神上の障がいに関する相談、虐待相談、教育相談などの様々な家庭問題について、庁内各課や児童相談所、女性相談所、警察署など外部の関係機関と連携して対応し、相談者の問題の解消及び不安の軽減を図った。（令和2年1月1日に松阪市こども家庭総合支援センターを設置）

相談の種類		件数
養護相談	児童虐待相談(※)	96
	家庭環境相談	56
	傷病相談	7
	家出相談	2
保健相談		1
障がい相談	重症心身障がい相談	0
	知的障がい相談	2
	発達障がい相談	0
非行相談	ぐ犯行為等相談	1
	触法行為等相談	0
育成相談	性格行動相談	0
	不登校相談	8
	育児・しつけ相談	10
その他の相談（関係機関からの情報提供等）		8
計		191

→

(※)児童虐待相談の内訳	件数
身体的虐待	45
性的虐待	0
心理的虐待	37
保護の怠慢（ネグレクト）	14
計	96

事業名	養育支援訪問事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,219,353	932,000	932,000			355,353	2,276,914

児童相談所、健康センター、医療機関などの関係機関からの情報によって、特に養育支援が必要と判断した家庭に、専門的相談支援として保健師等による指導や助言を行い、また子育て経験者などから育児・家事に関する技術的支援を行い、個々の家庭が抱える養育に関する問題の解決又は軽減を図った。

事業委託先　　特定非営利活動法人　三重県子どもNPOサポートセンター
育児・家事援助利用世帯数　6世帯
延訪問回数　177回（1回につき2名派遣）

事業名	子育て支援ショートステイ事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
773,500	280,000	280,000		69,550	143,950	420,200

家庭環境等から児童の養育が一時的に困難となったとき、または、母子が夫等の暴力によって緊急一時的に保護が必要なときに、対象者を児童養護施設や母子生活支援施設に一時的に養育委託又は保護委託し、安全確保と生活問題等の解決に向けた支援を行った。

9世帯15人 延119日間利用

事業名	一日里親事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
89,200					89,200	84,280

児童養護施設に入所している児童を三日間、理解のある篤志家（里親）で預かり、温かい家庭生活を体験してもらい、児童の社会性の体得と健やかな成長の熟成を図った。

事業実施日	対象児童数	里親委嘱世帯数
令和元年7月26日(金)～28日(日)	5人	5世帯

事業名	交通遺児入進学卒業祝金支給事業費					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						―

交通事故によって両親あるいは父母のいずれかを失った児童に対し、小学校入学、中学校入学及び中学校卒業時に祝金を支給する。

支給者 0人

事業名	女性保護事業費					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
35,235					35,235	245,681

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律に基づいて、配偶者からの暴力の被害者である女性（暴力被害女性）の保護を図り、また、売春防止法に基づいて保護を必要とする女性について、その転落を未然に防止し、保護更生を図るために、啓発活動を行うとともに、女性相談所及び警察署と連携して暴力被害女性や保護を必要とする女性の相談支援に応じ、相談者の問題の解消及び不安の軽減を図った。

相談主訴別件数　（単位　件）

		来所	電話	訪問	その他	計	実人数
人間関係	夫等	95	50	27	11	183	75人
	子ども	38	26	25	10	99	22人
	親族	10	2	0	1	13	12人
	その他	51	26	0	2	79	38人
経済関係		50	13	2	0	65	36人
医療関係		164	93	72	55	384	105人
住居問題		0	2	0	0	2	1人
帰住先なし		0	0	0	0	0	0人
計		408	212	126	79	825	289人

事業名	母子生活支援施設入所事業費					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,204,472	7,468,801	3,734,400			8,001,271	13,220,405

配偶者がいない女性又はこれに準ずる事情にある女性及びその者の監護すべき児童が、虐待その他の事情によって保護を必要とするときに、その女性及び児童を母子生活支援施設で保護をした。また、施設との連携により、就労指導等を行い自立を支援した。

母子生活支援施設（県内2か所、県外1か所）

入所中　3施設 4世帯 12人　（入所　1世帯、退所　1世帯）

事業名	助産施設入所事業費					こども支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,767,280	650,475	325,238			791,567	2,220,070

妊産婦が保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由によって入院助産を受けることができない場合に、指定助産施設で出産することにより、母子の安全を確保した。

助産施設入所者数 4人　（済生会松阪総合病院 4人）

事業名	要保護児童対策事業費				こども支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
603,292					603,292	317,989

児童の養育や虐待等の問題に対し、未然防止・迅速・的確に対応するため関係機関との連携を図った。
また、市民の児童虐待に対する意識向上のために啓発活動を行った。

松阪市児童支援連絡協議会（M．ＣＡＰ）　代表者会議

開催回数	開催日	会議内容	参加人数
1回	令和元年5月30日	平成30年度活動報告及び相談業務の実績報告について 令和元年度活動予定について	35人

松阪市児童支援連絡協議会（M．ＣＡＰ）　事務局会議

開催回数	開催日	会議内容	参加人数
第1回	平成31年4月19日	平成30年度相談業務について 情報交換	13人
第2回	令和元年7月12日	代表者会議について検討 情報交換	16人
第3回	令和元年9月13日	児童虐待防止推進月間の取り組みについて 情報交換	14人
第4回	令和元年11月8日	児童虐待防止推進月間の取り組みについて 情報交換	14人
第5回	令和2年1月10日	児童虐待防止推進月間における取り組みへの反省 情報交換	8人
第6回	令和2年3月1日	令和元年度取り組みへの反省と次年度に向けて検討 情報交換	13人

松阪市児童支援連絡協議会（M．ＣＡＰ）　個別ケース会議

開催回数	開催日	会議内容	参加人数
59回	年間	個別に児童に対する具体的な支援内容等を検討	延412人

啓発活動

期間	啓発	内容
11月	啓発物品の配布（10回） 懸垂幕の設置 職員名札用リボン配付	ＪＲ松阪駅・みえこどもの城・市内スーパー等 市役所本庁舎正面に啓発のための懸垂幕設置 全職員がオレンジリボンを着用
11月～12月	オレンジツリーの設置	市役所本庁舎総合案内横に設置
通年	オレンジリボンの配布	市役所本庁舎総合案内、健康福祉部各課及び各振興局地域住民課の窓口にて配布

(款）3民生費　　（項）3児童福祉費　　（目）9児童発達支援費

（単位　円）

事業名	障害児通所支援事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
550,918,185	272,958,520	142,876,259			135,083,406	474,238,897

障がい児の自立を促進するため、日常生活における基本的な動作訓練、集団生活への適応訓練、生活能力向上のための必要な訓練などの支援を行った。

	＜利用者数＞	＜延利用件数＞	＜給付費＞
児童発達支援	304人	3,079件	72,826,990円
放課後等デイサービス	402人	6,608件	445,145,999円
障害児相談支援	646人	1,611件	30,967,358円
高額障害児通所給付費	40人	40件	317,032円

事業名	障害児福祉手当等給付事業費					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,713,910	15,228,247				6,485,663	21,810,370

日常生活において常時介護を必要とする重度障がい児に対して障害児福祉手当を支給した。また、特別児童扶養手当及び障害児福祉手当が支給されない保護者に対して松阪市重度心身障害児福祉年金を支給した。

障害児福祉手当　　月額：14,790円　受給者数：129人
重度心身障害児福祉年金　月額：　5,000円　受給者数：31人

事業名	児童福祉費国県支出金返還金					障がい福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
124,379,084					124,379,084	23,329,573

平成30年度

国庫支出金	障害児入所給付費等国庫負担金及び 障害児入所医療費等国庫負担金返還金	82,919,389
県支出金	障害児通所給付費等負担金返還金	41,459,695

(款）3民生費　　（項）3児童福祉費　　（目）10子ども発達総合支援センター費

（単位　円）

事業名	子ども発達総合支援センター管理運営事業費					子ども発達総合支援センター
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
54,829,318				31,852,112	22,977,206	60,050,010

心身の発達に心配がある又は障がいのある児童が、地域で途切れない支援を受けながら安心した暮らしを実現するため、保健・福祉・教育及び医療分野並びに関係機関との連携のもと、児童への基本的な日常生活動作の体得、社会適応などのための療育・訓練を行うとともに、保護者及び家族に対する子育て及び就園や就学に向けた専門的な知識・技術による相談支援等を行った。

年間開所日数　：235日
年間利用児童数：延5,832人
【内訳】児童発達支援　延4,241人、放課後等デイサービス　延1,591人
一 日 平 均　：24.8人
（定員：児童発達支援　50人／日　放課後等デイサービス　15人／日）
登 録 児 童 数：300人（令和2年3月31日現在）
【内訳】児童発達支援：184人、放課後等デイサービス：116人

専門職員（非常勤職員を含む）：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、音楽療法士、臨床心理士
保育士、児童指導員、児童発達支援管理責任者、看護師

内　容：

・集団療育、専門職員による療育・訓練（機能訓練・言語訓練等）の提供等

児童発達支援　延4,241人

集団療育（17クラス、設定クラス）延1,478人、理学療法　延470人、作業療法　延1,123人

言語療法　延644人、音楽療法　延442人、臨床心理（相談・検査等）延84人

放課後等デイサービス　延1,591人

理学療法　延350人、作業療法　延510人、言語療法　延328人、 音楽療法　延183人

臨床心理（相談・検査等）延220人

・人材育成講座の開催（開催回数　4回　参加人数：延211人）

子育て支援又は特別支援教育に関わる事業に従事する職員等の発達支援の技術的向上と人材育成を目的に開催した。

・児童発達支援地域スクール事業

就園、就学している障がい児に対し、学校等の夏季の長期休暇中及び冬季・春季の土日に地区市民センターなどを利用して、地域のボランティアの協力を得ながらデイサービスを実施し、日中活動の場を提供して児童の発達支援、保護者等の介護負担の軽減及び共生社会の実現を図った。

委託先：社会福祉法人　松阪市社会福祉協議会　　会場：8会場

	夏季	冬季	春季	計
開催日数	14　日	2　日	1　日	17　日
参加児童実人数	45　人	13　人	5　人	63　人
参加児童数	延　123　人	延　15　人	5　人	延　143　人
ボランティア等実人数	169　人	24　人	11　人	204　人
ボランティア等人数	延　218　人	延　29　人	11　人	延　258　人

※春季の開催について、新型コロナウィルス感染拡大防止のため開催を1日中止とした。

・経営評価事業

子ども発達総合支援センターの事業の安定と療育・訓練等サービスの良質かつ適正な提供を図るため、通所利用児童の保護者及び外部有識者等で構成する経営評価委員会を設置し、平成29年度に策定した経営計画書（第1期）に基づき事業の評価・課題整理を行い、令和元年9月27日に市長へ「松阪市子ども発達総合支援センター経営に関する提言」を行った。

経営評価委員会委員　10名（通所児童保護者2名、障がい児者団体の代表者1名、地域関係者1名、児童福祉関係者1名、学識経験者1名、中小企業診断士1名、市関係部局職員3名）

経営評価委員会の開催（計画に基づく協議・検討）3回

	開催日	内　　容	出席人数
第1回	令和元年6月6日	利用者アンケートの集計結果、経営評価シート（財務関係）の協議・検討	8人
第2回	令和元年7月22日	経営評価シート（事業実施関係）等の協議・検討	9人
第3回	令和元年8月21日	市長に対する提言（案）についての協議・検討	9人

事業名	障害児通所支援事業負担金還付金				子ども発達総合支援センター	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,428					2,428	―

障害児通所支援事業負担金（平成30年度）の調整により、過年度に遡り利用料の減額変更が必要となったため、差額分の過年度還付を行った。

内容：障害児通所支援事業負担金の還付金

還付額：2,428円

事業名	子ども発達総合支援センター施設整備事業費				子ども発達総合支援センター	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,306,300					6,306,300	3,979,800

子ども発達総合支援センターの外部木質部分等の劣化を防ぐために木部補修工事を実施した。

工 事 名：子ども発達総合支援センター木部補修工事（第二期）

工　　期：令和元年11月26日（着手）～令和2年3月6日（完成）

契 約 額：6,306,300円

工事内容：木質外壁塗装、木質細物（網戸・建具・枠）塗装、屋外ウッドデッキ改修

事業名	育ちサポート推進事業費				子ども発達総合支援センター	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,145,832	700,000			23,151	14,422,681	14,421,067

子どもたちが安心して成長できる、また子どもたちを安心して育てられる環境整備の一環として、子ども本人や保護者・保育教育関係者に対して、発達障がい等の発達に関する相談や助言・検査、関係機関とのネットワークをいかした支援及び障がいのある子どもの就園や就学に関して、教育委員会事務局と健康福祉部において連携を図るなど、発達障がいを含む全ての障がいのある子どもへの早期からの一貫した支援を行った。

相談等の支援活動の実績

支援内容	実績	内　容
相談件数	4,032回	特別支援学級在籍の子ども以外に通常学級在籍の子どもの相談が多く、また主訴も複数にわたるケースも多くあった。
面接（来所）相談	1,078回	来所による相談
巡回・訪問相談	1,381回	要請に応じ相談員・職員を学校・（幼・保）園に派遣
電話相談	1,573回	電話相談から来所につながるケースが多くあった。
発達検査	586回	WISC-Ⅳや新版K式等の発達検査
幼児児童生徒観察実態把握	2,226人	1歳3歳児健診480人、保育園・幼稚園543人、小中学校1,203人
ケース会議（関係者会議）	254回	学校や（幼・保）園、また三重県立子ども心身発達医療センター等の関係機関と協議を行い、個々のケースを検討し今後の支援へつなぐことができた。
特別支援教育アドバイス		学校・（幼・保）園における支援の体制整備と「個別の教育支援計画」の作成・活用推進、個々の子どもの支援に関する助言を行った。
延学校・（幼・保）園訪問回数	137回	学校・（幼・保）園（137回）へ訪問
延指導・観察助言回数	857回	アドバイザー（2人）が面接、訪問、電話相談を行った。
教育支援対象幼児児童生徒	194人	障がいのある子どもの小学校・中学校の就学先に関する相談や判定などの支援を行った。
保育支援対象乳幼児	131人	障がいのある子どもの保育園・幼稚園等の就園に関わる相談や判定等の支援を行った。
関係機関ネットワーク会議（実務担当者会議）	24回	関係機関の実務担当者によるケースの共有・情報交換やよりスムーズな連携のための他部署の業務内容等の共有を図った。
研修会講師等	22回	校内研修会、教職員研修、保育研修、PTA・NPO等の団体研修において職員を講師として派遣した。

(款）3民生費　　（項）4生活保護費　　（目）1生活保護総務費

（単位　円）

事業名	嘱託医師報酬					保護課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
900,000					900,000		900,000

生活保護法による医療扶助の適正実施を図るため嘱託医を置き、医学の専門的見地から医療検討会での指導助言や医療扶助の決定・実施の判断基礎となる医療要否意見書の審査を受けた。

区分	内　容
医療検討会	月1回開催し、年間71ケースについて指導助言を受けた。
医療要否意見書審査	医療要否意見書等について年間8,043件の審査を受けた。（月4回程度） 審査の内訳 ・入院分　　721件 ・入院外分　6,879件 ・その他（治療材料、検診料ほか）443件

事業名	生活保護適正実施推進事業費					保護課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,590,693	1,177,000				2,413,693		4,955,602

事　業　名	事業費	内　容
精神科嘱託医師の設置に係る経費	337,200	生活保護法による医療扶助の適正実施を図るため精神科の嘱託医を置き、医学の専門的見地から医療扶助の決定・実施の判断基礎となる医療要否意見書の審査を受けた。 医療要否意見書等について年間300件の審査を受けた。（月2回） ・入院分　　162件 ・入院外分　138件
医療情報の活用に係る経費	2,299,248	レセプト管理システムの活用により、被保護患者の適切な処遇の確保など、効率的かつ効果的な医療扶助の実施を図った。 また、医療機関からの診療報酬明細書（レセプト）の点検強化を図り、請求内容に疑義があるものは支払基金に対し再審査の請求を行った。 ・レセプト管理システム賃貸借　　729,648円 ・レセプト管理システム機械点検業務委託　654,000円 ・レセプト管理システム機械点検業務委託（その2）915,600円 　診療報酬明細書の点検総数：47,924件 　再審査請求を行った件数と金額：348件 1,543,740円
訪問調査の充実に係る経費	954,245	生活保護業務専用車両（4台）を配備し、訪問調査の充実を図り、生活保護制度の適正実施に努めた。 ・公用車燃料費　　210,477円 ・公用車リース代　723,168円 ・有料道路通行料　　20,600円
計	3,590,693	

事業名	生活保護受給者就労支援事業費				保護課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,177,173	3,273,003			10,729	893,441	4,378,708

事　業　名	事業費	内　容
生活保護受給者就労支援事業	4,177,173	就労支援相談員を雇用し生活保護受給者に対し就労への意識付けを行い自立助長に努めた。特に稼働能力を有すると思われる被保護者の方に対しては自立支援プログラムにより自立に向けた積極的な就労支援に取り組んだ。 自立支援プログラムによる支援を行った件数　62件 支援により就労開始または増収となった件数　30件 うち就労により生活保護廃止となった件数　5件

事業名	生活保護費国県支出金返還金				保護課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
70,285,499					70,285,499	10,297,312

前年度に交付申請し概算払として受入済の国庫負担金・国庫補助金について、事業決算の結果、過収入となった金額について、精算返還を行った。

平成30年度生活扶助費等国庫負担金	17,867,347 円
平成30年度医療扶助費等国庫負担金	48,171,924 円
平成30年度介護扶助費等国庫負担金	4,219,228 円
平成30年度生活困窮者就労準備支援事業費等国庫補助金	27,000 円

事業名	生活保護一般経費				保護課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,955,975				46,888	10,909,087	11,793,109

生活保護制度の実施運営に伴う事務経費・人件費等

(款）3民生費　　（項）4生活保護費　　（目）2扶助費

（単位　円）

事業名	生活保護扶助費					保護課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,748,525,282	2,772,750,000	88,683,915		27,420,591	859,670,776	3,694,398,757

生活保護法に基づき生活に困窮する者に対し困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長するため各種扶助を行った。

扶助費の支給状況（年間）

扶助名	費用区分	内　容	扶助額	扶助人員
生活扶助	日常生活に必要な費用（食費、被服費、光熱水費等）	基準額は、 (1) 食費等の個人的費用 (2) 光熱水費等の世帯共通費用を合算して算出。 特定の世帯には加算あり（母子加算等）	1,067,532,707	23,788
住宅扶助	アパート等の家賃等	定められた範囲内で実費を支給	491,633,167	21,962
教育扶助	義務教育を受けるために必要な学用品費等	定められた基準額を支給	12,829,871	1,547
介護扶助	介護サービスの費用	費用は介護事業者等へ支払	120,670,407	6,636
医療扶助	医療サービスの費用	費用は医療機関等へ支払	2,021,470,842	23,886
出産扶助	出産に関する費用	定められた範囲内で実費を支給	0	0
生業扶助	高校等への就学や就労に必要な技能修得等の費用	定められた範囲内で実費を支給	7,830,935	466
葬祭扶助	葬祭費用	定められた範囲内で実費を支給	2,762,027	28
施設事務費	施設保護を行う場合の保護施設入所に係る措置費	施設事務費として国の基準に基づき定められている額を施設に支払	23,048,948	140
就労自立給付金	就労後の自立を助長するための給付	生活保護脱却前の就労状況に基づき算定された額を給付	446,378	12
進学準備給付金	大学等の特定教育訓練施設への入学費用等を給付	自宅通学10万円、自宅外通学30万円を給付	300,000	3
計			3,748,525,282	78,468

生活保護の状況（令和2年3月末）

区分		今年度末	参考前年	単位
被保護世帯		1,761	1,798	世帯
	うち高齢者	1,055	1,045	世帯
	うち外国籍	71	77	世帯
被保護人員		2,197	2,272	人
	うち外国籍	113	131	人
保護率		13.7	14.1	‰ ※

※‰（パーミル）＝千分率

生活保護開始・廃止の状況（年間）

区分	今年度	参考前年	単位
保護開始世帯数	162	162	世帯
保護開始人数	201	198	人
保護廃止世帯数	202	199	世帯
保護廃止人数	235	248	人

(款) 3民生費　　(項) 5災害救助費　　(目) 1災害救助費

(単位　円)

事業名	災害弔慰金					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						―

災害弔慰金の支給等に関する法律及び同法施行令の規定に準拠し、自然災害により死亡した市民の遺族に対し、弔慰金を支給する。令和元年度の支給はなし。

事業名	小災害見舞金					地域福祉課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
560,000					560,000	340,000

自然災害ならびに住家火災による被害を受けた方に対して、見舞金を支給した。

支給実績

区分	1件あたりの金額	件数	見舞金
半焼（壊）	50,000円	0世帯	0円
全焼（壊）	80,000円	5世帯	400,000円
水損	30,000円	2世帯	60,000円
床上浸水	20,000円	0世帯	0円
入院（30日以上）	20,000円	0人	0円
入院（90日以上）	30,000円	0人	0円
死亡	100,000円	1人	100,000円
計			560,000円

(款) 4衛生費　　(項) 1保健衛生費　　(目) 2環境衛生費

(単位　円)

事業名	浄化槽設置促進事業費				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
187,600					187,600	172,140

合併処理浄化槽情報管理システムの情報管理を行った。

［平成30年度の浄化槽設置促進事業費から一部172,140円を分割］

事業名	浄化槽設置整備事業補助金				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
42,094,000	13,408,000	13,241,000			15,445,000	41,109,000

公共用水域の水質汚濁防止及び生活環境の保全を図る事を目的として、一定区域内において住宅（兼用含む）・共同住宅の単独処理浄化槽やくみ取り便槽の使用を廃し新たに合併処理浄化槽を設置する際の費用の一部を補助した。

区分	補助金額	件数
5人槽	332,000円	37
7人槽	414,000円	37
10人槽	548,000円	4
計		78
単独槽撤去費補助	120,000円	44
配管費補助	90,000円	78

［平成30年度の浄化槽設置促進事業費から一部41,109,000円を分割］

事業名	畜犬登録等事業費				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,089,205				3,089,205		3,048,557

狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施した。

登録頭数　10,755頭　　狂犬病予防注射件数　8,161件

事業名	行旅死亡人取扱事業費				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
924,580		691,335		233,245		848,790

行旅病人及行旅死亡人取扱法及び墓地、埋葬等に関する法律に基づき死亡人の取扱を行った。

身元不明の遺体の火葬等　　6件

引取り手のない遺体の火葬等　20件

事業名	公衆便所管理事業費				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,259,264					3,259,264	3,130,219

松阪駅西トイレ、中町公衆便所の維持管理を行った。

事業名	共同簡易飲料水供給施設管理事業費					環境課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
98,890				19,000	79,890		253,692

上水道未整備地域の住民の生活の基盤である飲料水供給施設の修繕を行った。

事業名	犬猫去勢避妊手術費補助金					環境課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,000,000					3,000,000		3,150,000

飼育限度を超えた犬及び猫の繁殖を制限し、捨て犬及び捨て猫の防止を図るため、犬猫去勢避妊手術に要する費用の一部を補助した。

	犬			猫			合計
	オス	メス	小計	オス	メス	小計	
本庁	113	92	205	261	259	520	725
嬉野	16	24	40	38	47	85	125
三雲	15	10	25	32	50	82	107
飯南飯高	5	9	14	12	17	29	43
計	149	135	284	343	373	716	1,000

［平成30年度の動物愛護推進事業費から一部3,150,000円を分割］

事業名	共同浴場解体事業費					環境課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
50,983,900				31,868,100	19,115,800		591,840

宮町共同浴場が閉鎖されたため、共同浴場施設の取り壊しを行った。

事業名	保健衛生費国県支出金返還金					環境課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
171,363					171,363		―

・循環型社会形成推進交付金について一部の事業が資材調達の関係で繰越となり清算払することができなかったため、補助率を上回る交付金141,000円を返還した。

・平成29年度に「三重県墓地、埋葬等に関する法律第9条の規定による費用弁償事務取扱要領」に基づいて三重県から費用弁償を受けた県支出金に返還金が生じたことにより、30,363円を返還した。

事業名	環境衛生一般経費					環境課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,229,230					1,229,230		1,472,429

環境衛生に係る一般事務経費

事業名	戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計繰出金					環境課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
69,824,000					69,824,000		74,249,000

飯南・飯高管内を対象とする戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計に係る繰出金

(款) 4衛生費　　(項) 1保健衛生費　　(目) 3環境保全費

(単位　円)

事業名	環境調査事業費				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,287,780					2,287,780	2,903,732

騒音規制法及び振動規制法に基づき指定区域の調査測定を行った。

区　分	調査項目	調査地点	測定回数	測定結果
環境騒音調査	環境騒音	9　地点	1回／年	概ね環境基準を満たしていた。
道路交通振動調査	道路交通振動	2　地点	1回／年	概ね環境基準を満たしていた。
自動車騒音常時監視に係る騒音調査	自動車騒音	3　路線 3　地点	1回／年	概ね環境基準を満たしていた。

水質汚濁防止法に基づく県の調査測定を補完し、市域における河川等の水質状況を把握するために調査測定を行った。

区　分	調査項目	調査地点	測定回数	測定結果
河川水質調査	生活環境項目	29　地点	24河川他 1回／年	環境基準値を満たしていた。
	健康項目	2　地点		環境基準値を満たしていた。

公害防止協定締結事業場等の排水・悪臭の調査測定を行った。

区　分	事業場数	測定回数	測定結果
排水調査	1　事業場	2回／年	規制基準を満たしていた。
悪臭調査	1　事業場 2　か所	1回／年	規制基準を満たしていた。

事業名	環境啓発活動事業費				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,274,292					1,274,292	1,870,189

環境に関する市民の意識を高めるために、啓発活動を実施した。

・環境月間（6月）の啓発
　懸垂幕の掲示、のぼり旗の設置、アクリルたわし作成セットの配布
　公用車へ環境美化啓発マグネット貼付け
・地球温暖化防止月間（12月）の啓発
　懸垂幕の掲示、広報誌への掲載
・各イベント等での生活排水の啓発
・路上喫煙禁止区域の啓発活動
　路上喫煙禁止区域認知率アンケート調査等（R1.9.22環境フェア、R2.2.6松阪駅周辺）
　　アンケート回収数555人、認知率51.7%
・まちなか避暑地キャンペーン（7～9月）
　（協力施設）商業施設26、公共施設16、計42施設
・ネイチャーマップまつさか広報番組制作
・夏休み親子環境学習会の実施（R1.8.21及びR1.8.23、計16組40人の参加）
・バイオマス・スタディツアーの実施（R1.11.30、計13組23人の参加）

動物に対する愛護意識の高揚を図るために、啓発活動を実施した。

・動物愛護絵画展開催
　（於松阪マーム）　R1.9.20～R1.9.29（出展数　48点）
・環境フェア
　（於松阪農業公園ベルファーム）　R1.9.22

・カーテンコンテスト
（於ぎゅーとら下村店、ピアゴ嬉野店） R1.9.14
（於松阪マーム、アピタ松阪三雲店）R1.9.29
・安全・安心フェスタ　まつさか（三重県獣医師会松阪多気支部展示啓発ブース）
（於クラギ文化ホール・農業屋コミュニティ文化センター・子ども支援研究センター体育室）
R1.12.22
・迷子犬情報提供（ホームページによる情報提供、「犬の抑留」公告の掲示）
・フン放置禁止看板配付（自治会等）

［平成30年度の動物愛護推進事業費の一部510,387円を統合］

事業名	Matsusaka-EMS事業費				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,114,043					1,114,043	1,073,362

松阪市独自の環境マネジメントシステムを運用することにより、環境基本計画及びエコフィスアクションプログラムまつさかの推進及び進捗管理を行い、温室効果ガス排出量の削減等を推進した。また、各職場において職場研修や個人アンケートチェックを行い、職員の環境に対する意識の向上を図る等、本システムの継続的な運用を行った。

事業名	環境パートナーシップ会議事業費				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,290,354					1,290,354	1,303,047

うるおいある豊かな環境の保全と創造に向けた取組みをより実効あるものとするため、「松阪市環境パートナーシップ会議」において、市民、市民団体、事業者、行政の協働のもと、環境に優しい活動の普及啓発を実施した。

・ 各プロジェクト会議の開催　20回
・ 緑のカーテン啓発活動
緑のカーテン育て方講座　H31.4.20（参加者数　35人）
市民向け苗配布　R1.5.25（配布数　2,000株　配布者数　500人）
緑のカーテンコンテスト　応募件数　45件　投票総数1,397票
・ 環境フェア開催（於松阪農業公園ベルファーム）　R1.9.22（来場者数　2,670人）
・ 会議の周知活動、組織拡充のための啓発活動
会議の活動等の周知及び新規会員の加入を図るための緑のカーテンコンテスト投票者に対するアンケート調査及び勧誘等を行ったほか、10／5開催の省エネセミナーで活動内容等を紹介するために会員が講演を行った。これらの取組み等により、会議への新規加入はあったものの、同数の退会者があり、会員数増とはならなかった。（R2.3.31現在　56会員）
・ 会員向け広報紙「環境パートナー通信」の発行（発行回数　4回）
・ 会員学習会の開催　R1.10.2（参加者数　11人）
・ 省エネの普及啓発
会員及び一般参加者を対象とした省エネ講座の開催　R1.10.5（参加者数　21人）

事業名	地域好循環創造基金積立金				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,650,000				19,650,000		700,000

松阪新電力株式会社からの寄付に伴う基金への積立金
令和元年度末基金現在高　20,133,000円

事業名	環境保全一般経費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
675,072					675,072	831,313

環境保全に係る一般事務経費

環境審議会の開催（R1.11.21）

環境基本計画に関する事項その他うるおいある豊かな環境の保全と創造に関する基本的事項について調査審議するための審議会であり、1回開催した。

（款）4衛生費　　（項）1保健衛生費　　（目）4火葬場墓地費

（単位　円）

事業名	火葬施設解体事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
536,760					536,760	2,046,600

三雲火葬場の解体に伴う石綿事前調査を行った。

松阪市三雲火葬場石綿事前調査業務委託　536,760円

事業名	斎場・火葬場管理事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
85,507,817				41,630,010	43,877,807	93,205,144

篠田山斎場、嬉野斎場、飯南火葬場の運営及び施設の維持管理を行った。

火葬	2,146件
	（篠田山斎場）　1,695件
	（嬉野斎場）　322件
	（飯南火葬場）　129件
霊柩搬送	875件（篠田山斎場）
葬祭室貸出	512件
	（篠田山斎場）　441件（室1:310件、室2:131件）
	（嬉野斎場）　71件（通夜:34件、告別式:37件）
納棺	354件（篠田山斎場）
犬猫火葬	2,751件　（犬:992件、猫:1,759件）
	（篠田山斎場）　2,301件（犬:751件、猫:1,550件）
	（嬉野斎場）　416件（犬:213件、猫:203件）
	（飯南火葬場）　34件（犬:28件、猫:6件）

事業名	篠田山墓地管理事業費					環境課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,555,238				3,170,775	11,384,463	10,147,049

篠田山霊苑の維持管理を行った。

事業名	斎場・火葬場施設整備事業費					環境課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
8,048,000					8,048,000		20,088,000

篠田山斎場及び嬉野斎場の火葬炉設備の修繕を行った。

篠田山斎場耐火台車取替修繕（2号炉）　1,298,000円
松阪市嬉野斎場（ヒプノス嬉野）火葬炉排気ファンオーバーホール修繕（2系列）　1,998,000円
篠田山斎場耐火台車取替他修繕（4号炉）　1,404,000円
篠田山斎場主・再燃焼室炉内耐火物修繕（2･5号炉）　3,348,000円

事業名	篠田山霊苑施設整備事業費					環境課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,096,640					3,096,640		2,410,560

篠田山霊苑内の整地工事、乗り入れ修繕及び手桶収納棚設置修繕を行った。

篠田山霊苑整地工事　2,283,600円
篠田山霊苑乗り入れ修繕工事　291,500円
手桶収納棚設置修繕　521,540円

（款）4衛生費　（項）1保健衛生費　（目）5予防費

（単位　円）

事業名	食生活改善推進員支援事業費					健康づくり課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
216,411				52,000	164,411		352,374

「食」を通した健康づくりの活動を行う食生活改善推進員に対し、健康づくりのための知識や技術のスキルアップを図り、市が実施する保健事業への協力を得た。

グループ研修での健康講座	29回	参加延人数	669人
健康講座交流会	4回	参加延人数	108人
うきうきクッキング研修会	10回	参加延人数	249人
食生活改善推進員ステップアップ教室	1回	参加延人数	10人

事業名	献血推進協議会運営費補助金					健康づくり課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
172,000					172,000		172,000

松阪市献血推進協議会が行う献血活動への一層の理解・協力を求めるための啓発活動及びイベント献血・定期献血等の取組みに対して補助した。

献血者数　2,300人
市内及び事業所献血実施回数　95回
主な実施内容：　マーム定期献血　12回
イベント献血（健康フェスティバル、氏郷まつり）　2回
各事業所　81回

事業名	予防接種事業費					健康づくり課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
399,177,879	9,672,000			1,402	389,504,477		396,673,662

予防接種法に基づいて、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために、疾病の予防に有効であることが確認されているワクチン接種を医療機関に委託実施し、公衆衛生の向上及び増進を図った。

乳幼児、児童生徒：法律に定められた各種予防接種を行った。

令和元年度に65・70・75・80・85・90・95・100歳になる方、及び60歳から65歳未満で心臓、腎臓呼吸器等の障がいを有する方のうち定期接種未接種者に対し、肺炎予防のため、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を行った。

65歳以上の高齢者、及び60歳から65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器等の障がいを有する方の健康の保持増進とインフルエンザの流行を防止するため、高齢者インフルエンザ予防接種を行った。

風しんの追加的対策を令和元年度より、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象に抗体検査を実施し、抗体価の低かった方に対し、風しん第5期定期接種を実施した。

日本脳炎の特例対象者（平成7年4月2日～平成19年4月1日生）が20歳未満までの間に平成17年の積極的勧奨の差し控えにより影響を受けた未接種分を接種できるよう実施した。

接種名	回数名	令和元年度	
		対象者数	接種者数
乳幼児対象			
B型肝炎	1回目	1,124人	1,114人
	2回目	1,124人	1,124人
	3回目	1,124人	1,119人
ヒブ	1回目	1,135人	1,100人
	2回目	1,135人	1,096人
	3回目	1,135人	1,067人
	追加	1,135人	1,096人
小児用肺炎球菌	1回目	1,135人	1,112人
	2回目	1,135人	1,138人
	3回目	1,135人	1,117人
	追加	1,135人	1,212人
BCG		1,124人	1,131人
四種混合	1期1回目	1,140人	1,143人
	1期2回目	1,140人	1,124人
	1期3回目	1,140人	1,128人
	1期追加	1,140人	1,103人
MR	MR1期	1,186人	1,214人
	MR2期	1,275人	1,204人
麻しん	麻しん1期	－	－
	麻しん2期	－	－
風しん	風しん1期	－	－
	風しん2期	－	－
水痘	1回目	1,186人	1,196人
	2回目	1,186人	1,104人
日本脳炎	1期1回目	1,268人	1,256人
	1期2回目	1,268人	1,247人
	1期追加	1,296人	1,329人
不活化ポリオ	1回目	－	－
	2回目	－	－
	3回目	－	1人
	追加	－	1人

接種名	回数名	令和元年度	
		対象者数	接種者数
児童・生徒対象			
日本脳炎	2期	1,484人	1,347人
	特例1期1回目	－	8人
	特例1期2回目	－	10人
	特例1期追加	－	53人
二種混合	2期	1,535人	1,281人
子宮頸がん	1回目	698人	9人
	2回目	698人	8人
	3回目	698人	7人

風しんの追加的対策に係る抗体検査・第5期定期接種		
	対象者数	実施者数
抗体検査	19,099人	2,103人
風しん第5期	790人	631人

乳幼児・児童・生徒対象		
予診のみ	－	6人

高齢者対象			
高齢者インフル	60～64歳	66人	48人
	65歳～	47,992人	27,264人
高齢者肺炎球菌	定期 60～64歳	66人	1人
	定期 65歳～	10,705人	1,635人

※対象者数は、厚生労働省が用いている接種率の算定方式である10月1日現在の人口から算出。
※県外定期接種11人52件を含めない。
※長期疾患等による特例措置MR2期1件を含む。
※年齢対象外のためMR接種助成(MR1期7件、2期1件)は含めない。

事業名	感染症予防事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
233,940					233,940	243,586

令和元年度は新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、松阪市新型インフルエンザ等対策行動計画、松阪市業務継続計画（BCP）により感染症対策を行った。令和2年3月30日「松阪市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置した。感染症拡大防止対策のため、手指消毒の調達と市関連施設への備蓄の配布、補充管理を行った。

配布数　アルコール消毒液（500ml）568本
（うち、1月～3月　新型コロナウイルス感染症予防対策にかかる配布数　481本）
サージカルマスク（大人用）6,350枚　（子ども用）800枚　（女性用）850枚

事業名	予防接種健康被害対策事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,142,460		9,097,067			3,045,393	12,196,286

予防接種により健康被害を受け、厚生労働省より障害年金等受給の認定を受けた方に医療費・医療手当・障害年金を支給した。　支給対象 3人
また、令和元年度は1人予防接種健康被害の申請から、予防接種健康被害調査委員会を開催した。

事業名	食生活改善推進協議会補助金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
650,000					650,000	650,000

「食」を通した健康づくりの活動を行うとともに市や地域が行う健康づくり等の行事への参加協力により、市民の健康増進に寄与する松阪市食生活改善推進協議会の活動を補助した。

会員数　155人　延活動回数　318回

活動内容：子どもや高校生・働き世代・高齢者等の健康料理教室の開催、健康づくり事業への参加協力等

事業名	骨髄移植ドナー支援事業助成金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
210,000					210,000	100,000

骨髄バンク事業における骨髄・末梢血幹細胞の提供者及び骨髄バンク登録者を増やすことを目的に、骨髄・末梢血幹細胞の提供者及び提供者の勤務先への助成を実施した。
助成者数　1人　助成事業所　1件

事業名	予防接種県外接種費用助成金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
445,450					445,450	1,194,256

里帰り出産や長期入院等で、県外の医療機関において予防接種法における定期接種（A類）を受けた方への接種費用の助成を実施した。

助成数：11人52件

事業名	おたふくかぜワクチン接種費用助成金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,017,200					5,017,200	―

おたふくかぜの重篤化、合併症の予防のため、任意接種であるおたふくかぜワクチンの接種費用の一部を助成した。

期間　R1.6.1～R2.3.31
対象者　1歳以上就学前の幼児
助成件数　2,006件

事業名	麻しん及び風しんワクチン接種費用助成金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
56,000					56,000	―

麻しん及び風しんワクチン（以下「MRワクチン」という。）であるMR1期・2期の定期接種もれの経過措置として、任意のワクチン接種に係る費用の一部を助成した。

対象者　・MR1期の接種漏れ者：生後24か月から年長児となるまでの幼児
　　・MR2期の接種漏れ者：小学1年生に相当する年齢の児童
助成件数　MR1期：7件、MR2期：1件

事業名	風しんワクチン接種費用助成金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
356,260					356,260	―

妊婦への感染及び胎児に重篤な影響を及ぼすおそれのある先天性風しん症候群の発生を予防するため、妊娠を希望している女性や妊婦の同居者等に対し、接種費用の一部を助成した。

期間　R1.6.1～R2.3.31
対象者　①妊娠を希望する女性で風しん抗体価が低い人
　　②風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者などの同居者で、風しんの抗体価が低い人
助成件数　91件

事業名	予防一般経費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,578,233				5,360	3,572,873	3,612,252

予防接種事業・母子保健事業等の推進に係る一般事務経費、地域医療連携のため、認定審査会や保育園、学校等への医師推薦や講演会への講師派遣等

保健師の知識向上や管内保健衛生対策、事業連携を向上するため、関連団体へ加盟した。

加入団体：三重県市町保健師協議会、松阪保健所管内保健衛生業務対策協議会
　　三重県安全運転管理協議会

(款) 4衛生費　　(項) 1保健衛生費　　(目) 6母子保健費　　(単位　円)

事業名	母子保健事業費					健康づくり課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
138,630,327	7,757,000	1,500,000		41,973	129,331,354	138,553,002

子育て世代包括支援センター

母子保健法の改正により子育て世代包括支援センター（法律上は「母子健康包括支援センター」）が法定化された。平成26年度から実施されている妊娠･出産包括支援事業と、平成27年度から開始された子ども子育て支援新制度の利用者支援や子育て支援など包括的に運営する機能を担うセンターとして、平成27年度に旧健康センターに設置し、平成29年度松阪市健康センターはるるの開設に合わせて設置し、平成30年度は出生数が増加傾向の嬉野・三雲管内を中心に対応するため、2か所目として嬉野保健センターに設置した。

支援プランの策定

妊娠期から子育て期にわたる途切れない支援として、地区担当制の保健師及び県の研修を受けた母子保健コーディネーターを配置し、担当課や関係機関との連絡調整、支援を行った。

母子保健コーディネーター　15人
妊産婦サポートプラン作成数　　335件
乳幼児個別プラン作成数　1,324件

母子健康手帳の交付

妊娠届提出時等に交付した。　　妊娠届出数　1,116件　　発行数　1,182件

妊産婦健康相談

母子健康手帳交付時等に実施した。 相談件数　　妊婦227件　産婦63件

妊婦一般健康診査（全14回）

母体の健康保持・増進のため、医療機関等に委託して健康診査を実施した。

健診項目

1回：基本的な妊婦健康診査（問診及び診察、血圧測定、体重測定、尿検査）
妊娠初期血液検査（血液型、血算、血糖、HIV抗体、B型肝炎抗原、C型肝炎抗体、梅毒、風疹抗体）
子宮頸がん検診（細胞診）
超音波検査

2～5・7・9～10・12～14回：基本的な妊婦健康診査

6回：基本的な妊婦健康診査、超音波検査
血液検査（血算、血糖、HTLV-1抗体）、 性器クラミジア検査

8回：基本的な妊婦健康診査
超音波検査

11回：基本的な妊婦健康診査
血液検査（血算）
B群溶血性レンサ球菌（GBS）検査
超音波検査

回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
受診者数	1,113人	1,098人	1,085人	1,073人	1,068人	1,058人	1,058人	1,037人
回数	9回	10回	11回	12回	13回	14回	計	
受診者数	980人	887人	996人	730人	522人	307人	延 13,012人	

※妊婦健診県外受診費助成金助成実人数は含めない。

妊婦歯科健康診査（1回）

妊婦と生まれてくる子どもの歯と口腔の健康保持・増進のため、医療機関に委託して妊婦歯科健康診査を実施した。　受診者数　443人（39.7%）

産婦健康診査（全2回）

令和元年7月1日より、産後うつの予防や妊産婦の自殺予防、新生児への虐待予防等を図るため、医療機関等に委託して産後2週間～1か月の産婦に対し、健診を実施した。

健診項目
1～2回：問診（生活環境、授乳状況、育児不安、精神疾患の既往歴、服薬歴等）
診察（子宮復古状況、悪露、乳房の状態等）
体重・血圧測定
尿検査（蛋白・糖）
エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）
2項目質問票

回数	1回	2回	計
受診者数	693人	761人	延1,454人

※産婦健診県外受診費助成金助成実人数は含めない。

プレママ教室

妊婦を対象に、妊娠中の健康管理・栄養管理・歯科保健について健康教育を実施した。

開催回数　5回　　受講者数　40人

パパママ教室

妊婦やその家族を対象に、妊娠模擬体験・沐浴実習・抱っこ体験・おむつ交換等の実習を実施し、父親の育児参加を促した。

開催回数　11回　　受講者数　249人

産後ケア事業

家族等から十分な育児・家事等の援助が受けられず、保健指導の支援を必要とする産婦を対象に、出産後の母子へ宿泊または通所にて、一定期間、委託産科医療機関等において必要な支援を提供し、安心して子育てできる支援体制を確保した。産後ケア事業を円滑に進めるため、妊産婦、産科医療機関等との調整を行った。　利用件数：宿泊型4件 通所型0件

妊産婦訪問指導

妊婦一般健康診査の結果等をもとに実施した。

妊婦　19人（延25人）、産婦　1,087人（延1,237人）

訪問指導（新生児、未熟児、乳幼児）

生後28日未満の新生児や未熟児及び乳幼児を対象に、家庭を訪問し、身体計測や育児指導、情報提供、保健指導を行った。

区分		訪問人数	（延数）
4か月未満乳児		1,056人	(1,142人)
	未熟児	89人	(104人)
	新生児生後28日未満	93人	(103人)
4か月以上1歳未満乳児		41人	(108人)
	4か月以上 5か月未満児	13人	(13人)
幼児		209人	(335人)
小学生		2人	(3人)

※他市町からの依頼を受け40人訪問

乳児家庭全戸訪問事業

生後4か月未満児のいる家庭を訪問し、不安や悩みを聞き情報提供を行うとともに、児の発育状況や保護者の心身の状況、養育環境の把握、助言を行った。

乳児家庭全戸訪問者数1,097人（98.7%）

健康教育

子どもの発達段階に応じた育児、健康な習慣の確立のため必要な知識や情報を提供し、保護者同士の交流の場を設けた。また、健康づくりを子ども自身で実践できるような機会を提供し、子どもの健康の保持増進を目的に実施した。

区分	対象者等	開催回数	人数
新米ママ教室	第1子の生後2か月の児と母	25回	337人
モグモグ教室	4～6か月の乳児と保護者	18回	677人
ぱくぱく教室	1歳6か月～3歳児の幼児と保護者	9回	133人
子育て教室	乳幼児と保護者 （地区市民センター等で実施）	45回	1,337人
はるる遊ぼうＤＡＹ	乳幼児、学童と保護者	12回	1,018人
日曜はるる子育てセミナー	乳幼児、学童と保護者	4回	122人
各地区乳幼児健康教育	各地区市民センターや子育て支援センター等で対象年齢に応じて実施	39回	981人
子育てサークルへの健康教育	子育てサークル参加者	2回	27人
学童への健康教育	小中学生	14回	340人
イベント等	歯と口腔の健康まつり・健康フェスティバル等	6回	906人
計		174回	5,878人

乳幼児健康相談

発育の状況確認や乳幼児の健康的な生活習慣を身につけられるよう育児全般にわたって健全な発育ができるよう保健指導、栄養相談を実施した。

実施会場　7会場　　実施回数　84回

相談者人数　1,036人　　相談者延人数　2,665人

巡回乳幼児健康相談

子育て支援センターへ保健師や看護師が出張し、乳幼児健康相談を実施した。

実施会場　11会場　　実施回数　37回

相談者人数　239人　　相談者延人数　338人

こども歯みがき相談

歯科衛生士による口腔状態の確認と口腔清掃方法の個別指導、また、1歳6か月児健康診査の事後指導の場として実施した。

実施回数　18回　　相談者延人数　258人

電話相談

母子の健康や育児に関する相談について、電話相談を実施した。

相談件数　2,822件

はるるコンシェルジュ

健康センターはるるで、気軽に相談できるよう「はるるコンシェルジュ」として、看護師や保育士を配置した。初期対応や健康チェックのサポートなどを行い利用しやすく相談しやすい環境づくりを行った。

活動日数：　239日

子育てコンシェルジュ（各事業に配置）

健康センター等で開催する乳幼児健康相談や子育て教室、新米ママ教室、離乳食教室等の場に保育士を配置し、お子様への声かけや遊び方など助言を行った。

活動回数：　72回

フッ化物洗口事業の実施

令和元年度新たに小学校6校183人、保育園3園116人、幼稚園3園97人で開始した。

実施校・園累計：小学校12校、保育園22園　幼稚園15園（県フッ化物洗口推進事業含む。私立幼稚園2園含む。）

まつさか子育てアプリ（まつプリ）

子育てしやすい環境づくりを目的に、スマートフォンで妊娠から出産、子の成長を写真とともに記録に残し、それを共有できる機能、予防接種の適切な時期が確認できるなどの管理機能、松阪市が取り組む子育てに関する教室や支援等の情報を発信できる機能などを備えた子育てアプリ（まつプリ）を平成30年9月から配信した。
登録者数1,387件（R2.3.31現在）

事業名	乳幼児健康診査事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
25,085,477				4,316	25,081,161	24,787,634

乳児一般健康診査（4か月児、10か月児）

医療機関に委託し、専門医により乳児の発育・発達が順調であるかを確認するとともに異常の早期発見・離乳指導及び育児生活指導・予防接種の指導を行った。

区 分	対象者数	受診者数	受診率	受　診　結　果	
				異常なし	要指導等
4か月児	1,131人	1,103人	97.5 %	1,021人	82人
10か月児	1,195人	1,130人	94.6 %	1,012人	118人

1歳6か月児健康診査

月年齢に応じた発達・発育の確認と異常の早期発見や相談、育児・生活に関する保健指導、予防接種の指導を実施した。（問診、身体計測、小児科・歯科健診、保健指導等）

回数　28回　対象者数　1,176人、受診者数　1,148人、受診率　97.6%

区分	総合判定		未受診
	異常なし	要指導・要経過観察等	
小児科	995人	152人	1人
歯科	285人	863人	0人
精神面	865人	283人	0人

3歳児健康診査

幼児期において身体発育及び精神発達の面から最も重要な時期である3歳児の全てに対して、医師・歯科医師等による総合的な健康診査を実施し、その結果に基づき適切な指導及び処置を実施した。また、同時に予防接種の指導を実施した。（問診、尿検査、身体計測、小児科・歯科健診、保健指導等）

回数　32回　対象者数　1,256人　受診者数　1,219人　受診率　97.1%

総合判定	異常なし	要指導・要精密・要治療等	未受診
小児科	1,088人	131人	0人
歯　科	507人	708人	4人
精神面	952人	267人	0人
耳鼻科	1,208人	11人	0人
眼　科	1,190人	29人	0人

精密検査結果

	受診者数
小児科	9人
眼　科	13人
耳鼻科	4人
精神発達	67人

コアラ教室（1歳6か月児・3歳児健診事後教室）

1歳6か月児・3歳児健康診査で、運動発達・社会言語発達の面で経過観察を要する幼児と保護者を対象に集団の場を提供し、遊びを通じて保護者が幼児への関わりを振り返り、家庭での実践に結びつけ、幼児の豊かな発達を促すことを目的に実施した。

区　分	実施回数	対象登録児数	参加延人数		
			児	兄弟姉妹	保護者
小クラス	12回	41人	135人	20人	145人
大クラス	12回	18人	91人	28人	96人
計	24回	59人	226人	48人	241人

ことばの相談

言語発達の面で経過観察・指導を必要とする幼児とその保護者を対象に、言語聴覚士による相談、指導を実施した。

実施回数　16回　　相談者延人数　53人

幼児相談

健康診査等で言語発達や精神発達、情緒面において経過観察を必要とする幼児とその保護者を対象に、心理相談員による相談指導と発達検査を実施した。

実施回数　105回　　相談者延人数　391人

対象児	1歳6か月児健診事後	3歳児健診事後	その他
相談者延人数	23人	67人	301人

［平成30年度の母子保健事業費の一部14,186,991円、1歳6か月児健康診査事業費5,264,494円、3歳児健康診査事業費5,336,149円を統合］

事業名	特定不妊治療費助成金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,933,557		2,543,947			10,389,610	10,193,897

特定不妊治療を受けられた夫婦に対し、治療に係る費用の一部助成を行った。

助成延件数・特定不妊治療　137件　・第2子以降　1件

平成28年度より、初回申請時の治療終了日が平成28年1月20日以降の夫婦を対象に2回助成回数を追加する「助成回数追加事業」を市単独事業で実施した。

助成額：自己負担額の2分の1（上限10万円）

助成延件数　13件

事業名	妊婦一般健康診査県外受診費助成金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,279,854					2,279,854	3,118,856

里帰り出産等により、三重県外の産科医療機関等で妊婦健診を受診した妊婦に対し、健診に係る費用の全部または一部の助成を行った。

令和元年度受診助成実人数　58人

回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
受診者数	6人	5人	5人	8人	5人	7人	11人	19人
回数	9回	10回	11回	12回	13回	14回	計	
受診者数	32人	36人	42人	42人	32人	21人	延 271人	

事業名	未熟児養育医療給付事業費					健康づくり課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
12,358,338	4,500,000	2,250,000		1,992,251	3,616,087		23,975,450

県からの権限移譲により、出生時体重が2,000g以下または、生活力が特に薄弱であり身体の発育が未熟なために現れる一定の症状を有しているために、医師が入院治療を必要と認めた1歳未満の未熟児に対して指定養育医療機関における医療の給付を行った。

未熟児養育医療給付者数　56人（115件）

事業名	不育症治療費助成金					健康づくり課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,064,065		255,111			808,954		1,131,168

市が指定する医療機関において不育症と診断され、その治療をうけている夫婦が受けた医療保険適用外の不育症の治療及び治療に係る検査に要した費用を対象とし、1治療期間における補助対象費用に対し、年度1回上限10万円の助成を行った。

助成件数　19件

事業名	保健衛生費国県支出金返還金					健康づくり課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,444,000					2,444,000		1,427,000

平成30年度母子保健衛生費国庫補助金（産後ケア事業）の実績精算による返還金　916,000円

平成30年度子ども・子育て支援交付金（国）の実績精算による返還金　764,000円

平成30年度地域子ども・子育て支援事業費補助金（県）の実績精算による返還金　764,000円

事業名	産婦健康診査県外受診費助成金					健康づくり課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
235,020	135,000				100,020		―

里帰り出産等により、三重県外の産科医療機関等で産婦健診を受診した産婦に対し、健診に係る費用の全部または一部の助成を行った。

令和元年度受診費助成実人数：35人

回数	1回	2回	計
受診者数	21人	33人	延54人

事業名	フッ化物洗口事業補助金					健康づくり課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
133,260					133,260		―

県フッ化物洗口推進事業の終了した市内の私立保育園、私立幼稚園が実施するフッ化物洗口事業での薬剤購入費用及び薬剤を溶解するために必要な容器購入費用の補助を行った。

補助園数：保育園4園、幼稚園1園

(款）4衛生費　　（項）1保健衛生費　　（目）7健康増進費

（単位　円）

事業名	健康づくり推進事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,579,953				458	1,579,495	1,695,700

平成29年3月に策定した「第2次松阪市健康づくり計画」（平成29年度～令和5年度）を広く市民に周知し、重点目標である「がん検診を受けよう！」「毎日合計60分体を動かそう！」「野菜たっぷり おいしく減塩」「楽しく子育てしよう」「地域ぐるみで健康づくり」について理解を深め、市民の主体的な健康づくり活動を支援し、健康なまちづくりを推進した。

健康づくり推進協議会の開催　2回

平成30年度実施事業の報告及び検証、令和元年度の事業計画等の協議、「第2次松阪市健康づくり計画（第2次計画）」の中間評価を行った。

委員数　16人、顧問　1人

松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会の開催　2回

歯科保健事業の推進に向けて関係機関と協議した。

委員数　16人、アドバイザー　1人

第2次松阪市健康づくり計画　ダイジェスト版作成・配布

結婚新生活編　1,000部作成配布、中学生編　2,000部作成配布 、成人編　800部配布

ケーブルテレビ等を活用した健康情報の発信

「いきいき健康情報」　11か月（毎月1週間）放映

ウオーキングサポーターの活動支援　登録者　59人

松阪市民のウオーキング推進と普及のためにウオーキングサポーターの会に登録している59人のサポーター活動を支援した。

いきいきウオーキングマップ配布　第1号550部　第2号670部　第3号590部

健康づくり食育推進会議の開催

関係各課（松阪保健所・学校教育課・給食管理課・こども未来課・農水振興課・健康づくり課・地域住民課）で会議（2回）を開催し、連携して食育推進事業を推進した。

食育啓発冊子「野菜を食べよう」保育園・幼稚園の5歳児、市内小学5年生に配布、食育活動に利用した。3,000部作成、2,900部配布。

健康づくり嬉野Uの会へ委託し、医師による健康講座の巡回、幼児への食育の推進や健康体操等の運動の推進を展開した。　会員数　39人
健康づくり活動（講演会、食育推進等）回数21回、参加人数：795人

健康なまちづくり活動事例集の作成、配布　　500部

事業名	健康教育事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,393,026		613,000		85,819	4,694,207	5,856,685

健康教育

各地区では、住民協議会を中心に、各地区の実情や要望に応じ、各地区の公民館、団体等に健康教育を実施した。

種類		講座内容	回数	参加人数
健康センター・各振興局での講座		いきいき健康ウオーキング	7回	402人
		健康セミナー・はるる元気朝一体操・はるる健康ウオーキング・とくとく健康講座・ラジオ体操DE健康まつさか・骨粗しょう症予防教室・エクササイズOB会支援・いいな健康講座・がん医師講演会・ウオーキングマップ作成支援	116回	4,338人
食生活改善推進員		グループ研修での健康講座等 ※食生活推進員支援事業費を含む	44回	1,036人
各地区健康教育	住民協議会	ウオーキング大会	12回	1,229人
		健康づくりお誘い隊	3回	40人
		文化祭、体育祭等	7回	453人
		健康講座	38回	1,007人
	出前講座	がん検診を受けよう	1回	16人
		野菜たっぷり　おいしく減塩	8回	192人
		毎日合計60分身体を動かそう	8回	225人
		働き盛りの健康づくり	1回	13人
		健診結果を活かした健康づくり	8回	140人
	がん検診啓発	保育園・幼稚園・支援センター	9回	297人
		店舗・ワークセンターフェスティバル	3回	1,075人
	その他一般	地区ウオーキング大会	3回	279人
		文化祭での健康コーナー	10回	386人
		健康づくりお誘い隊	2回	65人
		健康講座	71回	1,616人
		市政バス施設見学	6回	115人
イベント時健康コーナー			5回	1,245人
学生指導		生活習慣病予防	1回	44人
		その他	5回	22人
地域支援事業		転倒予防・その他	14回	274人
計			382回	14,509人

健康セミナー、とくとく健康講座等（健康センター開催分）（再掲）

生活習慣病の予防・改善を目的に、食事・運動・歯周病予防について健康セミナーを開催し、特定健診の事後指導教室としてとくとく健康講座を開催した。

内　　容	実施回数	参加人数
健康セミナー【食事】	9回	145人
健康セミナー【運動】	12回	167人
健康セミナー【口腔機能向上と食事】	2回	26人
とくとく健康講座　医師講演会	1回	92人
とくとく健康講座　運動編	6回	66人
とくとく健康講座　食事編	5回	45人
医師講演会	1回	75人
エクササイズOB会支援	1回	28人

はるる元気朝一体操（再掲）

毎週火曜日健康増進室・屋上でラジオ体操を実施した。

実施回数　49回　　参加人数　2,829人

はるる健康ウオーキング（再掲）

毎月1回第3火曜日にはるる周辺でウオーキングを実施

実施回数　11回　　参加人数　413人

いきいき健康ウオーキングの実施（再掲）

実施回数　7回　　参加人数　402人

内訳：松坂城址コース　74人、大河内地区阪内川源流コース　55人、さんぎんアリーナ（夏）57人、松阪市総合運動公園　56人、飯南伊勢本街道屋号めぐりコース　35人、子ども支援研究センター　51人、美濃田大仏コース　74人

ラジオ体操DE健康まつさか（再掲）

ラジオ体操の普及と健康なまちづくり活動を目的に、一般財団法人簡易保険加入者協会の推進支援自治体の指定を受け開催した。

実施回数　2回　　参加人数　138人

骨粗しょう症予防健康教育（再掲）

41歳～71歳までの5歳刻みの年齢の女性を対象とした骨粗しょう症検診の中で、骨粗しょう症を予防するための健康教育を実施した。

実施回数　12回　　参加人数　166人

主要行事

事　　業	開催月	場　　所	参加人数
歯と口腔の健康まつり2019 よい歯のコンクール	6月	子ども支援研究センターほか	1,850人
健康フェスティバル2019 第37回救急医療を考える集い	9月	子ども支援研究センターほか	3,500人
嬉野三雲ふれあい健康まつり	10月	嬉野保健センター	400人
いいなん・ふれあい祭りでの健康コーナー	11月	飯南産業文化センター	523人

女性の健康週間啓発

厚生労働省が定める3月1日から3月8日までの「女性の健康週間」において、女性の健康相談窓口の開設、広報・HPへの掲載、更年期障害など女性に多い病気・私のからだと心・レシピ・女性のいきいき健康bookのパンフレットの配布を実施した。

パンフレット配布　482部

電話相談　1件

禁煙週間啓発

厚生労働省が定める「世界禁煙デー」の5月31日から6月6日までの「禁煙週間」において、禁煙の相談窓口の開設や喫煙者の肺モデルの展示、喫煙所へのポスター掲示等、喫煙者への支援や受動喫煙防止に取り組んだ。

電話相談　1件

来所相談　2件

資料配布　546部

COPD(慢性閉塞性肺疾患）予防事業

COPD予防の重要性と認知度を高めることを目的に、松阪市民病院出張講座と協働した。

医師講演、呼吸機能検査等　実施回数　5回　参加延人数　221人

事業名	健康相談事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
552,870		281,000			271,870	549,748

各地区健康相談

健康センターはるる・嬉野保健センター・飯南ふれあいセンター・飯高地域振興局で、保健師や管理栄養士による来所相談や電話相談等を実施した。また、ハートフルみくも保健福祉センター・各地区公民館・地区市民センター・集会所等で相談に対応した。

内容	回数	人数
成人健康相談	60回	1,359人
成人電話相談	87回	87人
所内面接	144回	307人

健康手帳交付数　108件

指導訪問

訪問指導実人数　82人　訪問指導延件数　85件

［平成30年度の健康手帳交付事業費26,904円、訪問指導事業費17,922円を統合］

事業名	健康診査事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
313,046,262	2,263,000	3,808,000		1,689	306,973,573	305,846,176

健康増進法健康診査

生活保護受給者等の健康診査を「健康増進法健康診査」として実施した。

受診結果：対象者数　1,782人
受診者数　219人（医療機関委託　217人、集団　2人）
（内訳　40歳～74歳　137人、75歳以上　82人）

受診率：12.3%

40歳～74歳のメタボリックシンドローム判定

（75歳以上は腹囲測定がないため、判定できず）

判定区分		メタボリック基準該当	メタボリック予備軍該当	メタボリック非該当	計
人数		36人	34人	67人	137人
割合		26.3%	24.8%	48.9%	100%
保健指導対象	動機付け	4人	4人	3人	11人
	積極的	4人	1人	0人	5人
保健指導対象外	服薬のため除外	25人	20人	2人	47人
	非対象者	3人	9人	62人	74人

保健指導：対象者には、個別面接や集団健康教育などの案内を通知し、訪問による指導を実施した。

肝炎ウイルス検診

早期の発見により、肝炎による健康障がいを軽減し、進行を遅延させることを目的としてB型、C型肝炎ウイルス検診を実施した。令和元年度より対象を41歳以上5歳刻みの年齢に変更した。

区　分		受診内訳
C型肝炎ウイルス		779人
	感染の可能性の高い者	1人　(0.1%)
	感染の可能性の低い者	778人
B型肝炎ウイルス		779人
	陽性	4人　(0.5%)
	陰性	775人

いきいき健診

40歳未満で労働安全衛生法に基づく健康診査や学校保健法による定期健診等の対象に該当しない方にも健康診査を受ける機会を提供し、若い頃から健康診査を受け、健康状態を把握することで生活習慣病を予防することを目的としたいきいき健診を実施した。

受診結果（受診者数　63人）

年齢区分	異常なし	有所見健康	要経過観察	要二次検査	要医療	計
20-24	0人	1人	0人	1人	0人	2人
25-29	0人	1人	3人	1人	0人	5人
30-34	2人	3人	14人	5人	1人	25人
35-39	7人	0人	12人	10人	2人	31人
計	9人	5人	29人	17人	3人	63人

がん検診

区　分		胃がん（バリウム）	胃がん（カメラ）	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん（マンモ）	乳がん（エコー）	前立腺がん
対象者数※1		102,628人				71,039人	54,800人	－	20,730人
受診者数		10,467人		15,353人	14,461人	4,660人	3,769人	2,152人	1,477人
内訳	医療機関	1,474人	8,157人	13,999人	12,995人	2,365人	2,027人	－	1,305人
	妊婦健診実施分	－	－	－	－	1,075人	－	－	－
	集団	836人	－	1,354人	1,466人	1,220人	1,742人	2,152人	172人
受診率		13.6%※2		15.0%	14.1%	12.9※2	13.6%※2	－	7.1%

※1：各受診率は、人口で算出

※2：（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷「当該年度の対象者数」×100　で算出

新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業（無料クーポン券事業）

松阪市が実施するがん検診において、特定の年齢に達した方に対して、子宮頸がん、乳がんに関するがん検診無料クーポン券を送付し、検診受診率の向上を図った。

子宮頸がん検診（20歳）	対象者	受診者数			受診率
		個別	集団	合計	
平成10年4月2日～平成11年4月1日	824人	27人	14人	41人	5.0%

※上記の子宮頸がん検診受診率の中には、妊婦健診における受診者数は含まない。

乳がん検診（40歳）	対象者	受診者数			受診率
		個別	集団	合計	
昭和53年4月2日～昭和54年4月1日	907人	107人	75人	182人	20.1%

松阪市限定優待受診券事業

松阪市の独自の取り組みとして、特定の年齢に達した方に対して、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん（エコー）検診に関する限定優待受診券を送付し、検診受診率の向上を図った。

40歳	昭和53年4月2日～昭和54年4月1日
50歳	昭和43年4月2日～昭和44年4月1日

松阪市40歳・50歳限定優待受診券対象		対象者	受診者数			受診率
			個別	集団	合計	
胃がん検診（50歳）	バリウム	2,332人	19人	16人	35人	1.5%
	胃カメラ		157人	―	157人	6.7%
	合計		176人	16人	192人	8.2%
肺がん検診（40歳）		1,929人	174人	48人	222人	11.5%
大腸がん検診（40歳）		1,929人	168人	50人	218人	11.3%
子宮頸がん検診（40歳）		932人	171人	81人	252人	27.0%
乳がん検診（エコー）（40歳）		105人	―	78人	78人	74.3%

平成30年度の各がん検診追跡調査結果

がん検診で要精密検査に判定された方の精密検査結果について追跡調査を実施した。

区　分 （追跡対象年齢）	胃がん （50～69）	肺がん （40～69）	大腸がん （40～69）	子宮頸がん （20～69）	乳がん(ﾏﾝﾓ) （40～69）
受診者数	4,133人	6,070人	6,145人	4,134人	2,857人
がん発見者数	6人	1人	5人	0人	8人
がん発見率	0.15%	0.02%	0.08%	0.00%	0.28%

がん検診啓発

月	内　容	実施場所	参加人数
6月	応需医療機関・事業所・店舗等へポスター掲示の協力依頼	353か所	
6月9日	歯と口腔の健康まつりでがん検診啓発	クラギ文化ホール	134人
7月	店舗でのがん検診街頭啓発	マーム	500人
6月～2月	保育園・子育て支援センター・幼稚園等でのピンクリボン啓発	各園	講話7園131人 資料配布のみ 3園172人
6月～3月	乳幼児子育て教室、各住民協議会等でのがん検診講座	21回	474人
9月30日	がん医師講演会	健康センターはるる	75人
10月（ピンクリボン月間）	広報・市街地循環コミュニティボード掲示・のぼり旗・YOUまつさか等による啓発を実施		
10月20日	がん検診啓発まつさかピンクリボン～がん検診を受けよう～ワークセンターフェスティバルでの実施	ワークセンター松阪	550人
10月20日	松阪市嬉野三雲ふれあい健康まつりでのがん検診啓発	嬉野保健センター	201人
11月1日 発送	未受診者への受診勧奨通知		2,898人
3月（女性の健康週間）	乳がん自己触診モデル・ポスター展示とパンフレット等の配布	健康センター・各地域振興局・保健センター	482人

女性が受けやすい体制整備

託児つき検診の実施　4回　84人利用

乳がんマンモグラフィ日曜検診の周知・啓発

10月20日（日）　済生会松阪総合病院・桜木記念病院・松阪中央総合病院
・松阪市健診センターぴーす　計122人受診

がん集団検診のインターネット予約受付

市民の利便性を図ることを目的として平成30年度より、集団でのがん検診等の予約を24時間インターネットでの受付を実施。インターネット予約は女性がん検診の対応であったが、令和元年度より胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診（健康センター実施分）を追加した。

インターネット予約　項目別受付数

	子宮頸がん	乳がん（マンモ）	乳がん（エコー）	胃がん	肺がん	大腸がん
全予約定員数	1,725人	1,969人	2,765人	280人	420人	420人
ネット予約数	671人	755人	939人	74人	117人	173人
割　合	38.9%	38.3%	34.0%	26.4%	27.9%	41.2%

中学生ピロリ菌検査事業

住所を有する中学3年生で本人及びその保護者が希望し同意した方を対象に、ピロリ菌検査（一次検査・二次検査）を実施した。

（実施期間）

一次検査：平成31年4月～令和元年8月30日

二次検査：令和元年7月～令和2年3月31日

①一次検査（尿中抗体検査）：学校検尿等で実施

対象者数	検査実施者数	陽性者数	実施率	陽性率
1,520人	1,238人	71人	81.4%	5.7%

②二次検査（便中抗原検査）：指定医療機関で実施

対象者数	検査実施者数	陽性者数	実施率	陽性率	ピロリ菌陽性率（検出力）
71人	50人	16人	70.4%	32.0%	1.3%

※一次検査陽性者で二次検査未実施者に対し、勧奨を行った。

※ピロリ菌陽性率（検出力）＝二次検査陽性者数÷一次検査実施者数×100

歯周病検診（医療機関委託）

41、51、61、71歳の節目年齢の方を対象に実施した。

対象者数	受診者数	受診率
7,089人	513人	7.2%

骨粗しょう症検診

41歳から71歳までの5歳刻みの年齢の女性を対象に実施した。

受診者数	結果内訳		
	正常	経過観察	要精検
166人	48人	117人	1人

松阪市健康マイレージ事業

がん検診等の受診率向上と、市民が健康の保持増進を図り健康寿命の延伸を目指すことを目的に、楽しみながら取り組むことができる事業とした。ポイント対象の健康づくりに取り組み、35ポイントを貯めた方に県内の協力店で使うことができる三重県が作成した「三重とこわか健康応援カード」と交換し、抽選会を実施した。

実施期間　令和元年9月2日から令和2年2月10日

「松阪市健康マイレージチャレンジシート（案内兼申請書）」を15,000枚作成。

申請者数（三重とこわか健康応援カード発行枚数）481人

事業名	中学生ピロリ菌除菌治療費助成金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,000					14,000	17,000

中学生ピロリ菌検査事業の二次検査で陽性判定となり、指定医療機関で除菌治療を実施した生活保護受給世帯・就学援助受給世帯に対し治療費を助成した。

除菌治療状況：指定医療機関で実施（令和2年3月末時点）

	除菌治療対象者数	一次除菌治療実施者数	一次除菌判定		一次除菌成功率	除菌治療中断者数
			陽性	陰性		
除菌治療費助成金対象者	5人	2人	0人	2人	100%	0人

助成対象期間（除菌治療）：二次検査結果通知後～令和2年6月30日
（除菌治療判定検査）：除菌治療終了8週間後～令和2年8月31日

（款）4衛生費　（項）1保健衛生費　（目）8保健センター費

（単位　円）

事業名	健康センター管理運営事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
22,438,070					22,438,070	21,000,095

健康センターの施設維持に係る経費
需用費　6,226,321円、役務費　887,048円、委託料　12,660,065円、使用料及び賃借料　2,664,636円
利用状況：34,384人
母子保健事業の利用4,936人、成人保健事業10,144人、キッズコーナー8,213人
幼児健診、センター利用等他11,091人

事業名	三雲保健福祉センター管理運営事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
22,430,999				2,968,300	19,462,699	19,582,089

需用費　3,247,560円、委託料　19,178,537円、使用料及び賃借料　4,902円

利用状況

区　分	人　数	区　分	人　数
一般浴室	3,355人	いこいの間	1,719人
マッサージ機	899人	会議室等	5,770人
ヘルストロン	4,221人		
カラオケ	1,127人		
プレイルーム	680人	計	17,771人

事業名	飯高保健センター管理運営事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,106,497				723,700	5,382,797	5,471,899

需用費2,431,504円、役務費227,335円、委託料1,160,080円、使用料及び賃借料97,417円、
賃金・共済費　2,190,161円

利用回数：270回、利用人数：3,643人

事業名	飯高保健センター施設整備事業費					健康づくり課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
30,573,620			28,200,000	1,503,000	870,620	1,962,360

飯高保健センター及び森診療所空調設備更新工事　　28,274,400円

森出張所等の移転に伴う飯高保健センター内装改修工事 2,299,220円

事業名	健診センター管理運営事業費					健康づくり課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
972,108				200,000	772,108	―

健診センターは市民の健康保持を目的に健康診査や、市民病院、松阪地域の個人医療機関から検体検査を実施している。令和元年度中央検査室の空調が故障したことから、空調機器の修繕を行った。

室外機2台修繕：972,108円

(款) 4衛生費　　(項) 1保健衛生費　　(目) 9歯科センター費

(単位　円)

事業名	歯科センター管理運営事業費					健康づくり課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,791,004				2,630,418	5,160,586	7,565,611

休日の歯科急病に対し応急診療を実施した。

診療日数	患者人数	1日平均患者数	従事者数		
			歯科医師	歯科衛生士	事務員
75日	362人	5人	1人	1人	1人
			延 75人	延 75人	延 75人

(款) 4衛生費　　(項) 1保健衛生費　　(目) 10地域医療推進費

(単位　円)

事業名	地域医療推進事業費					健康づくり課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
39,841,195				1,145,000	38,696,195	38,962,735

救急医療体制の充実を図って、休日・夜間における一次救急医療を委託し実施した。

（委託先）松阪地区医師会　9,162,000円　　松阪地区薬剤師会　2,000,000円

いおうじ応急クリニック

一次救急医療体制の拡充のため、木曜・年末年始の12時30分～20時及び火曜・金曜の22時30分～翌8時の時間帯における一次救急医療の診療業務をいおうじ応急クリニックに委託した。

委託期間　　平成31年4月1日～令和2年3月31日

委託日数　　151日

委託金額　　26,178,720円

患者数

	患者数	1日平均患者数
内科	1,151人	7.6人
外科	480人	3.2人
小児科	475人	3.2人
計	2,106人	14.0人

救急医療を考える集い

広く市民に対し救急医療及び救急業務のあり方について啓発を行うとともに、応急手当及び治療の訓練と知識の普及を図った。

開催日　令和元年 9月15日（日）
開催場所　農業屋コミュニティー文化センターほか
入場者　3,500人
内　容　健康フェスティバル2019とともに開催。応急手当の啓発と訓練、交通事故防止等の参加体験型の催しを実施し、『救急医療を考える』と題して講演会を開催した。

三重県救急医療情報システムに加入し、市民に救急医療の的確な情報を提供した。

三重県救急医療情報システム負担金　1,694,723円

事業名	病院群輪番制病院運営費補助金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
34,950,000				29,445,000	5,505,000	34,523,000

休日・夜間における二次救急医療の実施に対し、補助金を交付した。

松阪市民病院　125日（うち、休日　23日、土曜日　18日）
松阪中央総合病院　198日（うち、休日　27日、土曜日　16日）
済生会松阪総合病院　169日（うち、休日　26日、土曜日　16日）

事業名	地域医療安定化対策支援補助金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,060,000					5,060,000	5,060,000

松阪市内唯一の看護師専門学校の質の向上と安定した経営を図り、救急医療に対して市民の認識を高め、かかりつけ医を持つことの大切さを啓発していくため補助金を交付した。

松阪看護専門学校運営に対する補助　38,000円×120人＝4,560,000円　上限生徒数120人

在籍生徒数131人。令和元年度国家試験合格者43人、そのうち松阪地域への就業者39人（88.6%）

救急医療・在宅医療啓発事業に対する補助　2,322,648円×1／3＝774,216円　上限額500,000円

令和元年12月8日健康まつり開催（松阪地区医師会主催）
参加者数　798人
地域医療や在宅医療をテーマとした講演会を開催。また健康相談や健康診断などを実施した。

事業名	小児救急輪番制運営事業補助金				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,944,000		8,629,000		956,000	3,359,000	12,786,000

小児救急医療の二次体制の実施に対し、補助金を交付した。

松阪中央総合病院　492日（うち、休日　76日、土曜日 50日）

事業名	休日夜間応急診療所管理運営事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
106,541,314				87,771,249	18,770,065	116,421,556

休日・夜間における一次応急診療体制の確立を図った。

休日夜間応急診療所

区分	診療日数	患者数							
		内 科	1日平均	小児科	1日平均	外 科	1日平均	計	1日平均
休日診療	75日	2,889人	38.5人	2,624人	35.0人	1,088人	14.5人	6,601人	88.0人
夜間診療	366日	2,885人	7.9人	1,149人	3.1人	—	—	4,034人	11.0人
深夜診療	52日	177人	3.4人	85人	1.6人	—	—	262人	5.0人
計		5,951人		3,858人		1,088人		10,897人	

区分	従事者数			
	医師	薬剤師	看護師	事務員
休日診療	3人	1人	3人	2人
	延 226人	延 114人	延 250人	延 179人
夜間診療	1人	1人	1人	2人
	延 377人	延 385人	延 382人	延 768人
深夜診療	1人	1人	1人	1人
	延 52人	延 52人	延 52人	延 52人
計	延 655人	延 551人	延 684人	延 999人

平成29年度より一次応急診療の充実のため毎週土曜24時から翌6時まで深夜帯の診療を実施した。

一次救急、二次救急医療体制の連携を図るため、11月11日に3病院連絡会議を開催した。
休日夜間応急診療所の円滑な運営のため、担当者会議を1月10日、3月16日に開催した。

(款) 4衛生費　　(項) 1保健衛生費　　(目) 11診療所費

(単位　円)

事業名	飯高診療所事業費					健康づくり課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,221,712					2,221,712	2,550,110

過疎地域における医療不安の解消と地域住民の健康を守るため、指定管理者制度により運営する宮前・森・波瀬の各診療所管理経費を支出した。

診療所名	年間総患者数	診療日数	1日平均患者数
宮前診療所	13,609人	233日	58.4人
森診療所	10,421人	227日	45.9人
波瀬診療所	1,472人	133日	11.1人
計	25,502人	593日	43.0人

事業名	飯高診療所医療機器整備事業費					健康づくり課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,414,300		307,000	2,600,000		1,507,300	1,328,572

医師の意向を聴き取り、医療機器の充実を図った。

自動血球計数測定装置一式（宮前診療所）	2,002,000 円
汎用分光光度分析測定装置一式（宮前診療所）	313,500 円
薬剤分包機一式（森診療所）	614,900 円
内視鏡洗浄消毒装置一式（森診療所）	1,483,900 円

事業名	飯高診療所施設解体事業費					健康づくり課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,121,039				5,121,039		—

森診療所医師住宅解体工事の施工及び解体に伴う境界確定・測量・登記を行った。
解体工事費 4,422,000円、境界確定・測量・登記業務手数料 699,039円

事業名	飯南眼科クリニック事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,636,190				10,636,190		9,957,042

過疎地域における住民の医療不安解消のため、公設公営により眼科診療を行った。

年間総患者数　4,393人、診療日数　230日、1日平均患者数　19.1人

事業名	嬉野宇気郷診療所事業費				健康づくり課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
97,200					97,200	97,200

過疎地域における住民の医療不安の解消と健康を守るため開設した嬉野宇気郷診療所の管理経費を支出した。

（款）4衛生費　　（項）1保健衛生費　　（目）12水道費

（単位　円）

事業名	水道事業会計繰出金				上下水道総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
105,346,000					105,346,000	115,160,123

飯南・統合水道建設改良事業分（公債費 44,591,000円）

飯高・統合水道建設改良事業分（公債費 58,905,000円）

児童手当に要する経費（1,850,000円）

（款）4衛生費　　（項）1保健衛生費　　（目）13病院費

（単位　円）

事業名	松阪市民病院事業会計繰出金				市民病院経営管理課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
874,321,000					874,321,000	906,897,000

松阪市民病院事業会計繰出金

内　　訳	金　　額
救急医療の確保に要する経費	61,409,000
医師及び看護師等の研究研修に要する経費	22,847,000
病院の建設改良（元金償還金）に要する経費	449,281,000
病院の建設改良（利子償還金）に要する経費	74,063,000
医師確保対策に要する経費	158,963,000
基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費	55,089,000
共済追加費用の負担に要する経費	24,131,000
病院の建設改良（建設改良費）に要する経費	12,500,000
児童手当に要する経費	16,038,000
計	874,321,000

事業名	松阪市民病院建設基金積立金				市民病院経営管理課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,905				19,905		19,890

令和元年度末基金現在高　49,801,507円

(款）4衛生費　　（項）2清掃費　　（目）1清掃総務費

（単位　円）

事業名	清掃一般経費					清掃事業課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,054,660				186,803	11,867,857	11,032,925

一般廃棄物処理業（ごみ）の許可やごみ収集カレンダーを作成、配布することにより円滑で安定した事業運営に努めた。また、労働安全衛生法に基づく健康診断や産業医の委嘱を行い、職員の健康管理を行うとともに、労働安全衛生関係の研修受講及び資格取得により安全衛生意識向上に努めた。また、法に基づく施設の保守点検を実施し、維持管理を行った。

区分	事　業　内　容	事業費
賃金等	非常勤職員　3人分（賃金 4,606,450　共済費 621,822）	5,228,272
需用費	ごみカレンダー印刷代、うれしのを美しくする運動啓発用品等、コピーカウント料、公用車ガソリン代　ほか	4,374,228
使用料及び賃借料	公用車借上　4台分　ほか	973,403
その他	研修会等参加負担金、簡易無線局再免許申請、産業医委嘱　ほか	1,478,757
計		12,054,660

「うれしのを美しくする運動」では、わたしの手でわたしのまちを美しくをテーマに平成9年より自治会を中心に清掃活動を行っている。この活動により、地域の環境美化及び住民のごみ減量に対する意識の向上を図ることができた。

うれしのを美しくする運動活動実績　　（令和1年5月19日実施）

区分	参加人数	種類	回収量
小学生以下	917 人	燃えるごみ	2,030 kg
中学生	96 人	燃えないごみ	600 kg
高校生以上	5,993 人	缶・金属類	570 kg
計	7,006 人	計	3,200 kg

事業名	クリーンセンター管理事業費					清掃施設課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,039,637				15,039,637		14,611,871

清掃、除草及び土砂撤去等の業務委託により、適正な施設の維持管理に努めた。
なお、令和元年度の当施設への見学・視察については、41団体・1,304人であった。

区　分	事　業　内　容	事業費
委託料	清掃業務委託 6,822,986、除草業務委託 1,215,000 立野町内排水路土砂撤去等業務委託 200,000 新資源棟し尿浄化槽維持管理業務委託（年2回）8,800	8,246,786
賃金等	非常勤職員賃金2人、賃金共済費	4,324,459
需用費	施設維持管理用消耗品、電気自動車等の維持管理費 新資源棟水道代ほか	706,580
その他	電気自動車購入、自動車リース代、研修会等出席負担金、旅費ほか	1,761,812
計		15,039,637

事業名	最終処分場管理事業費				清掃施設課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,482,673				5,397	7,477,276	8,433,637

清掃、除草等の業務委託により、適正な施設の維持管理に努めた。
また、各施設の消防設備、し尿浄化槽の保守点検を行い機能の正常化を図ることができた。

	事　業　内　容	事業費
委託料	清掃業務委託 1,970,040、草刈業務委託 2,518,900 し尿浄化槽維持管理業務委託（年4回） 15,260 水処理棟し尿浄化槽維持管理業務委託（年3回） 17,492 消防用設備点検業務委託（年2回） 32,715	4,554,407
賃金等	非常勤職員賃金1人、賃金共済費	2,122,729
需用費	燃料代、領収書印刷代ほか	283,779
その他	自動車リース代、浄化槽法定検査・清掃、コピー機・プリンター借上料ほか	521,758
計		7,482,673

事業名	汚染負荷量賦課金				清掃施設課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
432,280				432,280		461,140

公害健康被害の補償等に関する法律第55条第1項に基づいて、大気系の公害認定（ぜんそく、気管支炎等）を受けた被害者に対して支払われる医療費、障害補償費などの給付に要する費用に充てるために、ばい煙発生施設設置者が排出した硫黄酸化物の排出量に応じて申告納付するもの。

事　業　内　容		納付額
松阪市リサイクルセンター	過去分（旧第一清掃工場分）	98,600円
松阪市クリーンセンター	過去分（旧第二清掃工場分） 現在分	167,345円 157,459円
小　計		324,800円 （100円未満切捨）
合　計		423,400円

汚染負荷量賦課金申告納付説明会旅費　　2人　8,880円　（四日市市）

事業名	上川町遊歩道公園管理事業費				清掃施設課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,908,105					10,908,105	8,931,789

芝生、樹木管理、除草等の業務委託により、適正な公園の維持管理に努めた。

区　分	事　業　内　容	事業費
委託料	清掃業務委託 398,570、駐車場等夜間警備業務委託 627,924 し尿浄化槽維持管理業務委託 26,160、草刈業務委託 1,474,750 芝生管理及び樹木管理業務委託 7,643,200	10,170,604
需用費	施設用消耗品、公園電気・水道代ほか	469,452
その他	浄化槽法定検査・清掃、複合遊具点検、原材料	268,049
計		10,908,105

事業名	松ヶ崎公園管理事業費				清掃事業課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,881,369				757,502	12,123,867	12,069,373

一般廃棄物最終処分場跡地に整備された松ヶ崎公園は平成19年度より運動公園としてまた、多目的グラウンド、芝生広場等、子どもから大人まで健康・体力づくりができる遊歩道公園として、災害時の避難場所となる防災公園として維持管理を継続して行った。

区分	事　業　内　容	事業費
委託料	植栽管理業務 6,713,080　警備業務 1,285,059 管理業務 2,408,645（草刈 1,574,100　清掃 834,545） 浄化槽保守管理業務 183,120　電気設備保守業務 158,268	10,748,172
需用費	電気・水道代、施設用消耗品　ほか	1,967,224
その他	浄化槽清掃、AED借上　ほか	165,973
計		12,881,369

グラウンド利用状況

種目	利用回数	うち夜間	金額
ソフトボール	69 回	43 回	110,790
野球	91 回	80 回	217,870
サッカー	278 回	120 回	411,500
その他	18 回	6 回	17,342
計	456 回	249 回	757,502

（款）4衛生費　（項）2清掃費　（目）2塵芥処理費

（単位　円）

事業名	塵芥収集事業費				清掃事業課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
368,824,597				10,900	368,813,697	365,000,461

ごみ収集（燃えるごみ週2回、燃えないごみ月2～3回、資源物回収［プラスチック容器・袋以外］月1回、プラスチック容器・袋週1回 等）は本庁管内の一部は直営により、本庁管内の一部と嬉野管内は「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」に基づき、市の許可を受けたし尿処理業者への支援を目的とした合理化事業計画による委託契約により、三雲管内と飯南・飯高管内は一般廃棄物収集運搬許可業者参加の入札による委託契約により、収集運搬を行った。また、自治会等の清掃活動によるごみ回収・処理、犬猫等死体の回収や不法投棄を未然に防止、早期発見することを目的とした昼間及び夜間に定期的に行う不法投棄防止監視パトロール業務、嬉野管内では連合自治会による不法投棄ごみ処分等、飯南・飯高管内では夏季道路清掃収集運搬等を行った。塵芥収集車等の日常点検、一般整備や車検、法定点検等車両整備を実施し、安全走行・安全作業に努めた。

区分	事　業　内　容	事業費
委託料	一般廃棄物収集運搬業務 346,528,232（本庁 170,337,000 嬉野 102,307,400　三雲 39,196,400　飯南・飯高　34,687,432） 不法投棄防止監視パトロール業務 870,474 環境パトロール業務、不法投棄ごみ処分ほか（嬉野管内）404,990 夏季道路清掃収集運搬処分ほか（飯南・飯高管内）320,328	348,124,024
需用費	塵芥収集車等車検、法定点検、修理、タイヤ交換、修理部品等 燃料（軽油 60,308ℓ　ガソリン 1,119ℓ）　ほか	16,216,623
使用料及び賃借料	使用済スプレー缶等処理装置借上　ほか	3,172,280
公課費等	塵芥収集車等　23台分（重量税 715,800　自賠責保険料 442,420）	1,158,220
原材料費	塵芥収集車等営繕用材料	153,450
計		368,824,597

ごみ量（本庁管内）

区分	収集
燃えるごみ	24,369 t
燃えないごみ	1,911 t
危険ごみ	37 t
蛍光管	7 t
埋立物	8 t
資源物10品目	975 t
計（A）	27,307 t

ごみ量（嬉野管内）

区分	収集
燃えるごみ	3,813 t
燃えないごみ	243 t
危険ごみ	9 t
蛍光管	1 t
埋立物	—
資源物10品目	243 t
計（B）	4,309 t

ごみ量（三雲管内）

区分	収集
燃えるごみ	3,085 t
燃えないごみ	139 t
危険ごみ	7 t
蛍光管	1 t
埋立物	—
資源物10品目	300 t
計（C）	3,532 t

ごみ量（飯南・飯高管内）

区分	収集
燃えるごみ	1,365 t
燃えないごみ	107 t
危険ごみ	9 t
蛍光管	1 t
埋立物	—
資源物10品目	286 t
計（D）	1,768 t

ごみ量（全体）

区分	許可業者持込	一般持込
燃えるごみ	13,446 t	3,965 t
燃えないごみ	179 t	493 t
危険ごみ	0 t	0 t
蛍光管	0 t	2 t
小型家電	—	12 t
埋立物	6 t	558 t
資源物10品目	64 t	383 t
計（E）	13,695 t	5,413 t

総ごみ量＝（A）＋（B）＋（C）＋（D）＋（E）＝ 56,024t

事業名	ごみ処理事業費				清掃施設課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
278,433,736				278,433,736		316,397,268

ごみ処理施設運転維持管理業務委託、法に基づく施設等の保守点検等実施により、適正なごみ処理を行った。また、水質等検査の実施により周辺地域の環境保全にも努めた。

区　分	事　業　内　容	事業費
焼却及び破砕選別関係	ごみ処理施設運転維持管理業務委託	271,753,287
	全都清廃棄物処理プラント保険料	1,240,440
	施設の直営管理物品費、水質等検査手数料ほか	1,865,701
	小　計	274,859,428
運搬車関係	運搬車、重機の維持管理費	2,979,773
その他	不法投棄家電等処分手数料ほか	594,535
合　計		278,433,736

ごみ処理量

区　分	可燃物	焼却施設稼動及び処理内容
直営等収集（直営・委託）	32,632 t	稼働日数 361日、全休炉日数 5日 1号炉運転日数 286日、休炉整備等日数 80日 2号炉運転日数 282日、休炉整備等日数 84日 焼却灰搬出台数 1,120台 焼却灰6,096ｔ（主灰4,315ｔ、飛灰1,781ｔ）可燃破砕鉄2ｔ
持ち込み（一般・許可・免除）	17,411 t	
選別残渣（不燃物から出た可燃物）	821 t	
計	50,864 t	
区　分	不燃物	破砕選別施設稼動及び処理内容
直営等収集（直営・委託）	2,400 t	稼働日数 192日／255日（年間勤務日：255日） 破砕処理量2,966t（埋立物1,194t、破砕鉄849t、破砕アルミ102t、破砕可燃物821t） その他106t（粗大鉄103t、粗大アルミ3t）
持ち込み（一般・許可・免除）	672 t	
計	3,072 t	

クリーンセンターにおける電力関係

発電電力量	発電に対する売電電力量	売電金額
22,518,420kwh	16,112,160kwh	252,859,415円
消費電力量	中部電力からの購入電力量	
6,737,770kwh	331,510kwh	

事業名	最終処分場事業費					清掃施設課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
38,387,951				38,387,951		40,023,916

浸出水処理施設運転管理委託や浸出水の水質検査を実施し、継続的な水質の監視並びに保全に努め、ごみの適正処理、施設の適正運営を行った。

区分	処理量
焼却灰	6,096 t
破砕埋立物	1,194 t
直接埋立物	572 t
計	7,862 t

区　分	事　業　内　容	事業費
浸出水処理関係	浸出水処理施設運転管理業務委託	9,025,200
	水質検査手数料	1,783,803
	処理薬品及び施設修繕用消耗品	4,209,741
	浸出水処理施設修繕	13,375,560
	活性炭取替等再生業務委託	1,441,000
	自家用電気工作物の保安管理業務委託	215,820
	小　計	30,051,124
運搬車関係	運搬車、重機の維持管理費	874,238
その他	運営経費、光熱水費、土壌検査手数料ほか	7,462,589
合　計		38,387,951

事業名	廃棄物集積所設置補助金					清掃事業課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,202,800					2,202,800	2,921,200

自治会その他廃棄物集積所を集団で管理する者が実施する廃棄物集積施設・集積容器の新設又は建替や修繕に対して事業費の1／2の補助を行い、地区の美観及び衛生面の向上を図ることができた。1か所につき新設・建替は100,000円、修繕は25,000円を上限としている。

区域別	件数	事業費	補助金
本庁管内	29 件	4,961,929	1,771,500
嬉野管内	0 件	0	0
三雲管内	5 件	886,600	406,300
飯南管内	0 件	0	0
飯高管内	1 件	66,781	25,000
計	35 件	5,915,310	2,202,800

事業名	塵芥収集車購入事業費					清掃事業課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
21,187,249		4,400,000		5,855,000	10,932,249		21,642,702

塵芥収集車等の老朽化に伴い年次計画に基づき車両の買替を行い、安全運行及び清掃事業の円滑な遂行を図ることができた。経過年数7年、走行距離10万kmを目途に更新を行っている。

購入車両	台数	金額
2ｔ塵芥収集車	2 台	13,427,459
3.5ｔ塵芥収集車	1 台	7,759,790
計	3 台	21,187,249

事業名	最終処分場施設整備事業費					清掃施設課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,899,600				2,899,600			―

集水桝の嵩上げ及び側溝蓋据付工事を行い、処分場内埋立地の適正な維持管理に努めた。

集水桝嵩上げ及び側溝蓋据付工事
集水桝嵩上げ　N＝2箇所、　蓋版設置工　N＝61枚

事業名	塵芥処理一般経費					清掃事業課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
7,458,686				859,140	6,599,546		10,313,628

ごみ処理事業全般に係る経費で、収集作業時に使用する安全靴や手袋等を購入することで作業の安全性向上を図ることができた。施設の維持管理、施設周辺の水質検査等を実施し、環境保全に努めた。

区分	事　業　内　容	事業費
需用費	作業用品、作業用消耗品、資源化棟電気・水道代　ほか	4,170,427
委託料	高須処分場跡地管理業務 1,785,000（草刈 1,755,000　清掃 30,000） 汚水処理施設保守業務 490,500　電気設備保守業務 235,440　ほか	2,610,940
役務費	施設周辺井戸水質検査 477,312（一般 289,392　ダイオキシン類 187,920） 施設周辺土壌検査 121,000	598,312
その他	備品購入、場内補修用材料	79,007
計		7,458,686

(款）4衛生費　　（項）2清掃費　　（目）3省資源再資源化事業費

（単位　円）

事業名	リサイクル事業費				清掃政策課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
60,123,340				16,157,666	43,965,674	58,866,491

分別回収した資源物を再生利用に向けて処理した。リサイクルの品質基準を保持するために、回収したプラスチック容器・袋や白色トレー、ペットボトル、アルミ缶、空ビンなどの資源物を二次選別して、圧縮梱包など中間処理を行った。

資源物選別作業等委託料　41,465,034円

資源物再資源化委託料　518,318円

乾電池等運搬処理委託料　4,359,864円　ほか

資源物の回収にかかる経費、施設の運用（選別作業、受付）にかかる経費、施設維持管理に係る経費

直接資源化量

種類	資源化量
新聞紙	164,300kg
雑誌・雑紙	239,650kg
ダンボール	162,550kg
古着類	154,540kg
牛乳パック	4,373kg
ペットボトル	165,230kg
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ容器・袋	598,360kg
白色トレー	6,970kg
アルミ缶	33,710kg
空ビン	708,300kg
小型家電	12,200kg
小計①	2,250,183kg

ごみからの資源化量

種類	資源化量
鉄	986,890kg
アルミ（アルミ缶を除く）	110,190kg
乾電池	26,953kg
蛍光管	12,037kg
小計②	1,136,070kg

合計①＋②	3,386,253kg

事業名	ごみ減量対策事業費				清掃政策課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,958,301					2,958,301	1,956,939

ごみの排出を減らすために、小学生や転入者などを対象にした啓発冊子、啓発物品を作成し、リデュース、リユース、リサイクルの3Rを推進した。また、市内小中学生を対象とした標語入りポスターの募集やイベント事業への参加、広報紙による啓発などを実施した。

松阪市リサイクルセンターを拠点に各種リサイクル講座の開催や工場見学などを実施して、リサイクル意識の醸成に努めた。また、松阪市3Rサポーター（14人：令和2年3月現在）と協働して啓発事業を展開した。

ごみ減量・3Rを推進する標語入りポスター（優秀賞　8点　佳作　10点・応募総数992点）

わたしたちのくらしとごみ　2,200部

啓発物品（袋セット）4,000個　ほか

会議・講座実施回数

3Rサポーターズ会議（3回）

生ごみ堆肥化講座（5回　参加者59人）、フォローアップ講座（2回 参加者20人）

夏休み親子環境学習（1回　参加者　7組19人）

環境講座（22回　参加者822人）

事業名	生ごみ堆肥化容器等購入補助金					清掃政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
702,900					702,900	550,300

ごみの排出の抑制を目的として、燃えるごみとして捨てられる生ごみを堆肥化するために、生ごみ堆肥化容器等の購入者に対して、購入にかかる費用の一部の補助を行った。

地 域	補助内容	交付者数	補助金額	成　　果
本 庁	生ごみ堆肥化容器等を購入した場合、購入費に対して1／2を補助する。 限度額：3万円	17件	480,300円	燃えるごみの約10%を占める生ごみの減量につながった。
		45件	30,600円	
		0件	0円	
嬉 野		6件	153,500円	
		3件	5,900円	
三 雲		2件	30,700円	
		1件	1,900円	
飯 南		0件	0円	
		0件	0円	
飯 高		0件	0円	
		0件	0円	
生ごみ処理機　　小　計		25件	664,500円	
生ごみ堆肥化容器　小　計		49件	38,400円	
堆肥化用基材　　小　計		0件	0円	
合　計		74件	702,900円	

事業名	資源物集団回収活動補助金					清掃政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,748,615					8,748,615	9,290,742

ごみ減量と資源化を促進し、活動を通じてリサイクル意識の醸成を図るために、資源物集団回収活動を行った自治会やこども会などの団体に対して、回収量に応じて補助金を交付した。

事　業　名		資源物集団回収活動補助金					合　計
		本庁	嬉野	三雲	飯南	飯高	
回収実績	新　聞	884,085kg	270,485kg	107,943kg	66,090kg	16,360kg	1,344,963kg
	雑誌雑紙	458,803kg	151,340kg	41,074kg	35,510kg	9,080kg	695,807kg
	ダンボール	457,135kg	171,625kg	45,328kg	46,780kg	13,870kg	734,738kg
	古着類	113,507kg	9,438kg	4,530kg	2,330kg	0kg	129,805kg
	牛乳パック	7,732kg	168kg	85kg	670kg	0kg	8,655kg
	計	1,921,262kg	603,056kg	198,960kg	151,380kg	39,310kg	2,913,968kg
	ビン類	0本	460本	0本	1,777本	0本	2,237本
交付先	自治会	184団体	50団体	1団体			235団体
	こども会	11団体	7団体	24団体			42団体
	PTA	10団体	7団体	2団体	3団体	1団体	23団体
	その他団体	5団体	5団体	2団体			12団体
	計	210団体	69団体	29団体	3団体	1団体	312団体
市 補 助 金		5,763,786円	1,810,548円	596,880円	459,471円	117,930円	8,748,615円

事業名	リサイクルセンター管理事業費					清掃政策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
13,417,779					13,417,779		14,020,203

松阪市リサイクルセンターの維持管理、既存設備の保守管理などを行った。

光熱水費　6,301,273円

施設維持管理等委託料　5,894,265円　ほか

事業名	省資源再資源化一般経費					清掃政策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,041,224					1,041,224		1,090,777

台風19号に伴う災害派遣（長野県小布施町）及び最終処分場建設に係る先進地視察（岐阜県恵那市）並びに協議、ペットボトルの資源再生品質検査立ち合い（岐阜県輪之内町）などを行った。

旅費　159,640円

使用料及び賃借料　連絡車（2台）リース料など　486,300円　ほか

（款）4衛生費　（項）2清掃費　（目）4ごみ処理施設建設費

（単位　円）

事業名	新最終処分場施設整備事業費					清掃政策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
23,803,394	5,170,000				18,633,394		―

新最終処分場整備事業の関連業務として、令和元年度は下記の業務を実施した。

事業名	事業内容	事業費
現地測量及び基準点測量業務委託	業務内容：土地の平面及び高低差の測量と地形・地物等を測定し、地形図の作成 工　　期：R1.7.17～R2.1.31 契約金額：12,613,700円	12,613,700円
用地測量及び立木調査業務委託	業務内容：事業計画地の用地測量（約14.0ha）と立木調査（約9.5ha） 工　　期：R1.11.25～R2.7.31 契約金額：36,646,500円	10,993,000円
その他事務費	需用費　168,531円 役務費　11,353円 使用料及び賃借料　16,810円	196,694円

事業名	ごみ処理基盤施設建設事業費（繰越分）				清掃政策課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
40,002,280	13,061,000		25,500,000		1,441,280	23,468,860

ごみ処理基盤施設建設事業に係るクリーンセンター整備事業の関連業務として、令和元年度は下記の業務を実施した。

事業名	事業内容	事業費
資源物保管庫建設工事監理業務委託	業務内容：資源物保管庫建設工事の監理 工　　期：H30.10.15～R1.5.31 契約金額：3,790,800円	3,790,800円
クリーンセンター資源物保管庫建設工事	工事内容：資源物保管庫の建設工事 工　　期：H30.10.10～R1.5.31 契約金額：60,351,480円	36,211,480円

（款）4衛生費　　（項）2清掃費　　（目）5し尿処理費

（単位　円）

事業名	し尿業者許可事業費				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						49,954

し尿収集運搬業及び浄化槽清掃業の許可13業者の2年に1回の更新手続を実施

更新 0件

事業名	し尿転送業務負担金				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,480,000					7,480,000	7,480,000

飯南・飯高地区にかかる処理し尿の大型車への積換え、運送業務への負担金として補助することにより、し尿汲み取り料金等の抑制に資した。

事業名	合理化事業計画策定事業費				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,827,000					2,827,000	―

下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業務等の合理化に関する特別措置法に基づき、本庁管内分について新たに10年間の計画策定を行った。

事業名	松阪地区広域衛生組合分担金				環境課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
357,880,000					357,880,000	346,546,000

松阪地区広域衛生組合への分担金支出を行った。

経常経費分		489,107,000 円
（内訳）	松阪市	357,880,000 円
	多気町	41,867,000 円
	明和町	89,360,000 円

(款) 5労働費　　(項) 1労働諸費　　(目) 1労働諸費

(単位　円)

事業名	勤労者総合福祉推進事業費補助金					商工政策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
28,000,000					28,000,000		28,000,000

市内事業所に従事する勤労者や事業主、市内に居住する勤労者やその家族に対する福祉の増進と文化教養の向上を図るとともに、市内事業所の振興、地域社会の活性化に寄与するために必要な事業費及び管理運営費の一部について補助を行った。

交付先　公益財団法人 松阪市勤労者サービスセンター

松阪市勤労者サービスセンターの入退会状況

基準日	事業所数				会員数			
	入会	退会	増減	合計	入会	退会	増減	合計
H30.3.31	45	72	△27	1,560	538	641	△103	8,399
H31.3.31	54	56	△2	1,558	711	634	77	8,476
R2.3.31	42	84	△42	1,516	876	729	147	8,623

会員数増加の要因
　事業所閉鎖や労働力人口が減少する中、効果的な加入促進キャンペーンを2回実施した。

事業名	勤労者地域づくり活性化事業費補助金					商工政策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
514,721					514,721		470,000

市内勤労者やその家族の生活向上と安定を図るとともに、文化・余暇生活の充実、地域への社会貢献・ボランティア活動を実施するために必要な事業費及び管理運営費の一部について補助を行った。

交付先　松阪多気地区労働者福祉協議会

補助対象事業

実施日	事業名	場所	参加者数
R1.10.5	松名瀬海岸清掃活動 (社会貢献･ボランティア活動)	松名瀬海岸	21団体　102人
R1.10.20	ファミリーフェスタ2019 (文化･余暇生活の充実)	ワークセンター松阪	約7,000人（天候：晴）

事業名	勤労者生活資金貸付金					商工政策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
8,000,000				8,000,000			8,000,000

市内勤労者の住宅資金、生活資金（教育、介護・医療、出産・育児、自動車購入）の負担軽減を図るため、東海労働金庫が実施する貸付制度に必要な原資としての資金（預託金）を預託した。
預託金額の10倍に相当する金額まで優遇金利にて融資を受けることができる。
　預託額の内訳：住宅資金分750万円、生活資金分50万円

融資実績　　生活資金　0件（融資条件に合致しなかったため）
　　住宅資金　3件　4,634万円

事業名	高年齢者就業機会確保事業費補助金					商工政策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
10,880,000					10,880,000		10,880,000

高年齢者のいきがいの充実や社会参加の促進を図るとともに、高年齢者の希望に応じた就業機会の開拓・確保・提供をするために必要な事業費の一部について補助を行った。

交付先　公益社団法人 松阪市シルバー人材センター

シルバー人材センターの事業実績

基準日	会員数（人）	受託件数	受注金額（千円）	左記 内訳 公共事業 受注 件数	公共事業 受注 金額（千円）	民間事業 受注 件数	民間事業 受注 金額（千円）
H30.3.31	992	6,435	467,157	804	132,150	5,631	335,007
H31.3.31	1,011	6,331	461,376	856	135,136	5,475	326,239
R2.3.31	1,026	6,400	467,169	910	146,262	5,490	320,907

「ちびっこはうす」の運営状況

年度	保育人数	保育日数	保育時間	利用料（千円）	就業者実人員	就業者延人数	登録人数
H29	626	255	2,896.00	1,945	272	897	205
H30	543	261	2,010.00	1,492	281	848	212
R01	546	261	2,412.50	1,532	287	874	210

事業名	障がい者雇用促進事業費					商工政策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
327,170					327,170		292,088

事業者及び市民に対して障がい者雇用への理解、障がい者雇用の促進と障がい者の職業的自立を支援するため、ハローワーク松阪ほか関係団体等と連携して事業を実施した。

障がい者雇用促進啓発活動

実施月	事業内容	事業者数
R1.5	障がい者法定雇用率未達成事業所等トップセールス	2事業所

障がい者雇用優良事業所等表彰

実施日	事業内容	表彰数
R1.10.6	障がい者雇用優良事業所表彰	2事業所
	優秀勤労障がい者表彰	3人

障がい者フォーラム

実施日	事業名	事業内容	参加者数
R1.10.6	障がい者の雇用・就労促進フォーラム	・上記表彰式を同時開催 障がい者雇用優良事業所・優秀勤労障がい者の表彰 ・講演：「障がいがあっても幸せに生きるために」 講師：藤田 裕一　氏（大学講師、社会福祉学博士） ・各事業所の紹介パネル展示 就労継続支援Ａ型Ｂ型事業所、就労移行支援事業所	90人

事業名	南三重地域若者地元定着推進事業費					商工政策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,345,014	2,516,404			1,907,651	920,959		―

松阪市以南の16市町で構成する「南三重地域就労対策協議会」を実施主体として若者のUターン就職による地元就職及び定着など一体的な就労対策を実施するための負担金を支出した。

南三重地域就労対策協議会での実施事業

・就職マッチング支援サイト『南三重就活ナビ』の構築
　サイトの枠組みを構築した。サイト内の企業情報の充実は令和2年度に実施していく。
・就活生への就職情報の提供
　令和2年度に就職活動を実施する学生42人に対し、南三重地域内企業の採用情報を提供した。
・高校3年生から「就職情報の情報提供申込」の募集
　南三重地域所在高等学校（27校）を訪問し、進学予定者104人から申込みを受けた。

事業名	労働一般経費					商工政策課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,162,443					3,162,443		2,988,893

ハローワーク松阪「就労の広場」にて従事する職業相談員（第2種非常勤職員）の任用経費　ほか

各種団体等負担金

区分	内容
松阪地域雇用対策協議会負担金 820,000円	松阪公共職業安定所管内の関係諸官庁及び諸団体と緊密なる連携の下に、雇用の促進を図り地域産業の振興に寄与するための負担金
南三重地域就労対策協議会負担金 5,000円	南三重地域就労対策協議会への負担金 ［同年度9月補正にて南三重地域若者地元定着推進事業費5,350千円を新規計上］
新規就職者等勤労意欲増進事業負担金 200,000円	市内新規就職者の勤労意欲の向上、職場定着と早期離職防止を図るために実施する事業に対する負担金
三重県職業能力開発協会負担金 6,000円	県内における職業能力の推進及び技能検定実施の中心機関であり、事業内職業訓練の促進と技能検定の受検促進に努めるなど県内の職業能力開発において重要な役割を果たしている団体への負担金
公益社団法人三重県シルバー人材センター連合会負担金 50,000円	高齢者の就労機会を開拓・確保・提供するため、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された団体への負担金

(款) 5労働費　　(項) 1労働諸費　　(目) 2ワークセンター松阪費

(単位　円)

事業名	ワークセンター松阪管理運営事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
36,976,779				5,904,512	31,072,267	38,452,600

利用状況（開館日数　308日）

区　　分	利用件数	利用者数
勤労者総合福祉センター	1,181件	56,605人
労働会館	416件	10,079人
勤労青少年ホーム	542件	8,804人
勤労者体育施設テニスコート	1,127件	7,611人
勤労者体育施設多目的グラウンド	336件	11,315人
計	3,602件	94,414人

ワークセンター松阪事業及び勤労青少年ホーム事業委託

区　　分		種類	参加者数
ワークセンター松阪事業		81種類	11,607人
	定期講座	60種類	1,203人
	短期講座	2種類	61人
	一日体験講座	9種類	200人
	利用者交流事業	2種類	422人
	その他の事業	2種類	576人
	フリーレッスン	6種類	9,145人
勤労青少年ホーム事業		34種類	941人
	定期講座	28種類	416人
	短期講座	1種類	5人
	利用者交流事業	2種類	159人
	出会い・ふれあい応援プロジェクト事業	1種類	40人
	その他の事業	2種類	321人
計		115種類	12,548人

ワークセンターフェスティバル開催事業

令和元年10月20日、ワークセンター松阪・勤労青少年ホームの各講座の作品展示・発表、実行委員会主催の模擬店等を実施し、当日は約7,000人の来場者があった。

事業名	ワークセンター松阪施設整備事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,050,900				19,050,900		—

工事請負費　19,050,900円

テニスコート改修工事　14,303,300円

駐車場枠区画線工事　1,056,000円

(グラウンド)プレイングタイマー取替工事　2,145,000円

外灯取替工事　666,600円

多目的便所外２棟便所更新修繕工事　880,000円

(款) 6農林水産業費 (項) 1農業費　　(目) 1農業委員会費

(単位　円)

事業名	農業者年金事務事業費					農業委員会事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
557,500				557,500		568,800

農業者年金関係諸届の受付・処理・農業者年金基金への送付業務、被保険者や受給権者からの相談業務、新規加入推進業務等を行い、年金の適正な受給による農業者の老後の生活安定に努めた。

経営移譲年金受給者　250人、老齢年金受給者 96人、被保険者　14人、待期者　17人

事業名	農業委員会活動事業費					農業委員会事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
22,542,705		1,993,000		3,057	20,546,648	24,768,478

農業委員会の体制等について

農業委員19人(会長1人、会長職務代理2人、委員16人)
農地利用最適化推進委員36人
報酬 (年額)
　基本給 (会長312,000円、会長職務代理276,000円、農業委員252,000円、
　　農地利用最適化推進委員252,000円)
　能率給　農業委員、農地利用最適化推進委員ともに活動実績払い

農地法関係 (許可、受理等) 事務

農地の権利移動や農地転用など農地法に基づく許認可事務、農地のあっせん事務、農地パトロール (農地の利用状況調査) の実施等により、農地の効率的な利用や優良農地の確保に寄与した。また、総会・定例会・合同会議・運営委員会等の開催、先進地視察研修など各種研修会の開催を通じ、農業委員会業務の円滑・適正な運営を図るとともに担い手への農地の集積、集約化、耕作放棄地の発生防止、解消、新規就農への促進などの農地利用の最適化の推進、農業振興に関する啓蒙と委員及び職員の資質向上を図った。

区	分	件数	面積
農地法第3条	賃貸借権設定	1件	3,015.00 ㎡
	使用貸借権設定	0件	0.00 ㎡
	使・賃貸借権移転	0件	0.00 ㎡
	交換	5件	2,628.00 ㎡
	贈与	24件	50,049.00 ㎡
	所有権移転	54件	96,299.00 ㎡
農地法第4条	届出	33件	13,781.68 ㎡
	許可	22件	9,793.81 ㎡
農地法第5条	届出	87件	87,171.79 ㎡
	許可	241件	282,316.68 ㎡
第3条の3第1項		173件	1,014,750.71 ㎡
農地法第4条第1項第9号 (農業施設)		6件	819.55 ㎡
農地法第18条第6項 (合意解約)		200件	740,472.89 ㎡
非農地証明		35件	16,771.00 ㎡
競売等買受適格者証明		0件	0.00 ㎡
計		881件	2,317,869.11 ㎡

農地移動適正化あっせん事務

区分	出し手	受け手	筆数	面積
所有権移転	14戸	12戸	48筆	78,253㎡

国有農地等管理業務

旧自作農創設特別措置法及び農地法により国が取得した自作農財産（国有農地等及び開拓財産）について、国有財産整理簿の整備等を行い、適正な維持管理に努めた。

その他

農地転用許可など行政庁の諮問機関として行政行為を補完する業務のほか、関係行政機関に対する意見の提出、農業委員や推進委員の講習や研修、及び農業委員会への助言・支援等の業務を行う三重県農業会議と連携を密にすることにより、農業委員会業務の円滑・適正な執行を図ることができた。

（款）6農林水産業費（項）1農業費　　（目）2農業総務費

（単位　円）

事業名	松阪牛まつり事業費					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
25,799,067				25,799,067		17,334,013

松阪牛ブランドを築き上げてきた特産松阪牛の品評会である松阪肉牛共進会は、昭和24年に第1回が開催され令和元年で第70回の節目を迎えた。特産松阪牛に特化したPRのほか、記念大会として多彩なイベントを行い、多くの来場者に松阪牛や松阪茶等の地域ブランドをPRした。

※松阪牛まつり来場者　約75,000人

委託料　25,799,067円

委託先：松阪牛まつり実行委員会

事業名	農業総務一般経費					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,866,707				5,360	2,861,347	3,013,321

非常勤職員賃金　1,788,000円、共済費　291,799円、報償費　15,000円、
消耗品費　726,234円、通信運搬費　45,674円

（款）6農林水産業費（項）1農業費　　（目）3農業振興費

（単位　円）

事業名	農業後継者対策補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
200,000					200,000	200,000

事業主体	事業量	市補助金	成　　果
松阪市農村青少年協議会	研修会開催、イベント参加等	200,000	松阪市農村青少年協議会（会員15人）の活動支援を行い、視察研修会の開催、イベント参加等を通じて後継者間の連帯感が深まり、技術提携及び情報共有など担い手育成を図ることができた。

事業名	特産振興補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,700,000					2,700,000	2,700,000

事業主体	事業量	市補助金	成　　果
松阪農業協同組合 一志東部農業協同組合	松阪農協 （限度額） 2,430,000 一志東部農協 （限度額） 270,000	2,700,000	松阪農協、一志東部農協の各生産者部会への活動支援を行うことで、特産品の栽培技術及び経営の安定化を図ることができた。 松阪農協（松阪赤菜ほか6品目） 一志東部農協（嬉野大根ほか3品目）

事業名	農業振興地域整備計画基礎調査事業費					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,098,800					2,098,800	―

農業振興地域の整備に関する法律第12条の2に基づき、概ね5年ごとに「農業振興地域に関する基礎調査」を行うにあたり、市全体の農用地区域にかかる図面データのチェックや修正を行った。

委託料　2,098,800円

委託先：株式会社パスコ

事業名	茶防霜施設設置補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
105,000					105,000	284,000

事業主体	事業量	市補助金	成　　果
茶農家	ファン設置数 新設　0基 改修　3基 対象茶園面積 0.4ha	105,000	「松阪茶」の霜害を未然に防止するため、防霜施設の設置に対して支援を行い、生産の安定と品質の維持、向上を図った。

事業名	茶業組合補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
540,000					540,000	540,000

事業主体	事業量	市補助金	成　　果
松阪市茶業組合	研修等の開催 品評会への出品活動等 関西茶品評会 出品数 55点	540,000	茶業組合（組合員数17）が、生産する深蒸し煎茶を関西茶品評会に出品し、農林水産大臣賞など上位入賞と産地賞を受賞し、ブランド確立に向けた品質向上を図った。

事業名	松阪茶ＰＲ推進事業費					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
961,560					961,560	948,564

茶業組合への委託契約により、各イベントでお茶の振る舞いや小学生親子を対象とした松阪茶グランプリを開催し松阪茶のPRに努めた。

委託先：松阪市茶業組合

事業名	茶防霜施設改修事業補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,283,000					2,283,000	―

事業主体	事業量	市補助金	成　　果
松阪市茶業組合	ファン設置数 新設　0基 改修　57基 （内1基撤去） 対象茶園面積 5.0ha	2,283,000	松阪市茶業組合が国の補助事業を活用して、老朽化した茶防霜ファンの改修工事を行うことにより、生産の安定と品質の維持、向上を図った。

事業名	アライグマ対策事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
888,695					888,695	466,298

特定外来生物であるアライグマの目撃、被害情報から猟友会の協力を得て捕獲を実施し、農作物及び生活環境被害防止に取り組んだ。
捕獲頭数：150頭／捕獲用檻購入：12基

消耗品費　273,975円、備品購入費　164,720円、負担金、補助及び交付金　450,000円

事業名	農業振興一般経費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
490,907					490,907	421,844

松阪農協管内の梨品評会において市長賞を授与することにより、生産意欲の増進に寄与できた。また、松阪地域農業振興協議会研修会等に職員の派遣を行った。

報償費（記念品）　7,500円、消耗品費　197,203円、
印刷製本費　72,204円、負担金、補助及び交付金　214,000円（負担先：松阪地域農業振興協議会）

事業名	農山村振興一般経費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
222,239					222,239	300,692

旅費　64,300円、消耗品費　127,939円、負担金、補助及び交付金　30,000円
（負担先：第72回関西茶業振興大会三重県大会実行委員会、全国棚田[千枚田]連絡協議会）

(款) 6農林水産業費 (項) 1農業費　　(目) 4畜産振興費

（単位　円）

事業名	松阪肉牛協会補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
350,000				350,000		350,000

事業主体	事　業　量	市補助金	成　　果
松阪肉牛協会	枝肉共進会開催 出品頭数 40頭	350,000	松阪肉牛協会が東京で開催する松阪肉牛枝肉共進会に補助し、松阪牛の振興と更なる品質の向上を図り、名声保持等に努めた。 最優秀賞1席 375万円 平均価格　　197万円

事業名	松阪肉牛共進会出品奨励事業補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,920,000				3,920,000		3,920,000

事業主体	事　業　量	事業費	市補助金	成　　果
松阪肉牛共進会	対象頭数 49頭	3,920,000	3,920,000	松阪肉牛共進会本選出場牛に奨励補助金を交付し、特産松阪牛の奨励、松阪牛の名声保持に努めた。 優秀賞1席　2,600万円 平均価格　　317万円

事業名	特産松阪牛出荷奨励事業補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,080,000				6,080,000		4,720,000

事業主体	事　業　量	事業費	市補助金	成　　果
（株）三重県松阪食肉公社	対象頭数 76頭	6,080,000	6,080,000	三重県松阪食肉公社が運用する松阪牛の枝肉ネットオークションへの出品や東京への出荷、また平成30年度からは市内農家の相対取引に奨励補助金を交付し、特産松阪牛の生産振興を図るとともに、新規購買者の参加を促しネットオークションの活性化を図った。

事業名	松阪牛ＰＲ推進事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,000,000				7,000,000		4,700,000

北海道白老町で開催された「白老牛肉まつり」に参加し、松阪牛の美味しさをPRした。また、「松阪牛まつり」では松阪牛の普及宣伝に取り組むとともに、松阪牛の紹介コーナーを設置し、来場者に松阪牛個体識別管理システムを周知する等、松阪牛のPRを行った。

委託先：松阪牛協議会

事業名	松阪食肉公社食の安全安心対策支援事業負担金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
18,911,000					18,911,000	18,960,000

事業主体	事　業　量	負担金	成　　果
（株）三重県松阪食肉公社	衛生管理向上への施設改善等	18,911,000	県中南勢地域の食肉の拠点施設である三重県松阪食肉公社の施設整備等に支援し、安全安心な食肉の提供に努めた。 （三重県他、関係市町負担）

事業名	特産松阪牛素牛導入促進事業補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,690,000				5,243,933	446,067	5,860,000

事業主体	事　業　量	事業費	市補助金	成　　果
松阪農業協同組合	対象戸数 12戸 対象頭数 72頭	5,690,000	5,690,000	特産松阪牛の素牛となる兵庫県産子牛を導入する市内肥育農家に補助し、肥育コストの負担軽減、長期肥育技術の継承、特産松阪牛の頭数維持等に努めた。また、地域産稲わらを給餌する農家に加算補助し耕畜連携を図った。

事業名	特産松阪牛緊急支援補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,557,000				10,557,000		10,938,000

高騰が続いている特産松阪牛の素牛となる兵庫県産子牛の導入に対し引き続き支援を行い、肥育農家の負担を軽減し経営の安定化を図ることに努めた。　※対象戸数 12戸、対象頭数 72頭

事業名	畜産振興一般経費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
124,420					124,420	105,250

松阪農業公園ベルファームで開催した特産松阪牛の祭典である松阪肉牛共進会において、優秀賞を受賞した特産松阪牛生産農家に対し表彰状の授与、トロフィーを贈呈することで生産意欲を増進することができた。

報償費（記念品）　38,500円、消耗品費　36,920円、
通信運搬費　25,000円、負担金、補助及び交付金　24,000円

（款）6農林水産業費（項）1農業費　　（目）5水田農業構造改革対策費

（単位　円）

事業名	経営所得安定対策直接支払推進事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,116,722		14,004,000		21,516	91,206	15,340,143

松阪市農業再生協議会が実施する米の生産量の目安の提示をはじめ、国の経営所得安定対策制度に係る作付状況の確認、水稲生産調整実施計画書の配付・調整や電算処理事務等を行い、事業の計画的かつ円滑な実施を図った。

令和元年産　米の生産量目安にかかる作付状況(主食用)

	本庁	嬉野	三雲	飯南	飯高	計
水稲目安面積	2,781.4ha	599.2ha	450.5ha	96.4ha	72.9ha	4,000.4ha
水稲作付面積	2,768.9ha	583.3ha	433.9ha	88.7ha	87.2ha	3,962.0ha

事業名	水田活用推進対策補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
50,793,774					50,793,774	45,224,372

平坦地域の特性を活かした形で、水田の活用が図れるよう営農指導をはじめ、地域農業の中心組織である両JAを通じ、ブロックローテーション等による集団的な麦、大豆等の戦略作物を作付ける耕作者や、そのほ場の提供者に対する支援を行うことで、水田の有効活用を推進し、水田農業経営の安定化を図ることができた。また、田植え後に食害を受けるジャンボタニシの防除について、水稲収穫後の石灰窒素の散布にかかる予防支援を行った。

小麦・大豆作付支援及び水田活用集団化支援の地域別内訳

	管内名	助　成　内　容	対象面積	補助金
JA松阪	本庁管内	麦・大豆等地域戦略作物作付支援	2,014.8ha	10,074,142
		水田活用集団化支援	1,010.4ha	20,491,041
	飯高管内	麦・大豆等地域戦略作物作付支援	1.4ha	7,235
		水田活用集団化支援	1.4ha	29,342
JA一志東部	嬉野管内	麦・大豆等地域戦略作物作付支援	621.0ha	3,104,855
		水田活用集団化支援	318.8ha	6,464,849
	三雲管内	麦・大豆等地域戦略作物作付支援	277.6ha	1,387,985
		水田活用集団化支援	260.9ha	5,290,625
計		麦・大豆等地域戦略作物作付支援	2,914.8ha	14,574,217
		水田活用集団化支援	1,591.5ha	32,275,857

ジャンボタニシ防除支援の地域別内訳

管内名	散布経営対数	散布面積	補助金
本庁管内	34	138.7ha	3,931,400
三雲管内	1	0.5ha	12,300
計	35	139.2ha	3,943,700

事業名	中山間地域水田活用推進対策補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,216,705					2,216,705	3,852,935

水田への作物作付及び奨励作物の作付を支援し、水田の有効活用及び農地の保全に努めた。

人・農地プラン作成数　1集落（本庁：1集落）　100,000円

地域別補助の内容

	管内名	助　成　内　容	対象面積	補助金
JA松阪	本庁管内	作物作付支援	357.87a	536,805
		奨励作物加算支援	16.80a	8,400
	飯南管内	作物作付支援	525.50a	788,250
		奨励作物加算支援	48.60a	24,300
	飯高管内	作物作付支援	102.20a	153,300
		奨励作物加算支援	2.00a	1,000
JA一志東部	嬉野管内	作物作付支援	403.10a	604,650
		奨励作物加算支援	―	―
計		作物作付支援	1,388.67a	2,083,005
		奨励作物加算支援	67.40a	33,700

(款）6農林水産業費（項）1農業費　　（目）6地域農政推進活動費

（単位　円）

事業名	環境保全型農業直接支払交付金					農水振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
45,600		34,200			11,400		45,600

化学肥料や農薬を使用しない有機農業に取り組む農業者に直接的な支援を行うことで、環境保全に効果の高い営農活動の推進を図った。

有機水稲栽培農家：　1戸　　交付対象面積：57a

事業名	農業経営基盤強化促進事業費					農水振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,728,260				1,005,544	1,722,716		2,842,884

農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想に掲げる認定農業者の育成、発掘及び利用権設定等促進事業を推進することで、担い手における農業経営の効率化及び安定化を図ることができた。また、JA等関係機関と連携することで、集落営農組織の育成、支援を推進し地域農業の振興を図った。

新規認定農業者数 3件、再認定（更新）30件、更新辞退 12件、令和元年度末認定農業者件数179件

集落営農組織数　31組織

事業名	中山間地域等直接支払交付金					農水振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
16,126,892		12,095,159			4,031,733		16,126,892

集落ぐるみで取り組む水路・農道等の維持管理や生産活動に「直接支払制度」により支援し、中山間地域の農地の多面的機能の確保及び耕作放棄地の抑制を図った。

管内別	取り組み地区名							対象面積	交付額
本庁管内	広瀬町	与原町（小出）	矢津町（古茂喜）	矢津町（大広）	矢津町（農地保全会）	茅原町（上茅原）	大石町（棚田保全会）	53.8ha	10,767,912
	西野町（広出）	西野町（山口）	伊勢寺町	岩内町	大阿坂町	大石町（谷農地保全会）			
嬉野管内	嬉野矢下町（井置）	嬉野滝之川町（滝之川）						5.5ha	1,161,489
飯南管内	飯南町深野（夏明）	飯南町深野（神路山）	飯南町深野（長野）	飯南町下仁柿（北沖）	飯南町有間野（栃川）			13.3ha	2,383,490
飯高管内	飯高町粟野（地之添）	飯高町乙栗子（乙栗子）	飯高町七日市（七日市）					8.6ha	1,814,001
計	23地区							81.2ha	16,126,892

事業名	農業経営基盤強化資金等利子補給促進補助金					農水振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,257,750		357,589			900,161		1,178,148

効率的かつ安定的な農業経営体として認定している認定農業者の育成支援として、経営規模の拡大や生産性向上のために借り入れる、農業経営基盤強化資金等の制度資金の借入金利子の補給を行い、経営改善を行う認定農業者の意欲の増進等を図った。

農業経営基盤強化資金利子補給件数　2件

農業近代化資金利子補給件数　　133件

事業名	新規就農者総合支援補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,242,949		13,242,949				17,250,000

経営の不安定な経営開始初期段階の青年就農者に対して助成することで、地域農業の活性化を図ることができた。

給付対象者：10名

管内	年齢	経営部門	給付額
本庁	33	施設野菜(イチゴ)	1,500,000
本庁	30	施設野菜・露地野菜	1,500,000
本庁	38	工芸作物(藍)	1,500,000
本庁	37	施設野菜(イチゴ)	2,250,000
本庁	26	複合経営（水稲+キャベツ）	1,500,000
本庁	36	露地野菜(白ネギほか)	1,500,000
嬉野	41	施設野菜(イチゴ)	169,803
飯南	46	複合経営（水稲+露地野菜・施設野菜）	705,660
飯南	47	施設野菜(トマト)	1,500,000
飯南	45	露地野菜	1,117,486
計		10名（本庁6名、嬉野1名、飯南3名）	13,242,949

事業名	機構集積協力補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,244,200		1,244,200				1,998,500

認定農業者など地域の中心となる経営体への農地集積に協力する農地所有者に対して、貸付面積に応じた補助金を交付することで、中心経営体の農業経営の効率化及び安定化を図ることができた。

地域集積協力金

面積:3.5ha、交付金額:563,200円

経営転換協力金

戸数： 6戸、面積： 4.5ha、交付金額：681,000円

事業名	がんばる認定農業者等支援補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,000,000					5,000,000	5,000,000

地域農業の継続・発展を目指すために、「人・農地プラン」の作成推進とあわせて、認定農業者や地域の農業組織等を支援することで、耕作意欲の増進や耕作放棄地の発生抑制など、地域農業の活性化を図ることができた。

対象者：11経営体　　補助率：1／2（上限50万円）

乗用管理機、コンバイン、大豆播種機、茶肥料散布機　ほか

事業名	強い農業・担い手づくり総合支援交付金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,305,000		2,305,000				—

産地の収益力強化と担い手の経営発展を推進するため、産地・担い手の発展状況に応じて、必要な農業機械・施設の導入を農業経営体の規模に応じ、切れ間なく支援する目的のなか、農業機械導入に際し、その支援を行った。

対象者:1経営体　　補助率:3／10以内

導入機械等:トラクタ　ほか

(款）6農林水産業費（項）1農業費　　（目）7農業施設費

（単位　円）

事業名	ベルファーム施設管理事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
42,097,965				600,000	41,497,965	47,877,147

都市と農村の交流拠点、自然や農業について学ぶ体験施設として、「株式会社松阪協働ファーム」を指定管理者とし、食育・緑育等の充実や、民間の創意工夫を生かした各種イベントを実施し、地域住民に喜ばれる農業公園としての運営に努めた。

委託料　39,739,219円、施設修繕料　1,626,666円、
使用料及び賃借料　25,760円、備品購入費　706,320円

利用状況　　計 539,385人（Mow&Buuは含まない）

月	人　数	月	人　数	月	人　数
4月	67,173人	8月	35,804人	12月	38,450人
5月	83,387人	9月	40,471人	1月	35,346人
6月	40,385人	10月	43,002人	2月	33,975人
7月	29,762人	11月	50,584人	3月	41,046人

事業名	ベルファーム施設整備事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,575,300				6,400,000	5,175,300	13,589,640

開園から16年が経過し、外壁や空調などの経年劣化が進んだため改修をし、利用者の安全確保に努めた。

・ゲートハウス空調設備改修工事　3,896,200円
・食体験館外壁塗装他改修工事　　7,025,700円
・木柵修繕　653,400円

事業名	多目的研修集会施設管理事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,491,414					3,491,414	3,481,828

農村地域における農業の振興、環境整備を図り、農業者等の生活改善、健康増進等に寄与することを目的に設置された施設の効率的な管理運営を行い、利用者が快適に利用できるよう努めた。

非常勤職員賃金　2,240,471円、共済費　7,904円、消耗品費　97,968円、燃料費　18,542円、印刷製本費　21,700円、光熱水費　391,565円、修繕料　99,534円、通信運搬費　54,911円、手数料　77,984円、施設維持管理等委託料　447,990円、使用料及び賃借料　25,345円、負担金　7,500円

利用状況（和室、会議室、調理室、トレーニング室）　918件　延5,149人

区分 月	利用件数（件）	利用者数（人）	区分 月	利用件数（件）	利用者数（人）
4 月	76件	426人	10 月	85件	475人
5 月	82件	509人	11 月	81件	435人
6 月	82件	461人	12 月	80件	486人
7 月	79件	434人	1 月	82件	471人
8 月	72件	401人	2 月	75件	424人
9 月	65件	334人	3 月	59件	293人

事業名	飯南茶業伝承館管理事業費					農水振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,308,073				50,000	2,258,073		2,200,000

当施設の製茶場で関西茶品評会への出品茶を製茶加工し、農林水産大臣賞及び産地賞を受賞した。
お茶の淹れ方教室、手揉み茶体験等を開催し、「松阪茶」の歴史と情報発信を行った。

お茶の淹れ方教室、手揉み茶体験：　4回開催、参加者　73人

指定管理委託料（指定管理者：松阪市茶業組合）　2,220,370円

LPガス調整器及び警報器修繕料　87,703円

利用室名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
製茶場	件数	11	4	3	0	2	0	0	5	3	2	1	0	31
	人員	47	20	40	0	8	0	0	30	31	8	2	0	186
仕上場	件数	7	12	3	1	0	0	0	4	2	1	1	0	31
	人員	39	25	24	2	0	0	0	10	4	3	2	0	109
研修室	件数	10	14	5	3	4	4	3	11	7	8	3	2	74
	人員	63	42	42	23	38	21	7	99	56	73	19	10	493
展示室	件数	0	2	1	1	2	2	8	9	3	0	3	1	32
	人員	0	6	13	20	25	2	10	37	31	0	26	3	173
計	件数	28	32	12	5	8	6	11	29	15	11	8	3	168
	人員	149	93	119	45	71	23	17	176	122	84	49	13	961

事業名	飯高産業振興センター管理事業費					農水振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,312,156				1,048,482	4,263,674		4,937,885

地域資源を活用する特産品開発、試験研究、農産物の加工、市場調査、販路開拓、技術の習得、
都市交流の促進に努めた。

賃金　1,764,000円、共済費　290,167円、需用費　2,612,991円、役務費　89,709円、
委託料　174,054円、使用料　351,312円、原材料　29,923円

施設名		内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
管理棟		件数	29	26	24	17	16	13	17	33	30	29	31	26	291
		人員	56	34	38	23	23	45	30	55	73	47	41	31	496
作業棟	こんにゃく製造室	件数	9	5	8	4	0	3	6	8	6	5	7	2	63
		人員	12	6	10	4	0	3	8	9	6	5	9	2	74
	餅製造室	件数	3	2	4	2	2	2	3	3	4	5	1	2	33
		人員	3	2	6	2	2	2	3	3	5	5	2	2	37
	研究開発兼体験室	件数	32	36	31	32	35	31	32	33	31	31	30	31	385
		人員	95	105	91	93	101	93	95	100	92	91	91	96	1,143
	物産加工所	件数	3	1	3	0	0	0	2	1	0	1	2	0	13
		人員	6	2	5	0	0	0	4	2	0	1	4	0	24
	みそ加工施設	件数	27	27	24	23	6	10	9	11	10	18	29	27	221
		人員	85	68	60	69	22	32	27	31	31	76	127	71	699
計		件数	103	97	94	78	59	59	69	89	81	89	100	88	1,006
		人員	257	217	210	191	148	175	167	200	207	225	274	202	2,473

事業名	飯南和紙和牛センター管理運営事業費					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
736,232					736,232	663,378

深野和紙保存会による原料の調整、和紙づくり体験、松阪牛に関する展示を行い、来訪者の視察見学等に活用した。

需用費　185,016円、役務費　56,626円、委託料　494,590円

利用室名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
和紙体験	件数（件）	0	0	0	0	0	0	1	1	4	1	1	0	8
	人員（人）	0	0	0	0	0	0	6	150	82	34	10	0	282
和牛展示	件数（件）	4	1	3	3	3	4	1	3	4	0	4	1	31
	人員（人）	15	1	5	7	13	31	7	9	10	0	25	1	124
計	件数（件）	4	1	3	3	3	4	2	4	8	1	5	1	39
	人員（人）	15	1	5	7	13	31	13	159	92	34	35	1	406

事業名	飯高地域資源活用交流施設管理事業費					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,548,278					19,548,278	19,837,230

指定管理者制度により「株式会社飯高駅」に委託した。

飯高地域の自然資源、人文資源等の地域資源を高度活用した憩いと潤いの場として、地場産業と観光、交流、癒し空間を有機的に結合させ、併せて就労の機会と市民のふれあいの場として地域活性化を推進した。

委託料　19,458,518円、使用料及び賃借料　25,760円、原材料費　64,000円

利用状況　　計　356,246人

施　設	人　数
レストラン	51,208人
温泉館	132,465人
いいたかの店	158,669人
飯高茶屋	13,143人
味楽工房	761人

事業名	飯高地域資源活用交流施設整備事業費					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
49,010,360			48,700,000	200,000	110,360	48,179,840

・ いいたかの湯（温泉館）動力装置設置工事　　27,427,400円
・ 飯高駅駐車場舗装改良工事　　21,477,960円
・ 土地掘削許可申請　温泉採取許可申請×1、温泉利用許可申請×2　　手数料　105,000円

(款）6農林水産業費（項）1農業費　　（目）8農地費

（単位　円）

事業名	市単土地改良事業費					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
47,024,933			16,600,000	4,207,274	26,217,659	71,947,672

基盤整備の未整備地域において、農業者の負担軽減や効率的な農業経営を図るため、農道、水路などの施設整備を実施し、施設の維持管理費の軽減、農家経営の安定と合理化を図ることができた。

伊勢自動車道跨道橋点検業務委託　6,517,500円

事業内容	重機借上料		工事請負費		原材料費		計	
	件数	金　額	件数	金　額	件数	金　額	件数	金　額
農道整備	16	996,563円	3	9,451,200円	39	5,053,164円	58	15,500,927円
用水路整備	7	1,053,195円	6	7,665,500円	17	1,985,323円	30	10,704,018円
排水路整備	5	439,560円	1	706,320円	11	1,562,801円	17	2,708,681円
用排水路整備	0	0円	0	0円	6	998,992円	6	998,992円
井堰整備	0	0円	1	777,700円	0	0円	1	777,700円
ため池整備	0	0円	1	3,545,300円	3	781,557円	4	4,326,857円
揚水機整備	0	0円	2	1,994,560円	8	2,294,030円	10	4,288,590円
その他	0	0円	0	0円	9	1,201,668円	9	1,201,668円
計	28	2,489,318円	14	24,140,580円	93	13,877,535円	135	40,507,433円

工事請負費の概略

工　事　名	工事内容	工事費
曲町揚水機設置工事	揚水機設置工 N=1基	998,800円
高町圧送管改良工事	圧送管取替工 N=1基	999,000円
野村町揚水機改良工事	揚水機改良工 N=1基	995,760円
西野々町用水ゲート設置工事	ゲート設置工 N=1基	777,700円
立野町農道舗装工事	舗装工 A=522㎡	2,709,300円
桂瀬町農道舗装工事	舗装工 A=1,022㎡	5,137,000円
桂瀬町農道舗装工事（その2）	舗装工 A=334㎡	1,604,900円
嬉野矢下町巻上ゲート取付工事	ゲート設置工 N=1基	540,000円
嬉野黒野町用水路改修工事	水路工 L=79.9m	520,300円
嬉野八田町八田池改修工事	ふとん籠工 L=25m	3,545,300円
小津町農業用水路改修工事	水路工 L=138m	3,334,100円
上久米地区水路改修工事	張りコンクリート工 A=65㎡	706,320円
小津町制水ゲート開閉装置改修工事	ゲート改修 N=1基	1,274,400円
飯高町富永小塚用水路改良工事	U字溝設置工 L=27.5m	997,700円
計		24,140,580円

事業名	ふるさと・水と土保全対策事業補助金					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
250,000		150,000		100,000		―

飯南町粥見地内を中心に獣害に強い作物（キク科フジバカマ等）の栽培、その花を好む渡り蝶（アサギマダラ）の飛来による景観形成等を軸に、荒廃農地の抑制、農村地域の活性化に繋がる活動を行った。

交付先：自然体験あそび塾チームわらべ

補助金額：県補助金 150,000円（県1／2 補助額 10万円以上）

　　市補助金 100,000円（市1／2 補助金 10万円上限）

財源：ふるさと・水と土保全対策基金

事業名	ふるさと・水と土保全対策基金積立金				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
31,569				31,569		34,601

ふるさと・水と土保全対策基金積立金　31,569円
令和元年度末基金現在高　33,169,779円

事業名	県営ため池等整備計画事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,510,000		4,510,000				67,840,200

松阪市内には農業用ため池が144か所存在し、うち62か所のため池が防災重点ため池に指定されており、既にハザードマップが作成されている。農林水産省が防災重点ため池の選定基準を見直したため、新基準に則り、松阪市内で新たに26か所のため池を防災重点ため池として選定し、今回9か所のため池のハザードマップを作成した。

地区名	事業内容	事業費	国補助金
小野町ほか	ため池ハザードマップ作成業務	4,510,000円	4,510,000円

事業名	三雲農業集落排水管理事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,723,051					4,723,051	5,975,727

三雲管内における農村総合整備モデル事業で整備を行った集落排水管路施設を良好な状態に保つため、施設の修繕、管路清掃などを行い、施設の維持管理に努めた。

地域	区分		委託先	金　額
三雲管内	修繕料	ポンプ取替修繕など	三愛物産（株）他	1,177,720円
	委託料	清掃委託業務	（株）朝日管清興業	1,624,756円
	その他管理経費（消耗品費、光熱水費など）			1,920,575円
	計			4,723,051円

事業名	三雲農業集落排水施設整備事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,236,840					4,236,840	―

公共下水道の整備が完了するまでの暫定施設として、農業集落排水施設の維持管理を行っている。今回の工事は、下水道施設の整備工事等に伴い、農業集落排水施設の移転が必要となり、施工した。
甚目町農業集落排水施設整備工事　3,743,280円
星合町農業集落排水施設整備工事　493,560円

事業名	小規模土地改良事業補助金				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
575,000					575,000	425,000

土地改良施設の緊急的な改修、修繕を行う農家団体に対し支援を行うことにより、農業者の施設維持管理費の軽減、農業経営の安定化を図ることができた。

交付先	工事名	事業内容	事業費	市補助金
櫛田土地改良区	給水本管漏水修繕工事	給水本管漏水整備	410,400円	123,000円
櫛田川祓川沿岸土地改良区	揚水機改修工事	揚水ポンプ取替	558,360円	167,000円
高町水利組合（大井堰）	高町貯水槽修繕工事	貯水槽整備	803,000円	240,000円
三雲用水土地改良区	曽原町地区用水路修繕工事	用水路補修	150,700円	45,000円
計				575,000円

事業名	多面的機能支払交付金事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
193,969,285		145,371,635		3,381	48,594,269	183,161,293

近年、農村地域の高齢化等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能（水源かん養、自然環境保全、景観形成等）の発揮に支障が生じつつある。このため、農地法面の草刈、水路の泥上げ、植栽、施設の補修、更新等の共同活動を行う農業者等で組織した団体に対して支援を行うことで、農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮した。
また、水路、農道等の保全管理を行っている担い手農家の負担軽減にも繋がるため、担い手農家への農地集積を後押しした。（負担率：国50%、県25%、市25%、推進交付金：国の定額交付金）

事業内容	組織数	対象面積	事業費	国県費（75%）	市費（25%）
多面的機能支払交付金	82	3,602ha	193,506,514円	145,371,635円	48,134,879円
内訳					
農地維持支払	82	3,602ha	105,516,900円	79,137,675円	26,379,225円
資源向上支払（共同活動）	44	2,275ha	41,720,520円	31,290,390円	10,430,130円
資源向上支払（長寿命化）	23	1,535ha	45,302,094円	33,976,570円	11,325,524円

事務費内容	事務費	雇用保険個人負担	推進交付金（国費）	市費
非常勤職員賃金等	1,129,120円	3,381円	967,000円	158,739円

事業名	県営ため池等整備事業負担金				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,420,000			4,200,000		220,000	11,200,000

「白石池」（小野町）は老朽化により漏水、浸食が著しく提体が決壊する恐れがあるため、耐震改修工事を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。
「三雲用水地区」（笠松頭首工）は老朽化により堰本体の破損、漏水、ゲートの腐食が著しく堤防決壊に繋がる恐れがあるため、改修工事を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。
県営事業
　白石池　H29～R2　本年度は堤体の改修を実施した。（負担率：国55%、県35%、市10%）
　三雲用水地区　H27～R2　本年度は可動堰の改修を実施した。（負担率：国55%、県37%、市8%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
白石池	堤体工、附帯工	25,000,000円	2,500,000円
三雲用水	可動堰改修	24,000,000円	1,920,000円
計		49,000,000円	4,420,000円

事業名	県営特定農業用管水路等特別対策事業負担金					農村整備課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
980,000			900,000		80,000		350,000

「一志南部2期地区」（一志南部用水）の用水路の一部にアスベスト（石綿管）が使用されており、老朽化により破損した場合、農業者等の健康を害する恐れがあるため、改修工事を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。
県営事業
H27～R2　本年度は管路の布設替えを実施した。（負担率：国55%、県35%、市7%、改良区3%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
一志南部2期	管路工　L=43m	14,000,000円	980,000円

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業補助金					農村整備課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,400,000					2,400,000		1,600,000

農業水利施設の老朽化が進む中で、土地改良区が施設の整備を行う土地改良施設維持管理適正化事業に対し支援を行い、施設機能の保持と耐用年数の確保、また農家の費用負担の軽減を図ることができた。（事業費の10%を補助）

交付先	事業内容	事業費	市補助金
松阪西黒部土地改良区	西黒部地区　揚水機場整備補修	8,000,000円	800,000円
機殿土地改良区	機殿地区　揚水機場整備補修	7,000,000円	700,000円
機殿土地改良区	機殿地区　揚水機場整備補修	6,000,000円	600,000円
櫛田上土地改良区	山添地区　揚水機場整備補修	3,000,000円	300,000円
計		24,000,000円	2,400,000円

事業名	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金					農村整備課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,931,200			2,500,000		1,431,200		375,200

「櫛田川祓川沿岸地区」（土地改良区）の用水路は老朽化により、ひび割れや沈下、漏水が発生している。特に老朽化が著しい区間の改修工事を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。
県営事業
H30～R3　本年度は水路補修を実施した。（負担率：国55%、県25%、市14%、改良区6%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
櫛田川祓川沿岸	水路補修工　L=283m	28,080,000円	3,931,200円

事業名	農業基盤整備促進事業費					農村整備課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
13,043,800		7,150,000	3,600,000	1,768,140	525,660		13,583,160

農業基盤整備促進事業の補助金を活用し、改良工事を実施し、基盤整備の促進を図ることができた。

地区名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			補助対象	補助対象外
美濃田	鉄筋コンクリート柵渠工① L=61m 鉄筋コンクリート柵渠工② L=30.7m 水路用L形ブロック工 L=41.2m プレハブ水路コーナー工 N=1箇所	13,043,800円	13,000,000円	43,800円

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業交付金事業費					農村整備課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
20,598,420		10,485,000		3,034,026	7,079,394		―

農業水路等長寿命化・防災減災事業の補助金を活用し、農業施設の長寿命化と自然災害による被害を未然に防止するために必要な整備を行った。

地区名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			補助対象	補助対象外
大黒田・大井	実施設計書作成	3,795,000円	3,791,000円	4,000円
嬉野井之上	ため池改修工事 L=35.3m	13,612,320円	13,610,000円	2,320円
嬉野天花寺	ステンレス製用水路掛樋工 L=12.5m	3,191,100円	3,190,000円	1,100円

事業名	農地一般経費					農村整備課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
11,326,242					11,326,242		9,569,402

農地関係の一般事務費及び維持管理費
道路賠償責任保険料、公共工事設計積算単価データ・システム利用料、阿波曾蛸路トンネルほか防災設備及び照明設備点検整備業務委託、ビーフロード除草業務委託、古田池公園管理委託、なめり湖公園管理委託、須賀井用水路除塵機点検清掃業務　ほか

事業名	農業集落排水事業特別会計繰出金					農村整備課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
59,924,478					59,924,478		52,970,478

事務費　31,866,000円　公債費　28,058,478円

事業名	県営ため池等整備事業負担金（繰越分）					農村整備課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
32,200,000			31,900,000		300,000		—

「白石池」（小野町）は老朽化により漏水、浸食が著しく提体が決壊する恐れがあるため、耐震改修工事を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。
「三雲用水地区」（笠松頭首工）は老朽化により堰本体の破損、漏水、ゲートの腐食が著しく堤防決壊に繋がる恐れがあるため、改修工事を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。
県営事業
　白石池　H29～R2　本年度は仮設道路、堤体、取水施設（斜樋管）、洪水吐の改修を実施した。
　（負担率：国55%、県35%、市10%）
　三雲用水地区　H27～R2　本年度は可動堰の改修を実施した。（負担率：国55%、県37%、市8%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
白石池	仮設道路工、堤体工、取水工（斜樋管）、洪水吐工	130,000,000円	13,000,000円
三雲用水	可動堰改修	240,000,000円	19,200,000円
計		370,000,000円	32,200,000円

事業名	県営特定農業用管水路等特別対策事業負担金（繰越分）					農村整備課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
8,750,000			8,700,000		50,000		5,600,000

「一志南部2期地区」（一志南部用水）の用水路の一部にアスベスト（石綿管）が使用されており、老朽化により破損した場合、農業者等の健康を害する恐れがあるため、改修工事を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。
県営事業
　H27～R2　本年度は管路の布設替えを実施した。（負担率：国55%、県35%、市7%、改良区3%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
一志南部2期	管路工　L=365m	125,000,000円	8,750,000円

事業名	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金（繰越分）					農村整備課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
868,000			500,000		368,000		—

「櫛田川祓川沿岸地区」（土地改良区）の用水路は老朽化により、ひび割れや沈下、漏水が発生している。特に老朽化が著しい区間の改修工事を行い、農業用水の安定確保と地域住民の安全を守る。
県営事業
　H30～R3　本年度は水路の補修を実施した。（負担率：国55%、県25%、市14%、改良区6%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
櫛田川祓川沿岸	水路補修工　L=62m	6,200,000円	868,000円

(款）6農林水産業費（項）1農業費　　（目）9ほ場整備事業費

（単位　円）

事業名	県営ほ場整備事業土地改良区補助金					農村整備課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,354,000					3,354,000		3,335,000

ほ場整備事業を実施している土地改良区の円滑な運営と組合員の負担軽減を図るため、その運営に要する経費の一部に対し支援を行うことにより、土地改良区の円滑な運営、ほ場整備事業の推進を図ることができた。（補助対象事業費の50%、上限300万円を補助）

交付先	事業内容	事業費	内補助対象	市補助金
朝見上土地改良区	土地改良区の運営費（人件費等）	6,531,202円	6,455,916円	3,000,000円
寺井土地改良区	土地改良区の運営費（人件費等）	728,253円	708,953円	354,000円

事業名	県営ほ場整備計画事業費					農村整備課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
19,921,000		19,921,000					5,503,680

「北谷地区」（小片野町）において、ほ場の大区画を図り、水路、農道などを一体的に整備することで、農業生産基盤の向上を図る。また、担い手への農地集積を推進する。
県営事業によりほ場整備事業を実施するため、事業採択申請に必要な事業計画書を作成した。

地区名	事業内容	事業費	市費
北谷地区	事業計画書作成業務	19,921,000円	0円

事業名	県営ほ場整備事業負担金					農村整備課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
42,765,560			18,100,000	1,344,600	23,320,960		26,775,000

「朝見上地区」（朝田町ほか）・「寺井地区」（笹川町）・「北谷地区」（小片野町）において、ほ場の大区画を図り、水路、農道などを一体的に整備することで、農業生産基盤の向上を図る。また、担い手への農地集積を推進する。
県営事業
　朝見上地区（164ha）H21～R4　本年度は舗装を実施した。
　　土地改良法対象（負担割合：国55%、県27.5%、市12.25%、改良区5.25%）
　　土地改良法外　（負担割合：国55%、県27.5%、市17.5%）
　　補助対象外　　（負担割合：市100%）
　寺井地区（21.9ha）H29～R4　本年度は区画整理、道路、用排水路等の整備を実施した。
　　土地改良法対象（負担割合：国55%、県27.5%、市17.5%）
　北谷地区（14.6ha）R1～R8　本年度は事業計画書の作成を実施した。
　　土地改良法対象（負担割合：国50%、県27.5%、市15.75%、改良区6.75%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
朝見上地区	舗装工　L=5107m	28,000,000円	3,797,500円
	舗装工　L=2734m（補助対象外）	4,044,810円	4,044,810円
寺井地区	区画整備1.5ha、道路261m、用水路498m、排水路412m、排水槽工1式、揚水機1式	173,950,000円	30,441,250円
北谷地区	事業計画書作成業務	19,921,000円	3,137,400円
計		225,915,810円	41,420,960円

事業名	県営経営体育成基盤整備事業負担金（繰越分）					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
70,454,475			42,500,000		27,954,475	57,312,500

「朝見上地区」（朝田町ほか）・「寺井地区」（笹川町）において、ほ場の大区画を図り、水路、農道などを一体的に整備することで、農業生産基盤の向上を図る。また、担い手への農地集積を推進する。
県営事業
朝見上地区（164ha）H21～R4　本年度は区画整理、道路、用排水路、集落道路の整備を実施した。
土地改良法対象（負担割合：国55%、県27.5%、市12.25%、改良区5.25%）
土地改良法外　（負担割合：国55%、県27.5%、市17.5%）
寺井地区（21.9ha）H29～R4　本年度は区画整理、道路、用排水路等の整備を実施した。
土地改良法対象（負担割合：国55%、県27.5%、市17.5%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
朝見上地区	区画整備0.6ha、道路1式、用水路493m、排水路144m、集落道路172m	240,000,000円	37,485,000円
寺井地区	区画整備7.2ha、道路1706m、用水路3045m、排水路1704m、貯水池工1式、附帯工1式	188,397,000円	32,969,475円
計		428,397,000円	70,454,475円

（款）6農林水産業費（項）1農業費　　（目）10湛水防除施設費

（単位　円）

事業名	湛水防除施設管理事業費					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
57,779,111					57,779,111	58,002,917

本庁、嬉野、三雲管内の39排水機場の年間維持管理費

地域	区　分		委託先	金　額
本庁管内18機場	管理委託	排水機場管理業務委託	自治会、水利組合他	3,360,000円
		電気保安管理業務委託（3管内）	中部電気保安協会	5,090,736円
		浄化槽保守管理業務委託	松阪環境事業協同組合	89,530円
		清掃委託	東部建設（株）	299,160円
	修　繕	施設修繕	昱耕機（株）他	5,080,224円
	その他管理経費（消耗品費、光熱水費など）			11,339,687円
	小		計	25,259,337円
嬉野管内6機場	管理委託	排水機場管理業務委託	自治会	488,000円
		可燃ごみ処理業務委託	（株）マルジョウ	628,960円
	修　繕	施設修繕	長谷電工（株）他	686,880円
	その他管理経費（消耗品費、光熱水費など）			6,458,326円
	小		計	8,262,166円
三雲管内15機場	管理委託	排水機場管理業務委託	三雲排水機管理組合連絡協議会	3,600,000円
		可燃ごみ処理業務委託	（有）ニチカンコー	653,256円
	修　繕	施設修繕	昱耕機（株）他	2,632,760円
	その他管理経費（消耗品費、光熱水費など）			17,371,592円
	小		計	24,257,608円
合			計	57,779,111円

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業費					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
33,398,000				18,900,000	14,498,000	44,271,680

排水機場のエンジン、ポンプなどの機器の機能保持と耐用年数の確保を目的に、土地改良施設維持管理適正化事業に加入している排水機場の機器の整備補修を実施した。

排水機場名	事業内容	事業費	事業費内訳	
			設計委託料	工事費
田村第2排水機場	Φ1200㎜ 横軸斜流ポンプオーバーホール	11,978,500円	799,200円	11,179,300円
中ノ庄第2排水機場	Φ400㎜ 水中ポンプオーバーホール	12,254,500円	864,000円	11,390,500円
計		24,233,000円	1,663,200円	22,569,800円

土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金　9,165,000円
（事業費賦課金 8,460,000円、事務費賦課金 705,000円）

事業名	基幹水利施設技術管理強化特別指導事業費					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
20,258,000					20,258,000	19,546,200

三重県土地改良事業団体連合会の管理技術者による本庁、嬉野、三雲管内の排水機場の管理技術指導、点検整備、施設操作指導により、適切な維持管理を行い、豪雨時などに適確に運転操作が行えるよう備えた。

基幹水利施設技術管理強化特別指導事業管理指導業務委託　19,250,000円
対象施設：35排水機場（本庁：16施設、嬉野：5施設、三雲：14施設）
土地改良区体制強化事業（基幹水利施設保全管理技術者向上研修）特別賦課金　1,008,000円
対象施設：4排水機場（本庁：高町、新川新、嬉野：津屋城第2、三雲：上ノ庄第2）

事業名	湛水防除施設整備事業費					農村整備課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
24,449,400		2,200,000	18,800,000		3,449,400	2,419,200

排水機場施設の劣化状況等を調査した機能診断結果に基づき、施設の機能を保全するための対策工事を行った。

委託名・工事名	事業内容	事業費
高須芝生排水機場吸水槽改修工事	コンクリート補修工他	4,259,200円
一志排水機場改修実施設計業務委託（第1期）	実施設計業務	1,382,400円
一志排水機場施設改修工事（その1：ポンプ設備）	ポンプ設備工	16,280,000円
一志排水機場施設改修工事（その2：土木施設）	土木施設工	2,527,800円
計		24,449,400円

事業名	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,037,000			15,700,000		3,337,000	6,000,000

「三雲地区」（曽原第2・喜多村新田）・「松ヶ崎地区」（六軒・松ヶ崎・猟師旧）・「黒部第1地区」（高須旧、高須新田）の7排水機場は老朽化が著しいため、改修工事を実施して、施設のストックマネジメント（長寿命化）を図る。

県営事業

三雲地区　H27～R2　本年度は曽原第2排水機場のポンプ設備と除塵機の改修を実施した。

（国事業名：農業水利施設保全合理化事業　負担率：国50%、県25%、市25%）

松ヶ崎地区　H28～R2　本年度は松ヶ崎排水機場と猟師旧排水機場のポンプ設備と電気設備、除塵機等の改修を実施した。

（国事業名：農村地域防災減災事業　負担率：国55%、県35%、市10%）

黒部第1地区　R1～R5　本年度は高須旧排水機場と高須新田排水機場の実施設計を実施した。

（国事業名：農業水利施設保全合理化事業　負担率：国55%、県35%、市10%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
三雲地区	ポンプ設備改修、除塵機改修（曽原第2）	11,000,000円	2,750,000円
松ヶ崎地区	ポンプ設備改修、ゲート改修、逆流防止弁改修（松ヶ崎） ポンプ設備改修、除塵機改修（猟師旧）	150,000,000円	15,000,000円
黒部第1地区	実施設計	12,870,000円	1,287,000円
計		173,870,000円	19,037,000円

事業名	湛水防除施設整備事業費（繰越分）				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
49,225,960		24,675,000			24,550,960	―

高須芝生排水機場は、施設の劣化状況等を調査した機能診断結果に基づき、施設の機能を保全するための対策工事を行った。また、上ノ庄排水機場については、台風で受電設備が浸水したため、ポンプの整備や防水扉を設置し、災害に対応できる改修を行った。

工事名	事業内容	事業費
高須芝生排水機場施設改修工事	引込盤据付他	3,718,000円
上ノ庄排水機場施設改修工事（その1）	横軸軸流ポンプ整備他	38,885,400円
上ノ庄排水機場施設改修工事（その2）	防水扉設置他	6,622,560円
計		49,225,960円

事業名	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金（繰越分）				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,137,000			10,500,000		3,637,000	34,800,000

「三雲地区」（曽原第2・喜多村新田）・「松ヶ崎地区」（六軒・松ヶ崎・猟師旧）の5排水機場は老朽化が著しいため、改修工事を実施して、施設のストックマネジメント（長寿命化）を図る。

県営事業

三雲地区　H27～R2　本年度は曽原第2排水機場の除塵機、ポンプ設備の改修を実施した。

（国事業名：農業水利施設保全合理化事業　負担率：国50%、県25%、市25%）

松ヶ崎地区　H28～R2　本年度は松ヶ崎排水機場と猟師旧排水機場のポンプ設備、電気設備の改修を実施した。

（国事業名：農村地域防災減災事業　負担率：国55%、県35%、市10%）

地区名	事業内容	事業費	市負担分
三雲地区	除塵機とポンプ設備改修（曽原第2）	22,548,000円	5,637,000円
松ヶ崎地区	ポンプ設備改修、電気設備改修（六軒、猟師旧）	85,000,000円	8,500,000円
計		107,548,000円	14,137,000円

(款）6農林水産業費（項）2林業費　　（目）1林業総務費

（単位　円）

事業名	緑化推進事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
310,770					310,770	345,638

植栽苗木の配布や公共施設等の緑化木の手入れ等の委託を実施し、地域緑化の推進と住民意識の高揚を図った。

原材料費　110,770円

植栽苗木配布内訳

山添町：しだれ桜　5本　　河津桜　5本　　吉野桜　5本

大石町：しだれ桜　5本

与原町：山モミジ　10本

飯南町向粥見：ソメイヨシノ桜　20本

委託料　200,000円

委託先　松阪に緑をふやす会

事業名	林業総務一般経費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,202,252				5,360	3,196,892	3,263,560

非常勤職員賃金、コピー代等、林業総務に係る一般経費

賃金・共済費　2,073,315円

需用費　154,037円（消耗品費）

印刷製本費　62,920円

役務費　147,980円（道路賠償責任保険料）

負担金、補助及び交付金　764,000円（三重県森林協会会費ほか）

(款）6農林水産業費（項）2林業費　　（目）2林業振興費

（単位　円）

事業名	森林環境創造事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,473,987	5,077,000	4,178,600			1,218,387	10,410,391

公共財として位置づけた環境林において、間伐施業等を実施することにより、森林の持つ多様な公益的機能の発揮を促進した。

委託料　10,397,200円

森林環境創造事業業務委託（市町タイプ）（叶林業森林整備計画地域）

事業量　間伐 9.22ha

委託先　叶林業合名会社 3,036,000円

森林環境創造事業業務委託（市町タイプ）（松阪飯南森林組合森林整備計画地域）

事業量　間伐 45.35ha

委託先　松阪飯南森林組合 7,185,200円

森林環境創造事業業務委託（県単）（叶林業森林整備計画地域）

事業量　現地調査　4.39ha

委託先　叶林業合名会社 176,000円

需用費　76,787円（消耗品）

事業名	「まつさかの木」を使用したワクワク快適な家づくり事業補助金					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
4,500,000					4,500,000		4,500,000

「顔の見える松阪の家づくり推進協議会」が構築した「顔の見える安心システム」により、地域材を活用した木造住宅建築への支援を行うとともに、イベント開催等を通じて地域材利用を推進した。

負担金、補助及び交付金　4,500,000円

事業量　協議会（7回）、住宅基本設計支援　25棟、「松阪の家」イベント開催ほか

交付先　顔の見える松阪の家づくり推進協議会

事業名	森林環境学習事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,898,720		2,898,720					2,893,320

市内小学校の児童を対象に森林環境保全や森林整備についての森林環境学習を行った。また、松阪産の木材で校舎の一部を木質化し、木とふれあう空間づくりを行った。

委託料　2,898,720円

事業量　森林環境学習、校舎一部の木質化（伊勢寺小学校・大河内小学校）

委託先　顔の見える松阪の家づくり推進協議会

事業名	里山の森林安全安心対策事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
21,780,000		21,718,280			61,720		37,838,880

集落や公共施設周辺の森林整備や危険木の伐採を行い集落等の安全と安心の確保に努めた。

委託料　21,780,000円

事業量　森林整備等　16か所

委託先　松阪飯南森林組合

事業名	林業労働者退職金共済掛金補助金					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
321,000					321,000		348,000

担い手の確保が困難な状況にある林業経営者に対し、雇用経費を補助することにより、労働者の確保について支援を行った。

負担金、補助及び交付金　321,000円

事業量　8事業所　計27人

交付先　上田林業ほか7事業所

事業名	有害鳥獣対策事業費					農水振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,319,532					5,319,532		5,070,400

野生鳥獣からの被害対策として、猟友会への委託による有害鳥獣捕獲と住民自らが行う追払いを効果的に実施することで被害軽減を図った。
松阪市中山間獣害対策協議会が実施する獣害対策事業において、支援を行い被害対策に取り組んだ。

消耗品費　1,099,532円

サル追払い用ロケット花火を自治会（101件、15,544本）に支給した。
また、追払い効果を上げるために、動物駆逐用煙火T-3（8件、1,385本）、ホルダー（63本）をサル用追払い花火と一緒に配布した。

委託料　3,600,000円

委託先：松阪市猟友会（松阪支部）　1,400,000円　　嬉野町猟友会　500,000円

飯南猟友会　600,000円　　松阪飯高猟友会　1,100,000円

負担金、補助及び交付金　620,000円

負担先：松阪市中山間獣害対策協議会

事業名	有害鳥獣捕獲補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
24,870,500		13,840,000			11,030,500	22,179,500

猟友会による効果的な有害鳥獣捕獲を実施し、イノシシ、シカ、サルなどによる農作物への被害の軽減を図った。

事業主体：各猟友会

松阪市猟友会（松阪支部）	イノシシ	322 頭	飯南猟友会	イノシシ	124 頭
	シカ	299 頭		シカ	551 頭
	サル	24 匹		サル	16 匹
	カラス、カルガモ	385 羽		カラス、カルガモ	5 羽
	その他(中型)	69 頭		その他(中型)	52 頭
嬉野町猟友会	イノシシ	63 頭	松阪飯高猟友会	イノシシ	148 頭
	シカ	70 頭		シカ	683 頭
	サル	0 匹		サル	49 匹
	カラス、カルガモ	6 羽		カラス、カルガモ	5 羽
	その他(中型)	30 頭		その他(中型)	94 頭
計	イノシシ	657 頭			
	シカ	1603 頭			
	サル	89 匹			
	カラス、カルガモ	401 羽			
	その他(中型)	245 頭			

事業名	有害鳥獣防護柵設置補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,422,000					3,422,000	3,481,000

農業者自らが設置する防護柵の材料費の一部を補助することで、野生鳥獣による農作物への被害軽減を図った。

申請件数92件　　実施面積139,550㎡（13.9ha）　　設置距離14,419m（14.4km）

事業名	森林経営計画作成推進事業費補助金					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,516,000		4,441,000			2,075,000	10,025,500

適切な森林整備の推進を図る観点から、森林経営計画の作成に必要不可欠な森林の施業集約化のための活動を支援した。

負担金、補助及び交付金　6,516,000円

事業量　積算基礎森林面積 106.28ha（経営委託）　100.34ha（境界測量）

交付先　松阪飯南森林組合

事業名	木質バイオマス有効活用対策事業補助金				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,441,000					4,441,000	3,788,000

今まで山林に廃棄されてきた未利用間伐材（松阪産）を木質バイオマスの燃料として有効利用し、山林資源の新たな活用を図った。

負担金、補助及び交付金　4,441,000円

事業量　発電用間伐材等運搬量　8,887.69t

交付先　バイオマス認定事業者　12事業体

事業名	みなと森と水ネットワーク促進事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
155,529					155,529	123,828

東京都港区内での地域材の利用促進に取り組むため、「みなと森と水ネットワーク会議」に加入し、関係団体等とともにPR活動等を実施した。

旅費　55,860円（利用促進活動、総会）

需用費　49,669円（PR用品、消耗品）

負担金、補助及び交付金　50,000円（みなと森と水ネットワーク会議負担金）

事業名	松阪荒滝生活環境保全林管理事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
486,000					486,000	486,000

生活環境保全林の施業、管理道の除草等を適正に実施することにより、優れた自然環境を生かし、利用者の安全確保及び環境保全の向上を図った。

委託料　486,000円

事業量　下刈り作業　18,900㎡×年1回刈り

委託先　松阪飯南森林組合

事業名	松阪創造の森施設管理事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,031,678					3,031,678	2,915,691

植栽された広葉樹林の下刈りと、施設内の清掃、除草作業を実施することにより、利用者の安全確保及び環境保全の向上を図った。

役務費　1,229,158円（森林保険料）

委託料　1,802,520円

管理委託料（清掃除草作業等）　358,560円

森林整備委託料（除草　4.6ha、集積　0.3ha）　1,443,960円

委託先　松阪飯南森林組合

事業名	松阪ちとせの森施設管理事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
824,653					824,653		741,011

林内歩道の除草作業や公衆便所の清掃を定期的に実施し、利用者の快適利用と安全確保を図った。

役務費　117,049円（森林保険料）

委託料　658,104円

（公衆便所清掃作業委託料　177,404円　　委託先：（社）松阪市シルバー人材センター）

（除草作業委託料（除草　1.7ha　集積　0.41ha）　480,700円

委託先：松阪飯南森林組合）

需用費

施設設備修繕料　49,500円　松阪ちとせの森修繕業務（トイレドア・東屋屋根修繕）

事業名	林地台帳整備事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
605,000					605,000		540,000

森林の所有者情報、土地情報、測量実施状況、林地地番図等の情報入力等により林地台帳の補正を行った。

委託料　　605,000円

事業量　林地台帳の地図修正　136筆ほか

委託先　株式会社パスコ　三重支店

事業名	嬉野どんぐりの森管理事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
50,000					50,000		50,000

清掃、除草作業を実施することにより、広葉樹の育成と市民が安全に利用できる保健休養の場を確保した。

委託料　50,000円

事業量　下刈り作業　1,000㎡×年1回

委託先　嬉野宮野町自治会

事業名	いきいき松阪の森づくり事業補助金					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
23,949,000			15,000,000	217,000	8,732,000		25,147,000

松阪産材の安定供給や木質バイオマス原料としての活用を推進するため、林内の路網整備や、高性能林業機械による木材搬出、担い手育成、林福連携による広葉樹の苗木生産に対する支援を行った。

負担金、補助及び交付金　23,949,000円

事業量　境界の明確化　150ha

利用間伐　12,824.155㎥

担い手育成（架線集材技術研修費及び架線集材用資材費の支援）　一式

林内路網整備事業　10,855.04m

林福連携による広葉樹の苗木生産モデル事業　一式

交付先　認定林業事業体　6事業体

事業名	林業支援センター運営事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
8,167,542				5,518	8,162,024		8,148,318

製材品の販路拡大や木材の需要拡大に特化した取り組みを進める為、市内製材工場等で構成する松阪地区木材協同組合等と連携し、木材商社や工務店への交渉にあたるなど、出荷圏の広域化、及び新たな出荷チャンネルの確保に向けた取り組みを進めた。また、松阪飯南森林組合と連携し、原木の安定供給体制の整備を進めるとともに、公共施設への木材利用を推進した。

主な活動実績	
県内及び関東方面を中心とした製材品の販路拡大業務	51 回
原木の安定供給体制構築に向けた協議	8 回
林業・木材関係者との意見交換	23 回
市内製材工場等からの相談、協議件数	25 件

賃金・共済費　6,417,863円
旅費　526,440円
需用費　470,261円（消耗品、食糧費）
役務費　125,118円（通信運搬費）
使用料及び賃借料　627,860円（事務所借上料、有料道路通行料）

事業名	森林資源管理事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
41,116,900					41,116,900		―

森林経営管理法により、森林の成長産業化を図り、森林の公益的機能の発揮を促進するために森林環境譲与税等を用いて森林整備を行った。

委託料　41,116,900円
令和元年度松阪市森林整備事業業務委託（その1）
事業量　間伐 52.78ha　面積調査11.90km
委託先　松阪飯南森林組合 12,624,700円
令和元年度松阪市森林整備事業業務委託（その2）
事業量　間伐 31.57ha　面積調査6.90km
委託先　松阪飯南森林組合 8,231,300円
令和元年度松阪市森林整備事業業務委託（その3）
事業量　間伐 18.02ha　面積調査10.27km
委託先　叶林業合名会社 7,057,600円
令和元年度松阪市森林整備事業業務委託（その4）
事業量　間伐 35.90ha　面積調査11.52km
委託先　松阪飯南森林組合 9,353,300円
令和元年度森林経営管理意向調査業務委託
事業量　意向調査 300ha
委託先　松阪飯南森林組合 3,850,000円

事業名	流域防災機能強化対策事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
8,020,080		8,000,000			20,080		―

流域における防災機能を強化するため、土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の森林整備を三重県事業と連携して行った。

委託料　8,020,080円

畑井地区流域防災機能強化対策事業調査業務委託

事業量　毎木調査0.45ha、区割り測量0.62km

委託先　松阪飯南森林組合　196,560円

畑井地区流域防災機能強化対策事業森林整備業務委託

事業量　伐倒450本、搬出49.05ｔ

委託先　松阪飯南森林組合 7,823,520円

事業名	森林再生力強化対策事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,243,185		5,243,185					―

災害に強い森林づくりを行うため、森林所有者が植栽と合わせて行う獣害防止柵の設置に対して支援を行った。

負担金、補助及び交付金　5,243,185円

事業量　獣害防止施設等の整備　10,392m

交付先　松阪市内森林所有者　5事業者

(款) 6農林水産業費 (項) 2林業費　　(目) 3林業施設費

（単位　円）

事業名	森林公園管理運営事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
31,914,775				420,900	31,493,875		31,787,112

伊勢寺町にある松阪市森林公園は指定管理者制度により、「松阪飯南森林組合」に管理運営業務を委託し、森林資源の活用及び保健休養機能の向上を図った。また登山会、自然観察会等の豊かな自然に親しむイベントを実施することでその環境を市民に提供した。

委託料　28,864,815円　　委託先　松阪飯南森林組合

修繕料　2,018,500円（駐車場木柵等修繕・防犯灯修繕）

使用料及び貸借料　1,031,460円

（森林公園土地借上料　1,005,700円　　地権者　11人・1自治会・1組合・1法人、借上面積：50,220㎡）

（森林公園AED借上料　25,760円）

※利用状況

区分 月	入園者数	持込テント	設置テント	バンガロー利用	木工教室
4 月	12,890人	17件	4件	31件	28人
5 月	10,056人	63件	19件	37件	80人
6 月	6,214人	1件	5件	15件	30人
7 月	7,118人	2件	1件	28件	59人
8 月	10,580人	66件	24件	69件	177人
9 月	6,077人	9件	4件	18件	30人
10 月	6,999人	10件	0件	6件	76人
11 月	6,171人	8件	0件	17件	22人
12 月	4,224人	0件	0件	4件	49人
1 月	4,533人	1件	0件	10件	22人
2 月	4,482人	1件	0件	4件	26人
3 月	8,214人	2件	3件	8件	47人
計	87,558人	180件	60件	247件	646人

事業名	森林公園施設整備事業費					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,805,000					2,805,000	1,296,000

施設の維持管理業務に伴う整備等を実施することにより、市民が安全に施設を利用できる環境の整備を行った。

工事請負費　2,805,000円

森林公園井戸系統施設整備工事　2,805,000円

事業名	飯高林業総合センター管理運営事業費					林業振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,984,544				376,576	4,607,968	4,834,934

林業振興や住民福祉の向上、林業就労者の研修及びコミュニケーションの場として地域住民の交流等が促進された。

賃金等　825,515円（共済費、賃金）
需用費　2,513,236円（燃料費、光熱水費、消耗品費、修繕料）
委託料　1,419,744円（施設維持管理等委託料）
使用料　51,649円（AED借上料、テレビ視聴料）
役務費　174,400円（手数料）

利用状況

利用施設	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
集会所兼運動場	件数（件）	0	1	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	6
	人員（人）	0	39	0	0	7	47	180	60	0	0	0	0	333
林業相談室	件数（件）	11	7	8	10	13	11	9	8	4	7	7	8	103
	人員（人）	308	86	91	265	130	303	131	100	43	68	94	84	1,703
和室会議室	件数（件）	3	3	3	4	1	3	3	4	3	2	2	1	32
	人員（人）	26	22	42	39	4	58	26	61	35	20	16	9	358
図書館	件数（件）	19	17	18	22	16	19	24	17	15	17	16	22	222
	人員（人）	32	31	33	37	25	33	34	23	23	27	26	40	364
調理実習室	件数（件）	2	2	2	1	0	2	2	2	3	2	2	1	21
	人員（人）	17	13	17	12	0	13	19	11	30	18	13	5	168
計	件数（件）	35	30	31	37	31	36	40	32	25	28	27	32	384
	人員（人）	383	191	183	353	166	454	390	255	131	133	149	138	2,926

(款) 6農林水産業費 (項) 2林業費　　(目) 4林業構造改善対策事業費

(単位　円)

事業名	林道・作業道等維持管理事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
19,287,380		1,909,500	5,000,000		12,377,880		32,005,345

降雨等による林道・作業道の路面の荒廃、路肩崩壊等を防止するため、林道等の補修及び維持管理、林道舗装工事の実施、事業用重機使用料及び生コンクリート等の原材料を支給した。

需用費　222,675円（消耗品費）
使用料及び賃借料　4,280,425円
（積算システム・積算単価データ利用料　107,925円）
（事業用重機借上料　林道・作業道等15路線　4,172,500円）
工事請負費　5,001,480円
（林道峯ヶ谷大崩線舗装工事　(L=245.0m　A=735.0㎡　W=3.0m)　2,521,800円）
（林道七日市乙栗子線舗装工事（L=240.0m　A=727.0㎡　W=3.0～4.0m)　2,479,680円）
委託料　5,707,900円　（令和元年度林道橋梁点検業務委託　N=26橋）
（林道橋梁塗膜調査業務委託　N=3橋）
原材料費　3,973,510円（14路線　生コンクリートほか）
旅費　98,240円（森林整備事業（林道）の実施設計に係る設計審査、林道研究発表会出席）
負担金、手数料　3,150円（研修参加負担金、手数料）

事業名	治山事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,718,000					3,718,000		3,134,160

治山工事要望か所（自然災害による森林崩壊地・荒廃渓流）について、現地調査を委託し、明確な要望計画書を県へ提出することで、事業採択を推進した。

委託料　3,718,000円
委託先　（株）松阪コンサルタント
（本庁管内（山腹工1か所）山腹工1か所、飯南管内（山腹工1か所）山腹工1か所
飯高管内(渓間工5か所)谷止工9基、山腹工、山腹緑化工、土留工一式)

事業名	林道・作業道整備事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
10,000,417		7,000,000	2,500,000	450,062	50,355		13,000,436

森林の適正な維持管理、木材生産コストの低減に向けた林道整備を行った。

工事名	事業内容	事業費	事業費内訳		
			委託料	工事請負費	立木補償金
林道トロセ線開設工事	開設延長 L=68.0m W=3.0m	10,000,417		9,517,200	
開設工事に伴う立木補償金	スギ・ヒノキ N=275本				483,217

(款）6農林水産業費（項）2林業費　　（目）5市有林費

（単位　円）

事業名	飯南・飯高市有林管理事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,170,144				1,746,257	423,887		1,732,555

市有林の巡視等を実施し、生育の状況や風倒木等の災害状況の把握、境界の明確化を行い、適正な森林管理を推進した。
分収造林契約地において間伐等の森林施業を行い、森林の維持管理を実施することで、森林の持つ多様な公益的機能の発揮及び促進ができた。

委託料　940,500円
飯南・飯高市有林管理委託　　940,500円
事業量　巡視　　86.23ha
委託先　松阪飯南森林組合
負担金、補助及び交付金　1,229,644 円　（造林木販売分収金1,432,057円×4／5）
（地上権山林販売分収金280,000円×3／10）
事業場所　（造林木）飯高町田引野戸谷団地ほか2団地
（地上権）飯高町富永2箇所

事業名	飯南・飯高市有林再造林事業費					林業振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
4,285,180		2,585,416			1,699,764		13,311,000

皆伐を行った市有林の再造林を行い、森林機能の向上を図った。（再造林　1.03ha）
市有林地において、市に替わり企業によって植林を行う植林イベントの準備を行ったが、悪天候により当日のイベントは中止となった。

委託料　4,285,180円
飯南・飯高市有林再造林業務委託　4,042,500円
事業量　再造林　1.03ha
委託先　松阪飯南森林組合
「イオンの森」植樹イベント業務委託　242,680円
事業量　イベントのふるまい準備他
委託先　株式会社アーリー・バード

(款）6農林水産業費（項）3水産業費　　（目）1水産業総務費

（単位　円）

事業名	水産業総務一般経費					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
519,251					519,251	864,849

水産多面的機能発揮対策事業にかかる講習会に参加することにより、他市の取組みを理解することができた。また、国・県・市が一体となって事業活動を支援することにより、水産業と地域の活性化が図ることができた。

旅費　2,000円、消耗品費　118,351円、負担金、補助及び交付金　398,900円
（負担先：水産物消費拡大促進協議会、水産多面的機能発揮対策協議会、三重県漁港漁場協会）

(款）6農林水産業費（項）3水産業費　　（目）2水産業振興費

（単位　円）

事業名	稚鮎等放流事業補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,600,000					2,600,000	2,600,000

事業主体	事　業　量	事業費	市補助金	成　　果
櫛田川上流漁協	稚鮎　1,000kg	3,400,000	658,000	稚鮎等を放流し、水産資源の増殖を図ることができた。また、各組合が自主的に河川清掃を実施し、河川環境の美化に努めた。
	あめご　820kg	1,810,000	381,000	
香肌峡漁協	稚鮎　605kg	2,151,156	347,000	
櫛田川河川漁協	稚鮎　1,300kg	4,265,300	832,000	
櫛田川第一漁協	稚鮎　120kg	456,120	79,000	
阪内川漁協	稚鮎　100kg	345,600	61,000	
	あめご　95kg	245,800	71,000	
中村川漁協	稚鮎　330kg	951,200	123,000	
	あめご　80kg	216,000	48,000	
小計	稚鮎　3,455kg	11,569,376	2,100,000	
	あめご　995kg	2,271,800	500,000	
合計		13,841,176	2,600,000	

事業名	川鵜対策事業補助金					農水振興課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
92,000					92,000	84,000

事業主体	事　業　量	事業費	市補助金	成　　果
櫛田川上流漁協	捕獲数　15羽	75,000	30,000	川鵜の捕獲により、鮎やあめごの食害減少に努めた。
櫛田川第一漁協	捕獲数　31羽	124,000	62,000	
計	捕獲数　46羽	199,000	92,000	

事業名	水産資源増殖事業費				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
300,000					300,000	81,600

事業主体	事　業　量	事業費	市負担金	成　　果
八共協議会	ガザミ（ワタリガニ） 53,000尾 クルマエビ 21,000尾 (松名瀬海岸)	300,000	300,000	伊勢湾の水産資源増殖の一環として、計画的な種苗放流を行い資源増殖に努めた。

事業名	アサリ資源増殖事業補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,500,000					2,500,000	2,500,000

事業主体	事　業　量	事業費	市補助金	成　　果
松阪漁業協同組合	覆砂　130㎥ 干潟耕うん 0.6ha かぶせ網 3枚 カイヤドリウミグモ視察 密漁対策看板等一式	5,253,021	2,500,000	アサリの生息環境を整備し資源増殖に努め、その効果を検証した。 カイヤドリウミグモ対策のための視察を行った。 資源保護を行うための啓発、密漁の巡回監視の強化が図れた。

事業名	水産物消費拡大推進事業費補助金				農水振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
73,000					73,000	500,000

事業主体	事　業　量	事業費	市補助金	成　　果
松阪漁業協同組合	松阪牛まつりなどの県内イベントでの地元水産物のPR	146,776	73,000	松阪産のあおさを使ったあおさ焼きを販売し地元水産物のPRができた。

(款）6農林水産業費（項）3水産業費　　（目）3水産業施設費

（単位　円）

事業名	漁港海岸施設管理事業費					農水振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,518,962					1,518,962		2,260,466

漁港海岸及び猟師漁港、松ヶ崎漁港について、安全な運営を行うための施設修繕、樋門管理等を行い、漁業者のスムーズな漁業活動を支援することに努めた。

委託料　591,400円、　施設修繕料　807,921円、　補修用原材料費　64,713円、
光熱水費　37,098円、　消耗品費等　17,830円

事業名	漁港機能保全事業費					農水振興課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,858,960		1,400,000	1,200,000		258,960		28,299,360

項目	内容	支出額	成果
需用費（消耗品費）	漁港漁場整備関係書籍等	12,960	事業に必要な関係書籍等の購入
	集中浄書代	38,000	事業に必要な印刷における浄書代
	小計	50,960	
委託料	猟師漁港機能保全事業設計・積算業務委託料(17西物揚場)	2,808,000	漁港機能保全計画に基づき、保全工事箇所の設計・積算業務を行った。
	小計	2,808,000	
合計		2,858,960	

(款）7商工費　　（項）1商工費　　（目）1商工総務費

（単位　円）

事業名	企業内人権啓発事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
76,004					76,004	67,135

市内企業における人権啓発意識の醸成を図るため、人権啓発強調月間（6月）男女雇用機会均等月間（6月）、公正採用選考人権啓発推進月間（9月）に啓発用リーフレット等を配布した。

啓発実績

区分	内　　容
令和元年6月	「6月は人権啓発強調月間」「6月は男女雇用機会均等月間」に関する啓発パンフレットやチラシ等を市内事業所（249社）に配布した。
令和元年9月	公正採用選考人権啓発チラシ「公正な採用選考のために」を松阪商工会議所ベルまつさか8月号（3,150部）に折り込むとともに、松阪北部商工会（530部）、松阪香肌商工会（300部）の各会員事業所へ配布した。
令和元年12月	12月の人権週間における街頭啓発を、松阪駅・伊勢中川駅・市内スーパーマケットにおいて、人権擁護委員、県職員、人権･男女共同参画課と連携して実施した。

事業名	消費生活関連事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,396,858		2,731,934		54,700	2,610,224	5,423,692

相談窓口「松阪市消費生活センター」での消費生活相談、悪質商法の手口や被害の情報提供や出前講座などの消費者啓発活動を実施した。
消費者行政に係る補助金を活用して、消費生活相談員スキルアップのための研修会への参加、啓発冊子等の作成を行った。
多重債務者の早期発見と生活再建への支援について、相談を受けるとともに、司法書士等の専門機関への“つなぎ”を行った。

消費生活相談件数

年度	件数（うち多重債務相談件数）
27	499件（14件）
28	422件（14件）
29	858件（50件）
30	980件（72件）
元	1,266件（66件）

令和元年度中の主な相談内容

・通信販売に関するトラブル　お試し500円など	206件
・ハガキやショートメールによる架空請求	62件
・健康食品などの送り付けなど	55件
・住宅リフォーム工事（屋根･外壁）トラブル	24件
・新聞定期購読に関するトラブル	12件
・副業サイト（情報商材）　ネットで楽に儲かる	22件

消費者啓発・出前講座 実績

区分	内　　容
街頭啓発	松阪市、多気郡3町が連携して啓発物品（消費者ホットライン「188」［＝嫌や］啓発ボールペン等）を手渡し、各市町の相談窓口の周知、悪質商法被害防止について、幅広い年齢層に呼びかけた。 6月 2日（日）斎王まつり（斎宮歴史博物館メイン会場） 11月 3日（祝）氏郷まつり（松阪駅周辺商店街） 11月10日（日）多気町おいないまつり（多気町民文化会館周辺） 11月10日（日）どんとこい大台まつり（大台町役場周辺）
出前講座	「悪質商法への対応～賢い消費者になろう～」　14回　419人

消費者啓発用物品（消費者行政に係る補助金の活用）

区分	内　　容	
啓発冊子	一般･若年者向け　「若者の消費者トラブル対策BOOK」	1,000部
	一般･高齢者向け　ステッカー「悪質商法撃退」	2,000枚
啓発物品	相談窓口周知用シャープペン「松阪市消費生活センター 25-6590」	460本

事業名	商工一般経費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
406,728					406,728	653,353

商工事務に係る一般事務経費

コピーカウント料、郵送料　ほか

各種団体等負担金

区分	内容
三重県計量協会会費 10,000円	取引や証明に使用する計量器については、法令により定期検査が義務付けられており、当該取引の安定と消費者保護の観点から隔年実施される定期検査を中心とした事業を継続していくための会費

（款）7商工費　　（項）1商工費　　（目）2商工振興費

（単位　円）

事業名	商店街交通量調査事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
467,579					467,579	450,345

市内中心商店街における商業活動や各種計画等の基礎資料とするため、人・車等の交通量調査を実施した。

調査日時	令和2年3月28日（土）　午前8時～午後6時（10時間）
実施地点	市内中心商店街11か所と2踏切

事業名	小規模事業資金保証料補給金					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,391,120					2,391,120	4,803,707

三重県中小企業融資制度の小規模事業資金借入の際の信用保証料について、利用者に補給を行った。

補給件数　25件（上限　25万円）

事業名	松阪市中心商店街活性化促進協議会補助金					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
450,000					450,000	450,000

中心商店街の活性化を図るため、商店街連合会、商工会議所、行政等の関係団体で協力体制を確立し、ソフト事業を充実する取組みを支援した。

事業名	商店街活性化総合事業費補助金					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,213,000					5,213,000	4,620,000

各商店街が一体となり開催するイベント（まつさかまっさかりまつり、クリスマスイベント等）や各商店街振興組合等が実施する活性化対策事業、イメージアップ事業、商店街の活性化を図るための事業に対する支援及び商店街連合会の運営に対して補助した。

（振興組合･商店街連合体は事業費の1／2以内、任意商店街組織は事業費の1／3以内で補助）

イベント･環境美化事業	7 団体	996,000 円
施設整備事業	3 団体	1,930,000 円
街路灯等電気料補助事業	8 団体	1,228,000 円
商店街活性化及び公共施設跡地活用計画策定のための調査研究事業（補助事業に対する補助）	1 団体	634,000 円
商店街団体の連合体に対する運営補助	1 団体	425,000 円

事業名	商工団体補助金					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
27,700,000					27,700,000	27,700,000

商工業者の育成・振興のため、商工会議所や商工会が行う活動や事業に対し、包括的な支援を行った。

交付先	松阪商工会議所	10,200,000円
	松阪北部商工会	9,500,000円
	松阪香肌商工会	8,000,000円

事業名	ものづくり技能者育成支援事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
27,666					27,666	56,258

市内の高校生を対象に「まつさかの匠発見ツアー」を実施し、今後社会に出て技能者として頑張っていく若者に、松阪地域にある素晴らしい技術を知ってもらい、松阪の魅力発見と「ものづくり」への意識向上を図った。

まつさかの匠発見ツアー

見　学　先	開催期日	参　加　者
①株式会社オクムラ ②株式会社三ツ知製作所 ③鍛冶安大徳	R1.8.21	松阪工業高校 4人　飯南高校4人

事業名	豪商のまち店舗改装支援事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,347,680					4,347,680	2,542,600

市内の商業環境の充実と振興を図るため、店舗等の改修に要する費用の一部を補助した。また、店舗等の改修工事を市内施工業者が行うことにより、地域経済の活性化を図った。

改装費補助率　1／3　上限　20万円

（松阪もめん、松阪の木の使用、景観重点地区については上限に上乗せ有り）

補助項目	補助件数	補助金額
改装費補助	23件	4,298,000円

事務経費（募集チラシ印刷代）　49,680円

事業名	創業・再挑戦アシスト資金保証料補給金					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,203,656					1,203,656	923,030

市内創業者を支援するため、三重県中小企業融資制度の創業・再挑戦アシスト資金借入の際の信用保証料について、利用者に補給を行った。

補給件数80件　（上限　10万円）

事業名	豪商のまち松阪起業家支援事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,200,000					4,200,000	4,200,000

新たに創業を希望する者や創業間もない事業者、業態転換や新分野に挑戦する第二創業などの人材を発掘し、地域課題の解決、人材育成、雇用の創出の視点で創業支援を行い、市内から多くの起業家を生み出すことで、市内事業者の活力の回復・向上を促し、地域経済の発展を図り、あわせて地域の活性化を目的に、市内等の創業支援機関が連携する「松阪商人サポート隊」が、創業者及び第二創業者の発掘・育成、継続的な経営支援等の事業を実施した。

豪商のまち松阪起業家支援事業業務委託　　委託先：松阪商工会議所

実施事業	開催日	会　　場	参加者
子育て世代のためのビジネスセミナー	10月17日	松阪市産業振興センターカリヨン別館	延32人
松阪商人塾	12月5～6日	松阪市産業振興センターカリヨン別館	13人
創業セミナー	3月18日、19日、23日	松阪商工会議所	延55人
テーマ別セミナー	7月26日、2月14日	松阪商工会議所	延64人

実施事業	事業所数　回数	派遣内容
専門家派遣	15事業所　28回	チラシデザイン、WEBサイト、経営指導、第二創業、資金計画

※1事業所１テーマにつき3回まで派遣

事業名	産業支援センター運営事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,671,154				16,735	15,654,419	11,104,959

市内中小事業者を支援するための拠点として、事業者の抱える悩みや課題解決への支援を行うため、会員制度を設け、次の事業を実施した。

○窓口相談　　681件

主な相談内容

施策活用関係　199件
補助金・助成金関係　97件
松阪市（支援センター）事業の紹介　119件
金融関係　71件

○出張相談

事業名	開催日	開催場所	相談者
松阪商工会議所　第32回なんでも相談会	10月5日	松阪商工会議所	2人

○専門家派遣

派遣実績

派遣要請件数	43件
派遣回数	141回

主な派遣内容（テーマ）

・デザイン支援	10件	
・事業計画（経営改善計画）策定	9件	
・IT活用	6件	など

○セミナー等の開催

【主　催】

事業名	開催日	参加者
ビジネスセミナー	5/24,7/31,9/9,9/11,11/6 11/20,11/27,12/2,1/29 2/5,3/13,3/16	延196人
学生・若手社会人スキルアップ講座	8/23,8/26,8/28	延16人
西村ゼミin松阪2019	9/2,9/30,10/21 11/6,11/21,12/4	延76人
若手社員戦力化研修	10/9,10/30,11/13,11/27	延97人
人材確保にむけた働きやすい職場づくり講座	2/27,3/4,3/12	延29人
先端設備等導入計画及び経営力向上計画説明会	3/18	12人
新型コロナウイルス支援策紹介セミナー	3/27	13人

【共催：三重県産業支援センター、国・県等】

「私らしく働く女性のおしごと応援セミナー」、「わかりやすい実践的なものづくりセミナー」

「わかりやすい実践的な補助金活用セミナー」「IT導入補助金2019活用セミナー」

参加者：延84人

○会員登録の状況

随時、各種セミナー、補助金等の情報をメールマガジンにより情報提供

会員数：233件（3月末現在）

会員の主な業種	卸売業、小売業	60件	
	製造業	54件	
	学術研究、専門・技術サービス業	18件	ほか

事業名	指定管理者選定委員会事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
58,020					58,020	―

報酬56,000円　旅費820円　　食糧費1,200円

松阪市公の施設に係る指定管理者審査選定委員会開催経費（7／17,10／23　計2回開催）選定委員会

事業名	商工振興一般経費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
574,965					574,965	612,496

商工振興に係る一般事務経費

各種団体等負担金

区分	内容
三重県発明くふう展負担金 10,000円	毎年秋に三重県発明協会の主催により開催される三重県発明くふう展の市町負担金
日本貿易振興機構 三重貿易情報センター負担金 270,000円	県内企業の海外展開支援として海外情報提供事業、輸出促進事業、投資交流促進事業、国際的企業連携支援事業を実施し県内企業の海外展開支援している団体への自治体負担金
三重県産業支援センター会費 12,300円	三重県産業支援センターの情報誌、中小企業支援の情報・各種資料の提供サービスの会費

事業名	中心市街地活性化複合施設管理運営事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
22,948,997				22,321,997	627,000	13,514,592

中心市街地活性化複合施設（カリヨンビル）の管理運営経費

委託料　22,321,997円　　委託先：(株)松阪街づくり公社

修繕料　627,000円（浄化槽の緊急修繕発生による）

事業名	プレミアム付商品券発行事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
106,646,541	99,380,600				7,265,941	―

令和元年10月の消費税・地方消費税率引上げ（8%⇒10%）が低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的とし、プレミアム付商品券の発行・販売等を実施した。

【発行主体】

松阪市プレミアム付商品券実行委員会

【発行券種】

1冊（500円×10枚）を4,000円で販売。引換券1枚で5セットまで購入可能

【申請・交付実績】

○非課税者分

申請書発送人数	31,720人
申請書受付人数	13,544人

引換券交付決定人数	13,260人
転入者引換券交換人数	32人
引換券交付人数	13,292人

○子育て世帯分

引換券交付人数	4,161人
転入者引換券交換人数	19人
引換券交付総人数	4,180人

【販売・換金実績】

○販売実績

65,824冊（658,240枚）

総販売金額　263,296,000円

○換金実績

65,571.6冊（655,716枚）

総換金金額　327,858,000円

事業名	プレミアム付商品券発行事業費（繰越分）					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,421,612	5,421,612					―

プレミアム付商品券に関するシステム開発及び関連業務の委託料及び使用料
システム開発等に時間を要するため繰越事業として実施した。
委託先　　株式会社 松阪電子計算センター
契約期間　令和元年5月31日～令和2年3月31日

（款）7商工費　　（項）1商工費　　（目）3産業振興センター費

（単位　円）

事業名	産業振興センター管理運営事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,937,214				10,863,637	3,073,577	17,328,912

地場産業や地元企業等の連携を図り、その振興の拠点として産業振興センターの機能を最大限に発揮するため、次の事業を行った。

展示販売、講演会、各種研修会・会議等の会場としての施設の提供

利用状況

産業振興センター（開館日数　306日）

会場区分	利用回数	利用者数	会場区分	利用回数	利用者数
常設展示場			和室研修室（2）	305件	1,204人
人材育成講座室	493件	8,036人	研修ホール	294件	10,988人
情報資料室	601件	7,783人	小研修室	339件	2,230人
和室研修室（1）	232件	864人	計	2,264件	31,105人

カリヨン別館（開館日数　306日）

会場区分	利用回数	利用者数	会場区分	利用回数	利用者数
展示室	217件	2,834人	会議・セミナー室	360件	4,992人
			計	577件	7,826人

事業名	産業振興センター施設整備事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
20,553,480				20,230,000	323,480	1,609,200

産業振興センターの故障個所を修繕・改修することにより、利用者の利便性・安全性の向上を図った。

乗用エレベータ制御改修工事　14,688,000円
照明器具改修工事　5,541,480円
修繕費　324,000円

(款）7商工費　　（項）1商工費　　（目）4観光費

（単位　円）

事業名	国際交流事業団体補助金				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
180,752					180,752	746,000

国際交流を推進するため、活動を実施する団体に対し経済的支援を行った。

申請団体名	事業内容	総事業費	補助額
松ヶ崎FC	少年少女サッカー台湾交流事業（第3条1－1） 子どもたちが世界に目を向け、文化や言葉の違いを超え人として大きく成長することを目的にサッカーを通じた交流を図る。（参加52人）	187,576円	93,788円
映像CUBE	国際交流映像祭in松阪2020（第3条1－1） 国際交流をテーマにした自主製作映像を作成、上映会を開催し、映像という表現ジャンルの強みを生かし、幅広い年齢層の国際交流活動・異文化理解を促進する。（参加8人）	173,929円	86,964円
三重県立松阪商業高等学校	オーストラリア現地学校との交流事業（第3条1－1） オーストラリアで同世代の生徒たちと交流を行い異文化に接することで見聞を広め国際感覚を養う。 （参加生徒10人・補助上限額） ※新型コロナウイルスの影響により事業中止	1,274,250円	0円
計			180,752円

国際化が進む中、松阪市内の国際交流に取り組む民間団体や市民を支援することは、松阪市の将来を担うグローバルな人材育成施策として有効であると考える。国際交流に取り組む民間団体や市民は、財源面において十分とはいえない現状であることから、民間団体の自主性・自立性を損なわない形での財政支援を実施する。

（補助率）

学校　補助対象経費の2分の1または10万円のいずれか少ない額

団体　補助対象経費の2分の1または20万円のいずれか少ない額

事業名	国際交流員（CIR）事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
222,253					222,253	428,005

市内の幼稚園や保育園、学校等への訪問、公民館英会話教室の開催、アイウェーブまつさかの番組制作、地域行事への参加など、CIRとともに国際交流活動を行った。また、依頼により、職員人権研修講師、外国人来訪者の通訳、パンフレットなどの翻訳、市内イベント（やたいむら）などの運営、インスタグラムなどによる外国人来訪者への情報提供などを行ったほか、松阪HHGクラブの活動にも参画した。

JETプログラム国際交流員（CIR）中間研修旅費　56,820円
活動時消耗品　49,833円
活動時食糧費　2,500円
JETプログラム負担金等　113,100円　ほか
令和元年度活動実績　66回（日）　翻訳など活動（再掲）　19回

事業名	地域国際化推進事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
30,820					30,820	30,800

地域の国際化の推進を図る目的で「松阪市地域国際化フォーラム」を開催し、松阪市国際交流事業団体補助金活用団体による事例発表と、三重県国際交流財団職員による「諸外国との交流から考える松阪市の多文化共生」というテーマでの講演会を開催した。

参加者　61人
発表団体　6団体
講師謝礼金　30,000円、旅費費用弁償　820円
講師　三重県国際交流財団企画総務課長

事業名	観光客誘致事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,081,304				13,769,000	312,304	13,196,255

新聞、雑誌、テレビ、FMラジオ、WEBなどの広告媒体等による観光PRを実施した。
観光パンフレット、観光PR名刺による観光PR及び情報発信を行った。
豪商のまち松阪観光交流センターのPRを兼ねた観光パンフレットを近鉄主要33駅（大阪・名古屋他）に20,000部の配架を行った。
東京日本橋で開催のべったら市、七福神めぐりや大阪で開催されたトラベルガールズフェスタ等のイベントに参加し、観光PRを行った。

広告料　4,449,860円
印刷製本費　4,893,623円
三重県観光連盟会費　1,159,000円　ほか

事業名	観光協会運営費補助金					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,776,000					7,776,000	10,287,000

事業名	事業主体	事業費	市補助金	成果
観光協会運営費補助金	松阪市観光協会	15,553,429円	7,776,000円	松阪市観光協会職員の雇用に要する経費の一部を補助することにより、団体の健全な発展を支援し、観光振興及び物産振興の向上に努めた。

事業名	観光協会事業費補助金				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
16,489,000					16,489,000	16,690,000

事業名	事業主体	事業費	市補助金	成果
観光協会事業費補助金	松阪市観光協会	34,664,193円	16,489,000円	松阪市観光協会が行う各種イベント及び観光客誘致活動等に要する経費の一部を補助することにより、観光交流人口の増加を促進し、消費の拡大等による地域の活性化に努めた。

事業名	都市間交流事業費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,921,852					3,921,852	4,746,388

海外都市との交流事業

観光交流協定を締結しているベトナム国ホイアン市人民委員会への訪問や、ホイアン日本祭への参加出展を行い交流を行った。

国内都市との交流事業

協定都市島根県浜田市、日野町、会津若松市など歴史文化的な繋がりを持つ都市や、地域的な繋がりを持つ関連都市と、観光・文化を通じた交流事業を行った。

主な支出

「石見神楽松阪上演会」における上演謝礼金　1,170,000円

伊勢志摩観光コンベンション機構事業負担金　500,000円　ほか

事業名	インバウンドプロモーション事業費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,103,584					3,103,584	2,899,784

広域連携事業に参加し、メディアや旅行会社の視察ツアー・取材の受け入れによる情報発信に努めた。

観光協会ホームページに松阪牛と松阪もめん紹介ホームページを作成し、当地の魅力的な観光資源を紹介することにより、誘客促進を図った。

インバウンドの取り組みに積極的な市内観光関連事業者へ向け、研修会の案内やプロモーション情報など、メール・FAXによる情報発信を行った。

印刷製本費　439,200円

委託料　1,408,640円

伊勢志摩観光コンベンション機構負担金　500,000円　ほか

事業名	豪商のまち松阪プロモーション事業費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,170,939					13,170,939	12,854,210

「近鉄エリアキャンペーン」により培われた観光客誘致のノウハウを活かし、運輸事業者や観光商工団体など、地域と一体となったプロモーション事業の展開を図った。

ぷちリッチde松阪牛　参加店舗　11店舗、メディア掲載実績　25件以上

豪商のまち松阪スタンプラリー　参加者数　1,648人

東京日本橋を会場に「松阪経営文化セミナー」を開催し、首都圏において本市の魅力を情報発信するとともに、東京・名古屋・大阪で旅行業者との連携によるセミナーを開催し、人、情報等の相互交流の活発化による誘客促進を図った。

	テーマ	講師	入場人員
第1回 (R元.8.5) 阪急交通社（名古屋）	松浦武四郎セミナー 「武四郎の道は未来へとつづく」	山本　命	30人
第2回 (R元.9.14) 阪急交通社（大阪）	北海道の名付け親　松浦武四郎 「武四郎の道は未来へとつづく」	山本　命	95人
第3回 (R元.9.14) 阪急交通社（大阪）	勝海舟の玄孫がご案内　若き勝海舟を支えた商人たち「海舟は射和商人竹川家三兄弟から何を学んだか」	高山みな子	95人
第4回 (R元.10.20) 三重テラス（東京）	松浦武四郎セミナー 「幕末・維新の日本を歩き尽くした旅の達人」	山本　命	55人
第5回 (R元.10.21) 阪急交通社（東京）	勝海舟の玄孫がご案内　若き勝海舟を支えた商人たち「江戸城無血開城の立役者　海舟は竹川家三兄弟から何を学んだか」	高山みな子 竹川　裕久	61人
第6回 (R元.11.18) 日本橋公会堂（東京）	「令和の時代をどう生きるか～松阪商人の経営に学ぶ～」 「ある松阪商人の家の物語～本居宣長の誕生～」	岡田　晃 松本　吉弘	256人
第7回 (R2.2.17) 阪急交通社（東京）	日本が誇るブランド牛「松阪牛」の誕生	杉山亜沙佳 近田　弘之	55人

プロモーション事業委託料　9,349,453円
プロモーション事業広告料　2,190,000円
報償費　885,016円
使用料及び賃借料　106,380円　ほか

事業名	リバーサイド茶倉施設管理事業費					観光交流課	
決算額	財源内訳						【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
14,778,000					14,778,000		14,713,088

松阪市リバーサイド茶倉施設の維持管理を行い、効果的な施設運営と利用者満足度の向上に努めた。

指定管理者に係る委託料　14,388,000円　ほか
令和元年度利用者数　44,343人（リバーサイド茶倉　6,554人、茶倉駅　37,789人）

事業名	リバーサイド茶倉施設整備事業費					観光交流課	
決算額	財源内訳						【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,307,700					3,307,700		—

老朽化の進む施設の長寿命化を図ることにより、地域振興および地域活性化と観光交流機能の維持・向上につなげるとともに、効率的・効果的な施設運営と、利用者の利便性・快適性の向上につなげ、利用者満足度の維持・向上を図った。

道の駅茶倉駅1階レストランエアコン取替工事　3,307,700円
令和元年度利用者数　44,343人（リバーサイド茶倉　6,554人、茶倉駅　37,789人）

事業名	観光施設管理運営事業費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,549,901					2,549,901	2,240,679

観光地の清掃や観光地トイレ等の維持管理を行い、観光客の安全性及び利便性の向上に努めた。

施設設備修繕料　576,820円

維持管理業務等委託料　1,271,920円　ほか

事業名	観光情報センター管理運営事業費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,605,626				1,477,805	8,127,821	9,054,401

観光情報センターの維持管理を行い、観光客への案内や情報発信に努めた。

観光案内窓口業務等委託料　6,932,400円

観光情報センター屋上ガラス修繕　696,300円　ほか

令和元年度来館者数　26,153人

事業名	飯高グリーンライフ山林舎施設管理事業費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,437,928					1,437,928	1,920,521

飯高グリーンライフ山林舎施設の維持管理を行い、利用者の快適性、安全性の確保に努めた。

指定管理者に係る委託料　991,093円、土地借上料　446,835円

令和元年度利用者数　3,350人

事業名	飯高森林とのふれあい環境整備施設管理事業費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,777,942					1,777,942	1,468,611

飯高森林とのふれあい環境整備施設の維持管理を行い、利用者の快適性、安全性の確保に努めた。

荒滝キャンプ場脱衣室他修繕　498,960円

指定管理者に係る委託料　978,982円、土地借上料　300,000円

令和元年度利用者数　2,695人

事業名	飯高奥香肌峡林間キャンプ場施設管理事業費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,674					6,674	5,184

飯高奥香肌峡林間キャンプ場水道代　6,674円

H26.4から休業中

事業名	飯高ホテルスメール関連施設管理事業費				観光交流課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,111,111					12,111,111	12,000,000

飯高ホテルスメール関連施設の維持管理を通じて利用者の快適性、安全性の確保に努めた。

指定管理者に係る委託料　12,111,111円

令和元年度利用者数　40,720人

事業名	飯高ホテルスメール関連施設整備事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,934,240					4,934,240	6,742,440

ホテルスメール2階宴会場空調機更新修理ほか6件　4,934,240円

事業名	指定管理者選定委員会事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
68,820					68,820	71,875

令和元年度における指定管理者候補を選定するため、指定管理者審査選定委員会を開催した。

（指定管理期間）R2.4.1～R5.3.31

指定管理者審査選定委員会

松阪市リバーサイド茶倉、松阪市グリーンライフ山林舎、松阪市飯高森林とのふれあい環境整備施設（つつじの里荒滝）

第1回　R元.7.8 、第2回　R元.10.1

報酬　56,000円　ほか

事業名	魅力ある観光地づくり支援事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,595,138					9,595,138	8,973,216

まちなかの「おもてなし処」2か所（夢休庵、鈴の音）及びまつさか交流物産館の運営による観光客への案内や情報発信、地域産品のPRや販売による地域産品の振興に努めた。また、魅力ある観光地を目指し、観光案内看板の修繕を行った。

おもてなし処「夢休庵」開設業務委託　開設日数　134日、来客数　2,594人

おもてなし処「鈴の音」開設業務委託　開設日数　58日、来客数　1,315人

まつさか交流物産館　来館者数　30,014人

観光案内看板等修繕　281,320円

おもてなし処2か所開設業務委託　1,266,960円

まつさか交流物産館接客等業務委託　4,447,200円　ほか

事業名	飯高総合案内施設管理事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,595,760					1,595,760	1,581,120

飯高総合案内関連施設の維持管理を通じて利用者の快適性、安全性の確保に努めた。

指定管理者に係る委託料　1,595,760円

令和元年度利用件数　6,719人

事業名	定住自立圏観光連携事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,180,000					2,180,000	2,180,000

松阪市・多気町・明和町・大台町で構成する協議会の事業負担金。定住自立圏構想に基づき、H28.5.2、「松阪・多気・明和・大台圏域観光連携事業推進協議会」を設立。協議会において観光連携事業を実施した。

事業負担金　2,180,000円

事業名	地域BWA活用Wi-Fi整備事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
928,800					928,800	―

地域BWAを活用して中心市街地の観光施設等12か所にアクセスポイントを整備した。これにより、観光客に対し無料のWi-Fi環境を提供することができ、まちなか観光の利便性が向上した。

地域BWA活用Wi-Fi整備委託料　928,800円

事業名	豪商のまち松阪観光・文化施設管理事業費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
81,838,944					81,838,944	―

H31.4に開館した豪商のまち松阪観光交流センターに加え、歴史文化ゾーンにある旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅の4施設を一般財団法人松阪市観光協会へ管理運営を指定管理委託を行った。

豪商のまち観光交流センターの施設管理のため、施設の機械警備委託を行った。

警備委託料　750,056円

指定管理制度に係る委託料　81,088,888円

令和元年度来館者数

豪商のまち松阪観光交流センター　44,670人

旧長谷川治郎兵衛家　17,351人

旧小津清左衛門家　13,041人

原田二郎旧宅　7,897人

事業名	観光一般経費					観光交流課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
947,460					947,460	763,935

通信運搬費　264,315円、事務消耗品購入費　683,145円

(款) 7商工費　　(項) 1商工費　　(目) 5交通政策費

（単位　円）

事業名	地域公共交通システム事業費					商工政策課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
152,700,022				50,524,626	102,175,396	138,127,487

鈴の音バスをはじめとする市運営コミュニティバスの運行経費等。地域住民の買い物、通院等の交通手段の確保に努めた。

特定財源

飯南コミュニティバス路線運賃等	584,050円
地域公共交通確保維持改善事業費収入	25,189,000円
協賛金	14,496,476円
ふるさと応援基金繰入金	10,255,100円

路線名		年間利用者数（人）	1日の運行便数	委託料（円）
鈴の音バス	市街地循環線	68,325	18便（平日） 16便(土日祝)	32,953,809
	大口線	6,009	8便（全日）	35,159,268
	幸中央線	8,556	15便（平日） 12便（土日祝）	
	三雲松阪線	16,092	13便（全日）	
黒部・東線		5,522	10便（平日）	6,133,190
機殿・朝見線		5,594	10便（平日）	7,853,079
飯福田・柚原線		0	平日2便(金土3便)予約制	―
与原・深長線		22	3便（平日）	―
嬉野地域コミュニティバス		7,957	7便（月～土）	14,083,088
飯高波瀬・森線		1,596	6便（平日）	7,443,463
三雲地域コミュニティバス		6,153	10便（平日）	8,801,132
飯南 コミュニティバス	有間野・波留・横谷主路線	303	4便（月曜日）	6,595,590
	相津・下郷主路線	330	4便（火曜日）	
	深野・横野主路線	355	4便（水曜日）	
	飯南主路線	119	2便(木曜日)	
	仁柿主路線	454	4便（金曜日）	
廃止代替バス （推計値）	宇気郷線	10,900	7便（平日）6便（休日）	31,074,810
	阿坂小野線	24,800	9便（全日）	
合計		163,087	―	150,097,429

加入団体負担金

区分	内容
三重県鉄道網整備促進期成同盟会分担金 94,000円	県内旧国鉄線の整備促進を図り、沿線地域住民の利便性向上に寄与することを目的とした団体への加盟分担金
JR名松線沿線地域活性化協議会負担金 100,000円	JR名松線沿線地域の生活交通の確保・維持及びJR名松線の利活用を主軸とした活性化を目的とした協議会への加盟負担金
リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会分担金 44,300円	リニア中央新幹線の早期建設と、県内への停車駅設置を図ることを目的とする同盟会への加盟分担金

事業名	コミュニティ交通運行事業補助金				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
50,415					50,415	―

運行経費の一部を補助することで、地域住民が主体となって運営するコミュニティ交通の支援を行った。運行経費から運賃収入等を差し引いた額の1／2（上限50万円）

申請件数　1団体（虹が丘町）

事業名	海上アクセス旅客ターミナル管理事業費				商工政策課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
444,856					444,856	290,804

海上アクセス事業廃止に伴い、ターミナル建屋処分までの間、施設の維持管理を行った。

手数料（鑑定評価）　218,900円
光熱水費　176,906円
機械警備委託　49,050円

(款）7商工費　　（項）1商工費　　（目）6ブランド推進費

（単位　円）

事業名	ふるさと特産品ＰＲ事業費				地域ブランド課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
519,282,126				351,379,067	167,903,059	283,413,189

ふるさと納税制度（応援寄附金）を活用して、松阪市に思いを寄せていただいた全国の方々に松阪市の優れた特産品を贈呈し、松阪市や特産品の魅力を広く全国に発信することができた。

報償費（特産品購入代）　383,926,015円

役務費（ふるさと納税サイトサービス利用手数料等）　126,915,678円

使用料及び賃借料（ふるさと納税管理システム使用料等）　489,990円　ほか

使途別	寄附金額（円）	件数
市長におまかせ	403,892,000	10,336件
～輝く子供たち～　子育て支援	319,943,000	8,756件
～いつまでもいきいきと～ 高齢者・障がい者福祉の推進等	69,960,000	1,886件
～活力ある産業～　農林水産・観光振興等	253,300,000	6,554件
～地域づくり～　住民協議会活動支援	13,260,000	256件
～人と地域の頑張る力～ 文化振興・人権尊重等	17,520,000	462件
～安全・安心な生活～ 交通安全・防災対策等	23,712,000	670件
～快適な生活～　環境保全・道路整備等	70,010,000	1,932件
計	1,171,597,000	30,852件

寄附件数計(件)　30,852

寄附金額計(円)　1,171,597,000

特産品数	358
事業者数	74

事業名	地域特産品ブランド戦略事業費				地域ブランド課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,181,219					10,181,219	3,198,955

松阪もめんの周知を図るプロモーション事業を首都圏を中心に展開し、新商品の製作とともに既存商品を含めたPR販売などを実施した。また、地域の産物を全国にPRし、販路拡大に繋げるため、オンラインショップの活用とセミナーの開催を行った。さらに、松阪赤菜を横浜のフードショーに出品し、生産者とともにPRを図った。　販路実績･･･20店舗

旅費：松阪茶PRほか　645,130円

委託料：地域プロモーション業務委託　2件　8,500,000円　ほか

事業名	ブランド大使・マスコットキャラクター活用事業費				地域ブランド課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
578,010				50,000	528,010	380,804

各方面で活躍する大使がSNS、イベント時の告知等で松阪市のPRを図った。

ブランド大使　17組（退任2人）	
活動実績	あべ静江（県内：消防出初式ゲスト、ご当地キャラ感謝祭ゲスト） りかりこ（市内：松阪もめんのハンカチを使って「1分でできるマスク」の動画をyou tubeに公開） 岡美保子（都内：「夏歌ライブ」前夜祭で本居宣長などの七夕への思いをメロディーで伝える） 村上しいこ（マンホーくんとちゃちゃものマンホールを市内に設置）

ちゃちゃも	
貸出実績	一般イベント　55件、行政イベント　46件　　計101件
イラスト使用実績	キーホルダー、年賀状、ユニフォーム、タオル、工事看板、チラシ、シール、お菓子の焼印　他　計33件

旅費　85,630円

需用費　447,844円　ほか

事業名	ふるさと応援基金積立金				地域ブランド課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
810,879,145				810,879,145		465,467,400

ふるさと応援寄附金によるふるさと応援基金積立金　30,596件

令和元年度末基金現在高　　834,644,145円

事業名	市民活動振興基金積立金				地域ブランド課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,357,000				9,357,000		6,217,700

ふるさと応援寄附金による市民活動振興基金積立金　256件

令和元年度末基金現在高　　20,071,836円

事業名	ブランド推進一般経費				地域ブランド課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
510,171					510,171	890,386

ブランド推進に係る一般経費

需用費（消耗品費等）　340,695円

使用料及び賃借料（公用車リース料）　131,760円　ほか

(款）7商工費　　（項）1商工費　　（目）7産業立地費

（単位　円）

事業名	企業誘致推進事業費				企業誘致連携課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,259,296				5,360	11,253,936	14,150,901

市内産業用地への優良企業の立地を推進するため、アンケート調査等を用いて、県内外の企業動向等を把握するとともに、市内産業用地の課題整理及び対応方法を検討するなど、戦略的な企業誘致活動を行った。

委託料（松阪市企業立地アクションプログラム作成支援業務委託料　1,991,000円）
（松阪市企業立地意向調査業務委託料　1,540,000円　ほか）
旅費　1,517,572円

工場立地協定実績

立地場所	松阪市岡本町350番地
会社名	株式会社ＮＡＫＡＧＡＷＡ
本社所在地	松阪市岡本町182番地2
業種	自動車用ゴム製品・樹脂製品の製造
協定締結日	令和元年5月24日

立地場所	中核工業団地
会社名	株式会社ノリタケカンパニーリミテド
本社所在地	名古屋市西区則武新町三丁目1番36号
業種	ガラス・土石製品の設計・開発及び製造
協定締結日	令和元年11月1日

立地場所	天花寺工業団地
会社名	ニプロファーマ株式会社
本社所在地	大阪市中央区道修町二丁目2番7号
業種	医療用医薬品の製造及び販売
協定締結日	令和元年12月25日

企業訪問活動

引き合い企業への訪問、立地意向調査有効回答企業へのフォローアップ、立地済企業の本社訪問、企業立地情報に係る関連機関への訪問等
　企業等訪問:234回、企業等訪問数:521社（県外:129、県内［市内除く］:83、市内:309）

事業名	企業立地促進奨励金				企業誘致連携課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
59,313,000					59,313,000	66,980,000

市内全域において、工場等新設の際、工場用地取得価格の25%相当額の奨励金を5年分割で交付している。

交　付　先	交付金額	交　付　期　間
ゲスタンプ・ホットスタンピング・ジャパン株式会社	40,000,000円	H30年度 ～ R4年度
パワーサプライテクノロジー株式会社	15,500,000円	H30年度 ～ R4年度
株式会社ライジング	3,813,000円	H30年度 ～ R4年度
計	59,313,000円	

事業名	産業経済人交流事業費					企業誘致連携課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,722,716					2,722,716	2,543,459

首都圏・関西圏・中京圏の企業、業界、経済団体等の経営者や担当者を一堂に会して、松阪市の産業、観光、文化、自然環境などの多様な情報の発信と、企業誘致や企業連携にかかるネットワークの構築を図るため「産業経済人交流会」を開催した。

産業経済人交流会
【首都圏開催】
開催日　令和元年7月8日（月）ホテル ルポール麹町（東京都千代田区）にて開催
参加者　企業関係者、金融機関、行政機関等、42社・61人
内容　　第1部　市長によるプレゼンテーション等、第2部　情報交換会
【関西圏開催】
開催日　令和元年11月15日（金）ウエディングテラス（大阪市淀川区）にて開催
参加者　企業関係者、金融機関、行政機関等、39社・52人
内容　　第1部　市長によるプレゼンテーション等、第2部　情報交換会
【中京圏開催】
開催日　令和2年1月24日（金）キャッスルプラザ（名古屋市中村区）にて開催
参加者　企業関係者、金融機関、行政機関等、43社・65人
内容　　第1部　市長によるプレゼンテーション等、第2部　情報交換会

事業名	企業連携推進事業費					企業誘致連携課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,669,990					1,669,990	2,537,276

市内企業と地域内外の企業間連携を支援し、技術連携や新製品の共同開発、販路拡大等のビジネスマッチングの推進など企業連携活動を実施した。

ビジネスマッチング等を目的とした企業・団体の支援実績　計11件
　うち、新商品開発及び新規技術事業への参画支援を目的としたもの　4件
　うち、商品の販路拡大を目的としたもの　7件

松阪発スゴ技企業バスツアー
【大学生対象】
開催日　令和元年9月9日（月）
参加者　32人（大学生ほか）
内容　　訪問企業（2社）、紹介企業（2社）
【高校生保護者対象】
開催日　令和元年10月22日（火・祝）
参加者　19人（高校生保護者ほか）
内容　　訪問企業（2社）、紹介企業（2社）

事業名	中小企業伴走型支援事業費					企業誘致連携課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,960,200					1,960,200	1,960,200

市内中小企業の新製品等のデザイン制作や魅力ある技術力、製品情報にかかるPR制作映像・放映を行うなど販売促進に向けた専門的ノウハウを持つコンサルティング業務を委託した。

委託料（中小企業伴走型支援事業業務委託）　1,960,200円

事業名	中小企業伴走型事業補助金					企業誘致連携課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,500,000					2,500,000	3,000,000

市内中小企業1社に対し、製品化に向けたブラッシュアップ、実証、販売促進にかかる経費やそのための専門家派遣の経費に対し、補助金を交付した。（補助率9／10、上限額2,500千円）

補助対象事業者	対象事業費	補助金額	成果
株式会社佛英堂	2,787,352円	2,500,000円	既存商品の改良、新商品開発支援、自社ブランドの強化、製品販路の拡大

事業名	中小企業販路拡大支援補助金					企業誘致連携課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,500,000					2,500,000	2,283,000

市内中小企業の販路開拓のための展示会・商談会等への出展経費に対し、補助金を交付した。
（補助率1／2、補助上限額1社あたり500千円）

補助件数	補助対象事業者	補助金額
5件	岩崎工業（株）、（株）尾鍋組、(有)丸井食品、航空機部品生産協同組合、辻製油(株)	2,500,000円（総額）

(款）7商工費　　(項）1商工費　　(目）8文化振興費

（単位　円）

事業名	地域文化振興事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,886,000					3,886,000	3,886,000

各地域の特性を生かした文化振興を推進するため、文化組織を育成し、地域の文化祭等を開催した。

嬉野文化祭、三雲文化祭、飯高文化祭

嬉野おどろまいかコンテスト事業・嬉野音楽祭 等

事業名	本居宣長記念館補助金					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
32,814,000					32,814,000	31,056,000

本居宣長記念館の管理運営、山室山奥墓玉垣修理工事に要する経費の一部を補助した。また、国学者本居宣長の旧宅、宅跡その他関係史蹟及び遺墨、遺品等を調査研究するとともに公開し、顕彰に努めた。

交付先　（公財）鈴屋遺蹟保存会

事業名	市美術展覧会開催事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,458,131				4,458,131		2,631,887

美術文化の祭典として美術鑑賞の機会を提供し、市民の創作意欲を高めるとともに、美術に対する理解を深め、松阪地域の美術水準の向上を図るため、文化財センターで「松阪市美術展覧会」を開催した。また、開催から第60回目を迎える記念の年として、例年、児童を対象としたワークショップに大人の部門を設けたり、「特別展」の開催、図録の作成、「10年のあゆみ展」など記念企画を行ったりした。

・第60回松阪市美術展覧会

区分		開催日	成果
第1部	絵画、 彫刻・工芸	R1.9.29(日) ～R1.10.6(日)	出品数：291点　（うち高校生以下　14点） 展示数：280点 合評会参加者数：141人 会期中入場者数：2,941人
第2部	写真、書道	R1.10.20(日) ～R1.10.27(日)	

・野染めワークショップ2019（彫刻・工芸部門）

日　時：　令和元年8月9日（金）、10日（土）10:00～14:30

場　所：　文化財センター、鈴の森公園

参加者：　市内小学校1～6年生　48人、大人17人

・10年のあゆみ展

日　時：　令和元年7月9日（火）～15日（月・祝）7日間　9：00～16：30

場　所：　文化財センター、第2・第3ギャラリー

展示数：　31点(第51回～59回開催時の各部門１席受賞作品)

入場者数：489人

・「松坂を愛した稀代の画家　曾我蕭白」　特別展

日　時：　令和元年10月19日（土）～12月1日（日）39日間　9：00～17：00

場　所：　文化財センター、はにわ館第2展示室

展示数：　県指定有形文化財、市指定有形文化財を含む10点

入場者数：2,469人

〔特別公開〕

日　時：　令和元年10月25日（金）～11月10日（日）15日間　10:00～16:00

場　所：　朝田寺（松阪市朝田町）

展示作品：国指定重要文化財等

入場者数：303人

事業名	芸術文化活動奨励金・勲功賞交付事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
735,644				735,644		422,280

市民文化の振興を図るため、松阪市文化振興基金条例及び同運用規則の規定により、芸術文化活動の全国大会へ出場する生徒に対し、芸術文化活動奨励金を交付した。また、全国大会で優秀な成績を収めた生徒に対し、勲功賞を授与した。

【奨励金】

・全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール	(団体　18人)	100,000円
・第66回NHK杯全国高校放送コンテスト［創作テレビドラマ部門］	(団体　11人)	100,000円
・第66回NHK杯全国高校放送コンテスト［創作テレビドラマ部門］	(団体　23人)	200,000円
・第43回全国高等学校総合文化祭［弁論部門］	(個人　1人)	10,000円
・第43回全国高等学校総合文化祭［美術・工芸部門］	(個人　1人)	10,000円
・第39回全国高等学校IT・簿記選手権［IT部門］	(団体　2人)	20,000円
・2019年(第25回)日本管楽合奏コンテスト全国大会	(団体　21人)	200,000円
・第36回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト ［レシテーションの部］	(個人　1人)	10,000円

【勲功賞】

第66回NHK杯全国高校放送コンテスト ［創作テレビドラマ部門］　優勝	(団体　23人)	59,724円

事業名	埴輪制作事業費					文化課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
448,000					448,000		448,000

「はにわづくりの会」に事業を委託し、小学校高学年や住民協議会を対象としたはにわづくり出前教室を実施した。また、こどもハニワ展の開催や、レプリカ埴輪の制作・入替え等を通じて、文化遺産に対する保存と顕彰の必要性と文化意識向上の啓発を行った。

・はにわづくり出前教室　17回、参加者数409人

・こどもハニワ展

日　時：　令和2年1月18日（土）～26日（日）　8日間　10：00～16：00

場　所：　文化財センター　第1・第2ギャラリー

展示作品数：　389点

入場者数：　434人

事業名	音楽文化活動事業費					文化課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,717,000				1,717,000			1,777,000

音楽を通して、世代や地域を超えた文化振興を推進するため、合唱フェスティバルと吹奏楽フェスティバルを開催した。

・合唱フェスティバル

日　時：　令和元年10月13日（日）　12：20～17：10

場　所：　クラギ文化ホール

出演者：　公募による幼児と保護者、小学生、中学生、高校生、
一般の各コーラス及び市内の合唱団　30団体、延約800人

入場者数：約1,100人

・吹奏楽フェスティバル

日　時：　令和2年1月26日（日）13：00～15：30

場　所：　クラギ文化ホール

出演者：　松阪地区の小学生バンド、中・高等学校の吹奏楽部及び社会人バンド
18団体、567人

入場者数：1,092人

事業名	文化芸術団体共催事業費					文化課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
215,673				215,673			167,340

松阪市文化芸術団体連絡協議会と協働で、市民に芸術文化の鑑賞及び体験の機会を提供した。

会場	実施日	行事名	連絡協議会加盟団体名	入場者数
農業屋コミュニティ文化センター	H31. 4 .7	第16回宣長さん吟詠剣詩舞道記念大会	松阪吟詠剣詩舞道連合会	280人
	R1. 9. 7	第9回松阪市民ギター音楽祭 ［フェスティバル部門 独奏・重奏］	松阪ギター音楽協会	150人
	R1. 9. 8	［フェスティバル部門 合奏］		430人
		［コンサート部門］		192人
	R1.10. 5	永遠のスクリーンミュージックV	松阪声楽ソロの会、松阪ピアノの会、松阪フルート協会	390人
	R1.11. 2	第6回松阪市民能	松阪能楽連盟	326人
文化財センター	H31. 4.7 ～ 4.14	第16回合同水墨画展	松阪水墨画交流会	1,275人
	R1. 6.18 ～ 6.23	第8回松阪写真交流会フォトフェスティバル	松阪写真交流会	839人

事業名	小津安二郎青春館等管理運営事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,325,357				3,294	4,322,063	4,176,616

小津安二郎が多感な青春時代の10年間を過ごした敷地に建つ愛宕町の町家を借り受け創設した「小津安二郎青春館」、及び代用教員として過ごした飯高町宮前で開設した「小津安二郎資料室」の管理運営および企画展等に係る経費。「小津安二郎青春館」では、小津監督の青春時代を彷彿させる品物や関係写真などを、「小津安二郎資料室」では、教え子たちにより集められた監督の思い出の品々などの展示を行った。

・小津安二郎青春館　　開館日数：211日　　入館者数：　1,358人
・小津安二郎資料室　　開館日数：185日　　入館者数：　　901人

映画監督 小津安二郎企画展　－世界のOZU　築山秀夫・小津コレクション－
全国小津安二郎ネットワーク副会長の築山秀夫氏が収集された、諸外国における映画雑誌、上映時のポスター、小津監督が愛用したグッズなどの展示のほか、ギャラリートークを行った。

・展示イベント
　日　時：　令和元年7月10日（水）～21日（日）11日間　10：00～16：00
　場　所：　文化財センター　第1ギャラリー
　入場者数：延 796人
・ギャラリートーク　『世界のOZU』
　日　時：　令和元年7月21日（日）　13：00～14：30
　講　師：　全国小津安二郎ネットワーク副会長・長野県立大学教授　築山秀夫氏
　参加者数：56人

映画監督小津安二郎の顕彰と映像文化の振興を目的に「東京物語」と地元高校生の創作作品を上映した。

・小津安二郎作品鑑賞会＋（プラス）
　日　時：　令和元年11月17日（日）13：00～16：00
　場　所：　カリヨンプラザ1階展示室
　入場者数：25人

事業名	文化振興一般経費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,076,529				141,837	3,934,692	2,192,691

芸術文化の振興、文化事業推進等に係る一般経費、また文化財の保護及び活用に関する事項について文化財各分野の専門家・学識経験者等で構成する文化財保護審議会等の開催等に係る経費

(款）7商工費　　（項）1商工費　　（目）9文化財保護費

（単位　円）

事業名	文化財保存管理活用事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
16,239,172				1,900,000	14,339,172	29,090,088

歴史的建造物等の保存活用を目的に、御城番屋敷の１戸を借り受けて一般公開を行った。旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家、原田二郎旧宅に指定管理者制度を導入し、文化財が適切に管理・活用されるよう定期的なモニタリングを行った。また旧長谷川治郎兵衛家の庭園整備等を行った。

入館者数

御城番屋敷 ： 36,664人

施設別事業費等

御城番屋敷公開費　3,267,167 円

旧長谷川治郎兵衛家等管理費　6,450,473 円　ほか

指定史跡等の草刈及び修繕等を行い、環境整備に努めた。また、文化財パンフレット等の印刷を行い、文化財の普及活動に努めた。

草刈等実施か所：宝塚古墳、天白遺跡、粥見井尻遺跡、滝之川古墳、
久保古墳、川北古墳、東町参宮古道跡地、向山古墳

修繕等実施か所：宝塚古墳回廊階段修繕、宝塚古墳車止ポール修繕、旧長谷川家西蔵扉修繕、
松坂城跡排水溝修繕、松ヶ島城跡看板修繕　ほか

史跡等管理費　5,414,869 円　ほか

天然記念物の保護を目的に、ムシトリスミレのパトロール活動や月出の中央構造線観察所の環境整備等を行った。

天然記念物保護費　137,240 円　ほか

事業名	殿町武家屋敷生垣等保存整備事業補助金					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
985,100					985,100	762,100

御城番屋敷及び本殿町、上殿町の武家屋敷の町並みを保全するための生垣や庭木の刈り込み、剪定、補植に要する経費を補助し、景観保全を推進した。

交付先　（同）苗秀社　ほか19件

事業名	無形民俗文化財保存活用補助金					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,183,600					1,183,600	1,161,400

指定無形民俗文化財の保存、継承を図るために必要な経費を、保存団体に補助した。

交付先

猟師かんこ踊り保存会、松ヶ崎かんこ踊り保存会、小阿坂かんこ踊り保存会、西野子踊り保存会、松阪しょんがい音頭と踊り保存会、射和祇園祭保存会、曽原獅子舞保存会、曽原かんこ踊保存会、笠松かんこ踊り保存会、津屋城でこさん保存会、天玉神社神楽保存会、てんてん保存会、和屋・立田・朝田よいよい神事保存会、手力男神社虫送り保存会　14件

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,064,212				3,064,212		988

民間開発に伴う発掘調査を2件行った。

事業名	市内遺跡緊急発掘調査事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,291,404	2,633,000	304,000			3,354,404	3,021,723

文化財保護法第93条、94条に基づく届出・通知のあった遺跡について、試掘調査・範囲確認調査を10件行った。

事業名	埋蔵文化財活用事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
690,433				76,050	614,383	435,915

埋蔵文化財への関心と理解を深めるため、中郷地区活性化協議会に業務を委託し、うれしの天白縄文まつり（嬉野）にて、古代体験イベントを開催した。ほか、いいなんふれあい祭りでも同じようにイベントを行った。また、ワークショップや「はにわ館」中学生ボランティアガイド等を実施した。

古代生活体験イベント

「いいなんふれあい祭り」　令和元年11月17日（日）　参加者数　94人

「うれしの天白縄文まつり」 令和元年11月24日（日）　参加者数　1,100人

古代体験ワークショップ

学習支援展示ワークショップ「はにわストラップづくり」

平成31年4月13日（土）　参加者数　55人

GWワークショップ「組みひも・色付け勾玉」

令和元年5月3日（金）～5月5日（日）　参加者数　198人

夏休みワークショップ「ステンシルであそぼう」

令和元年7月27日（土）・7月28日（日）　参加者数　37人

夏休みワークショップ「矢じりネックレスづくり」

令和元年8月22日（木）　参加者数　18人

特別展ワークショップ「墨絵を描こう・トンボ玉付勾玉づくり」

令和元年11月4日（月）　参加者数　59人

冬季企画展ワークショップ「色付け勾玉づくり」

令和2年2月29日（土）・3月1日（日）　参加者数　50人

出前授業等（学校教育）　依頼校　5校

職場体験学習「わくわくワーク」　参加校　3校、延9人

「はにわ館」中学生ボランティアガイド

令和元年7月27日（土）、28日（日）、30日（火）、31日（水）、8月1日（木）～4日（日）

参加者数　26人

事業名	郷土資料室資料保存管理事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,027,637				262,005	2,765,632	2,977,731

所蔵資料、受贈資料等の整理・保存・目録化、郷土資料の研究を行い、小津清左衛門長柱日記（八）を刊行した。

事業名	文化財保存整備事業補助金					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,941,000					1,941,000	310,000

重要文化財旧松坂御城番長屋東棟・西棟の保護塗装、市指定有形文化財薬師寺本堂並びに仁王門の応急修理工事事業に要する経費の一部を補助した。

交付先　（同）苗秀社、宗教法人薬師寺

事業名	歴史・文化・伝統保存整備基金積立金					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,701				5,701		5,954

多様な歴史、文化及び伝統を継承し、地域文化の創造を市民等と協働して取り組むための基金に対し、基金利子を積み立てた。

基金利子　5,701円

令和元年度末基金現在高　14,014,351円

事業名	指定文化財保存修理事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,411,000	1,209,000			233,000	1,969,000	3,150,935

重要文化財「松浦武四郎関係資料」全1,505点のうち、傷みの激しい資料2件の保存修理を行うとともに、松浦武四郎記念館で保管している資料の整理作業を行った。

修理資料　1.河鍋暁斎筆「瀑布図」　掛軸装 1幅

2.藤田東湖筆「玉ほこの 詠草」　掛軸装 1幅

事業名	旧長谷川邸保存整備事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
140,250					140,250	59,897,580

旧長谷川治郎兵衛家の文化財的価値の維持、保存整備を行うための資料の収集を行った。専門家の意見を伺い、来館者の利便性向上や安全確保を図った。

事業名	無形民俗文化財普及事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
87,673					87,673	120,617

市民の財産である無形民俗文化財を保存・活用し、より多くの市民に知っていただくため、市指定の節目周年を迎えた保存会の協力を得て、記念イベントを実施した。

『松阪の無形民俗文化財展』

日　時：　令和元年11月12日（火）～17日（日）6日間　9：00～16：00

場　所：　文化財センター　第3ギャラリー

対象無形民俗文化財：市指定「かんこ踊り」（20周年）嬉野新屋庄町

内　容：　継承されている道具や衣装、資料や写真パネル等の展示、

プロジェクターによる記録映像の放映　等

入場者数：254人

事業名	松坂城跡保存整備事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,030,283	5,425,000	759,000			8,846,283	24,382,562

松坂城跡の保存並びに活用にかかる整備を進めるため、整備検討委員会を3回開催するとともに、石垣や土塁等遺構に損傷を与える恐れのある樹木の伐採業務実施設計及び伐採、また、石垣保存狭小箇所拡幅工事設計業務を行った。

(款）7商工費　　（項）1商工費　　（目）10文化センター費

（単位　円）

事業名	松阪市民文化会館管理運営事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
55,949,241				20,561,380	35,387,861	57,513,307

文化芸術活動等を行う市民や団体等に舞台発表の場を提供し、文化芸術の向上を図った。また、快適に施設利用ができるよう、音響・照明機器等の点検業務や消防設備の修繕等を実施した。なお、新型コロナウイルスの影響により、貸館業務のうち2月に延期が1件、3月に延期が8件、中止が10件発生した。

クラギ文化ホール使用状況（延人数　71,173人 ）　（単位：件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	延期	中止
市行事	2	5	5	9	6	13	15	16	7	9	4		91		
講演会・集会	2		3	2	1	1	3	1					13		1
コンサート	1	3	3		2	2	3	1		1	2		18	3	2
演劇			1										1		
映画					1								1		
舞踊	3	3											6		
伝統芸能			4	2					1		1		8		
芸能発表会									2		2		4		
学校行事	5	2	5	11	13	8	5	5	9	6	10	3	82	6	7
計	13	13	21	24	23	24	26	23	19	16	19	3	224	9	10

事業名	松阪市民文化会館施設整備事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,119,040					3,119,040	―

クラギ文化ホール第2駐車場の区画線が劣化により消えており、駐車の際に危険が生じていたため、区画線を引き直した。

工事名	事業内容	事業費
クラギ文化ホール第2駐車場区画線整備工事	クラギ文化ホール第2駐車場の区画線整備	3,119,040

事業名	松阪コミュニティ文化センター管理運営事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
37,482,189				7,878,637	29,603,552	38,204,722

文化芸術活動等を行う市民や団体等に舞台発表の場を提供し、文化芸術の向上を図った。また、快適に施設利用ができるよう、音響・照明機器等の点検業務や消防設備の修繕等を行った。なお、新型コロナウイルスの影響により、貸館業務のうち2月に中止が2件、3月に延期が1件、中止が12件発生した。

農業屋コミュニティ文化センター使用状況（延人数　41,145人 ）　（単位：件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	延期	中止
市行事	2	7	3	5	8	8	3	11	14	9	5		75		4
講演会・集会	5	4	11	4	1	3	7	5	2	4	4		50		2
コンサート	4	3	2	2	3	1	2	3	1	3	2	1	27	1	1
演劇						1							1		
映画													0		
舞踊					2			2				1	5		
伝統芸能	1	1		1			3					1	7		
芸能発表会	3	2	4	5	4	2	6	4		3	6	1	40		
学校行事		2	4	6		4	2	3	8	4	5	2	40		7
計	15	19	24	23	18	19	23	28	25	23	22	6	245	1	14

事業名	松阪コミュニティ文化センター施設整備事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
31,602,312			23,700,000		7,902,312	13,543,848

松阪市文化センター吊り天井改修検討委員会の答申に基づき、特定天井の準構造化工事を実施するための設計業務を行った。

契約期間　H30.10.16～R1.11.29

契約額　　45,146,160円（H30年度　13,543,848円、R1年度　31,602,312円）

工事名	事業内容	事業費
農業屋コミュニティ文化センター特定天井等改修工事設計業務	特定天井の準構造化工事に伴う設計業務	45,146,160

事業名	嬉野ふるさと会館管理運営事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
33,393,491				4,303,251	29,090,240	34,032,032

市民の文化教養の向上及び福祉の増進を目的に設置した嬉野ふるさと会館の管理運営経費。また、安全に施設利用ができるよう、監視カメラ、多目的ホールのガラス、空調等の修繕等を行った。なお、新型コロナウイルスの影響により、貸館業務のうち3月に延期が1件、中止が18件発生した。

嬉野ふるさと会館使用状況　大ホール（延人数　25,573人）　（単位：件）

区　　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	延期	中止
市行事			2	3	6	2	6	3	4	4	7		37		1
講演会・集会			2	1				2			2		7		1
コンサート													0		
演劇													0		
映画													0		
舞踊					1								1		1
伝統芸能													0		
芸能発表会	2	3	4	4	4	4	3	7	1	1	1	3	37		2
学校行事		1		14	3	3	1	3	5	1			31		
計	2	4	8	22	14	9	10	15	10	6	10	3	113	0	5

嬉野ふるさと会館使用状況　多目的ホール（延人数　15,515人）　（単位：件）

区　　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	延期	中止
市行事	2	5	8	7	6	3	8	6	5	5	9	3	67		2
講演会・集会		4	1	1	2				1	4	2		15		2
コンサート		1		1									2	1	2
演劇													0		
映画													0		
舞踊					1								1		1
伝統芸能													0		
芸能発表会	7	5	3	3	7	5	4	9	4	4	3	3	57		2
学校行事		1	1	3	3	3	1	1	3	1			17		
物品販売		1	2	4	1		4			2	1		15		
計	9	17	15	19	20	11	17	16	13	16	15	6	174	1	9

嬉野ふるさと会館使用状況　会議室（延人数　2,464人）　（単位：件）

区　　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	延期	中止
市行事	3	3	7	8	5	2	7	5	6	4	10	4	64		1
講演会・集会	3	4	5	3	1	1	5	4	1	3	4	2	36		1
コンサート		1											1		
演劇													0		
映画													0		
舞踊					1								1		
伝統芸能													0		
芸能発表会			1		1	1	1	3		2	1		10		2
学校行事				4	2	3		1	4				14		
物品販売									1	2			3		
計	6	8	13	15	10	7	13	13	12	11	15	6	129	0	4

事業名	飯南産業文化センター管理運営事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,536,950				380,850	12,156,100	12,817,337

市民の文化教養の向上及び福祉の増進を目的に設置した飯南産業文化センターの管理運営経費。施設設備の適切な管理のための業務委託のほか、経年劣化による館内照明器具、施設各所の設備・備品を修繕して施設利用者の利便性向上およびサービス向上に努めた。なお、新型コロナウイルスの影響により、中止が4件発生した。

飯南産業文化センター使用状況（延人数　26,875人）　（単位：件）

区　　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	延期	中止
市行事	3		1	3	3	1	5	6	2		3	3	30		
講演会・集会	1	3	4	4	2	5			5		2	2	28		
コンサート						2				5			7		
演劇													0		
映画													0		
舞踊													0		
伝統芸能													0		
芸能発表会									1				1		
学校行事					1					4	5		10		
公民館行事	41	45	53	52	49	52	57	61	44	48	43	35	580		4
その他	6	8	10	9	9	11	14	8	11	13	10	10	119		
計	51	56	68	68	64	71	76	75	63	70	63	50	775	0	4

事業名	飯南産業文化センター施設整備事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,379,360					7,379,360	3,013,200

施設利用者の安心・安全の確保と、生活文化の振興・向上、社会福祉の増進、その他、公共的利用時などの市民サービス向上のため、調理場の空調設備改修工事を行った。これにより、より安全かつ快適に利用できる環境が整い、本施設の積極的な利用が促進され、地域の活性化につながった。

工事名	事業内容	事業費
飯南産業文化センター（調理場）空調設備改修工事	空調設備の老朽化に伴う改修工事	6,028,560

工事名	事業内容	事業費
飯南産業文化センター高圧受電設備改修工事	高圧受電設備の老朽化に伴う改修工事	1,350,800

事業名	文化センター自主事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,164,563				1,354,996	7,809,567	9,769,989

コンサート、市民参加型の第九、舞台裏見学会など芸術文化の鑑賞及び体験の機会を提供し、文化振興に寄与した。

施設	実施日	行　事　名	出 演 者	入場料	入場者数
クラギ文化ホール	R1. 5.16	フォレスタコンサートin松阪	フォレスタ	有料	738人
	R1. 7.10	ワンコインコンサートin松阪 ヴァイオリン　中村太地	中村太地	有料	591人
	R1. 7.25	舞台裏見学会	会館職員及び舞台スタッフ	無料	57人
	R1. 8.17	きかんしゃトーマス　ソドー島のたからもの	きかんしゃトーマスキャラクター及びスタッフ	有料	2,166人
	R1. 8.23	ワンコインコンサートin松阪 バリトンサックス　本堂誠	本堂　誠	有料	409人
	R1. 9. 1	夏井いつき句会ライブ	夏井いつき	有料	1,242人
	R1.10.11	ワンコインコンサートin松阪 箏　LEO	LEO	有料	584人
	R1.11.16	中部フィルハーモニー交響楽団松阪特別演奏会	中部フィルハーモニー交響楽団 指揮者　青島広志	有料	815人
	R1.12.15	第9回松阪の第九	松阪第九合唱団 伊勢管弦楽団	有料	1,200人
	R2. 1.19	綾戸智恵JAZZ LIVE	綾戸智恵	有料	1,223人
	R2. 2.14	加羽沢美濃のクラシック音楽講座	加羽沢美濃	有料	85人
計					9,110人

農業屋コミュニティ文化センター	R1. 8. 8	スタインウェイピアノ演奏体験会	一般応募者	有料	12人
	R1. 8. 9				12人
	R1.11.20	優秀映画鑑賞推進事業 なつかしの映画鑑賞会	暁の脱走 嵐を呼ぶ男	有料	245人
	R1.11.21		隠し砦の三悪人 悪名	有料	131人
計					400人

嬉野ふるさと会館	R1.7.6	スタインウェイピアノ演奏体験会	一般応募者	有料	13人
	R1.7.7				13人
	R1.8.8	よしもと野球教室	一般応募者	有料	45人
	R1.8.22	音楽文化振興体験講座 楽器製作体験	一般応募者	有料	17人
	R1.9.14	漫才ワークショップ	一般応募者	有料	6人
	R1.11.23	吉本新喜劇＆爆笑ライブin嬉野	吉本所属芸人	有料	1,229人
	R2.1.18	音楽文化振興体験講座 楽器の演奏体験	一般応募者	有料	57人
計					1,380人

飯南産業文化センター	R2. 1.26	令和に響け！和太鼓	響座いなせ組 南島豊漁太鼓 CAKRA DINOMIX	有料	350人

(款) 7商工費　　(項) 1商工費　　(目) 11文化財センター費

（単位　円）

事業名	文化財センター管理運営事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
45,438,936				1,637,023	43,801,913	44,278,262

市内の埋蔵文化財の保存と活用を図り、文化財保護と保管資料の保存活用を推進した。貸館事業では市民に芸術・文化振興のための場所及び機会を提供し、文化に親しんでもらえる環境作りに努めた。

文化財センター利用状況

区分	大人	小人	計
人数	45,694人	8,655人	54,349人

年間開館日数　309日
来館者1日平均　約175人

事業名	文化財センター特別企画展等事業費					文化課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,978,502					2,978,502	3,586,588

松阪市の文化財保護と芸術文化の振興を図るため、はにわ館で常設展を通年、特別展を1回、企画展を3回、ギャラリー企画展を2回行った。また、はにわ館ロビーでは、灯りコンサートを開催した。

企画展名等	実　施　日	日数	入館者数
学習支援展示 「～みんなで学ぼう～大昔のくらし 縄文・弥生・古墳時代」	H31. 4.13 ～ R1. 6.9	51	2,422人
夏季企画展 「みえの古墳～こんな古墳もあるんです！～」	R1. 7.20 ～ R1. 9.8	44	1,567人
はにわ館特別展 「松坂を愛した稀代の画家 曾我蕭白」	R1. 10.19 ～ R1. 12.1	39	2,469人
冬季企画展 「赤く彩られた土器」	R2. 2.1 ～ R2. 3.15	37	772人
ギャラリー企画展 「まつさかのちっちゃなアーティストたち」	R1. 7.27 ～ R1. 8.4	8	580人
ギャラリー企画展 「野口巳緻子　回顧展」	R2. 3.13 ～ R2. 3.22	9	772人
「灯りコンサート2019 ～ジャズの系譜～」	R1. 10.20	1	205人
計			8,787人

(款）7商工費　　（項）1商工費　　（目）12歴史民俗資料館費

（単位　円）

事業名	歴史民俗資料館管理運営事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,074,659				1,255,774	11,818,885	12,889,259

松阪市の歴史・文化・民俗資料を紹介する場として、常設展を通年、企画展を6回実施した。

開館日数 276日　　入館者数　24,960人

企画展、館蔵品展等の開催

展示内容	実施日	入館者数
旧長谷川治郎兵衛家一般公開記念企画展 「松阪商人長谷川家のいちおしセレクション」	H31.4.1　～　R1.5.26	7,645人
第5回「松阪まちかど博物館展 ～こだわりの逸品～」	R1.6.1　～　R1.6.16	1,526人
館蔵品展「私たちが生きた昭和と平成 ～暮らしを変えた道具たち～」	R1.6.26　～　R1.9.1	4,066人
第70回松阪肉牛共進会開催記念企画展 「松阪牛　～世界ブランドと呼ばれるまで～」	R1.9.10　～　R1.12.8	6,606人
館蔵品展「「暖」と「温」　～冬の暮らし～」	R1.12.17　～　R2.3.8	4,128人
企画展「紀州藩勢州三領の松坂」	R2.3.17　～　R2.3.31	989人
計		24,960人

体験教室

体　験　教　室	講　　師	実施日	参加者数
ハンカチを『藍』で染めよう	松阪もめん手織伝承グループ ゆうづる会	R1.8.3	20人

(款）7商工費　　（項）1商工費　　（目）13松浦武四郎記念館費

（単位　円）

事業名	松浦武四郎記念館管理運営事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,500,850				2,384,029	12,116,821	14,382,798

松浦武四郎記念館の管理運営経費

松浦武四郎記念館入館者数

一　　般	12,746人
18歳以下	1,268人
計	14,014人

開館日数　280日
1日平均　約50人

※4月1日～4月26日まで展示室空調工事のため臨時休館

松阪市松浦武四郎記念館運営審議会の開催
令和元年7月31日・令和2年3月26日（委員9人、顧問1人、年2回開催）

事業名	松浦武四郎記念館特別企画展等事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,690,949	810,000			1,880,000	949	―

松浦武四郎記念館における展示公開・教育普及に関する業務を行った。

展示期間	展示テーマ	入館者数
H31. 4. 1～R 1. 6.16	武四郎の詩と歌	1,746人
R 1. 6.18～R 1. 8.25	武四郎の生涯	2,046人
R 1. 8.27～R 1.11. 4	幕末を生きた武四郎	2,091人
R 1.11. 6～R 2. 1.26	武四郎の古物収集	1,737人
R 2. 1.28～R 2. 3.15	蝦夷漫画の世界（開館25年記念特別展）	6,274人
R 2. 3.17～R 2. 3.31	武四郎と文人たち	120人
計		14,014人

松浦武四郎ドラマ放送記念講演会　会場　クラギ文化ホール　令和元年7月15日
出演　大石静、若泉久朗ほか　来場者数1,100人
武四郎講座　年8回開催　参加者数　延353人
アイヌ文化体験教室 アイヌ文様刺しゅう入りタペストリー作り
令和元年10月19日・20日　講師　宇梶良子　参加者数　14人
アイヌ文化体験講座 見て学ぶ！アイヌ文化（小野江小学校6年生対象）
令和元年10月21日　講師　宇梶良子　参加者数　47人
特別展ポスター・チラシ・パンフレット・「蝦夷漫画」解説書の印刷
講演会「蝦夷漫画と蝦夷島奇観」　令和2年2月9日　講師　佐々木利和　参加者数 94人

事業名	松浦武四郎記念館民俗資料収集保管事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
643,802					643,802	677,839

松浦武四郎記念館所蔵の重要文化財を中心とした資料の保存・管理に関する業務を行った。
収蔵庫および展示室の害虫調査（年3回）
武四郎が南部・津軽地方を旅した記録「東奥（とうおう）沿海日誌」の自筆原稿本出版

事業名	松浦武四郎記念館施設整備事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,224,760					15,224,760	―

松浦武四郎記念館の展示室空調設備等改修工事を行った。
工事内容：展示室空調機器の更新、展示室高所照明のLED化

事業名	コスモス文化振興基金積立金				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
171,634				171,634		8,733

松浦武四郎に関する資料の保存と活用、蒐集等に要する基金として基金利子および寄付金を基金に積み立てた。

基金利子　8,634円
寄付金 3件　163,000円
令和元年度末基金現在高　18,337,563円

事業名	松浦武四郎誕生地管理運営事業費				文化課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,457,516				73,730	3,383,786	3,231,728

松浦武四郎誕生地の管理運営経費

松浦武四郎誕生地入館者数

一　　般	4,619人
18歳以下	1,161人
計	5,780人

開館日数　304日
1日平均　約19人

(款) 8土木費　　(項) 1土木管理費　　(目) 1土木総務費

(単位　円)

事業名	三重県社会基盤整備協会負担金				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,516,000					1,516,000	2,071,000

(一社) 三重県社会基盤整備協会会費　1,516,000円

事業名	用地対策事業費				用地対策課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,266,016				10,936	11,255,080	11,838,153

登記・測量業務手数料(14件)、非常勤職員賃金 (2人) 、不動産登記総覧追録代、
その他事務用品等に関する一般経費

事業名	営繕管理事業費				営繕課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,806,037					4,806,037	4,823,381

市有建築物の計画・設計・工事監理などの営繕業務に係る一般事務経費

【主な内訳】

営繕積算システムRIBC2に係る経費

データ購入	1,150,848円
使用料及び賃借料	2,025,984円
負担金	100,000円

【工事等実績】

	現年度	繰越	計
工事	102	9	111
委託	18	5	23
計	120	14	134

	現年度		繰越			現年度		繰越	
課	工事	委託	工事	委託	課	工事	委託	工事	委託
防災対策課		2			農水振興課	2			
地域づくり連携課	5				文化課	1		1	1
三雲地域住民課	1				建設保全課	2			
飯高地域振興課	1				住宅課	13	1		
飯高地域住民課	4				教育総務課	37	9	3	1
飯南地域振興課	2				生涯学習課	7	5		1
財務課	2		1	1	スポーツ課	5			
清掃政策課			1		給食管理課	4			
環境課	1				北部教育事務所	1			
地域福祉課	2				西部教育事務所	2			
こども未来課	3	1	3	1	教育総務課/西部教育事務所	1			
子ども発達総合支援センター	1				消防団事務局	2			
商工政策課	1				消防本部総務課	1			
観光交流課	1								

(款) 8土木費　　(項) 2道路橋りょう費　　(目) 1道路橋りょう総務費

(単位　円)

事業名	道路橋りょう一般経費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,274,372				8,211	8,266,161	8,189,180

非常勤職員賃金　2,739,850円
工場検査等旅費　272,930円
消耗品費　3,412,889円
設計積算システム利用料　609,000円
中勢バイパス建設促進期成同盟会等負担金　357,893円　ほか

(款) 8土木費　　(項) 2道路橋りょう費　　(目) 2道路維持費

(単位　円)

事業名	道路維持修繕事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
368,367,661					368,367,661	362,498,998

安全で安心な生活環境の整備を図るため、道路、溝渠、舗装等の経年劣化した箇所の補修、改修の維持管理及び、道路反射鏡や防護柵等の交通安全施設の修繕を行った。

・消耗品費　957,560円　　・修繕料　36,815,724円　　・工事請負費　265,911,968円
・原材料費　43,485,979円　　・委託料　21,196,430円

※修繕料、委託料、工事請負費の内訳（合計 323,924,122円）

区　分	件　数	事　業　費
草刈委託	6 件	21,196,430 円
施設整備修繕	140 件	36,815,724 円
道路維持修繕工事（側溝修繕）	28 件	65,028,100 円
下水溝渠修繕工事	5 件	10,822,700 円
舗装修繕工事	41 件	113,141,460 円
小規模修繕工事	297 件	76,919,708 円
件	517 件	323,924,122 円

・道路反射鏡修繕　73 基
・防護柵修繕　374.5 m
・交通安全施設修繕　7 か所

［平成30年度の交通安全施設修繕事業費11,295,917円を統合］

事業名	道路清掃等事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,277,215					13,277,215	12,807,440

道路の機能及び生活環境保全の一環として、道路清掃等を行った。
・雲出川・中村川堤防兼用区域除草業務委託　4,142,000円
・松名瀬右岸堤防線外5線除草業務委託　2,538,000円
・松阪市飯高管内市道除草業務委託　1,103,300円　ほか

事業名	雪寒対策道路維持事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,093,202					2,093,202	1,710,941

冬期に道路の交通障害となる路面凍結防止対策などを行った。

・消耗品費　1,330,235円
　凍結防止剤　972袋
・委託料　762,967円
　道路巡視 9回

事業名	道路台帳整備事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
18,795,700					18,795,700	16,641,720

道路台帳の整備を図るため、市内全域道路台帳補正に係る経費

事業名	街路樹剪定等事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
15,745,000					15,745,000	14,983,920

街路樹の剪定及び施肥を行った。

・街路樹剪定委託　8,234,600円
・中川駅東西街路・駅前広場植栽管理業務委託　6,414,800円
・中川駅東西街路高木剪定業務委託　939,400円
・中川駅区画整理2号線外街路樹剪定業務委託　156,200円

事業名	交通安全対策施設整備事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
31,192,820					31,192,820	31,227,660

交通事故を防止するため交通安全施設の整備を行った。

・道路反射鏡設置　74 基
・防護柵設置　515.7 m
・交通安全施設設置　1 か所

事業名	道路施設点検事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,283,600					7,283,600	3,192,480

松阪市が管理する道路附属物の現状を把握し、道路利用者の重大事故を未然に防止するため点検を行った。

松阪市小規模附属物点検業務委託（道路照明灯82か所、道路標識19か所）

事業名	道路事故対策緊急整備事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,994,820				4,978,000	5,016,820	9,990,000

事故多発路線や通学路などにおいて区画線や路面標示の整備工事を行った。

・道路区画線　13,568.3 m
・カラー舗装　36.6 ㎡

事業名	中川駅前・連絡道管理事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,099,599				340,506	11,759,093	14,962,855

中川駅周辺土地区画整理事業において完成した、中川駅前広場及び公衆トイレ、連絡地下道の維持管理を行った。

・エレベーター・エスカレーター保守点検業務委託　4,287,624 円
・光熱水費（電気・上下水道）　3,286,646 円
・中川駅東西連絡地下道・駅前広場清掃業務　2,452,500 円　ほか

事業名	道路維持一般経費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
30,327,864				14,460	30,313,404	30,976,333

道路維持にかかる一般経費及び街路灯等の管理経費

・光熱水費　12,939,690 円
・賃金　4,825,554 円
・修繕料　2,171,195 円
・燃料費　1,542,074 円
・使用料及び賃借料　2,897,265 円
・道路管理者賠償責任保険　1,507,680 円　ほか

（款）8土木費　（項）2道路橋りょう費　（目）3道路新設改良費

（単位　円）

事業名	道路整備単独事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
161,766,091			153,800,000		7,966,091	112,541,486

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料ほか
丹生寺茶屋線	2,357,300		2,357,300		
櫛田駅東黒部線	1,793,880		1,793,880		
山室久保線	6,854,320	4,549,600	1,966,680		338,040
豊原１号線	25,863,659	25,301,100		339,618	222,941
根木御麻生薗線	8,245,400		8,245,400		
東町松江岩内線	156,600				156,600
焼橋厚生病院前線	9,471,398	8,176,300		827,400	467,698
市道橋点検	400,000		400,000		
橋梁塗膜調査	286,300		286,300		
脇谷2号線	10,133,200	10,133,200			
桂瀬9号線	4,413,960	4,413,960			
立野通り高田外１線	4,502,300	4,502,300			
一本松殿村大足線	2,681,800	2,681,800			
井村殿村道線	3,519,549	3,412,200			107,349
松ヶ崎長泉寺線外１線、松ヶ崎堤防線	128,567			64,329	64,238
久保第1道線	9,250,000	9,250,000			
新屋庄津屋城線	13,130,700	13,130,700			
星合舞出線(第2工区)	4,402,720	4,000,000			402,720
曽原中林2号線	12,637,900	12,637,900			
小舟江２０号線	10,772,300	10,772,300			
近鉄山田線伊勢中原5号踏切道	15,709,638		15,709,638		
出鹿大溝線	7,691,200	7,691,200			
長野夏明線	7,363,400	7,363,400			
計	161,766,091	128,015,960	30,759,198	1,231,347	1,759,586

事業名	星合舞出線道路改良事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
23,067,600	11,533,800		10,900,000		633,800	10,560,000

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
Ｌ型擁壁工　L=23.8m、舗装工 A=415.8㎡ ほか	10,000,000	10,000,000			
水道管移設工事　1.0式	13,067,600			13,067,600	

事業名	松阪六軒線道路改良事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,200,000	2,600,000		2,400,000		200,000	38,400,000

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
三渡橋架替工事	5,200,000		5,200,000		

事業名	国道42号松阪多気バイパス関連整備事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
99,900					99,900	1,836,000

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
市道カイル山２号線整備工事	99,900	99,900			

事業名	最終処分場関連道路等整備事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,706,600				7,706,600		27,497,790

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
上川道23号線	7,706,600	7,706,600			

事業名	道路整備単独事業費（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
37,293,540			35,900,000		1,393,540	17,885,772

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
東出線	4,771,600		4,771,600		
松阪市橋梁長寿命化修繕計画	1,916,760		1,916,760		
県施工河川改修附帯市道松阪六軒線	1,966,500	1,966,500			
井村殿村道線	10,915,560	10,915,560			
長野夏明線	7,515,320	7,515,320			
小舟江20号線	8,711,280	8,711,280			
汐入橋	1,496,520	1,496,520			
計	37,293,540	30,605,180	6,688,360		

事業名	松阪六軒線道路改良事業費（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
18,768,000	9,384,000		8,900,000		484,000	41,500,000

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
三渡橋架替工事	11,600,000		11,600,000		
三渡橋架替工事（その2）	4,000,000		4,000,000		
県施工河川改修附帯市道松阪六軒線	1,072,800	1,072,800			
松阪六軒線照明灯設置工事	2,095,200	2,095,200			
計	18,768,000	3,168,000	15,600,000		

事業名	最終処分場関連道路等整備事業費（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						―

地域の要望で事業を進めてきたが、一部地権者より事業反対があり、自治会及び市からの交渉に応じて頂くことが出来ず、事業実施出来なくなった。

（款）8土木費　　（項）2道路橋りょう費　　（目）4橋りょう新設改良費

（単位　円）

事業名	橋りょう長寿命化事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
100,294,940	54,082,417		26,800,000		19,412,523	107,189,160

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
橋梁点検業務委託（その1）	6,371,200		6,371,200		
橋梁点検業務委託（その2）	10,622,000		10,622,000		
橋梁塗膜調査	21,596,000		21,596,000		
松阪駅松阪港線【京橋】	4,637,840		4,637,840		
外五曲下村線【五曲橋】	3,231,900		3,231,900		
宮町高町線【高町新橋】	10,180,500		10,180,500		
楠林萩野線【楠林1号橋外1橋】	2,840,000		2,840,000		
小原南6号線【寿々越橋】	6,784,800		6,784,800		
柏野線【柏野橋】	5,500,000	5,500,000			
森線【高橋】	7,027,900		7,027,900		
名倉線【名倉橋】	7,202,800		7,202,800		
野口3号線【野口向井橋】	1,900,000		1,900,000		
舟戸草鹿野線【釜滝橋】	1,400,000		1,400,000		
市場庄5号線【中川9号橋】	11,000,000	11,000,000			
計	100,294,940	16,500,000	83,794,940		

事業名	橋りょう長寿命化事業費（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
41,286,840	22,180,012		18,100,000		1,006,828	―

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
松阪市橋梁長寿命化修繕計画	15,735,840		15,735,840		
松阪駅松阪港線【京橋】	5,000,000		5,000,000		
外五曲下村線【五曲橋】	10,000,000		10,000,000		
津屋城東線【汐入橋】	10,551,000	10,551,000			
計	41,286,840	10,551,000	30,735,840		

(款）8土木費　　（項）3河川費　　（目）1河川総務費

（単位　円）

事業名	河川一般経費					土木課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
579,160					579,160		613,220

河川管理研修旅費　42,220円
櫛田川祓川改修促進期成同盟会会費　268,000円
三重県雲出川治水事業促進期成同盟会会費　210,000円　ほか

(款）8土木費　　（項）3河川費　　（目）2河川維持費

（単位　円）

事業名	河川維持修繕事業費					建設保全課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
59,748,980					59,748,980		64,539,220

施設の経年劣化した箇所の補修・改修や、堆積土砂のしゅんせつ・除草などの維持管理を行った。
・修繕料　3,898,770 円
・河川清掃・除草業務委託　20,204,860 円
（ 河川清掃業務その1　4,042,000円、愛宕川・神道川除草等業務委託　4,624,560円　ほか）
・工事請負費　35,645,350 円
（下村町排水路修繕工事　4,011,700円、上川町排水路修繕工事　3,284,600円 ほか）

事業名	樋門・樋管等管理事業費					建設保全課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
21,265,631	5,272,537	2,102,540			13,890,554		21,213,817

樋門、樋管の操作業務委託並びにポンプの電気代など排水管理を行った。
・ポンプ場等電気料金　8,532,941円
・国管理等樋管等操作業務委託　4,939,405円
・県管理樋管等操作業務委託　1,542,980円
・施設設備修繕料　2,724,440円
・電気保安業務委託料　957,456円
・排水ポンプ等保守点検委託　1,277,640円
・排水ポンプ操作業務委託　560,000円
ほか

事業名	調整池管理事業費					建設保全課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
8,515,191				1,264	8,513,927		8,233,748

宅地開発で建設し、管理引継ぎされた調整池の適正な維持管理を行った。
・パークタウン学園前調整池外22池管理業務委託　4,914,000円
・修繕料　1,999,024円
・調整池施設管理者賠償責任保険及び監視員傷害保険　59,289円
・調整池電気料金　543,278円　　ほか

(款) 8土木費　　(項) 3河川費　　(目) 3河川改良費

(単位　円)

事業名	県施行急傾斜地崩壊対策事業負担金					土木課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,474,750			6,300,000	800,720	374,030	7,813,800

箇　所	種　別	負担率	金　額
森家野地区	国補	1／20	1,609,750
辻原5地区	国補	1／20	714,000
畑井地区	国補	1／10	5,151,000
計			7,474,750

事業名	河川改良単独事業費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
78,381,280			77,400,000		981,280	44,552,232

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
桂瀬調整池	6,310,700	6,287,600		23,100	
九手川	11,954,480	11,707,160			247,320
法浄寺川	9,761,400	9,761,400			
富士見谷川	20,988,000	20,988,000			
駒返川	29,366,700	29,366,700			
計	78,381,280	78,110,860		23,100	247,320

事業名	県施行海岸環境整備事業負担金					土木課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
260,000					260,000	340,000

海岸清掃地元負担金　260,000円

事業名	準用河川九手川改修事業費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
20,513,043	6,837,681		12,900,000		775,362	28,714,550

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
施工延長　L=84.4m 法覆護岸工 A=280㎡ ほか	20,513,043	12,883,403	7,629,640		

事業名	県施行急傾斜地崩壊対策事業負担金（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,786,200			9,500,000	682,016	604,184	5,213,356

箇　所	種　別	負担率	金　額
森家野地区	国補	1／20	2,131,300
畑井地区	国補	1／10	8,654,900
計			10,786,200

事業名	河川改良単独事業費（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
35,804,362			34,000,000		1,804,362	7,000,000

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
九手川	6,292,162	6,225,040			67,122
富士見谷川	12,561,880	12,561,880			
中川	16,950,320	16,950,320			
計	35,804,362	35,737,240			67,122

事業名	準用河川九手川改修事業費（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,285,450	6,428,484		12,200,000		656,966	51,000,000

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
施工延長　L=84.4m 法覆護岸工 A=280㎡ ほか	19,285,450	7,864,797		11,420,653	

（款）8土木費　　（項）3河川費　　（目）4浸水対策費

（単位　円）

事業名	浸水対策事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
68,100,160		1,485,000	64,600,000		2,015,160	37,262,160

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
波留排水路	26,542,800	26,542,800			
下滝野排水路	4,900,000	4,900,000			
松阪市洪水ハザードマップ原稿データ作成	2,970,000		2,970,000		
猟師ポンプ場	33,687,360	33,687,360			
計	68,100,160	65,130,160	2,970,000		

事業名	総合雨水対策10か年戦略事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,769,100			9,200,000		569,100	21,725,360

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
新松ヶ島排水路	9,769,100	9,769,100			

事業名	浸水対策事業費（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
35,000,000			33,200,000		1,800,000	266,760

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
波留排水路	35,000,000	35,000,000			

事業名	総合雨水対策10か年戦略事業費（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
18,790,200			17,800,000		990,200	―

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	手数料
小寄団地排水路	18,790,200	18,790,200			

（款）8土木費　　（項）3河川費　　（目）5水防費

（単位　円）

事業名	水防施設管理事業費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,359,687					6,359,687	2,135,341

水防施設の経費並びに水防資材の適正な管理を行った。

・工事請負費　5,324,440円（郷津水防倉庫新築工事　5,025,240円　ほか）

・修繕料　297,500円（ヒューガルポンプ点検修繕　151,200円　ほか）

・原材料費　606,042円　ほか

事業名	水防一般経費				建設保全課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
128,036					128,036	975,282

水防に係る一般経費

・消耗品費　85,436円

・水防研修旅費　42,600円

(款) 8土木費　　(項) 4港湾費　　(目) 1港湾管理費

(単位　円)

事業名	県施行松阪港改修事業負担金				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
50,059,872			18,000,000	13,040,000	19,019,872	26,136,174

箇所	負担率	金額
国補 港湾改修事業（大口岸壁補修）地元負担金	1／10	19,992,900
津松阪港埠頭用地造成事業（起債償還分）地元負担金	1／5	23,044,773
津松阪港（大口地区）土地売却にかかる費用負担（土地評価減価分）	－	6,616,750
津松阪港（大口地区）土地売却にかかる費用負担（土地鑑定評価）	1／5	286,440
津松阪港（大口地区）土地売却にかかる費用負担（国庫補助返還）	1／5	119,009
計		50,059,872

事業名	港湾管理一般経費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
163,480					163,480	270,260

日本港湾協会定時総会等旅費　113,480円
松阪港振興協議会　50,000円

事業名	県施行松阪港改修事業負担金（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,108,600			1,800,000		308,600	17,832,047

箇所	負担率	金額
国補 港湾改修事業（大口岸壁補修）地元負担金	1／10	2,108,600

(款) 8土木費　　(項) 5都市計画費　　(目) 1都市計画総務費

(単位　円)

事業名	屋外広告物事業費					都市計画課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,764,969				2,764,969		2,674,176

屋外広告物の許可事務、違反広告物の簡易除却、設置者等への指導を行い、良好な景観形成、美観風致の維持等に努めた。また、違反広告物のパトロール強化に努めた。

[屋外広告物事業の状況]

許可事務	新規	継続	除却届	計	
	106件	707件	96件	909件	
簡易除却	はり紙	はり札	広告旗	立看板	計
	1件	12件			13件
指導事務	撤去指導	申請不備		計	
	27件	4件		31件	

事業名	都市計画審議会事業費					都市計画課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
65,460					65,460	65,820

市長の諮問に応じ都市計画について審議を行った。(委員　16人)

都市計画審議会委員報酬　56,000円　ほか

第1回 (R1.11.19) 12人出席 (8人報酬対象者)

事業名	都市景観推進事業費					都市計画課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,257,844					3,257,844	3,013,761

松阪市景観条例、景観計画に基づく届出制度の運用や景観重点地区指定に向けた取組みを推進した。また、景観計画改正検討委員会を開催し、制度等の見直しの検討を行った。
景観に対する意識の啓発を目的として市内小中学生を対象に「まつさか景観絵画コンクール」を実施した。

[届出制度運用の状況]

届出行為	届出	届出変更	通知	通知変更	計
建築物	10件	4件	2件	1件	17件
工作物	29件		45件	16件	90件
開発行為	9件				9件
土地の形質の変更		1件			1件
物件の堆積	1件				1件
計	49件	5件	47件	17件	118件

まつさか景観絵画コンクール

対象者	市内小中学生
作品応募	588点

松阪市景観計画推進業務等委託　2,420,000円

松阪市景観計画改正検討委員会委員報酬 (委員　5人)　35,000円

第1回 (R2.1.24) 5人出席

松阪市景観審議会委員報酬 (委員　9人)　49,000円

第1回 (R2.3.23) 7人出席

景観絵画コンクール選考会委員報酬　28,000円

(R1.10.24) 4人

景観絵画コンクール参加記念品等　313,175円

景観啓発用クリアファイル印刷　364,500円　ほか

事業名	都市計画図作成事業費				都市計画課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
26,400,000				23,500,000	2,900,000	―

三重県市町総合事務組合による第3期共有デジタル地図事業におけるデジタル地図の整備に伴い、松阪市統合型GISシステムで最新の地図データを運用するため、都市計画図及び用途・都市計画道路図データ等の整備を行うとともに、松阪市ホームページからの閲覧における、都市計画図及び空中写真等のデータ更新等を行った。

松阪市都市計画図等作成業務委託　26,400,000円

事業名	都市計画変更事業費				都市計画課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,015,000					4,015,000	―

都市計画法第6条に基づき、概ね5年ごとに実施する都市計画基礎調査を基に、社会経済状況の変化に応じた都市計画とするため、松阪都市計画の都市計画決定の内容を見直し、変更を行うための調査、図書、資料の作成を行った。令和元年度は、区域区分・用途地域・地区計画などの変更に関する資料の作成、都市計画道路の名称変更に関する資料及び図書の作成を行い都市計画の変更を行った。

松阪都市計画変更業務委託　4,015,000円

事業名	都市計画一般経費				都市計画課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,950,345				40,288	3,910,057	4,800,250

非常勤職員賃金　1,764,000円
旅費　406,830円
消耗品費　798,106円
松阪市統合型GIS保守点検業務委託　544,500円
プリンター借上料　124,114円　ほか

事業名	中川駅周辺区画街路整備基金積立金				都市計画課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,812,471				9,812,471		9,808,406

中川駅周辺区画街路整備基金の利子等積立金　9,812,471円
令和元年度末基金現在高　184,897,305円

(款) 8土木費　　(項) 5都市計画費　　(目) 2中心市街地活性化推進費

(単位　円)

事業名	中心市街地整備事業費				都市計画課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,610,060					4,610,060	1,888,664

「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画に位置づけた、松阪駅西地区の複合施設計画を進めるにあたり、令和元年度には、松阪駅西地区市場動向調査業務において、松阪駅西複合施設基本構想を基に民間活力の導入に向けたヒアリング調査を行い、事業推進に向けた今後の方針や課題等のとりまとめを行った。

松阪駅西地区市場動向調査業務委託　4,400,000円　ほか

(款）8土木費　　（項）5都市計画費　　（目）3街路事業費

（単位　円）

事業名	県施行街路事業負担金				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,992,833			20,800,000		1,192,833	15,608,720

箇所	負担率	金額
松阪公園大口線外1線　（国庫補助街路事業）	1／6	20,329,500
県単街路事業	1／2	1,500,000
ウォークギャラリー整備事業	1／6	163,333
計		21,992,833

事業名	県施行街路事業負担金（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
22,527,946			21,400,000		1,127,946	36,077,134

箇所	負担率	金額
松阪公園大口線外1線　（国庫補助街路事業）	1／6	22,527,946
計		22,527,946

(款）8土木費　　（項）5都市計画費　　（目）4公園管理費

（単位　円）

事業名	都市公園維持管理事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
219,633,041				11,515,934	208,117,107	179,924,132

各種公園維持業務委託　151,078,863円
光熱水費　13,233,869円
施設設備修繕　8,996,731円
総合運動公園芝生広場排水路整備工事　22,049,500円
消耗品費　1,406,969円
原材料費　551,958円　ほか

※総合運動公園利用状況

施設名	件数	人数
多目的グラウンド	880件	49,200人
会議室	112件	2,100人
芝生広場	―	13,200人
多目的広場	119件	10,500人
スケートパーク	―	25,200人

事業名	都市公園整備事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
23,499,960		4,600,000		6,134,000	12,765,960	25,598,678

カネボウ跡公園整備工事　7,944,480円
五反田町公園フェンス整備工事　2,727,000円
広陽2号公園外都市公園整備工事　4,618,900円
猟師町公園フェンス整備工事　4,522,100円　ほか

事業名	公園一般経費					土木課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
561,650					561,650	440,500

消耗品費　311,810円
日本公園緑地協会会費　50,000円
全国都市公園整備促進協議会会費　42,000円　ほか

(款) 8土木費　　(項) 5都市計画費　　(目) 5公園建設費

(単位　円)

事業名	総合運動公園建設事業費（単独）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
27,566,436					27,566,436	44,040,362

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	備品購入費	用地･補償	委託料・手数料ほか
初心者コース新設工N=1.0式　ほか	27,566,436	11,857,800	1,977,250	11,730,133	2,001,253

事業名	総合運動公園建設事業費（補助）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
151,000,000	67,000,000		75,600,000		8,400,000	267,000,000

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地･補償	手数料ほか
スケートパーク初心者コース新設工N=1.0式、トイレ・四阿設置1棟　ほか	151,000,000	100,000,000		51,000,000	

事業名	総合運動公園建設事業費（単独）（繰越分）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,384,080					4,384,080	8,340,320

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地･補償	手数料ほか
スケートパーク電源設備設置 ほか	4,384,080	4,384,080			

事業名	総合運動公園建設事業費（補助）（繰越分）					土木課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
100,000,000	50,000,000		45,000,000		5,000,000	80,000,000

事業内容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地･補償	手数料ほか
道路土工N=1式、路盤工A=843㎡ほか	100,000,000	100,000,000			

(款) 8土木費　　(項) 5都市計画費　　(目) 6建築開発費

(単位　円)

事業名	建築開発事業費					建築開発課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
18,757,607		56,000		4,824,907	13,876,700	9,186,568

建築基準法、都市計画法、国土利用計画法に基づく建築確認申請、道路位置指定申請、開発許可申請、土地売買届出等の受付及び審査業務を行うとともに、令和2年度の三重県からの開発業務の権限移譲のための準備を行った。また、特定行政庁の諮問に応じて、建築基準法の施行に関する重要事項を調査審議するために置かれている「建築審査会」（委員数 7人）を運営した。

申請等件数

申　請　名	件 数	申　請　名	件 数
建築確認申請	63件	道路位置指定申請	1件
完了検査申請	67件	都市計画法に基づく許可申請	73件
長期優良住宅認定申請	187件	開発許可申請	62件
建築等許認可申請	18件	省エネ法届出	40件
三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例申請	37件	優良住宅・優良宅地認定申請	0件
		国土利用計画法届出	35件
情報公開申請等	419件	低炭素建築物新築等計画の認定申請	7件
建築計画概要書閲覧申請	134件		

建築審査会（委員数 7人）

開 催（年月日）	出席人数	内　　容
第1回建築審査会（R1.11.20）	5人	・包括案件（法第43条第1項ただし書）　6件 ・報告事項 令和元年度東海ブロック建築審査会協議会の報告 第66回全国建築審査会長会議の報告
第2回建築審査会（R2.3.17）	7人	・個別案件（法第43条第2項第2号）　1件 ・包括案件（法第43条第2項第2号）　5件

松阪市開発許可システム導入業務委託　3,960,000円
松阪市開発登録簿電子化業務委託　4,598,000円　ほか

事業名	建築確認電子台帳整備事業費					建築開発課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,800,000	19,800,000					—

平成29年度に整備した建築確認電子台帳をもとに、位置特定された建築確認情報と登記事項要約書を関連付けして建築物と所有者情報を結び付け、アスベストが使用されている可能性がある建築物の台帳（アスベスト調査台帳）を整備した。

松阪市アスベスト調査台帳整備業務委託　19,800,000円

事業名	弁護士委託等事業費					建築開発課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
110,000					110,000		—

「令和元年（行コ） 措置命令処分等の義務付け請求事件」に関する裁判上及び裁判外の一切の行為を委任した。

弁護士委託料　　110,000円

事業名	空家等対策事業費					建築開発課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,722,793					1,722,793		6,078,083

近年増加している空家等の問題に対して、地域住民、所有者等からの相談窓口としての対応を行った。また、平成31年2月に策定した「松阪市空家等対策計画」の推進を図るため、空家無料相談会＆講演会の開催や啓発チラシ、リーフレットの作成配布を行い、空家等の減少のための活動や空家化の予防啓発に努めた。また、本市の空家等対策について広く有識者等からの意見を聞くため「松阪市空家等対策協議会」（委員数 7人）を運営した。

相談件数

地域住民からの苦情・相談	153件
所有者等からの相談	102件
空家利用希望者からの相談	4件
計	259件

空家無料相談会＆講演会

開催日	場　所	相談者	相談件数
R1.12.8	松阪公民館	72組	99件
		講演会参加者	
		45人	

空家対策啓発リーフレット作成

10,000部　　119,020円

固定資産税納税通知書への空家対策啓発チラシ同封

73,000通　　154,979円 ほか

令和元年度松阪市空家等対策協議会（委員数 7人）

開　催	年月日	出席人数
第1回松阪市空家等対策協議会	R1.5.29	6人
第2回松阪市空家等対策協議会	R2.2.6	7人

事業名	不良空家等除却促進補助金					建築開発課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
5,500,000					5,500,000		—

倒壊の危険性が高く、そのまま放置すれば周辺の住環境に悪影響を及ぼすおそれのある不良空家等の所有者が行う空家の除却に要する費用に対して補助金の交付を行い、不良空家等の減少に努めた。

除却補助件数　22件　5,500,000円

事業名	狭あい道路整備促進補助金					建築開発課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
8,752,000	5,638,000				3,114,000		—

狭あい道路の拡幅整備を促進するために、道路後退用地等の寄附を受ける際に、建築主等に対して、測量及び分筆登記に対する助成金並びに土地の取得に対する報償金の補助を行った。

測量及び分筆登記に対する助成金　26件　3,900,000円
土地の取得に対する報償金　26件　4,852,000円

(款) 8土木費　　(項) 5都市計画費　　(目) 7都市下水路費

(単位　円)

事業名	都市下水路管理運営事業費				上下水道総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
124,565,092					124,565,092	126,528,103

事業内容	事業費	管内別内訳		備考
		本庁	嬉野	
ポンプ場及び排水機場施設運転管理業務委託	92,518,655			
電気保安業務及び消防施設保守管理業務等委託	2,028,654	1,558,428	470,226	浄化槽維持管理、消防施設、電気保安、漏えい検査
草刈委託料	2,889,588	2,327,988	561,600	大口 306,860 中川 561,600 導水路 2,021,128
山室都市下水路調整池草刈等施設管理業務委託	4,042,280	4,042,280		
ポンプ場及び排水機場等施設修繕料	11,937,592	10,746,872	1,190,720	宮町 813,160 沖ス 533,140 大口 6,646,732 外五曲 693,000 中川東部 495,000 中川西部 695,720 その他施設 2,060,840
燃料費、光熱水費、電話料金ほか	11,148,323	9,421,395	1,726,928	
計	124,565,092			

事業名	都市下水路施設整備事業費					上下水道総務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,212,560					10,212,560	13,617,720

導水路及びポンプ場の施設整備を図ることができた。

種別	工事名	工事内容	工事費
導水路	導水路維持管理工事（その1）	末広町ほか 浚渫　V= 5㎥ 除草工　A= 2,700㎡	965,520
	導水路維持管理工事（その2）	大口町 ステンレス製量水標　1式 ステンレスオールアンカー SC-645　18本	95,040
	導水路維持管理工事（その3）	大口町ほか 新愛宕川雨水幹線 浚渫及び清掃　1式	924,000
	導水路維持管理工事（その4）	宮町 除草工　A= 100㎡ 浚渫工　V= 3㎥	297,000
ポンプ場 排水機場	大口ポンプ場No.2エンジンE点検整備工事	大口町 大口ポンプ場No.2 エンジンE点検整備　1式	2,915,000
	沖スポンプ場No.2エンジンE点検整備工事	大口町 沖スポンプ場No.2 エンジンE点検整備　1式	2,420,000
	中川西部排水機場自家発点検整備工事	嬉野中川町 中川西部排水機場 自家発点検整備　1式	649,000
	中川東部排水機場自家発点検整備工事	嬉野見永町 中川東部排水機場 自家発点検整備　1式	1,947,000

事業名	ポンプ場施設長寿命化事業費					上下水道総務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,946,800	6,335,000		1,300,000		6,311,800	27,448,200

下水道改築事業ストックマネジメント計画策定業務委託　12,131,900円

宮町ポンプ場施設長寿命化事業 宮町ポンプ場改修（NO,2ポンプ設備）工事　1,712,100円

種別	事業名	事業内容	事業費
－	下水道改築事業ストックマネジメント計画策定業務委託	下水道ストックマネジメント計画策定業務　1式	12,131,900
宮町ポンプ場	宮町ポンプ場施設長寿命化事業 宮町ポンプ場改修（№2ポンプ設備）工事	雨水ポンプ設備工事　N= 1式 立軸斜流ポンプφ1350mm1台 原動機310kW　1台 付帯設備　1式	1,712,100
	事務費	工場検査旅費	102,800
		計	13,946,800

事業名	ポンプ場施設長寿命化事業費（繰越分）				上下水道総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
134,001,000	67,000,000		63,600,000		3,401,000	―

種別	工事名	工事内容	工事費
宮町ポンプ場	宮町ポンプ場施設長寿命化事業 宮町ポンプ場改修（№2ポンプ設備）工事	雨水ポンプ設備工事　N= 1式 立軸斜流ポンプφ1350mm1台 原動機310kW　1台 付帯設備　1式	134,001,000

（款）8土木費　　（項）5都市計画費　　（目）8下水道費

（単位　円）

事業名	公共下水道事業会計繰出金				上下水道総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,886,982,000					2,886,982,000	2,869,591,000

事務費繰出金	168,019,000円
建設費繰出金	33,867,000円
公債費財源繰出金（元金）	2,133,145,000円
公債費財源繰出金（利子）	551,951,000円

事業名	高須町公園多目的広場施設管理事業費				上下水道総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,847,900					2,847,900	2,376,000

事業内容	事業費	備　　考
高須町公園多目的広場施設維持管理修繕工事	463,100	グランド整備工 A=1510㎡ 駐車場整備工 区画線工 L=282m
高須町公園多目的広場除草業務委託	2,384,800	A=25,800㎡　機械除草工 年5回、樹木施肥　年1回
計	2,847,900	

(款) 8土木費　　(項) 6住宅費　　(目) 1住宅管理費

(単位　円)

事業名	市営住宅管理運営事業費				住宅課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
44,610,822				44,610,822		38,740,073

市営住宅及び諸施設の管理並びに入退去事務や使用料徴収など円滑な管理運営に努めた。
また、老朽化住宅の用途廃止に向けた住替え事務を進めた。

市営住宅管理状況

公営住宅	改良住宅	その他住宅	若者定住住宅	農林業就業者住宅	計
1,234戸	408戸	7戸	21戸	3戸	1,673戸

市営住宅入居者募集（定時募集）状況

区　　分	6月	12月	計
募集戸数	23戸	25戸	48戸
応募者数	17人	24人	41人

老朽化住宅の用途廃止に向けた住替え実績
15戸（上川町団地4戸、宝塚団地10戸、その他住宅（宮前住宅）1戸）

委託料	19,066,914 円
賃金	2,537,000 円
報償費	2,911,600 円
役務費	3,654,415 円
需用費	1,779,355 円
補償、補填及び賠償金	11,641,400 円
共済費等	3,020,138 円

事業名	市営住宅維持修繕費				住宅課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
102,780,170				102,780,170		100,133,447

市営住宅及び諸施設の適切な維持管理を行うための一般修繕と空家募集及び老朽化住宅からの住替えに伴う修繕を行った。

修繕料	102,063,829円
原材料費	716,341円

事業名	市営住宅修繕工事費				住宅課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
36,858,210					36,858,210	42,408,360

市営住宅及び諸施設の計画的な改善や修繕工事を行った。

事　業　内　容		事業費
物置改修工事に伴う仮物置借上料	宮町団地C3棟	1,147,810
物置改修工事	宮町団地C3棟	7,123,600
ベランダ手摺塗装他工事	中万町団地C1棟	9,022,200
〃	中万町団地C2棟	9,100,300
〃	中万町団地C3棟	5,085,300
〃	高田団地C1棟	5,379,000
計		36,858,210

事業名	市営住宅ブロック塀等対策事業費				住宅課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
762,136					762,136	1,023,840

東保育園前公園（東町）と粥見団地（飯南町粥見）に設置されたブロック塀が現行の建築基準法施行令で定める高さを超えることから、ブロック塀の一部を撤去し、高さを1.2m以下となるよう修繕を行った。

事　業　内　容		事業費
東保育園前公園ブロック塀修繕	東保育園前公園（L=24.8m）	377,136
粥見団地ブロック塀修繕	粥見団地（L=27.2m）	385,000
計		762,136

（款）8土木費　　（項）6住宅費　　（目）2住宅建設費

（単位　円）

事業名	公営住宅ストック改善事業費				住宅課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
69,156,600	35,099,000		30,400,000		3,657,600	50,029,920

市営住宅の長寿命化計画に基づき、予防保全的な改修工事による維持管理を行った。

事　業　内　容		事業費
給水システム改修工事	高田団地C1棟、C3棟	7,738,500
〃	粥田団地C2棟	3,436,400
〃	中万町団地C1棟・C2棟	30,334,700
下水道接続工事	船江町団地	2,959,200
汚水処理場解体工事	船江町団地	3,666,300
外壁塗装改修工事	高田団地C3棟	7,480,000
〃	高田団地C2棟	6,829,900
屋上防水改修工事	東町団地C3棟	4,184,400
給水システム改修工事設計業務委託	中万町団地C1棟・C2棟	1,837,080
外壁調査業務委託	中層４階タイプ（33棟）	690,120
計		69,156,600

(款）9消防費　　（項）1消防費　　（目）1常備消防費

（単位　円）

事業名	松阪地区広域消防組合分担金					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,502,108,000			402,400,000	2,904,000	2,096,804,000	2,026,905,000

広域消防組合の運営経費及び消防体制の充実・強化を図ることができた。

常備消防費の松阪市分担金　　2,502,108,000円

人件費	1,731,118,726	物件費	197,298,507	維持補修費	3,974,962
補助費等	20,719,868	普通建設事業費	460,408,289	公債費	62,129,446
扶助費	26,458,202				

事業名	減債基金積立金					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,873				8,873		4,806

減債基金利子（消防団事務局）を減債基金へ積み立てる。

令和元年度末基金現在高　16,388,458円

(款）9消防費　　（項）1消防費　　（目）2非常備消防費

（単位　円）

事業名	消防団員消防・水防手当					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
44,567,700					44,567,700	53,007,900

令和元年度中の消防団員の水火災や訓練出動等に支給した。

消防団員消防・水防手当　　44,567,700円

種別	人員	金額
ラッパ隊手当	6人	45,000
機械器具点検手当	1,346人	6,409,200
訓練等出場手当	延11,033人	32,783,500
水火災等出動手当	延1,252人	5,008,000
入校手当	延46人	322,000

事業名	消防団員報酬					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
42,330,329					42,330,329	43,299,500

令和元年度中の消防団員の報酬を支給した。

報酬　　42,330,329円

種別	人員	報酬額
報酬	1,346人	42,330,329

事業名	消防団長交際費					消防団事務局
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
27,600					27,600	32,280

消防団員等の逝去による弔慰金等

弔慰金　10,000円（2人）　　供花　17,600円（2人）

事業名	消防団員退職報償金等				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
35,860,349				35,489,000	371,349	29,192,464

消防団員等公務災害補償等共済基金からの退職報償金を全額支給（一般財源は退職記念品購入費）、永年の労苦をねぎらうことで士気の高揚を図ることができた。

報償金（108人分）　35,489,000円　　退職記念品（121人分）　371,349円

事業名	消防団員等公務災害補償等共済基金掛金				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
30,535,520					30,535,520	30,535,520

消防団員が退団した際の退職報償金の支給及び公務により死亡、負傷又は疾病にかかった場合における補償制度の掛金

負担金、補助及び交付金

消防団員等公務災害補償掛金　3,271,520円　　消防団員退職報償金掛金　27,264,000円

事業名	消防団員等福祉共済加入掛金				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,001,250					4,001,250	4,119,000

消防団員に対する弔慰金、疾病等の入院見舞金の支給に係る掛金

負担金、補助及び交付金

消防団員等福祉共済加入掛金　1,336人分

令和元年度受給対象者に対して、遺族援護金　2,000,000円（2人）、入院見舞金　406,500円（11人）を支給した。

事業名	小型動力ポンプ付積載車等購入事業費				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
24,222,000			21,200,000	885,000	2,137,000	22,356,000

実施計画に基づく消防団の積載車及び積載資機材の更新を行った。

消防団積載車等の更新配備

普通積載車　18,293,000円（2台）　軽積載車　5,929,000円（1台）

事業名	消防団防災資機材等整備事業費				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,920,963					5,920,963	6,965,237

実施計画に基づく消防団員の装備等の更新を行った。

消防団防災資器材等の整備

消防団員活動服、雨合羽、IP無線機　ほか

消耗品費　3,568,953円　備品購入費　2,352,010円

事業名	消防団員公務災害補償費				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,765,326				1,765,326		2,255,352

消防団員の療養補償費及び休業補償費並びに遺族補償年金を支給した。

災害補償費

療養補償費　42,546円（2人）　休業補償費　68,880円（1人）　遺族補償年金　1,653,900円（1人）

事業名	消防団員健康診断事業費				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
434,540					434,540	365,520

消防団員の健康管理の保持増進を目的に実施し、円滑な消防団活動の向上を図ることができた。

委託料

健康診断受診料　413,600円（94人）

検診車配車料　　20,940円

事業名	非常備消防一般経費				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,815,732				339,316	19,476,416	15,958,136

円滑な消防団事業の推進を図るための運営経費

非常備消防に係る一般経費

事務用品等消耗品費、消防団車両等燃料費、消防団車両等保守点検費、電話料金等通信運搬費、安全運転研修委託料、消防学校入校負担金等

報償費　159,380円　旅費　1,347,297円　消耗品費　2,524,550円　燃料費　1,107,210円

食糧費　72,462円　印刷製本費　26,400円　光熱水費　901,968円　修繕料　8,039,810円

通信運搬費　737,632円　広告料　22,000円　手数料　109,593円　保険料　590,240円

委託料　432,340円　使用料及び賃借料　861,960円　備品購入費　79,090円

負担金、補助及び交付金　1,517,600円　公課費　1,286,200円

（款）9消防費　　（項）1消防費　　（目）3消防施設費

（単位　円）

事業名	水道事業会計繰出金				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,281,453					13,281,453	14,932,218

市内公設消火栓の維持管理に要する経費で、3基の新設及び既設18基の改修により消防水利の充実・強化を図ることができた。

繰出金　13,281,453円

事業名	消防施設管理事業費				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,843,253				88,000	5,755,253	6,084,983

消防に関する現有施設の補修により消防力の維持管理に努めた。

消防施設管理に係る経費、施設整備修繕料、消火栓点検業務委託料、補修用材料費等

修繕料　1,161,381円　　委託料　4,649,000円　　原材料費　32,872円

事業名	消防防災施設整備事業費				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
41,507,400	10,972,000		28,900,000		1,635,400	32,338,440

実施計画に基づき、耐震性貯水槽4基の設置及び老朽化した消防団車庫1棟の建て替えにより、防災拠点の強化を図ることができた。

耐震性貯水槽の設置及び消防団車庫建て替えに係る経費

工事請負費　41,507,400円（耐震性貯水槽［4基］31,069,500円　　消防団車庫［1棟］10,437,900円）

事業名	消防・防災訓練センター管理運営事業費				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
227,491					227,491	200,858

消防団・自主防災組織・消防署等の訓練場及び付近住民の避難場所、仮設テント等の設営場所として維持管理を図ることができた。

光熱水費　227,491円

事業名	消防施設解体事業費				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,907,280				1,907,280		—

老朽化した消防団車庫1棟を解体した。

消防団車庫解体に係る経費

工事請負費　1,907,280円

事業名	消防救急デジタル無線（共通波）整備事業負担金				消防団事務局	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,709,000					21,709,000	21,709,000

施設整備に係る市町負担金を三重県市町総合事務組合へ支払った。

市町負担金　21,709,000円

(款）10教育費　　（項）1教育総務費　　（目）1教育委員会費

（単位　円）

事業名	教育長交際費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						5,000

慶弔費や懇談会等に係る経費なし。

事業名	教育委員会一般経費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,255,990					4,255,990	4,301,040

報酬　3,936,000円（委員　4人、定例会議　12回開催）

負担金　223,710円（三重県市町教育委員会連絡協議会負担金ほか）

(款）10教育費　　（項）1教育総務費　　（目）2事務局費

（単位　円）

事業名	私立高等学校振興補助金				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,500,000					1,500,000	956,016

市内の私立高等学校の運営に要する費用の一部を補助し、施設の整備等を行うことにより教育の振興を図った。（上限150万円）

補助対象事業：野球グランド横2階建駐輪場塗装改修工事（補助対象経費　5,238,000円）

事業名	奨学基金積立金				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
127,016				127,016		155,598

令和元年度末基金現在高　59,587,632円

事業名	スクールバス運営事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,069,020	2,374,000			2,100	16,692,920	20,018,638

本庁・嬉野・飯南・飯高管内において、スクールバスの運行及びスクールタクシーの運行委託により遠距離通学となる児童、生徒の通学手段の確保を図った。

利用者：西中　1人、伊勢寺小　2人、豊地小　28人、粥見小　18人、柿野小　16人、
飯高中　19人、香肌小　10人、宮前小　39人

事業名	高等学校・大学入学援助金				学校教育課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
500,000					500,000	500,000

令和元年度に高等学校、大学等に入学した生徒の保護者（令和元年度市県民税非課税世帯）に、入学援助金20,000円を支給し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

対象者　25人（高等学校　20 人、大学　5 人）

事業名	教育委員会事務局一般経費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
13,308,879				16,498	13,292,381	14,466,751

賃金　5,504,705円、消耗品費　2,126,802円、使用料及び賃借料　2,436,973円　ほか

（款）10教育費　　（項）1教育総務費　　（目）3教育指導費

（単位　円）

事業名	英語コミュニケーション力向上推進事業費				学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
47,584,953				55,870	47,529,083	48,219,205

初等中等教育段階からグローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、小学校における英語教育の拡充強化、中学校における英語教育の高度化など、小中学校を通じた英語教育の抜本的充実が求められている。小・中・高等学校を通じた外国語教育の充実が図られる中、新学習指導要領に基づく英語教育の研究を行い、授業改善や教員の指導力向上、そして児童生徒のコミュニケーション能力を着実に向上させるため、「英語コミュニケーション力向上推進事業」小中学校モデル校を設置し、実践研究と授業研究会（公開）を行った。また、中学校モデル校を含む4中学校2年生を対象に、4技能英語力を測定するGTECを実施し、具体的な課題を把握するとともに、授業改善プランを作成し課題解決に向け取り組んだ。さらに、GTEC受検生徒以外の市内全中学校2，3年生を対象に英検IBAを実施し、生徒の英語力を客観的に把握し、英語学習に対する意欲を向上させるとともに、教員の指導改善に活かした。加えて、児童生徒のコミュニケーション能力を確実に育成するため、10人の外国語指導助手と3人の小学校英語指導助手を各小中学校に派遣し、授業における補助や国際交流活動等を行った。（総派遣日数 2,177日　＊3月臨時休業を除く派遣日数）

事業名	人権教育ネットワーク推進事業費				学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,929,443		348,000			3,581,443	2,865,851

松阪市人権教育研究会および中学校区の人権教育推進協議会等に委託し、地域への人権啓発活動（人権講演会等　参加人数　計2,827人）、教職員の人権意識の向上のための研修会および研究大会への参加、子どもが主体の人権フォーラム活動の実施や校区内の授業公開（公開保育）の活動を行うなど、校区の実態に応じて人権教育の推進を図った。また、三重県の津市で開催された第71回全国人権・同和教育研究大会に教職員等が参加し、全国の優れた人権教育の実践を学ぶことを通して、人権感覚を高め、自身の教育実践に活かすことができた。
さらに、平成30年度より、第二小学校を、国の委託事業である「人権教育研究指定校事業」の研究校に指定し、人権教育を総合的・系統的に進めるための人権教育カリキュラムの作成に取り組み、11月に、2年間の研究の成果を研究発表会を通じて、県内に発信することができた。また、東部中学校区を、県の委託事業である「子ども支援ネットワーク・アクション事業」の指定中学校区とし、地域住民等とともに、人権尊重の意識を広める活動を展開し、「人権尊重の地域づくり」の推進を図った。

委託先		委託金額	委託先		委託金額
1	殿町中学校区	150,000円	7	西中学校区	130,000円
2	鎌田中学校区	150,000円	8	嬉野中学校区	85,000円
3	久保中学校区	230,000円	9	三雲中学校区	135,000円
4	中部中学校区	160,000円	10	飯南中学校区	100,000円
5	大江中学校区	110,000円	11	飯高中学校区	80,000円
6	東部中学校区	168,000円	12	松阪市人権教育研究会	1,980,000円

事業名	教科書及び指導書導入事業費					学校支援課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
3,489,475					3,489,475		8,975,723

小中学校の新学期のクラス編成に伴う増級分等の教師用教科書、指導書を購入・配布し、指導の充実を図った。年度当初に過不足調整を行い、本年度購入分を必要最低限になるよう努めた。

事業名	特色ある学校づくり推進事業費					学校支援課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
14,042,000					14,042,000		14,350,000

児童生徒や地域の実態に即した特色ある教育、特色ある学校づくりを進めるための創意に満ちた特色かつ魅力ある教育活動を実施することにより、児童生徒の「生きる力」の育成を図る取組みを展開した。新学習指導要領が目指す理念として「社会に開かれた教育課程」が掲げられたことや、市内でもコミュニティ・スクール設置校が11校（R1年度4校増）となったことなどを受け、地域と連携した行事や体験学習を実施した回数は、1校あたり約24回となった。（H30年度：23回）

事業名	児童生徒体育文化行事参加旅費等補助金					学校教育課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,867,317					1,867,317		3,935,276

体育･文化行事の全国大会･東海及び県大会参加旅費に対して補助した。生徒の健全な身体と豊かな心を養い、技能の向上を目指した。

（参加補助対象延人数　1,162人）

事業名	児童生徒安全対策支援事業費					学校教育課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
4,395,372					4,395,372		4,224,881

児童生徒の登下校中の安全を確保するため、通学用ヘルメット、黄色帽子を配布し通学路における事故防止を図った。

	配布数	支払額	配布対象者
ヘルメット	2,903個	4,085,948円	小1、小4、中1
黄色帽子	705個	309,424円	小1

事業名	特別支援教育推進事業費					学校支援課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
95,374,103	3,419,000			261,140	91,693,963		79,179,621

特別な支援を要する児童生徒に対し、学校生活上の介助や学習面のサポートを行う「学校生活アシスタント」93人を37校に、看護師免許を持つ「メディカルサポートアシスタント」6人を3校に配置した。
個々の児童生徒に応じた支援により、基本的な生活習慣の定着や情緒の安定等を図ることができた。また、県立松阪あゆみ特別支援学校児童生徒との「交流及び共同学習」を含め、様々な学習活動や学校生活において、周りの児童生徒とのコミュニケーションを支援し、児童生徒の相互理解を進めることができた。

事業名	いじめ等対策事業費					学校支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,986,153				27,088	12,959,065	13,245,434

いじめ等の問題行動の早期発見・早期対応を図るためには、実態を的確に把握することが重要である。令和元年度も学級満足度尺度調査（Q-U）を年間2回、いじめアンケート調査を学期に1回以上実施した。学級満足度尺度調査において、1回目の調査を踏まえて個や学級集団の実態に応じた指導や支援を行うことで、自分の学級に満足している児童生徒の割合（59.3%）が、全国平均を上回った。（令和元年度は基準値が変更された）　また、中1ギャップ対策として、小中兼務型のハートケア相談員を引き続き、中学校区に配置し、教職員と連携しながら、小中学校連携、教育相談体制の充実と児童生徒の心のケアを行った。
児童生徒の携帯電話やスマートフォンの利用拡大に伴い、長時間の使用による学習時間の減少が心配される。さらには、ネットトラブルやネットいじめが社会問題となっており、それらから児童生徒を守るためには、家庭でのルール作りを行うことが大切である。そのことを保護者に啓発するため、H28年度とH30年度には小学校4年生以上を対象にリーフレットを配付したが、今年度においては、所持や利用の低年齢化を考慮し、小学校1年生以上のすべての児童生徒を対象に配付した。
多様化する教育課題の解決に向けて、学校、保護者、地域、関係機関等が連携を密にしていくことは重要である。また、児童生徒や保護者に寄り添った対応のため、教職員が、時間外であっても家庭訪問や地域の防犯パトロール等に取り組んだ。教職員の時間外緊急活動は、1年間で延7,457件、4,863時間、35,655㎞の実働状況であった。
R1年度 学級満足度尺度調査（Q-U）
（　小学校　58.1%　　中学校　61.3%　　全体　59.3%　）
R1年度 いじめ認知件数
（　小学校 331件　　中学校　40件　　全体　371件　）
R1年度 ハートケア相談件数
（　5,750件　）

事業名	地域の教育力活用推進事業費					学校支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,274,760		192,000			5,082,760	5,187,278

地域の教育力活用推進事業は、3つの取組みをそれぞれ関連させながら事業を進めた。
学校支援地域本部事業の取組みは、学校支援ボランティアの活動として、平成23年度から市内各学校園を対象に展開し、初年度のボランティア登録数494人から、令和元年度は1,733人と増加した。内容として、安全支援ボランティア・読書支援ボランティア・学習支援ボランティア等を中心に本事業を展開した。また、地域未来塾の取組みとして、第四小学校にコーディネーターを配置し、まちづくり協議会の教育部会が主体となり、希望者を対象とした学力補充を目的に「放課後補充学習」を毎週水曜日に実施した。
学校評議員制度については、全小中学校において、学校・家庭・地域が連携・協力しながら、よりよい学校運営の改善に向け、児童生徒の実態や地域の実態に応じた取組みを実施した。
コミュニティ・スクールの取組みについては、平成25年度より鎌田中学校区3校、平成29年度より飯高中学校区3校で校区連携を図った学校運営協議会がスタートした。平成30年度より天白小学校、令和元年度より小野江小学校、鵲小学校、米ノ庄小学校、朝見小学校が学校運営協議会をスタートさせた。

事業名	郷土の偉人に学ぶ教育推進事業費					学校支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,322,838					1,322,838	1,410,790

将来の松阪を担う子どもたちが、郷土に誇りと愛着を持ち、未来を切り拓いていくことができるよう、「郷土の偉人に学ぶ授業」で使用する教材冊子を印刷し、対象児童に配付した。また、4年生を対象に「本居宣長」、5年生を対象に「松浦武四郎」、6年生を対象に「蒲生氏郷」と「三井高利」の冊子を使って、各学校において、授業実践を進めた。また、教材冊子に関して、各学校での学習活動が定着することを目的とし、学習活用例や他教科と関連させた実践について、教職員対象に研修会を行った。冊子を用いた学習から地域への聞き取り学習、フィールドワーク、体験学習等へと発展的に学習活動を展開し、子どもたちが偉人の生き方や考え方を学ぶ中で、自分に置き換えて考えることができ、未来への夢や目標を抱く機会をつくることができた。

事業名	学力向上推進事業費					学校支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
10,623,095		540,000		87,000	9,996,095	9,303,708

未来を切り拓く学力向上タスクフォースを設置し、児童生徒の実情を踏まえた課題解決のための方策を立て、「児童・生徒の学力向上をめざして」にまとめ、市内各小中学校に広めた。

全国学力・学習状況調査から明らかになった課題解決に向けて早期に対応するため、小学校2年生から5年生、中学校1年生、2年生に標準学力調査を実施した。（実施期間　R1.5.1～5.30）（参加人数　小学校：5,607人　中学校：2,433人）

小中学校へ授業力向上アドバイザーと学級経営マイスターを派遣し、学力向上に向けた授業改善や教職員の質の向上を図ることができた。授業力向上アドバイザー派遣(99回)学級経営マイスター派遣（場所：南小学校 R1.9.26、掃水小学校R1.12.5、小野江小学校R2.2.3）

「授業・保育実践発表中学校区」として、射和小学校区・西中学校区において、全国学力・学習状況調査、松阪市標準学力調査等の結果分析から見えてきた課題解決に向け、幼小中の連携教育を基盤とした授業・保育改善の取組みの研究を進めた。そして、これらを授業公開研究会の形で発信し、市内の教職員はこの会に参加することで、授業スタイル等を学び、各学校・園での授業実践に活かすことができた。（参加人数　射和小学校区54人、西中学校区181人）

	区　分	発表学校区
R1.12.11	射和小学校区公開授業研究会	射和幼・射和小
R1.11.22	西中学校区公開授業研究会	阿坂幼・阿坂小・西中

児童生徒の理科への意欲・関心を高めるため、松阪市児童生徒科学作品展（出展数：小学校　334点、中学校　28点）を開催した。

開　催　日	行　事　名	場　所	参　加　数
R1.9.7～8	松阪市児童生徒科学作品展	松阪市文化財センター	1446人
R1.8.10	まつさかペットボトルロケット大会	三重県営松阪野球場	参加226人（応援823人）
R1.7.20、8.24	自由研究教室	みえこどもの城	46人

事業名	新たな学びの創造事業費					学校支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
93,113,250				34,582,000	58,531,250	59,326,884

パソコン教室の契約満了を迎える小学校のパソコンに替えてタブレット端末を整備し、可搬型アクセスポイント、大型提示装置等を整備することで、普通教室、特別支援教室、特別教室等の様々な授業場面において、ICTを活用した授業実践が取り組めるようICT環境整備を進めた。また小学校では情報活用能力の育成やプログラミング教育に、中学校においては学びを支えるICTの利活用に関する実証研究に取り組み公開研究会を実施した。

小学校パソコン教室タブレット端末整備状況（全36校）

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	計
整備済校数	4校	0校	12校	12校	28校

公開研究会

開催日	開催場所	参加者数
R1.10.24	三雲中学校	140人

開催日	開催場所	参加者数
R1.11.20	東黒部小学校	22 人

すべての小中学校の情報担当者を対象とした情報担当者会議を開催し、国の制度や松阪市の教育の情報化に関する取組みの共有、教職員による実践発表会等を実施した（年3回）。また熱意のある教員に対してICT機器を貸出し、教育の情報化に向けた授業支援を行った（やまゆりプロジェクト）。

やまゆりプロジェクト実践状況（延数）

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実践校数	17校	22校	31校
実践テーマ数	24テーマ	48テーマ	79テーマ

事業名	教育指導一般経費					学校支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,515,019				6,096	5,508,923	5,190,370

教育指導に係る一般経費

賃金 2,035,200円、旅費　477,216円、需用費（消耗品費）　1,710,978円、使用料及び賃借料　340,582円　ほか

（款）10教育費　　（項）1教育総務費　　（目）4子ども支援研究センター費

（単位　円）

事業名	外国人児童生徒受入促進事業費					学校支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
22,920,284		4,454,000		225,615	18,240,669	21,195,727

母語が分かる支援員（以下「母語スタッフ」とする）12人を日本語指導が必要な児童生徒が在籍する小中学校に派遣し、学習指導の補助や適応支援、保護者との連絡、相談等、学校と家庭の連携を図った。また、進学や就職に関する情報提供を行う「進路ガイダンス」や、学齢期なのに市内小中学校に在籍していない児童生徒宅を家庭訪問する「就学実態調査」、「いっぽ」に通級できない児童生徒に対して学校に日本語指導員の派遣等、市内の外国人児童生徒にきめ細かいサポートを行った。
日本語指導員等5人が中心となり、母語スタッフ日本語指導補助のボランティア38人と協力し、初期適応支援教室「いっぽ」において、基本的な日本語の理解ができていない児童生徒を対象に、初期の日本語学習（ひらがな、カタカナ、日常会話の基礎）を一定期間集中して行った。
次年度小学校へ入学する外国人幼児を対象に、就学前支援教室「ふたば」を開設し、日本語の学習支援、小学校生活の規律等の適応支援を行った。また、保護者には、日本で小学校生活を送るために必要な情報を提供した。
日本語指導法講座では、「やさしい日本語の使い手になろう」というテーマで全6回開催した。教科学習において、外国の子どもたちが言葉の理解でつまづくポイントを知り、支援の工夫を学ぶことができた。
日本語指導が必要な児童生徒の在籍が多い小中学校をセンター校（久保中学校・第二小学校・第五小学校・殿町中学校・花岡小学校・徳和小学校・幸小学校・第三小学校）に指定し、三重大学・愛知淑徳大学等関係機関の助言・協力のもと学力保障・進路保障等についての実践・研究を行うことで、外国人児童生徒教育が学校全体の取組みとなり、受入体制の整備や日本語指導の充実につながった。

事業内容	実績等
初期適応支援教室「いっぽ」	通級児童生徒数　30人、うち修了　24人、次年度継続通級　6人
母語スタッフによる指導補助・支援	対象校　小学校　16校、中学校　7校、いっぽ、翻訳等 支援状況　2,144回　8,630時間
進路ガイダンス	開催日　9月14日、参加者数　125人（外国人児童生徒42人、保護者31人、高校生・一般8人、高等学校教職員10人、小中学校教職員11人、通訳8人、関係者15人）
外国人児童生徒就学実態調査	就学年齢に達しているが、小中学校在籍児童生徒名簿に記載の無い外国人を対象に調査を行った。 調査期間　11月～1月 調査対象　36人（31世帯） 調査結果　不就学　0人、帰国・転居　26人、留守・不明　7人、学校へ通学　3人
運営協議会	事業計画の立案、検討、発生する課題等に対する改善策等の協議機関　開催数　2回（5月、2月）

プロジェクト会議	具体的な取組みについての計画、検討、改善のための会議 開催数　3回（5月、10月、2月）
ネットワーク会議	取組内容の交流や教材の共有化、外国人児童生徒の受け入れ体制の充実を全市的に図るための外国人児童生徒教育担当者対象の会議 開催数　3回 第1回：「松阪市の外国人児童生徒の取組みについて」 「日本語指導法連続講座①」 6月27日　参加者　40人 第2回：「多様な言語文化背景をもつ子どもたちのことばの学習を支援する ～コミュニケーション・教科学習・社会参加のために～」 講師：東京学芸大学　教授 8月26日　参加者　58人 第3回：「外国人児童生徒の受入について考えよう」 1月21日　参加者　45人
担当者会議	センター校の担当者が情報を交換するための会議 開催数　6回（4月、6月、7月、9月、11月、12月）
就学前支援教室「ふたば」	次年度入学予定児を対象に小学校で学ぶための日本語学習支援や生活規律の支援と保護者に対する情報提供等を行った。 開催数　8回（1月～2月）、参加幼児数　18人
日本語指導法連続講座	内　容　第1回　6月27日（木）　外国人児童生徒受入と外国につながる子どもたち 第2回　7月25日（木）　やさしい日本語の使い手になろう① ～コミュニケーションのコツをつかみ、実践しよう～ 第3回　8月29日（木）　やさしい日本語の使い手になろう② ～やさしい日本語でお知らせ作成！～ 第4回　9月26日（木）　初期指導から教科指導へ 教科指導のポイント ～やさしい日本語を活かした授業づくり～ 第5回　10月28日（月）初期指導から日本語指導へ2 教科指導（社会）のポイント 第6回　11月25日（月）「やさしい日本語」のまとめ ～広がる可能性と私たちにできること～ 講師　伊賀市外国人児童生徒日本語指導コーディネーター 参加者数　延143人（市内小中学校教員・いっぽ教室ボランティア等）
フォトストーリーづくり	生い立ちや夢、家族への思いを映像にまとめることができた。大学生との対話を通して、自分の気持ちに向き合い、家族への感謝の気持ち、将来への希望をもつことができた。発表会では、保護者、在籍校の先生など、50人以上の参観があった。 開催日　8月9日、10日 参加者数　18人（外国人児童生徒） 指導者・補助者　愛知淑徳大学の准教授及び学生　18人
多文化理解授業	三重大学留学生4人より、各国の文化・生活について学んだ。 開催日　1月28日 対象者　第三小学校（センター校）3年生児童　35人、4年生児童　48人

事業名	教育支援センター推進事業費					学校支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,375,419					2,375,419	2,380,752

教育支援センター「鈴の森教室」と「三雲やまゆり教室」において、学校復帰や出席日数の改善、進路決定、社会的自立を目的として、不登校児童生徒の通室指導や保護者・関係者への教育相談を実施し、在籍校の教職員と協力しながら個々に合わせた支援を行った。

相談及び通室指導対象児童生徒数　111人

校種	小学校						中学校			高等学校			計
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
人数	3人	5人	2人	8人	15人	4人	23人	21人	23人	5人	2人	0人	111人

学校復帰や出席日数の増加で改善が見られた通室児童生徒数　対象者32人中21人

校種	小学生	中学生	計	改善（復帰）率
対象人数	8人	24人	32人	65.6%
改善者数	5人	16人	21人	

相談延件数　1,117件（面接　661件、電話　456件）、学校訪問　301回

［面接相談件数］　（単位　件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生	13	14	30	15	8	22	27	45	29	37	43	14	297件
中学生	20	23	28	14	7	33	46	46	39	31	46	13	346件
高校生等	4	5	4	0	0	2	0	0	2	0	1	0	18件
計	37	42	62	29	15	57	73	91	70	68	90	27	661件

［電話相談件数］　（単位　件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生	22	16	24	6	6	8	14	25	10	15	15	6	167件
中学生	49	12	32	4	10	24	23	35	7	31	49	7	283件
高校生等	2	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	6件
計	73	28	56	10	19	32	37	60	17	47	64	13	456件

［学校訪問回数］　（単位　回）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学校	3	5	4	4	2	4	5	8	5	7	5	6	58回
中学校	16	18	17	17	0	20	26	32	25	23	25	24	243回
計	19	23	21	21	2	24	31	40	30	30	30	30	301回

事業名	教育研究事業費					学校支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
793,154					793,154	805,336

長期研修員が、新学習指導要領で重要視されている外国語教育、情報教育をテーマに調査・研究を行った。そして、その研究成果を研究集録として冊子にまとめ、園・学校や教育関係機関に配布することにより、教育実践現場への浸透を図った。また、教育研究や教育実践に役立つ書籍・資料を収集し、教職員への情報提供と貸し出しを行った。

研究集録第137集　外国語教育における小中連携
～小中をつなぐ言語活動の実現を目指して～
研究集録第138集　「ICT機器を使った児童生徒の学習効果について」
―学びが深められる学習活動を通して―

書籍の購入、及び寄贈数　41冊

書籍の分類	購入数	寄贈数
学習指導・学級指導に関する書籍	24冊	
学校経営・学校管理に関する書籍	6冊	
社会教育・家庭教育に関する書籍	6冊	3冊
特別支援教育に関する書籍	2冊	

事業名	教職員研修事業費					学校支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,151,237					1,151,237	1,096,192

保育士及び教職員の指導力向上を図り、幼児児童生徒の園・学校での満足度を高めるため、日常の保育・教育実践や実践上の問題解決に役立つ研修の場を提供することを目的に、保育・教育現場のニーズや今日的教育課題に沿った内容の講座を31講座実施した。

実施日	講座名		参加人数
R1.5.28	初任者研修	フィールドワーク ～ 郷土の偉人ゆかりの地を訪ねる～	23人
R1.6.11	学校マネジメント研修Ⅰ	私がめざした学校づくり	22人
R1.6.20	人権教育学習会	人権の視点を大切にした久保中学校の道徳教育	64人
R1.6.21	マスター・ベーシック研修Ⅰ	教育改革の動向について	36人
R1.6.24	理科	深い学びを実現させる理科授業のあり方	56人
R1.7.2	国語	「言葉っておもしろい。」 子どもが気づき、力として身に付けていく授業をめざして － 4年言葉「いろいろな意味をもつ言葉」の授業を通して －	48人
R1.7.6	乳幼児教育Ⅰ	関わりのむずかしい子どもたち　～大切な《母と子》の視点から～	143人
R1.7.9	マスター・ベーシック研修Ⅱ	新学習指導要領実施と学力の向上等について	39人
R1.7.29	音楽	新学習指導要領ではこう変えたい！　音楽授業の進め方～歌唱・音楽づくり・鑑賞～	27人
R1.7.30	道徳	道徳科の特質を生かした授業と評価 ～体験授業から手立てやその意味を学ぶ～	33人
R1.7.31	人権教育Ⅰ	部落差別の解消に向けて	97人
R1.8.1	事務職員研修	「つかさどる」学校事務を目指して　～小さな一歩が大きな変化に。みんなで踏み出そう最初の一歩！～	29人
R1.8.1 R1.8.2	学級づくり	思春期のライフスキル教育	16人
R1.8.5	生徒指導Ⅰ	Q-Uを活用した学級づくり　～　分析と対策　～	70人
R1.8.5	授業力向上Ⅰ	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業方策	82人
R1.8.6	生徒指導Ⅱ	不登校について考える	46人
R1.8.6	情報教育	情報活用能力の向上につながるICT機器を活用した実践のワンポイント	26人
R1.8.7	教育講演会	いつも心に太陽を	830人
R1.8.8	健康教育	今、学校ではじまる「がん教育」	54人
R1.8.9	人権教育Ⅱ	ともに学ぶために ～障がいのある子どもを中心に据えて～	140人
R1.8.19	郷土教育	松阪市の偉人から学ぶ郷土教育	48人

R1.8.19	学校マネジメント研修Ⅱ	新学習指導要領がめざす　これからの学校・これからの授業 ～カリキュラムマネジメントの視点から～	29人
R1.8.20	人権教育Ⅲ	人権学習指導資料を活用して	72人
R1.8.20	体育／保健体育	器械運動が苦手な先生こそ受講してほしい「跳び箱の指導」	41人
R1.8.21	教育課程	新学習指導要領を踏まえた学校づくり、学級づくり	62人
R1.8.23	授業力向上Ⅱ	主体的・対話的で深い学びをもたらす国語科の授業づくり	67人
R1.8.23	特別支援教育	今日的課題を踏まえた特別支援教育について	38人
R1.8.24	乳幼児教育Ⅱ	リズム遊び	82人
R1.8.26	外国人児童生徒教育	多様な言語文化背景をもつ子どもたちのことばの学習を支援する　－コミュニケーション・教科学習・社会参加のために－	58人
R1.8.27	外国語活動／外国語	これからの小中の英語授業作り：目標、展開、評価	72人
R1.9.21	乳幼児教育Ⅲ	乳幼児のそだち　－絵で見る子どもの発達－	53人

事業名	教育相談事業費					学校支援課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,412,936					3,412,936	3,753,367

課題や悩みを抱えた子どもや保護者への教育相談（電話、面談）及び臨床心理士によるカウンセリングを実施し、幼児児童生徒の生活や心の問題等について解決すべく、支援を行った。

相談延件数　1,028件

教育相談　497件（面接　211件、電話　286件）

カウンセラー相談　531件（160回実施）

［相談延件数］　（単位　件）

校種	就学前	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	他	不明	計
面接相談	27	21	23	14	49	8	41	23	1	4	0	0	211
電話相談	61	11	17	28	27	23	44	25	26	16	5	3	286
カウンセラー相談	50	32	35	50	78	56	77	41	28	44	38	2	531
計	138	64	75	92	154	87	162	89	55	64	43	5	1028

［月別相談件数］　（単位　件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面接相談	20	18	20	20	14	16	18	20	17	15	16	17	211
電話相談	22	34	22	25	15	25	31	25	22	22	23	20	286
カウンセラー相談	46	50	54	60	42	48	51	52	30	36	30	32	531
計	88	102	96	105	71	89	100	97	69	73	69	69	1028

事業名	子ども支援研究センター管理運営事業費				学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,962,626				1,663,270	13,299,356	14,660,969

施設を利用する市民の安全と利用者の余暇・レクリエーション等の活動の場を保障するため、施設の円滑な運営と安全な施設管理に努めた。

光熱水費　5,509,436円、施設維持管理等委託料　3,945,260円、消耗品費　160,527円　ほか

体育室利用者数（延1,163団体　35,743人）

ミーティングルーム利用者数（延293団体　3,330人）

月	体育室利用者数				ミーティング室利用者数	
	団体延数	大人	子ども	合計	団体延数	計
4月	98団体	1,633人	345人	1,978人	16団体	242人
5月	96団体	2,456人	335人	2,791人	26団体	323人
6月	99団体	2,975人	872人	3,847人	45団体	175人
7月	103団体	2,418人	340人	2,758人	27団体	232人
8月	101団体	2,026人	978人	3,004人	28団体	258人
9月	94団体	4,137人	1,711人	5,848人	20団体	306人
10月	100団体	2,331人	497人	2,828人	26団体	423人
11月	96団体	2,919人	862人	3,781人	19団体	397人
12月	92団体	1,855人	1,035人	2,890人	25団体	215人
1月	90団体	1,841人	679人	2,520人	19団体	242人
2月	93団体	1,778人	393人	2,171人	23団体	329人
3月	101団体	1,217人	110人	1,327人	19団体	188人
計	1,163団体	27,586人	8,157人	35,743人	293団体	3,330人

事業名	子ども支援研究一般経費				学校支援課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,574,042					1,574,042	1,593,480

要覧・たより・ホームページ等による広報活動を行うとともに、子どもに係る総合的な支援研究機関として、効果的効率的な業務遂行と運営に努めた。

借上料　487,125円、通信運搬費　325,095円、消耗品費　658,786円　ほか

センターだより　10回発行

(款) 10教育費　　(項) 2小学校費　　(目) 1学校管理費

(単位　円)

事業名	小学校施設管理運営事業費					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
481,323,177				7,694,865	473,628,312	460,707,737

小学校40校（うち4校休校）の運営及び維持管理等に要する経費を支出した。主な経費としては非常勤職員賃金、光熱水費、消耗品費等の学校運営に要する経費や修繕料、各種業務委託等の維持管理に要する経費を支出した。

共済費　5,361,196円
賃金　32,172,968円　(非常勤職員賃金及び通勤費用)
需用費　261,891,928円
(消耗品費　71,390,203円　光熱水費　146,772,717円　修繕料　38,953,579円　ほか)
役務費　12,598,600円
(通信運搬費　8,704,611円　手数料　3,869,309円　ほか)
委託料　69,293,800円
(施設維持管理等委託料　63,869,306円　その他の委託料　5,424,494円　ほか)
使用料及び賃借料　66,723,824円　(借上料　65,330,444円　使用料　1,393,380円)
原材料費　3,387,775円
備品購入費　28,517,836円
負担金　1,375,250円

令和元年5月1日現在　学校数　36校　児童数　8,697人

学校名	学級数	児童数	学校名	学級数	児童数	学校名	学級数	児童数
第一小	9学級	169人	機殿小	5学級	49人	豊田小	7学級	162人
第二小	10学級	142人	朝見小	6学級	94人	中原小	8学級	143人
第三小	13学級	231人	掃水小	11学級	202人	天白小	23学級	517人
第四小	21学級	518人	漕代小	7学級	68人	鵲小	7学級	101人
第五小	23学級	566人	花岡小	24学級	584人	小野江小	15学級	296人
幸小	22学級	470人	松尾小	15学級	294人	米ノ庄小	9学級	194人
松江小	15学級	353人	大河内小	7学級	89人	柿野小	8学級	85人
伊勢寺小	11学級	196人	南小	7学級	67人	粥見小	8学級	94人
阿坂小	7学級	78人	射和小	9学級	191人	香肌小	4学級	16人
松ヶ崎小	6学級	49人	山室山小	24学級	594人	宮前小	7学級	77人
港小	14学級	275人	徳和小	31学級	790人			
東黒部小	5学級	31人	豊地小	9学級	173人			
西黒部小	7学級	85人	中川小	25学級	654人	計	439学級	8,697人

事業名	小学校施設整備事業費					教育総務課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
164,337,268			86,800,000	22,728,000	54,809,268		94,250,920

小学校施設の維持修繕工事を行い、教育環境の整備に努めた。

消耗品費　81,134円

修繕料　27,678,536円

小学校18校（第二、第四、第五、幸、松江、伊勢寺、阿坂、松ヶ崎、東黒部、機殿、掃水、松尾、大河内、山室山、徳和、中川、豊田、粥見）の普通教室照明修繕、職員室・図書室空調設備取替修繕、受信機他更新、音楽室天井修繕、廊下及び手洗い場手摺設置修繕ほか、合計26か所の修繕

手数料　376,900円　アスベスト調査、給食準備室扉のセンサー脱着ほか

委託料　12,906,120円

学校名	事業内容	事業費
第五小学校	エレベーター設置工事設計	4,122,800円
幸小学校	校舎耐力度調査	4,140,400円
花岡小学校	下水道接続工事他設計	1,995,840円
豊田小学校	インターホン設置工事設計	2,647,080円
米ノ庄小学校	屋内運動場床改修工事設計　ほか	
柿野小学校	屋内運動場天井改修工事設計	
	インターホン設置工事設計	
計		12,906,120円

工事請負費　121,151,540円

学校名	事業内容	事業費
第二小学校	屋上防水改修工事	18,205,000円
豊田小学校	プールサイド塗装工事	
伊勢寺小学校	屋上防水改修工事	12,331,000円
米ノ庄小学校	屋上防水改修工事	
朝見小学校	屋内運動場屋根改修工事	12,992,100円
花岡小学校	外壁改修工事	1,865,160円
松尾小学校	屋上防水改修工事	6,919,000円
山室山小学校	屋上防水他改修工事	14,051,400円
豊田小学校	インターホン設置工事	10,270,800円
米ノ庄小学校	教室改修、屋内運動場床改修工事	
柿野小学校	屋内運動場天井他改修工事	17,637,480円
宮前小学校	屋内運動場屋上防水改修工事	26,879,600円
計		121,151,540円

備品購入費　269,048円　米ノ庄小学校学級増備品ほか

負担金　1,873,990円　花岡小学校下水道受益者負担金

事業名	地域材活用学校環境整備事業費					教育総務課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
6,074,388					6,074,388		6,669,648

木に親しむ環境づくりと地場産業の活性化を目的に整備を行った木製机・椅子の維持管理を行った。

需用費　4,605,228円　（天板再塗装　1,098枚　3,666円／枚）

（修繕料）　（破損修理　93台　3,240円／台）

（破損修理　129脚　2,160円／脚）

原材料費　1,469,160円　（交換用天板　252枚　5,830円／枚）

事業名	小学校トイレ改修事業費					教育総務課	
決算額	財源内訳						【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
146,566,800	17,481,000		120,800,000		8,285,800		125,672,040

第一小学校外18校の校舎内及び体育館のトイレの洋式化等を行った。

工事請負費　　146,566,800円

学校名	事業内容	事業費
第一小学校 幸小学校	第一小学校外1校トイレ改修工事	20,040,480円
第二小学校 松尾小学校	第二小学校外1校トイレ改修工事	18,249,840円
第三小学校	第三小学校トイレ改修工事	2,160,000円
松江小学校 伊勢寺小学校	松江小学校外1校トイレ改修工事	17,811,360円
阿坂小学校	阿坂小学校トイレ改修工事	5,730,480円
港小学校 松ヶ崎小学校	港小学校外1校トイレ改修工事	11,858,400円
花岡小学校 大河内小学校	花岡小学校外1校トイレ改修工事	14,024,880円
山室山小学校	山室山小学校トイレ改修工事	3,527,280円
中川小学校 豊地小学校	中川小学校外１校トイレ改修工事	15,088,680円
豊田小学校 中原小学校	豊田小学校外１校トイレ改修工事	19,352,520円
柿野小学校 南小学校	柿野小学校外1校トイレ改修工事	18,722,880円
計		146,566,800円

事業名	小学校空調設備整備事業費（繰越分）					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
763,553,021	140,123,000		588,300,000		35,130,021	―

小中学校45校の普通教室等への空調設備整備を行った。（小学校35校）

報償費　35,700円　消耗品費　138,380円

通信運搬費　1,240円　手数料　51,840円

委託料　43,115,799円

低濃度PCB廃棄物処分業務委託　279,400円

記念式典　会場設営業務委託　324,432円

モニタリング支援業務委託　3,464,970円

松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業実施設計業務委託　53,660,162円

内、小学校空調設備整備事業費分　39,046,999円

平成30年度（前払分）　11,714,101円

令和元年度　27,332,898円

松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業工事監理委託　22,997,212円

内、小学校空調設備整備事業費分　16,734,426円

平成30年度（前払分）　5,020,327円

令和元年度　11,714,099円

工事請負費　719,879,582円

松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業施工業務　1,638,987,480円

内、小学校空調設備整備事業費分　1,193,906,405円

平成30年度（前払分）　474,026,823円

令和元年度　719,879,582円

備品購入費　330,480円

事業名	小学校ブロック塀等対策事業費（繰越分）					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
49,568,760	11,882,000				37,686,760	―

公共施設ブロック塀等実態調査により、確認された経年劣化等の伴うコンクリートブロック塀等の撤去及びフェンス等の設置を行った。

工事請負費　49,568,760円

学校名	事業内容	事業費
第二小学校	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	11,127,240円
花岡小学校	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	15,215,040円
南小学校	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	17,352,360円
中原小学校	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	2,381,400円
柿野小学校	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	3,492,720円
計		49,568,760円

(款) 10教育費　　(項) 2小学校費　　(目) 2教育振興費

(単位　円)

事業名	要保護及び準要保護児童生徒援助事業費					学校教育課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
110,930,498	241,000				110,689,498		110,537,903

給食費、修学旅行費等支払うことが困難な家庭に対して、就学援助費を給付し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

就学援助費支給額

	準要保護者（対象者：1,569人）		要保護者（対象者： 25人）	
	対象者	支給額	対象者	支給額
学用品費	1,565人	17,029,440円		
通学用品費	1,330人	2,822,643円		
校外活動費	1,401人	1,842,384円		
給食費	1,563人	70,464,491円		
新入学学用品費（小１）	34人	1,720,400円		
新入学学用品費（新入学）	163人	8,247,800円		
新入学学用品費（追給額）	189人	1,890,000円		
修学旅行費	258人	5,860,748円	12人	254,520円
医療費	3人	9,260円	13人	357,210円
計		109,887,166円		611,730円

通信運搬費　283,000円、印刷製本費　148,602円

事業名	特別支援教育就学奨励事業費					学校教育課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
7,030,667	3,538,000				3,492,667		7,293,194

特別支援学級等へ在籍する児童生徒に給食費、修学旅行費等の一部を給付し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

特別支援教育就学奨励費支給額　（対象者：176人）

	対象者	支給額
学用品費	176人	1,004,160円
通学用品費	147人	163,876円
校外活動費	161人	104,652円
給食費	175人	4,150,936円
新入学学用品費	29人	1,467,400円
修学旅行費	12人	139,643円
計		7,030,667円

事業名	遠距離通学支援事業費					学校教育課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
4,408,000					4,408,000		4,748,500

通学距離が4km以上の児童に対して、路線バス定期券の交付、タクシーによる輸送を実施し、遠距離通学を行う児童生徒を支援した。

支給状況

		人数	支給額
バス	大河内小学校	22人	636,000円
	南小学校	38人	806,000円
	射和小学校	88人	2,146,000円
	計	148人	3,588,000円
ﾀｸｼｰ	第四小学校	4人	820,000円
計		152人	4,408,000円

事業名	教育振興一般経費					学校教育課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
527,699					527,699		472,603

手数料　122,927円、消耗品費　188,255円　ほか

（款）10教育費　　（項）2小学校費　　（目）3学校建設費

（単位　円）

事業名	小学校給食配膳施設整備事業費					教育総務課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
16,369,667					16,369,667		13,816,440

宮前小学校（飯高中学校）への飯南学校給食センターからの配送が新たに令和元年9月開始となるため、受け入れる宮前小に配膳室等の整備を行った。

手数料	55,000円	機械警備機器増設手数料
工事請負費	16,214,667円	宮前小学校給食配膳室整備他工事
備品購入費	100,000円	軽量棚ほか

事業名	第三小学校校舎大規模改造事業費					教育総務課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
121,381,817	25,250,000		91,000,000		5,131,817		―

第三小学校の校舎は、昭和50年3月建築で老朽化が著しいほか、肢体不自由児が在籍する中、エレベーターがないという状況にあり、バリアフリーの推進及び教育環境の改善を図るため、校舎の大規模改造を実施する。令和元年度は、第三小学校校舎大規模改造工事（第3期）を実施した。

消耗品費	6,017円	
手数料	191,160円	機械警備機器移設業務ほか
工事請負費	121,184,640円	第三小学校校舎大規模改造工事（第3期）

(款) 10教育費　　(項) 3中学校費　　(目) 1学校管理費

(単位　円)

事業名	中学校施設管理運営事業費					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
212,042,821				5,412,847	206,629,974	207,343,921

中学校11校の運営及び維持管理等に要する経費を支出した。主な経費としては光熱水費、消耗品費、非常勤職員賃金といった学校運営に要する経費や修繕料、各種業務委託といった維持管理に要する経費を支出した。

共済費　3,004,218円
賃金　18,349,328円　(非常勤職員賃金及び通勤費用)
需用費　105,134,604円
(消耗品費　35,858,684円　光熱水費　50,097,780円　修繕料　16,451,701円　ほか)
役務費　4,681,760円　(通信運搬費　3,186,055円　手数料　1,495,705円)
委託料　25,512,024円
(施設維持管理等委託料　22,161,104円　その他の委託料　3,350,920円　ほか)
使用料及び賃借料　30,810,640円　(借上料　30,407,405円　使用料　403,235円)
原材料費　2,210,692円
備品購入費　21,921,055円
負担金　418,500円

令和元年5月1日現在　学校数　11校　生徒数　3,870人

学校名	学級数	生徒数	学校名	学級数	生徒数	学校名	学級数	生徒数
殿町中	15学級	392人	東部中	10学級	249人	三雲中	16学級	486人
鎌田中	13学級	379人	大江中	2学級	13人	飯南中	4学級	100人
久保中	22学級	676人	西中	15学級	408人	飯高中	3学級	51人
中部中	20学級	623人	嬉野中	16学級	493人	計	136学級	3,870人

事業名	中学校施設整備事業費					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
127,617,849			85,800,000		41,817,849	46,498,320

中学校施設の維持修繕工事を行い、教育環境の整備に努めた。

消耗品費　49,868円
修繕料　14,215,181円

学校名	事業内容	事業費
殿町中学校	エレベーター戸開走行保護装置設置取付	1,650,000円
飯南中学校		
殿町中学校	駐車場舗装他修繕	4,675,000円
久保中学校	体育館ガラリ修繕	935,000円
久保中学校	防球ネット改修	993,740円
東部中学校		
中部中学校	屋外給水管修繕	815,441円
中部中学校	テニスコートフェンス修繕	660,000円
三雲中学校	グラウンドフェンス修繕	1,296,000円
三雲中学校	投てき場フェンス設置修繕	698,500円
三雲中学校	グラウンドバックネット修繕	1,501,500円
飯南中学校	校舎・体育館雨漏り修繕	990,000円
計		14,215,181円

手数料　192,500円　嬉野中外壁アスベスト調査ほか

委託料　　16,285,800円

学校名	事業内容	事業費
殿町中学校	校舎等耐力度調査	4,220,700円
久保中学校	作業室改築工事設計	2,122,200円
久保中学校	校舎耐力度調査	2,594,900円
久保中学校	消火配管調査	495,000円
嬉野中学校	校舎等耐力度調査	3,800,500円
三雲中学校	外壁改修工事設計	3,052,500円
計		16,285,800円

工事請負費　　94,437,840円

学校名	事業内容	事業費
久保中学校	作業室他改築工事	27,652,900円
久保中学校	外壁改修他工事	21,189,600円
中部中学校	調整池浚渫工事	1,765,500円
西中学校	屋内運動場床改修工事	41,502,240円
飯南中学校	給水設備改修工事	2,327,600円
計		94,437,840円

公有財産購入費　　2,376,000円　　殿町中学校柔道畳

備品購入費　　60,660円　　久保中学校片袖デスクほか

事業名	三重県多気郡多気町松阪市学校組合分担金				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
20,131,000					20,131,000	238,169,000

多気町松阪市学校組合に係る分担金を交付し、組合運営及び教育施設の充実を図った。工事分については、多気中学校校舎が築50年以上経過し、経年による老朽化が著しいため、平成29～令和3年度で教育環境の改善を図るため、校舎の改築を実施する。
令和元年度の工事分は、学校施設環境改善交付金の交付決定があったため、全額繰り越すこととなった。

[松阪市分分担金]20,131,000円　[多気町分分担金]77,622,000円　全体分担金額97,753,000円

内訳

区　　分	通　常　分	工　事　分	合　　計
平等割（20%）	9,775,000円	0円	9,775,000円
生徒数割（40%）	8,409,000円	0円	8,409,000円
世帯数割（40%）	11,378,000円	0円	11,378,000円
普通交付税算入調整分	△9,431,000円	0円	△9,431,000円
計	20,131,000円	0円	20,131,000円

事業名	中学校トイレ改修事業費				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
52,500,960	13,473,000		37,000,000		2,027,960	25,222,320

鎌田中学校外4校の校舎内及び体育館のトイレの洋式化等を行った。

工事請負費

学校名	事業内容	事業費
鎌田中学校	鎌田中学校トイレ改修工事	6,375,240円
西中学校	西中学校外1校トイレ改修工事	26,406,000円
殿町中学校		
嬉野中学校	嬉野中学校外1校トイレ改修工事	19,719,720円
三雲中学校		
計		52,500,960円

事業名	中学校空調設備整備事業費（繰越分）				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
283,310,822	61,014,000		209,900,000		12,396,822	―

小中学校45校の普通教室等への空調設備整備を行った。（中学校10校）

委託料　15,909,916円

モニタリング支援業務委託　1,296,750円

松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業実施設計業務委託　53,660,162円

内、中学校空調設備整備事業費分　14,613,163円

平成30年度（前払分）　4,383,947円

令和元年度　10,229,216円

松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業工事監理委託　22,997,212円

内、中学校空調設備整備事業費分　6,262,786円

平成30年度（前払分）　1,878,836円

令和元年度　4,383,950円

工事請負費　267,400,906円

松阪市立小中学校空調設備整備DBO事業施工業務　1,638,987,480円

内、中学校空調設備整備事業費分　445,081,075円

平成30年度（前払分）　177,680,169円

令和元年度　267,400,906円

事業名	中学校ブロック塀等対策事業費（繰越分）				教育総務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
34,495,360	6,972,000				27,523,360	―

公共施設ブロック塀等実態調査により、確認された経年劣化等の伴うコンクリートブロック塀・正門等の撤去及びフェンス、正門等の設置を行った。

工事請負費　34,495,360円

学校名	事業内容	事業費
殿中学校	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	10,494,360円
殿中学校	コンクリートブロック正門撤去及び設置	2,266,000円
中部中学校	コンクリートブロック塀撤去及びフェンス設置	21,735,000円
計		34,495,360円

(款) 10教育費　　(項) 3中学校費　　(目) 2教育振興費

(単位　円)

事業名	要保護及び準要保護児童生徒援助事業費					学校教育課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
93,020,188	489,000				92,531,188		87,530,139

給食費、修学旅行費等支払うことが困難な家庭に対して、就学援助費を給付し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

就学援助費支給額

	準要保護者（対象者：793 人）		要保護者（対象者：20人）	
	対象者	支給額	対象者	支給額
学用品費	791人	17,077,553円		
通学用品費	516人	1,119,163円		
校外活動費	562人	1,273,328円		
給食費	784人	38,241,678円		
新入学学用品費（中1）	13人	720,300円		
新入学学用品費（新入学）	270人	15,498,000円		
新入学学用品費（追加支給）	256人	2,560,000円		
修学旅行費	254人	15,344,884円	15人	882,100円
医療費	0人	0円	5人	133,240円
計		91,834,906円		1,015,340円

通信運搬費　111,568円、印刷製本費　58,374円

事業名	特別支援教育就学奨励事業費					学校教育課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
4,481,063	1,376,000				3,105,063		3,691,489

特別支援学級等へ在籍する児童生徒に給食費、修学旅行費等の一部を給付し、保護者の経済的負担の軽減を図った。

特別支援教育就学奨励費支給額　（対象者：68人）

	対象者	支給額
学用品費	68人	763,465円
通学用品費	44人	49,313円
校外活動費	49人	56,105円
給食費	67人	1,681,935円
新入学学用品費	24人	1,377,600円
通学費	0人	0円
修学旅行費	19人	552,645円
計		4,481,063円

事業名	遠距離通学支援事業費					学校教育課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
324,000					324,000		396,000

通学距離が6km以上の生徒に対して、路線バス定期券等を交付し、遠距離通学を行う生徒を支援した。

支給状況

	人数	支給額
中部中学校	4人	324,000円

事業名	教育振興一般経費					学校教育課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,003,021					1,003,021	1,067,053

手数料 320,967円、使用料及び賃借料（入場料） 453,398円 ほか

（款）10教育費　（項）3中学校費　（目）3学校建設費

（単位　円）

事業名	鎌田中学校校舎改築事業費					教育総務課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,581,569,444	265,072,000		1,114,800,000		201,697,444	311,755,562

鎌田中学校の校舎は、昭和33年12月と昭和36年5月に建設され、平成9年度に耐震補強工事を実施しているものの老朽化が著しく、教育環境の改善を図るため校舎の改築を実施する。令和元年度は、鎌田中学校校舎改築工事を実施した。

報償費　317,440円
旅費　253,100円
消耗品費　7,019,038円　カーテン、生徒用図書ほか
修繕料　328,800円　ガス本支管撤去修繕
通信運搬費　3,160円
手数料　400,430円　校舎改築に伴うルータスイッチ設定変更ほか
委託料　44,575,440円
　鎌田中学校校舎改築工事監理業務委託　契約額　47,952,000円
　　平成30年度（前払分）　14,385,600円
　　令和元年度　33,566,400円
　鎌田中学校移転業務委託　3,850,000円　ほか
使用料　3,500円
工事請負費　1,438,601,948円
　鎌田中学校校舎改築工事（建築）契約額　1,893,260,600円
　　平成30年度（前払分）　756,138,240円
　　令和元年度　1,137,122,360円
　鎌田中学校校舎改築工事（電機設備）契約額　210,053,700円
　　平成30年度（前払分）　83,376,000円
　　令和元年度　126,677,700円
　鎌田中学校校舎改築工事（機械設備）契約額　292,584,960円
　　平成30年度（前払分）　117,783,072円
　　令和元年度　174,801,888円
備品購入費　89,472,988円　教室机椅子ほか
負担金　593,600円　給水分担金ほか

(款) 10教育費　　(項) 4幼稚園費　　(目) 1幼稚園管理費

(単位　円)

事業名	幼稚園管理運営事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
339,413,898				23,350,423	316,063,475	323,915,901

公立幼稚園21園（うち3園は休園）の正規職員の不足に伴う補充や職員の産休・育休・病休の代替として非常勤職員を雇用する経費及び管理運営に要する経費を支出した。また、「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」に基づき、保育園・幼稚園の今後についての意見交換会を開催した。

(令和2年3月1日現在)

非常勤職員種別	人数	非常勤職員種別	人数
園長	13人	病休代替講師	0人
正規補充講師	33人	預かり保育担当	4人
正規補充養護助教諭	3人	幼稚園生活アシスタント	46人
育休代替講師	12人	正規補充労務員	16人
産休代替講師	0人	計	127人

(令和元年5月1日現在)

幼稚園名	園児数	幼稚園名	園児数	幼稚園名	園児数	幼稚園名	園児数
鎌田幼稚園	50人	掃水幼稚園	33人	松江幼稚園	81人	中原幼稚園	38人
伊勢寺幼稚園	51人	花岡幼稚園	78人	山室幼稚園	19人	三雲北幼稚園	63人
阿坂幼稚園	15人	松尾幼稚園	54人	豊地幼稚園	31人	三雲南幼稚園	93人
港幼稚園	28人	射和幼稚園	43人	中川幼稚園	120人	計(18園)	889人
西黒部幼稚園	36人	大石幼稚園	11人	豊田幼稚園	45人		

保育園・幼稚園の今後についての意見交換会【大石地区】

開催回	開催日	開　催　場　所	参加者	参加者人数
第1回	平成31年4月18日	大石地区防災センター	大石幼稚園保護者	10人
第2回	平成31年4月19日	大石地区市民センター	みなみ保育園保護者	11人
第3回	平成31年4月24日	大石地区市民センター	市民一般	33人

今後の保育園・幼稚園等を考える会【大石地区】

開催回	開催日	会議名	会議内容	参加者人数
第1回	令和元年6月17日	大石地区における今後の保育園・幼稚園等を考える会	認定こども園について	10人
第2回	令和2年2月14日	大石地区における今後の保育園・幼稚園等を考える会	認定こども園について	12人

認定こども園プロジェクト会議【飯南・飯高地区】

開催回	開催日	会議名	会議内容	参加者人数
第1回	平成31年4月15日	認定こども園プロジェクト 代表者会議	・すり合わせ事項の内容検討（比較表について） ・今後の予定	11人
第2回	平成31年4月22日	認定こども園プロジェクト 全体会議	・内容検討（運営、行事・カリキュラム、保健・衛生給食）	32人
第3回	令和元年5月23日	認定こども園プロジェクト 代表者会議	・行事、フッ化物洗口について ・研修会、保護者説明について	8人
第4回	令和元年5月23日	認定こども園プロジェクト 全体会議	・各部会からの報告 ・比較表の内容検討	34人
第5回	令和元年6月12日	認定こども園プロジェクト 代表者会議	・給食について ・飯南・飯高3園の行事	19人
第6回	令和元年6月26日	認定こども園プロジェクト 全体会議	・比較表の内容検討 ・水筒の持参について	32人
第7回	令和元年7月8日	認定こども園プロジェクト 代表者会議	・比較表の字句チェック	16人
第8回	令和元年7月22日	認定こども園プロジェクト 代表者会議	・比較表最終確認 ・今後の予定（地域説明等）	16人
第9回	令和元年8月2日	やまなみ保育園 保護者説明会	・比較表の説明、質疑応答	14人 （内保護者7人）
第10回	令和元年8月6日	飯南ひまわり保育園 保護者説明会	・比較表の説明、質疑応答	15人 （内保護者10人）
第11回	令和元年8月8日	飯南たんぽぽ保育園 保護者説明会	・比較表の説明、質疑応答	16人 （内保護者11人）

認定こども園プロジェクトメンバー【飯南・飯高地区】

保育園長　13人・保育園副園長　4人・保育園主任　3人・保育園労務員　3人
幼稚園園長　3人・幼稚園主任　3人・こども未来課職員　11人　　計40人

認定こども園プロジェクト代表者メンバー【飯南・飯高地区】

保育園長　6人・幼稚園園長　3人・こども未来課職員　7人　　計16人
（内容により 保育園労務員　3人・こども未来課職員　4人）

認定こども園プロジェクト会議【大石地区】

第1回	令和元年7月29日	認定こども園プロジェクト 代表者会議	・メンバーの選出 ・今後の予定	13人
第2回	令和元年8月23日	認定こども園プロジェクト 代表者会議	・今後の進め方	13人
第3回	令和元年9月6日	認定こども園プロジェクト 全体会議	・今後の予定	42人
第4回	令和元年10月31日	認定こども園プロジェクト 代表者会議	・視察について	10人
第5回	令和元年11月25日	「津みどりの森こども園」視察	―	10人
第6回	令和2年1月31日	認定こども園プロジェクト 代表者会議	・視察報告 ・今後の進め方	10人
第7回	令和2年1月31日	認定こども園プロジェクト 全体会議	・視察報告 ・今後の進め方	38人
第8回	令和2年3月13日	認定こども園プロジェクト 代表者会議	・講演会について ・部会について	10人

認定こども園プロジェクトメンバー【大石地区】
保育園長　5人・保育園副園長　10人・保育園主任　4人・保育園労務員　3人
幼稚園園長　5人・幼稚園主任　13人・こども未来課職員　11人　計51人

認定こども園プロジェクト代表者メンバー【大石地区】
保育園長　4人・幼稚園園長　4人・こども未来課職員　7人　計15人

事業名	幼稚園施設整備事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,681,223					21,681,223	11,546,280

幼稚園施設の維持修繕工事を行い、教育環境の整備に努めた。松江幼稚園では西棟側（職員室側）部分の柱・梁取替等を行った。また、鎌田幼稚園では平成31年4月からの3歳児保育開始に伴い、園児が増加したことから教材置場、トイレ等の改修を行った。

幼稚園名	事業内容	事業量	事業費	事業費内訳 工事費等
松江幼稚園	西棟側（職員室側）部分柱梁取替	上屋撤去、アルミテラス設置等	21,681,223	6,252,120
鎌田幼稚園	教材置場、テラス改修 手洗い設置等	ウッドデッキ 床、壁、照明等改修（教材置場） 手洗い(6人用) 1基		7,390,440
	トイレ改修設計業務			922,983
	園児用小便器、大便器 大人用大便器（洋式） 手洗い設置等	園児用小便器、大便器　各3基 大人用大便器　1基 シャワーパン、清掃用流し（SK）各1基 手洗い(2人用) 1基		7,055,400
花岡幼稚園	下水道受益者負担金			60,280
計			21,681,223	21,681,223

事業名	公立幼稚園等施設型給付事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						—

平成27年度から施行された子ども･子育て支援新制度に伴い、松阪市に居住する1号認定子どもが、松阪市外の公立幼稚園や公立認定こども園を利用した場合に施設に支給する必要がある施設型給付費を計上したが、対象者がなかった。

事業名	副食材料費負担金				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,955,564					3,955,564	—

令和元年10月から開始された幼児教育・保育の無償化に伴い、市立幼稚園に通う市民税所得割額77,101円未満世帯の子ども及び小学校3年生以下の子どもから数えて3人目以降の子どもの副食材料費を免除し、免除者分の食材料費が不足する給食費会計に対して補てんを行った。
対象児童　延1,022人(令和元年10月～令和2年3月：6か月)

(款) 10教育費　　(項) 4幼稚園費　　(目) 2私立幼稚園費

(単位　円)

事業名	子育てのための施設等利用給付事業費				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
27,773,390	16,167,330	6,465,000			5,141,060	—

令和元年10月から開始された幼児教育・保育の無償化に伴い創設された制度で、市内の幼児が子ども・子育て支援新制度に移行していない幼稚園を利用した場合、1人当たり月額25,700円を上限として、設置者に対して支給した。また保育を必要とする幼児が私立幼稚園の預かり保育等を利用する場合、1日あたり450円、月額11,300円を上限として、保護者に対して支給した。

幼稚園利用料

利用施設	延給付対象児童数	支給額
梅村幼稚園	969人	24,884,940円
のべの幼稚園(津市)	85人	2,165,450円
大川幼稚園(津市)	12人	308,400円
神宮五十鈴川幼稚園(伊勢市)	6人	72,000円
宇部フロンティア大学付属幼稚園(山口県宇部市)	1人	15,900円
計	1,073人	27,446,690円

預かり保育料

利用施設	延給付対象児童数	支給額
梅村幼稚園	69人	233,550円
のべの幼稚園(津市)	10人	65,700円
大川幼稚園(津市)	4人	27,450円
計	83人	326,700円

事業名	私立幼稚園就園奨励費補助金				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,481,400	3,160,000				6,321,400	29,586,500

子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園に在園する園児(松阪市に住所を有する)の保護者に対し、設置者が保育料等を減免した場合、当該設置者に対し補助を行った。令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が始まったことにより、対象期間は平成31年4月～令和元年9月までとなった。(補助対象園4園：市内1園・市外3園)

対象園

幼稚園名	補助金額	対象人数	幼稚園名	補助金額	対象人数
梅村幼稚園	8,847,800円	141人	神宮五十鈴川幼稚園(伊勢市)	31,100円	1人
のべの幼稚園(津市)	592,100円	9人	知立幼稚園(知立市)	10,400円	1人
			計	9,481,400円	152人

事業名	私立幼稚園振興補助金				こども未来課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
282,350					282,350	516,445

子ども・子育て支援新制度に移行していない市内の私立幼稚園の運営に要する費用のうち、園児の内科及び歯科検診の実施に伴う経費の一部を補助した。(補助対象園：市内1園)

対象園

幼稚園名	補助金額
梅村幼稚園	282,350円

事業名	私立幼稚園等施設型給付事業費					こども未来課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
73,303,398	24,277,821	22,765,224			26,260,353		3,957,210

平成27年度から施行された子ども･子育て支援新制度に伴い、新制度に移行した私立幼稚園や私立認定こども園（市外の同施設を含む）を松阪市に居住する1号認定子どもが利用した場合、施設に対し施設型給付費を支給した。なお、令和元年度からまつさか幼稚園が新制度へ移行している。
（給付対象園6園：市内1園・市外5園）

幼稚園名	認定児童	支給額
まつさか幼稚園	119人	68,803,592円
ルーテル二葉認定こども園（津市）	1人	1,129,944円
NOBENOこども園（津市）	1人	851,410円
津こども園（津市）	1人	362,452円
ぼだいじこども園（津市）	1人	504,940円
暁の星認定こども園（伊勢市）	2人	1,651,060円
計	125人	73,303,398円

事業名	実費徴収に係る補足給付事業費					こども未来課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
207,675	103,838	103,837					―

令和元年10月から開始された幼児教育・保育の無償化に伴い、子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園に通う市民税所得割額77,101円未満世帯の子ども及び小学校3年生以下の子どもから数えて3人目以降の子どもの副食材料費を支払った保護者に対し補助を行った。
対象児童　延84人（令和元年10月～令和2年3月：6か月）

(款) 10教育費　　(項) 5社会教育費　　(目) 1社会教育総務費

(単位　円)

事業名	教育集会所管理運営事業費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,390,337					2,390,337	2,482,666

教育集会所施設12館の維持管理運営経費

事業名	教育集会所施設整備事業費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6,413,000				6,413,000		—

従来より地域の集会施設として活用されていた久保二町会教育集会所について、平成30年9月に上陸した台風21号の強風により、施設の屋根部分が破損した。平成30年度中は屋根部分の応急処置を行ったが、今後、台風等が上陸する度に破損部分より被害が悪化し、周辺住民に影響する可能性があるので、地域自治会と協議の上、解体を行った。

事業名	ＰＴＡ連合会運営費補助金				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
877,000					877,000	777,000

PTA連合会が実施する研修会や講演会、広報啓発活動等の事業に対し補助することにより、PTA活動の振興と充実に努めた。

事業主体	事業費	市補助金	成果
松阪市 PTA連合会	4,862,334	877,000	PTA相互の連携を図り、園児・児童・生徒の健全な育成に寄与する事業を開催した。(「保護者と教職員の語る会」トーク21、家庭教育部講演会、進路フェスタ等)

事業名	社会教育一般経費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,900,343					1,900,343	1,767,879

内部管理経費

需用費　617,773円、役務費　493,030円、使用料及び賃借料　270,540円

報酬　259,000円、負担金・補助及び交付金　260,000円

(款) 10教育費　　(項) 5社会教育費　　(目) 2公民館費

(単位　円)

事業名	生涯学習振興事業費					生涯学習課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
12,761,452				296,148	12,465,304	12,921,885

各公民館において、生涯学習を振興し、家庭や地域の教育力の向上と活力あるコミュニティづくりを推進するため、多様な定期講座や子育て支援の講座などを開催した。

	講座数	開催延日数	受講者延数	施設数
本庁管内	372講座	550日	15,233人	26施設
嬉野管内	192講座	338日	5,349人	7施設
三雲管内	143講座	440日	5,183人	5施設
飯南管内	27講座	102日	1,125人	1施設
飯高管内	71講座	341日	3,964人	6施設
計	805講座	1,771日	30,854人	45施設

事業名	公民館管理運営事業費					生涯学習課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
130,177,249				1,681,367	128,495,882	130,974,080

公民館施設の適正な管理運営を推進した。

共済費　6,523,042円、賃金　41,912,009円、需用費　12,703,244円、役務費　2,744,792円、委託料　6,614,551円、使用料及び賃借料　19,587,276円、備品購入費　699,935円

報酬　39,360,000円、旅費　32,400円

事業名	公民館施設整備事業費					生涯学習課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
50,146,917			8,800,000		41,346,917	11,814,667

鎌田中学校校舎内に第四公民館を移設し、公民館の課題を解消しつつ、コミュニティスクールや学校教育を通じて、地域の将来を担う人材の育成、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図った。小野江公民館については設計業務を行い、住民のニーズに柔軟に応えられるような公民館づくりを目指した。また生涯学習センター発電機不良修繕と豊地公民館駐車場街路灯修繕と中川コミュニティセンター空調設備更新工事を行い安全に公民館活動が行えるよう環境の整備を行った。

第四公民館移転にかかる費用　4,075,077円

消耗品費　99,127円、委託料　82,500円、備品購入費　3,893,450円

小野江公民館建築工事設計　16,057,800円（委託料）

生涯学習センター発電機不良修繕　1,705,000円

豊地公民館駐車場街路灯修繕　1,430,000円

中川コミュニティセンター空調設備更新工事　26,879,040円（工事請負費）

事業名	三雲・天白公民館移転事業費					生涯学習課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
171,817,507			25,300,000	123,469,300	23,048,207	4,114,476

平成30年度に上陸した台風の影響及び施設の老朽化等により使用禁止となった三雲・天白公民館の移転を行うための実施設計、解体工事・移転工事等を行った。

需用費　1,050,195円、役務費　103,500円、委託料　5,542,372円、工事請負費　164,105,700円
備品購入費　1,015,740円

実施設計委託料：4,091,472円
工事監理委託料：1,298,000円
その他委託料：152,900円（インターネット回線移設業務委託）
三雲・天白公民館解体工事請負費：75,049,700円
三雲・天白公民館移設工事請負費：89,056,000円

事業名	中川コミュニティセンター管理運営事業費					生涯学習課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,142,788				542,900	4,599,888	4,835,833

中川コミュニティセンターの適正な管理運営を推進した。

共済費　3,719円、賃金　1,335,455円、需用費　2,309,707円、役務費　130,956円、
委託料　1,288,500円、使用料及び賃借料　74,451円

事業名	生涯学習センター管理運営事業費					生涯学習課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
16,496,004				800,375	15,695,629	16,729,261

生涯学習センターの適正な管理運営を推進した。

共済費　2,625円、賃金　907,107円、需用費　9,618,016円、役務費　225,438円、
委託料　4,187,991円、使用料及び賃借料　1,554,827円

（款）10教育費　　（項）5社会教育費　　（目）3図書館費

（単位　円）

事業名	図書館管理運営事業費					生涯学習課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
157,086,120					157,086,120	156,001,050

指定管理者制度により、図書館業務の効率化を推進し、住民サービスの向上を図った。

報酬　161,000円、委託料　139,057,840円、使用料及び賃借料　17,625,280円、
備品購入費　242,000円

	貸出冊数	貸出者数	蔵書数	登録者累計
松阪図書館	629,340冊	183,762人	277,411冊	68,544人
嬉野図書館	238,825冊	54,436人	143,436冊	
三雲図書室	10,701冊	4,953人	18,581冊	3,250人
計	878,866冊	243,151人	439,428冊	71,794人

スタッフ、ボランティア団体等による絵本の読み聞かせ、おはなし会、親子ふれあい講座等を開催し、家庭教育力の向上を図った。計131回開催（スタッフおはなし会は除く）

特別行事

松阪図書館：図書館見学15回、おはなし会11回開催
嬉野図書館：図書館見学9回、おはなし会11回開催

事業名	学校読書室等支援事業費					生涯学習課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
25,666,273				1,566,096	24,100,177	19,281,103

市内小中学校に司書を配置し、読書室の環境整備や地域ボランティアの育成などを行い、子どもたちの読書活動を活性化させることで、市図書館の利用拡大や家庭での読書活動の充実を図った。
また、地理的に松阪・嬉野図書館を利用しにくい飯高地域において学校を活用した飯高地域開放型図書館を開館し、司書を派遣することで、地域における読書活動の充実を図った。

松阪市立中学校10校及び小学校31校、飯高地域開放図書館3館を定期的に巡回
派遣回数：中学校週2回、小学校月1回程度、飯高地域開放型図書館週1回
年間派遣回数：中学校808回、小学校341回、 学校読書室支援センター408回、
飯高地域開放型図書館103回　計1,660回
調べる学習コンクールの開催
応募総数　81点（小学校の部　75点、中学校の部　5点、子どもと大人の部　1点）
表彰状授与式（R1.11.27　松阪市松阪図書館2階講座室）受賞作品　17点

共済費　606,845円、賃金　3,699,303円、役務費　82,404円、委託料　19,766,587円、
使用料及び賃借料　316,100円、備品購入費　1,195,034円

(款) 10教育費　　(項) 6保健体育費　　(目) 1学校保健体育費

(単位　円)

事業名	結核対策事業費					学校教育課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
156,328					156,328		135,638

結核精密検査、問診票の配付などの結核対策を実施し、集団感染の防止を図った。

胸部X線検査受診者数　50人（小学校　35人、中学校　15人）

事業名	児童・生徒の健康診断事業費					学校教育課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
49,897,236					49,897,236		50,407,313

学校保健安全法の規定により学校医45人、歯科医師43人、薬剤師36人に委嘱し、健康診断、健康相談、保健指導、疾病の予防処置、感染症の予防、歯に関する健康診断、環境衛生検査、薬品等に関し必要な指導及び助言等により児童生徒の健康増進を図った。

耳鼻科検診、眼科検診、心臓検診、尿検査の実施により、疾病の予防、児童・生徒の健康増進を図った。

検査名	対象	人数
耳鼻咽喉科・眼科検診	小1、小5、中1	4,114人
尿検査（1次・2次）	小、中	12,834件
心臓検診（心電図）	小1、小4、中1	4,092人
就学時健康診断（内科）	就学前児童	1,230人
就学時健康診断（歯科）	就学前児童	1,230人

事業名	学校職員健康診断事業費					学校教育課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
9,310,526					9,310,526		8,784,160

学校職員の健康診断を実施し、健康増進を図った。

検査名	人数
健康診断	910人
人間ドック指導区分判定	547人
B型肝炎検査	50人
胃部X線検査	233人

事業名	スポーツエキスパート活用事業費					学校教育課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
618,300					618,300		670,150

中学校運動部活動の指導に外部指導者12人を活用し、生徒への技術指導及び運動部顧問への指導等を行い、運動部活動の充実を図った。

事業名	学校プール夏季休業中管理運営補助金					学校教育課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,263,200					1,263,200	1,485,100

児童の体力つくりなどのため、夏季休業中の小学校のプールをPTAに貸与し、運営費として補助金を交付した。

実施PTA学校数	29校
実施日数	213日
延参加児童数	11,073人

事業名	松阪市学校保健会補助金					学校教育課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
148,016					148,016	150,513

学校保健の充実と振興を図るための研修会や勉強会等の開催を奨励し、園児・児童・生徒の健康保持増進を図るため補助金を交付した。

事業名	日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金					学校教育課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
11,504,480				3,808,040	7,696,440	11,804,215

学校管理下で発生した災害に対して医療費等を保護者に支払うことにより保護者の負担軽減を図った。

小学校　8,719人、中学校　3,877人　計　12,596人

事業名	学校水泳民間プール施設活用事業費					学校教育課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,095,120					1,095,120	803,563

老朽化した学校プールに代わって民間プールを活用することで、指導面・施設面での質の向上と、管理面・財政面での負担軽減を図った。

事業名	学校保健体育一般経費					学校教育課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
14,034,251					14,034,251	13,951,458

学校プール薬品、学校環境衛生検査の実施、検診に使用する保健備品（視力検査器、体重計等）の購入などにより学校保健の充実を図った。

消耗品費　6,475,077円、備品購入費　1,402,869円、手数料費　1,234,440円

分担金・負担金1,815,339円　ほか

三重県学校保健会分担金	213,639円
三重県中学校体育連盟負担金	1,044,900円
松阪地区中学校体育連盟負担金	541,800円
よい歯のコンクール表彰記念品分担金	15,000円

(款) 10教育費　　(項) 6保健体育費　　(目) 2学校給食費

(単位　円)

事業名	学校給食単独調理場管理運営事業費				給食管理課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
173,972,570				283,060	173,689,510	175,394,482

安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、本庁管内24小学校単独調理場において、円滑な調理業務の実施と衛生管理の徹底を図った。

区　　分	支出額
非常勤調理員等共済費	15,485,546円
非常勤調理員等賃金	96,856,097円
給食施設及び設備の維持管理費	25,586,981円
消耗品費	9,075,676円
ガス代等燃料費	9,887,332円
光熱水費	2,947,715円
修繕料	2,402,154円
切手代等通信運搬費	46,834円
検便等手数料	1,227,270円
調理の迅速化、能率化のための委託	34,074,242円
給食用リフト保守点検業務委託	2,985,360円
米飯加工委託	28,264,101円
食缶洗浄・残飯処理委託等	2,824,781円
給食調理済食品及び原材料の保存委託	1,969,704円

事業名	学校給食単独調理場施設整備事業費				給食管理課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,000,160					2,000,160	1,678,320

山室山小学校における給食室床の防滑工事により、作業能率の向上を図った。

区　　分	支出額
給食室床改修工事（山室山）	2,000,160円

事業名	学校給食単独調理場備品等整備事業費				給食管理課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,437,155					4,437,155	3,504,124

調理備品の更新等を行い、本庁管内24小学校単独調理場における作業能率及び衛生管理の向上を図った。

区　　分	支出額
給食用什器の更新等による食環境の改善	1,879,211円
給食備品設置工事による作業能率の向上	1,583,280円
給湯設備設置工事（山室山）	1,583,280円
給食備品購入による作業能率の向上	974,664円
冷蔵庫（第三）	248,600円
移動台3台（幸）	118,800円
運搬車（山室山）	50,400円
その他、洗濯機・上皿ばかり等	556,864円

事業名	学校給食センター管理運営事業費					給食管理課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
189,918,276				70,115	189,848,161	123,352,944

安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、嬉野学校給食センター、三雲学校給食センター、飯南学校給食センター、飯高学校給食センター（宮前調理場・森調理場）において、円滑な調理業務の実施と衛生管理の徹底を図った。

9月より北部学校給食センターが稼働し、宮前調理場管内（飯高中、宮前小）を飯南学校給食センターからの配送を開始し、より安全でおいしい学校給食の提供を目指した。

区　　分		支出額
運営委員会委員報酬		85,000円
非常勤調理員等共済費		4,507,919円
非常勤調理員等賃金		31,136,304円
給食施設及び設備の維持管理費		20,571,284円
	消耗品費	4,271,756円
	ガス代等燃料費	4,086,470円
	光熱水費	5,958,395円
	修繕料	3,677,622円
	電話代等通信運搬費	509,586円
	検便等手数料	1,373,546円
	自動車損害保険料	76,660円
	使用料及び賃借料	531,549円
	自動車重量税	85,700円
調理の迅速化、能率化のための委託等		128,647,603円
	警備業務委託	465,600円
	浄化槽保守点検委託	1,007,596円
	消防施設保守管理委託	78,044円
	給食用リフト保守点検業務委託	700,050円
	害虫駆除作業委託	25,920円
	北部学校給食センター維持管理委託	12,387,735円
	ボイラー定期点検委託	205,200円
	北部学校給食センター運営委託	102,706,773円
	厨房機器点検委託等	2,346,308円
	食缶洗浄・残飯処理委託等	2,585,842円
	米飯加工委託	6,138,535円
モニタリング業務委託		4,400,000円
給食調理済食品及び原材料の保存委託		570,166円

事業名	学校給食センター備品等整備事業費					給食管理課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
17,059,989					17,059,989	27,450,671

北部学校給食センターの稼働や飯南学校給食センターの配送範囲の拡大により、配膳ワゴンやコンテナ、食缶等の更新を行い、学校給食センター管内における作業能率及び衛生管理の向上を図った。

区　　分		支出額
給食用什器の更新等による食環境の改善		2,925,106円
蒸気配管更新工事（飯南）		5,328,720円
給食備品購入による作業能率の向上		8,806,163円
	配膳ワゴン（北部）	2,041,200円
	給食用コンテナ（飯南）	2,293,920円
	給食用食缶等（飯南）	4,154,760円
	その他、ホワイトボード・掃除機等	316,283円

事業名	学校給食センター解体事業費					給食管理課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
89,678,433				4,446,000	85,232,433	―

北部学校給食センター完成により、嬉野学校給食センターと三雲学校給食センターの解体工事を行った。また、飯高学校給食センター宮前調理場を飯南学校給食センターへの統合に伴い宮前調理場の解体工事を行った。

区　　分	支出額
嬉野学校給食センター解体	37,746,500円
三雲学校給食センター解体	47,264,800円
宮前調理場解体	4,667,133円

事業名	学校給食センターベルランチ管理運営事業費					給食管理課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
194,184,659				11,520	194,173,139	157,006,513

安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、学校給食センターベルランチにおいて、円滑な調理業務の実施と衛生管理の徹底を図った。また、幼稚園の3歳児給食開始に伴い、ベルランチからの配送先を5園から本庁管内全12園に拡大し、幼稚園に合わせた調理やアレルギー室における除去食対応を行うことができた。

区　　分		支出額
非常勤調理員等共済費		892,371円
非常勤調理員等賃金		5,302,995円
給食施設及び設備の維持管理費		4,697,087円
	消耗品費	2,038,012円
	公用車ガソリン代等燃料費	165,204円
	修繕料	1,314,324円
	電話代等通信運搬費	412,647円
	検便等手数料	374,253円
	使用料及び賃借料	392,647円

調理の迅速化、能率化のための委託等		183,058,599円
	清掃委託	1,193,940円
	警備委託	112,488円
	排水処理点検業務委託	166,100円
	エレベーター・小荷物昇降機・給食用リフト保守管理業務委託	1,583,460円
	空調設備保守管理業務委託	969,000円
	電気保安業務委託	776,952円
	貯水槽清掃委託	132,000円
	害虫駆除作業委託	32,400円
	ボイラー定期点検委託	1,265,490円
	自動扉開閉装置点検委託	218,000円
	厨房機器点検委託	1,103,760円
	貯湯槽点検整備委託	309,960円
	草刈委託	217,031円
	調理及び配送業務委託	172,693,782円
	一般廃棄物・食品残渣処理委託	2,195,136円
	その他、蒸気配管等調査点検業務委託	89,100円
給食調理済食品及び原材料の保存委託		233,607円

事業名	北部学校給食センター建設事業費					給食管理課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,105,604,640			1,050,300,000		55,304,640		686,190,960

北部学校給食センターは、平成30年7月に建設工事を着手し、令和元年8月に完成、翌9月から嬉野・三雲地域の幼稚園4園と小学校8校、中学校2校に給食の提供を開始できた。

工事監理業務委託料（精算払分）（（株）浦野設計　三重支社）

16,200,000円のうち、11,340,000円

建設工事請負費（精算払分）（徳倉建設・北村組・中西製作所特定建設工事共同企業体）

1,732,705,560円のうち、1,094,264,640円

区　　分	支出額
工事監理業務委託料（精算払分）	11,340,000円
建設工事請負費（精算払分）	1,094,264,640円

（款）10教育費　　（項）6保健体育費　　（目）3社会体育振興費

（単位　円）

事業名	スポーツ推進委員活動事業費					スポーツ課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,420,662					2,420,662		2,511,345

各地域より選出　任期　2年（平成31年4月1日～令和3年3月31日）委員数　58人

市主催大会や地域のスポーツ事業の開催、住民に対するスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導及び助言を行い、スポーツの推進に努めた。
令和元年度は、三重県津市で行われた全国スポーツ推進委員研究協議会において、県内各市町のスポーツ推進委員とともに会場設営や分科会等の運営を行った。
また、三重県スポーツ推進委員研究大会においては、14年に一度の松阪大会を開催し、三重県、三重県スポーツ推進委員協議会とともに講演会と実技指導を企画から運営まで行い松阪版ラジオ体操と松阪市スポーツ推進委員が考案したCCリングの普及、啓発を行った。

全国スポーツ推進委員研究協議会（三重県津市）令和元年11月14日（木）～15日（金）13人
東海四県スポーツ推進委員研究大会（静岡県浜松市）令和2年2月14日（金）～15日（土）10人
三重県スポーツ推進委員研究大会（松阪市）令和元年12月8日（日）29人

報酬　1,443,500円

事業名	全国大会等出場派遣支援事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
4,991,792				4,991,792		5,110,234

各種全国大会や国際大会に出場する個人・団体を対象に激励金を交付するとともに、スポーツの各種競技大会で優秀な成績を収めた選手に対し、スポーツ賞、スポーツホープ賞、スポーツ大賞を授与し競技者の向上心を高め、トップ選手の育成に努めた。

全国大会や国際大会で優勝又は準優勝した11個人、5団体については、JR松阪駅前に横断幕を掲げ活躍を祝うとともに、広く市民等に周知した。

全国大会等参加激励金内訳

	件数	参加人員
団　体	37件	214人
個　人	81件	239人
計	118件	453人

スポーツ賞の授与

	件数・人員	備　　考
団　体	6団体	団体　スポーツ賞　6、スポーツホープ賞　0 個人　スポーツ賞　10、スポーツホープ賞　11 スポーツ賞の中からスポーツ大賞1件を選考し表彰した。 受賞種目 ソフトテニス・日本拳法・空手道・レスリング・陸上競技・ボディビル・近代二種競技・近代三種競技・近代五種競技・ダンス・ソフトボール・バレーボール・野球・ドッジボール・K-1
個　人	21人	

事業名	スポーツ大会等運営事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
3,152,050				3,152,050		2,524,379

生涯を通じて健康で充実した生活を営むことができるよう、幅広い年齢層の市民により、多くのスポーツに参加する機会を提供することを目的に、市長杯20種目22大会をはじめ様々なスポーツ大会等を開催した。（第4回「市長杯」学童軟式野球大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）また、幼児期からのスポーツへの関心を高める取組みとしてキッズコーディネーショントレーニングを開催した。（参加者：幼児とその保護者60組120人）

市長杯等スポーツイベント事業

種目	開催日	参加人員	会場
第29回「市長杯」松阪市ママさんバレーボール大会（春季）	H31.4.7	120人 (11チーム)	さんぎんアリーナ
第30回「市長杯」松阪市ママさんバレーボール大会（秋季）	R1.11.24	100人 (8チーム)	さんぎんアリーナ
第4回「市長杯」ソフトテニス大会（シニア）	R1.10.13	50人	中部台テニスコート
第1回「市長杯」ソフトテニス大会（中学）	R1.8.24	314人	中部台テニスコート
松阪市児童水泳記録会	R1.8.19	192人	松阪公園プール
第15回「市長杯」ソフトバレーボール大会	R1.10.13	205人 (45チーム)	さんぎんアリーナほか

第15回「市長杯」松阪市グラウンドゴルフ大会	R1.10.20	281人	松阪市総合運動公園
第15回「市長杯」卓球大会	R2.2.1 R2.2.2	386人 259人	さんぎんアリーナ
第4回「市長杯」日本拳法大会	H31.4.21	112人	松阪牛の里オーシャンファーム武道館
第4回「市長杯」ゲートボール大会	R1.5.4	119人	松阪地区広域衛生センター
第4回「市長杯」少年サッカー大会	R1.5.5 R1.5.6	130人 (10チーム)	松阪市総合運動公園
第4回「市長杯」バスケットボール大会	R1.10.13 R1.10.14 R1.10.20	251人 (18チーム)	さんぎんアリーナほか
第4回「市長杯」テニス大会	R1.7.28 R1.8.4 R1.8.11	212人	中部台テニスコートほか
第4回「市長杯」小学生バレーボール大会	R2.2.23	180人 (16チーム)	さんぎんアリーナほか
第4回「市長杯」学童軟式野球大会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
第4回「市長杯」柔道大会	R1.9.8	285人	松阪牛の里オーシャンファーム武道館
第4回「市長杯」ソフトボール大会	R1.11.3	90人 (6チーム)	松阪市ソフトボール場
第4回「市長杯」ゴルフ大会	R1.9.26	83人	西日本セブンスリーゴルフクラブ
第4回「市長杯」ふれあいスポーツ大会	R2.1.19	105人 (25チーム)	嬉野体育センター
第3回「市長杯」アーチェリー大会	R1.8.25	25人	松阪市総合運動公園
第1回「市長杯」ボウリング大会	R1.8.25	22人	サンパークボウリング場
第1回「市長杯」カヌー大会	R1.9.1	30人	櫛田川
第1回「市長杯」フットサル大会	R1.10.20	50人	アスキーフットサルパーク松阪

地域振興局管内におけるスポーツイベント事業

地域	種目	実施日	参加人員	会場
嬉野	第29回ふれあいフェスティバル	R1.7.29	178人	西日本セブンスリーゴルフクラブ
	なめり湖健康ウォーキング	R1.11.17	216人	なめり湖周辺
三雲	松阪市シャフルボード大会inみくも	R1.6.30	80人	ハートフルみくもスポーツ文化センター
	松阪市スカットボール大会inみくも	R1.9.1	29人	ハートフルみくもスポーツ文化センター
飯南	ジョギング大会in茶倉	R1.10.20	203人	リバーサイド茶倉周辺
	市民駅伝飯南大会	R1.12.15	83人	飯南管内全域

その他委託事業

種目	実施日	参加人員	会場
レクリエーション フェスティバル	R2.1.13	180人	子ども支援研究センター
グラウンドゴルフ大会	R1.9.7	73人	高須町グラウンドゴルフ場
音楽を楽しもう	R1.10.5	61人	みえこどもの城2階

事業名	シティマラソン事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,000,000				8,000,000		8,000,000

松阪シティマラソンは、市民の体力づくりと健康保持増進のための身近なイベントであるとともに、沿道の地域住民やたくさんのボランティアに協力いただき、全国各地からランナーが集まる松阪市最大のスポーツイベントである。令和2年度から三重県唯一となるフルマラソン「みえ松阪マラソン」に一新することから、第15回大会は、ファイナルと銘打ち、定員を4,500人（1,500人増）とし、また、「みえ松阪マラソン」の先行エントリーの権利を付与する等により、過去最高の4,339人のエントリーがあった。残念ながら新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止としたが、「みえ松阪マラソン」の開催につなげる取組みとなった。

（年代別参加申込者数）　単位：人

年代	計	男	女
10歳未満	41	19	22
10歳代	267	187	80
20歳代	387	261	126
30歳代	742	561	181
40歳代	1,224	911	313
50歳代	1,078	814	264
60歳代	454	347	107
70歳代	133	87	46
80歳代	13	10	3
計	4,339	3,197	1,142

（種目別参加申込者数）　単位：人

種目	計	男	女
ハーフ	2,619	2,240	379
5km	957	585	372
3km	435	256	179
ウオーキング	328	114	214
計	4,339	3,195	1,144

事業名	フルマラソン準備事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
21,501,399					21,501,399	1,190,620

三重県唯一のフルマラソン大会「みえ松阪マラソン」を開催するため、実行委員会を設立し、フルマラソン開催準備にかかる経費を負担した。

事業名	市体育協会加盟団体育成強化補助金					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,849,000					1,849,000	1,849,000

松阪市体育協会加盟の種目団体活動の推進や指導者講習会などの開催支援を行い、団体の組織強化により、市全体のスポーツ振興を図ることができた。加盟団体数　30団体

事業名	スポーツ少年大会等補助金					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
743,000				743,000		659,820

松阪市スポーツ少年団種目別交流大会5種目及び嬉野剣道大会、県下で開催される三重県スポーツ少年団交流大会への参加支援により、青少年へのスポーツ振興と健全育成に寄与した。

参加者　2,777人

事業名	スポーツ少年団補助金					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,817,780					2,817,780	2,719,286

各地域において活動するスポーツ少年団の活動を支援することにより、低年齢からの体力づくりと健康増進を図り、青少年の健全育成に寄与した。
松阪市スポーツ少年団登録数　50団　　指導者　208人　団員　1,112人

事業名	総合型地域スポーツクラブ推進事業補助金					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
400,000					400,000	400,000

国のスポーツ基本計画に基づき、会員が受益者負担のもと運営する総合型地域スポーツクラブの円滑な事業活動への支援を行った。幼児から参加ができる教室を含め16教室（2教室増）が開催され、多くの方が様々なスポーツに参加できる機会を提供することができた。

まつさかTAIKYOスポーツクラブ　スポーツ教室の開催　16教室　447人　参加

事業名	三重県市町対抗駅伝大会事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
1,300,000				1,300,000		1,300,000

「第13回美し国三重市町対抗駅伝」は、三重県庁前から三重交通Gスポーツの杜伊勢までの10区間42.195kmを、小学生から一般までの10人がタスキをつなぐ29市町対抗の駅伝大会であり、松阪市も代表選手を選考し、オープン参加含め2チームが大会に出場した。また、大会周知を図るとともに、沿道に松阪市の応援拠点を設け、太鼓による応援などで大会の盛り上げを行った。

成績は総合7位　市の部6位。選手選考から合同練習会（6日）、大会当日までに多くの人々がこの大会に関わり、選手の育成とともに市民のスポーツに対する意識高揚を図ることができた。

開催日　R2.2.16（日）

事業名	第７６回国民体育大会準備事業費					国体推進室
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,519,307				8,519,307		5,087,916

「三重とこわか国体」「三重とこわか大会」の開催に向け、大会を成功に導くために必要な開催準備を行った。

負担金　7,928,310円、使用料及び賃借料　304,560円、消耗品費　235,959円、燃料費　50,478円

負担金内訳	内容
第76回国民体育大会松阪市準備委員会 （三重とこわか国体・三重とこわか大会松阪市実行委員会へ改組） 負担金　6,952,309円	【会議の開催】 第1回準備委員会常任委員会：R1.5.17　委員47人 第3回準備委員会総会：R1.5.17　委員147人 第1回実行委員会総会：R1.5.17　委員141人（準備委員会から改組） 第1回実行委員会常任委員会：R1.11.20　委員47人 第1回総務企画専門委員会：R1.8.23　専門委員21人 第2回総務企画専門委員会（書面決議※）　専門委員21人 第1回競技式典専門委員会（書面決議※）　専門委員12人 第1回輸送交通専門委員会（書面決議※）　専門委員17人 第1回宿泊衛生専門委員会（書面決議※）　専門委員13人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面にて決議 【イベントでの啓発】 R1.6.9歯と口腔の健康まつり、R1.8.3嬉野おおきんまつり、R1.9.15健康フェスティバル、R1.10.27健康体操大会、R1.11.24松阪牛まつり、R2.1.5アピタ松阪三雲店松阪デー、R2.2.23武四郎まつりにて、三重とこわか国体・三重とこわか大会啓発グッズの配布、缶バッジの作成等の啓発活動を行った。 【その他イベント】 ・666日前イベント：R1.11.29市内6か所に横断幕を掲出。卓上カウントダウンボードを教育委員会入口に設置 ・600日前イベント：R2.2.8Honda鈴鹿硬式野球部による野球教室を開催 ・555日前イベント：R2.3.19国体啓発ネックストラップ着用開始 【先催地視察、事業概要説明会への出席】 ・燃ゆる感動かごしま国体リハーサル大会の視察：H31.4月、R1.7月 ・全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技大会の視察：R1.8月 ・いきいき茨城ゆめ国体の視察：R1.9月、10月 ・水戸市など3市町の説明会に出席：R1.12月、R2.1月 【競技会場設計業務】 三重とこわか国体松阪市開催競技会場等実施設計業務委託 （県補助金　616,000円）

三重とこわか国体・三重とこわか大会多気町・松阪市実行委員会（負担割合1／2） 負担金　976,001円	【会議の開催】 第2回総会：R1.5.17　委員61人 【イベントでの啓発】 R1.11.10おいないまつり及び松阪市実行委員会の参加イベントにて、三重とこわか国体・三重とこわか大会啓発グッズの配布、缶バッジの作成等の啓発活動を行った。 【カヌー体験会の開催】 R1.5.6須原親水広場（25人）、R1.7.10相可小学校（50人）、R1.8.25櫛田川（36人）にて、松阪市カヌー協会とカヌー体験会を開催し、カヌーと国体の啓発活動を行った。 【先催地視察】 ・東海ブロック大会の視察：R1.5月 ・燃ゆる感動かごしま国体リハーサル大会の視察：R1.8月 ・いきいき茨城ゆめ国体の視察：R1.10月 【競技会場設計業務】 令和元年度三重とこわか国体カヌー競技会場設計業務委託 （県補助金　15,097,000円）

事業名	体育振興一般経費				スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,496,574				3,069	2,493,505	2,499,369

非常勤職員賃金　1,024,650円

各種協会への分担金等　497,595円

三重県体育施設協会、（公財）三重県体育協会

公用車リース借上料　324,000円　ほか

（款）10教育費　（項）6保健体育費　（目）4体育施設費

（単位　円）

事業名	体育施設管理運営事業費				スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
19,646,052				1,732,042	17,914,010	19,843,778

竹輝銅庵モーモースタジアム、嬉野グラウンド、雲出川河川敷グラウンド、飯南グラウンド、東部テニスコート、嬉野体育センター、飯南体育センター、波留運動公園など体育施設の管理運営を行った。

嬉野体育施設指定管理委託料　10,797,056円

施設管理委託料　3,227,692円

光熱水費　1,125,568円　ほか

利用状況

施設名	利用者数	施設名	利用者数
竹輝銅庵モーモースタジアム	12,029人	嬉野体育センター	26,166人
嬉野グラウンド	12,465人	飯南体育センター	5,678人
雲出川河川敷グラウンド	3,448人	波留運動公園施設	500人
飯南グラウンド	2,590人		
東部テニスコート	4,024人	計	66,900人

事業名	体育施設整備事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
138,404,804			110,800,000	2,756,000	24,848,804	19,679,760

ハートフルみくもスポーツ文化センター天井改修工事　110,892,100円

竹輝銅庵モーモースタジアムグラウンド補修工事　2,361,700円

飯高B&G海洋センター天井材撤去他工事　5,893,800円

松阪公園プール塗装改修工事　5,042,400円

竹輝銅庵モーモースタジアム看板取替工事　1,299,084円　ほか

利用者への安全安心確保のため、ハートフルみくもスポーツ文化センター、竹輝銅庵モーモースタジアムグラウンド、飯高B&G海洋センター、松阪公園プールの補修等を行い、事故等の防止に努めた。

事業名	松阪公園プール管理運営事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
17,295,707				1,773,630	15,522,077	18,270,905

7月1日から8月31日まで松阪公園プールを開設し、住民の健康づくり、また夏季休業期間中の子どもの体力づくりに努めた。（7月1日のみ無料開放を実施）

開設日数　60日

光熱水費　2,886,253円

修繕料　1,343,622円

（松阪公園プールろ過機配管取替修繕　243,000円　ほか）

プール監視管理業務委託料　11,378,880円　ほか

松阪公園プール利用状況

	H30	R1	前年比
中学生以上	2,656人	2,204人	△452人
小学生以下	3,032人	2,943人	△89人
団体	40人	156人	116人
免除	2,321人	1,457人	△864人
計	8,049人	6,760人	△1,289人

事業名	阪内川スポーツ公園管理運営事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
28,885,260				5,518,599	23,366,661	28,380,881

松阪牛の里オーシャンファーム武道館、多目的グラウンドなどの管理運営を行った。

公園維持管理委託料　22,894,765円

光熱水費　1,987,771円

修繕料　1,617,032円

（阪内川グラウンド時計修繕　451,872円　ほか）

多目的グラウンド補修工事 1,532,300円　ほか

阪内川スポーツ公園利用状況

施設名		件数	人数
武道館	第一道場	373件	13,443人
	第二道場	366件	5,439人
	第三道場	2,224件	5,888人
	会議室	207件	2,114人
多目的グラウンド		405件	9,602人
テニスコート		2,064件	8,633人
ゲートボール場		226件	1,681人
計		5,865件	46,800人

事業名	阪内川スポーツ公園施設整備事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
60,336,100			60,200,000		136,100	32,365,440

利用者の安全安心確保のため、耐震対策として武道館の天井改修工事を行い、事故等の防止に努めた。

松阪牛の里オーシャンファーム武道館天井改修工事　60,336,100円

(款) 10教育費　　(項) 6保健体育費　　(目) 5中部台運動公園施設費

(単位　円)

事業名	中部台運動公園施設管理運営事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
96,868,565				19,133,974	77,734,591	100,800,873

自然環境、教養文化に対する意識を高め、文化活動の場、また家族の憩いの場、各団体のスポーツ・レクリエーションの場として施設の管理運営を行った。

光熱水費　9,551,914円
　電気料金　6,405,716円
　水道料金　3,146,198円
使用料及び賃借料　1,052,189円
　AED借上料　160,208円
　自動車借上料　587,513円
　体育館個人年間使用券管理システム借上料
　　288,268円
　コピー機借上料　16,200円

中部台運動公園利用状況

施設名		人数
さんぎんアリーナ	体育館	34,421人
	武道室	2,168人
	卓球室	9,623人
	トレーニング室	13,700人
中部台テニスコート		37,066人
流水プール		12,693人
ソフトボール場		7,468人
計		117,139人

賃金及び賃金共済費　9,237,790円
消耗品費　1,672,224円、修繕料　2,651,441円（さんぎんアリーナ男子トイレ修繕1,243,137円 ほか）
委託料　68,991,923円

区　分	事業内容	事業費
公園芝生管理委託	芝生管理業務	21,666,480円
公園内樹木管理委託	樹木管理業務	7,834,400円
流水プール管理委託	プール管理業務	12,396,240円
施設清掃委託	運動公園内清掃業務	5,091,000円
施設警備委託	夜間休日の常駐、機械警備業務	6,798,598円
猿舎清掃業務委託	施設管理運営業務	3,949,638円
草刈等事業運営委託	事業運営業務	6,578,762円
その他	施設管理運営業務	4,676,805円
計		68,991,923円

原材料費　574,630円　ほか

事業名	中部台運動公園施設整備事業費					スポーツ課
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
36,062,400					36,062,400	1,188,000

利用者への安全安心確保のため、さんぎんアリーナ（松阪市総合体育館）排煙装置、中部台運動公園機関車上屋、松阪市流水プール管理棟の改修等を行い、事故等の防止に努めた。

工事請負費　36,062,400円
　さんぎんアリーナ（松阪市総合体育館）排煙装置改修工事　7,927,700円
　中部台運動公園機関車上屋改修工事　8,769,200円
　松阪市流水プール管理棟改修工事　17,871,700円
　その他　1,493,800円

(款) 10教育費　　(項) 6保健体育費　　(目) 6スポーツ文化センター費

(単位　円)

事業名	スポーツ文化センター管理運営事業費				スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
24,114,560				122,700	23,991,860	23,944,932

ハートフルみくもスポーツ文化センター各施設の管理運営を行った。

指定管理委託料　23,871,000円

修繕料　217,800円　　ほか

(ハートフルみくも渡廊下アスファルト修繕　134,200円　ほか)

ハートフルみくもスポーツ文化センター利用状況

施設名	件数	人数
パターゴルフ	68件	686人
テニスコート	835件	2,628人
アスレチックジム	2,527件	15,117人
会議室	224件	9,285人
アリーナ	421件	7,713人
イベント広場	9件	1,205人
芝生広場他	1件	180人
計	4,085件	36,814人

(款) 10教育費　　(項) 6保健体育費　　(目) 7海洋センター費

(単位　円)

事業名	海洋センター管理運営事業費				スポーツ課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,979,899				299,631	5,680,268	7,226,162

飯高B&G海洋センターの管理運営を行った。また、プールの開設やバドミントン大会・ビーチボールバレーリーグ戦の大会開催等により住民の健康づくり、体力づくりに努めた。

プールは7月20日から8月31日まで開設し、新たにカヌー教室やカヌースラローム大会を開催し、住民の健康づくりとともに、夏季休業期間中の子どもの体力づくりに努めた。

非常勤職員賃金　2,413,614円

消耗品費　410,745円

光熱水費　1,055,456円

修繕料　445,184円

(飯高B&G海洋センター２階ガラス取替修繕　83,484円ほか)

委託料　715,214円　ほか

飯高B&G海洋センター利用状況

施設	有料	無料	計
体育館	1,914人	779人	2,693人
プール	694人	191人	885人
計	2,608人	970人	3,578人

(款) 10教育費　　(項) 7青少年教育費　　(目) 1青少年育成費

(単位　円)

事業名	青少年健全育成事業費					生涯学習課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
6,759,522					6,759,522		6,585,387

行政と市民会議及び各地区健全育成会が一体となり、家庭・学校・地域が連携して、講演会・街頭啓発・環境浄化活動等の青少年健全育成事業を実施した。
また、青少年の指導、育成に関する総合的施策の適切な実施を期するため青少年問題協議会を開催し、必要な関係機関相互の連絡調整を図った。

青少年育成のつどい講演会の開催

RAMOトーク＆ライブ　～知ろうとするより感じてほしい～

(R1.10.31 農業屋コミュニティ文化センター　参加人員　431人　利用者満足度調査　87%)

市内22育成会でそれぞれの地域にあった育成活動を委託

5支部（松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高）からなる松阪市青少年育成市民会議に市の青少年育成活動の一部を委託

青少年問題協議会委員報酬（対象者　5人、1回開催）

青少年問題協議会の開催

(R2.2.20 教育委員会事務局2階教育委員会室 出席委員　9人)

内容：SNS等に起因する犯罪被害の現状と対策

事業名	新成人のつどい開催事業費					生涯学習課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
458,955					458,955		524,142

地域の未来を担う新成人が、自立と自覚の節目となるように、「新成人のつどい」を開催した。

新成人による実行委員で式典を企画・運営（恩師からのビデオメッセージ、懐かしクイズ、抽選会等を実施）

(R2.1.12　クラギ文化ホール　参加人員　1,311人　実行委員会　6回開催)

事業名	こどもまつり事業費					生涯学習課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,030,492					2,030,492		1,968,559

実行委員会に参画する各ボランティア団体等が、ブースやイベントを提供し、子どもたちが家族や友達と1日楽しく過ごすことができる催し物を提供した。当日は晴天に恵まれ、たくさんの親子連れ等が来場した。
(H31.4.21　中部台運動公園芝生広場　参加人員　23,000人)

事業名	子ども会連合会補助金					生涯学習課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
294,000					294,000		294,000

子ども会組織の連携づくりや情報交換、研修会、親子行事等に対する支援を行い、青少年の心身ともに健やかな青少年を育成することを目的に補助した。

事業名	交付先	金額	事業内容及び成果等
子ども会連合会補助金	松阪市子ども会連合会	294千円	球技大会、キャンプ、自然観察会、オセロ大会、ジュニアリーダー研修会等を行い、地域子ども会の充実発展と連絡調整、指導者・育成者の研修養成を図った。

事業名	放課後子ども教室推進事業費					生涯学習課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
2,127,500		1,418,000			709,500		2,126,400

すべての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点を設け、地域住民の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを実施した。

放課後子どもプラン運営委員会委員報酬（対象者　7人、1回開催）

放課後子どもプラン運営委員会の開催

（R2.3.17 教育委員会事務局2階教育委員会室　出席委員　10人）

内容：「松阪市放課後子どもプラン（案）」及び「新・放課後子ども総合プラン」に基づく松阪市行動計画の改訂について

松阪子どもの居場所づくり実行委員会ほか3団体に委託　　延参加人員　3,149人

事業名	青少年センター運営事業費					生涯学習課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
12,229,075				29,388	12,199,687		12,343,961

補導活動により非行化する恐れのある少年を早期に発見し、青少年の健全育成活動に努めるとともに、環境浄化活動などを実施した。
また、青少年センター運営協議会を開催し、活動報告や活動計画を審議し補導活動のあり方と青少年の非行防止対策等について協議した。

青少年センター職員、補導委員延1,580人で青少年の補導活動（482回）を実施した。

青少年センター運営協議会委員報酬（対象者　4人、1回開催）

青少年センター運営協議会の開催

（R2.3.23 教育委員会事務局2階教育委員会室　出席委員　8人）

内容：令和元年度青少年センター活動結果及び令和2年度活動計画について

（款）10教育費　　（項）7青少年教育費　　（目）2堀坂山の家施設費

（単位　円）

事業名	堀坂山の家管理運営事業費					生涯学習課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
196,508					196,508		244,025

平成23年度をもって青少年宿泊研修施設としての機能を閉じている「堀坂山の家」の施設維持管理を行った。

(款) 10教育費　　(項) 7青少年教育費　　(目) 3放課後児童健全育成費

(単位　円)

事業名	放課後児童クラブ活動事業費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,860,066				5,360	5,854,706	5,572,094

保護者の就労等により家庭で保育できない児童に対して適切な遊び及び生活の場を提供し、健全な育成を図るため、設置された放課後児童クラブの運営等に係る経費。
各クラブの施設修繕や維持管理を行い、環境整備に努めると共に、キャリアアップ処遇改善研修や補助金研修等を開催し、放課後児童支援員の資質向上及び処遇改善に努めた。

共済費　292,063円
賃金　1,788,000円
消耗品費　147,554円
施設設備修繕料　2,986,366円
通信運搬費　71,924円
手数料　3,800円
浄化槽保守管理業務委託料　46,200円
その他委託料　479,137円
備品購入費　45,022円
キャリアアップ処遇改善研修　必修研修6回　選択研修6回　開催

事業名	放課後児童クラブ施設整備事業費				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
93,237,840	9,155,000	9,155,000	61,700,000		13,227,840	―

小野江小学校区放課後児童クラブは、旧幼稚園舎を利用してきたが、利用児童数の増加及び施設の老朽化に対処するため、小学校敷地内に専用施設を新築した。また、射和小学校区放課後児童クラブは、民家を借用し保育を実施してきたものの、学校から離れており、児童の安全を図るため、空き教室を改修することにより、クラブの専用施設とした。
専用施設を建設または改修することで更に多くの利用希望者を受け入れることができた。

事業内容	事業費	事業費内訳	
		工事費	委託料
小野江小学校区放課後児童クラブ施設改築工事 場所：松阪市小野江町355番地 小野江小学校敷地内 面積：164.79㎡	69,736,980円	64,997,900円	設計業務委託 3,430,080円 工事監理業務委託 1,309,000円
射和小学校区放課後児童クラブ施設改修工事 場所：松阪市射和町282番地4 射和小学校敷地内 面積：74.58㎡	22,775,560円	21,175,000円	設計業務委託 1,600,560円
花岡小学校区放課後児童クラブ下水道接続工事 場所：松阪市大黒田町757番地 花岡小学校敷地内	707,300円	707,300円	

小野江小学校区放課後児童クラブ改築工事　建築許可申請手数料　18,000円

事業名	放課後児童クラブ活動事業補助金					生涯学習課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
259,224,570	106,225,000	91,917,000			61,082,570		216,573,976

市内36小学校区のうち33校区にある38カ所の放課後児童クラブの安定した運営のため、保護者会にその運営費を補助し、児童に適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図った。

区分	名　　称 （交　付　先）	補助金額	年間開設日数	児童数
本庁	第一よいほキッズクラブ （第一よいほキッズクラブ保護者会）	8,291,121円	252日	31人
	サン・ガーデン （サン・ガーデン保護者会）	7,942,712円	252日	34人
	だいよんのびのびクラブ （だいよんのびのびクラブ保護者会）	8,645,168円	256日	35人
	だいよんのびのびクラブそらぐみ （だいよんのびのびクラブ保護者会）	3,386,620円	222日	13人
	第五ときわっ子 （第五ときわっ子保護者会）	8,746,574円	257日	30人
	第五ときわっ子Jr. （第五ときわっ子保護者会）	8,204,721円	257日	23人
	さいわいこどもクラブ （幸小学校区放課後児童クラブ保護者会）	10,281,281円	251日	36人
	さいわい第二こどもクラブ （さいわいこどもクラブ保護者会）	10,446,309円	251日	36人
	松江放課後倶楽部（1） （松江放課後倶楽部父母の会）	8,359,614円	253日	24人
	松江放課後倶楽部（2） （松江放課後倶楽部父母の会）	3,558,265円	229日	24人
	おかげさん家 （おかげさん家保護者会）	3,323,500円	234日	29人
	みなとこどもクラブ （みなとこどもクラブ保護者会）	9,665,920円	276日	25人
	ひがしくろべ楽童 （ひがしくろべ楽童保護者会）	5,331,240円	252日	17人
	あさみきっずくらぶ （あさみきっずくらぶ保護者会）	7,638,485円	261日	33人
	はたどのきっずくらぶ （はたどのきっずくらぶ保護者会）	6,015,475円	261日	12人
	ていすい子どもハウス （ていすい子どもハウス保護者会 「ていすいおとな組」）	6,337,879円	252日	30人
	こいしろキッズクラブ （こいしろキッズクラブ保護者会）	3,143,680円	236日	14人
	花岡キッズハウス （花岡キッズハウス保護者会「花岡おとな組」）	10,403,542円	250日	44人
	まつおキッズクラブ （まつおキッズクラブ父母の会）	7,589,250円	252日	33人
	いざわっこくらぶ （いざわっこくらぶ保護者会）	4,533,402円	252日	19人
	南どんぐりっ子クラブ （南どんぐりっ子クラブ保護者会）	2,599,510円	235日	12人

	ひかりっこ広場 （ひかりっこ広場保護者会）	8,473,984円	250日	37人
	とくわアフタークラブ （とくわアフタークラブ保護者会）	8,018,217円	263日	35人
	第2とくわアフタークラブ （とくわアフタークラブ保護者会）	5,895,327円	255日	32人
嬉野	豊地こどもクラブ （豊池こどもクラブ保護者の会）	8,263,962円	279日	43人
	わかすぎこどもクラブ （中川小学校区放課後児童クラブ保護者会）	8,435,953円	250日	40人
	すぎのここどもクラブ （中川小学校区放課後児童クラブ保護者会）	8,031,330円	250日	29人
	なかがわこどもクラブ （中川小学校区放課後児童クラブ保護者会）	9,660,485円	250日	31人
	なかがわ第二こどもクラブ （中川小学校区放課後児童クラブ保護者会）	9,157,424円	250日	27人
	豊田キッズクラブ （豊田キッズクラブ保護者会）	2,563,150円	233日	13人
	中原キッズクラブ （中原キッズクラブ保護者の会）	7,259,311円	250日	31人
三雲	天白KIDSきらりクラブ （天白KIDSきらりクラブ保護者会）	7,732,716円	251日	42人
	第2天白KIDSきらりクラブ （天白KIDSきらりクラブ保護者会）	4,775,360円	251日	32人
	よねっこ学童クラブ （よねっこ学童クラブ保護者会）	2,686,418円	231日	13人
	かささぎキッズクラブ （かささぎキッズクラブ親の会）	5,927,674円	285日	19人
	小野江元気っ子クラブ （小野江元気っこクラブ父母の会）	5,431,854円	256日	39人
飯南	飯南放課後児童クラブ「いいねっこ」 （飯南放課後児童クラブ親の会）	8,391,035円	252日	29人
飯高	スマイルキッズ （スマイルキッズ保護者会）	4,076,102円	238日	31人
計38か所		259,224,570円		1077人

［平成30年度の放課後児童クラブ活動事業費から一部216,573,976円を分割］

事業名	青少年教育費国県支出金返還金				生涯学習課	
決算額	財源内訳					【参考】 前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
17,710,000					17,710,000	5,630,000

平成30年度子ども・子育て支援交付金の精算による返還金

国庫支出金	子ども・子育て支援交付金（放課後児童健全育成事業）	8,855,000

平成30年度地域子ども・子育て支援交付金の精算による返還金

県支出金	地域子ども・子育て支援交付金（放課後児童健全育成事業）	8,855,000

(款) 11災害復旧費　(項) 1農林水産業施設災害復旧費 (目) 1農地等災害復旧費

(単位　円)

事業名	農地等災害復旧事業費				農村整備課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,741,200				100,650	2,640,550	11,002,500

令和元年10月12日の台風19号で被災した農地の復旧を行った。

重機借上料　1,734,700円 (7件)

市単独災害復旧事業　1,006,500円 (農地　4件)

工事名	工事内容	工事費
飯南町深野田災害復旧工事	畦畔復旧工 N=1式	297,000円
飯南町粥見畑災害復旧工事	畦畔復旧工 N=1式	242,000円
飯南町上仁柿畑災害復旧工事	畦畔復旧工 N=1式	170,500円
飯高町粟野畑災害復旧工事	畦畔復旧工 N=1式	297,000円

(款) 11災害復旧費　(項) 1農林水産業施設災害復旧費 (目) 2林業施設災害復旧費

(単位　円)

事業名	林業施設災害復旧事業費				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
38,057,840		5,594,000	1,500,000		30,963,840	38,003,908

令和元年6月2日の降雨、令和元年6月27日～28日にかけての台風3号、令和元年7月26日～28日にかけての台風6号、令和元年8月14日～16日にかけての台風10号、令和元年9月21日～23日にかけての台風17号、令和元年10月11日～12日にかけての台風19号及び平成30年9月3日～5日にかけての台風21号により被災した林道・作業道等の復旧に伴う工事や、測量設計、バックホウ等の重機借上、生コンクリート等の原材料を支給することで被災箇所の復旧を行った。

区分	事業内容	事業費	事業内訳			
			委託料	借上料	原材料	工事費
測量業務委託	測量設計業務 2路線2か所L=81m	294,600	294,600			
小計 (委託)		294,600	294,600			
事業用重機	51路線73か所 崩土除去、路面整正 水路土砂撤去等	20,632,840		20,632,840		
小計 (借上料)		20,632,840		20,632,840		
林道波留相津線(1号箇所)災害復旧工事	復旧延長L=36m 現場吹付法枠工A=810.5㎡ モルタル吹付工A=30.0㎡	7,430,400				7,430,400
林道三峰局ヶ岳線(1号箇所)災害復旧工事	復旧延長L=48m 補強土壁工A=320.3㎡ 法面工A=290.0m㎡	9,700,000				9,700,000
小計 (工事)		17,130,400				
合計		38,057,840				

事業名	林業施設災害復旧事業費（繰越分）				林業振興課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
87,104,460		72,400,000	8,700,000		6,004,460	101,388,240

平成30年9月3日～5日にかけての台風21号、平成30年9月30日～10月1日にかけての台風24号及び、平成29年10月22日～10月23日にかけての台風21号により被災した林道・作業道等の復旧に伴う工事費

区分	事業内容	事業費	事業内訳		
			工事費		
林道三峰局ヶ岳線(1号箇所)災害復旧工事	復旧延長L=48m 補強土壁工A=320.3㎡ 法面工A=290.0㎡	31,664,400	31,664,400		
林道波留相津線(1号箇所)災害復旧工事	復旧延長L=36m 現場吹付法枠工A=810.5㎡ モルタル吹付工A=30.0㎡	23,149,480	23,149,480		
林道水ヶ平線（1号箇所）災害復旧工事	復旧延長L=17m 吹付法枠工A=139.3㎡ モルタル吹付工A=91.7㎡	12,952,440	12,952,440		
林道飯高北奥線(1号箇所)災害復旧工事	復旧延長L=27m 補強土壁工A=161.2㎡	19,338,140	19,338,140		
計		87,104,460	87,104,460		

(款) 11災害復旧費　(項) 2公共土木施設災害復旧費　(目) 1道路橋りょう災害復旧費

(単位　円)

事業名	道路橋りょう災害復旧事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
419,880					419,880	14,570,922

台風3号及び豪雨（令和元年6月27日～28日）による災害

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
月出線	254,880	254,880			

台風19号及び豪雨（令和元年10月12日）による災害

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
矢下線	165,000	165,000			

事業名	道路橋りょう災害復旧事業費（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
5,166,720	2,975,807		1,400,000		790,913	88,863,480

台風12号及び豪雨（平成30年7月28日～30日）による災害

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
矢下線（国災）	2,125,440	2,125,440			

台風24号及び豪雨（平成30年9月29日～10月1日）による災害

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
射和上蛸路線（国災）	3,041,280	3,041,280			

(款）11災害復旧費　（項）2公共土木施設災害復旧費　（目）2河川災害復旧費

（単位　円）

事業名	河川災害復旧事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
595,100					595,100	5,641,920

台風19号及び豪雨（令和元年10月12日）による災害

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
普通河川　久保田川	295,900	295,900			
普通河川　小田川	299,200	299,200			
計	595,100	595,100			

事業名	河川災害復旧事業費（繰越分）				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
9,084,820	5,740,416		2,700,000		644,404	110,837,880

台風24号及び豪雨（平成30年9月29日～10月1日）による災害

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
山村川（国災）	1,311,120	1,311,120			
小谷川（国災）	7,773,700	7,773,700			
計	9,084,820	9,084,820			

(款）11災害復旧費　（項）2公共土木施設災害復旧費　（目）3都市計画施設災害復旧費

（単位　円）

事業名	公園施設災害復旧事業費				土木課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
492,480					492,480	―

豪雨（令和元年7月22日）による災害

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
松阪公園	276,480	276,480			

台風10号及び豪雨（令和元年8月15日）による災害

事　業　内　容	事業費	事業費内訳			
		工事費	委託料	用地・補償	その他
総合運動公園	216,000	216,000			

(款) 12公債費　　(項) 1公債費　　(目) 1元金

(単位　円)

事業名	長期債償還元金				財務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
8,537,586,695					8,537,586,695	5,477,177,470

市債の状況

平成30年度末 現在高	令和元年度末 現在高	増減額
47,683,234,006	47,597,030,311	△ 86,203,695

借入先別利率別市債現在高

借入利率区分	財政融資資金		旧郵政公社資金		地方公共団体金融機構資金		市中銀行	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1.0%未満	143	18,520,215,400	15	327,306,885	9	2,278,627,000	50	14,095,289,667
1.0%以上　2.0%未満	64	3,911,906,487	19	476,999,713	8	197,173,385	9	1,267,052,602
2.0%以上　3.0%未満	22	514,570,287	4	90,486,462	14	135,389,496		
3.0%以上　4.0%未満	4	18,566,449	2	25,886,899	4	17,657,138		
4.0%以上　5.0%未満	2	10,073,946			2	6,062,751		
計	235	22,975,332,569	40	920,679,959	37	2,634,909,770	59	15,362,342,269

借入利率区分	その他の金融機関		共済等				合計	
	件数	金額	件数	金額			件数	金額
1.0%未満	34	4,349,189,423	10	696,820,943			261	40,267,449,318
1.0%以上　2.0%未満	7	310,997,378	6	339,858,000			113	6,503,987,565
2.0%以上　3.0%未満	1	6,900,000					41	747,346,245
3.0%以上　4.0%未満							10	62,110,486
4.0%以上　5.0%未満							4	16,136,697
計	42	4,667,086,801	16	1,036,678,943			429	47,597,030,311

(款) 12公債費　　(項) 1公債費　　(目) 2利子

(単位　円)

事業名	長期債償還利子				財務課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
248,886,383					248,886,383	310,553,716

事業名	一時借入金利子				会計管理課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						—

令和元年度においては一時借入を実施する必要がなかったため実績無

事業名	基金繰替運用利子				会計管理課	
決算額	財源内訳					【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
0						—

令和元年度においては基金繰替運用を実施する必要がなかったため実績無

(款) 14諸支出金　　(項) 1基金費　　(目) 1財政調整基金費

(単位　円)

事業名	財政調整基金積立金					財務課	
決算額	財源内訳						【参考】前年度決算
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1,162,000,000					1,162,000,000		813,000,000

地方財政法第7条第1項に基づく積立金　1,162,000,000円

令和元年度末現在高　8,383,070,546円

特　別　会　計

競 輪 事 業

○ 決算状況　　（単位　円）

収入		支出	
項　目	決 算 額	項　目	決 算 額
1 事業収入	15,881,388,300	1 総務費	246,309,832
1 入場料	1,250,500	2 事業費	15,797,306,436
2 勝者投票券売上金	15,880,137,800	3 公債費	120,246
2 使用料及び手数料	1,037,428	4 予備費	0
3 財産収入	91,295	5 諸支出金	30,000,000
4 繰入金	73,775,000		
5 諸収入	338,143,607		
6 繰越金	440,074,909		
計　（A）	16,734,510,539	計　（B）	16,073,736,514
収益金　（A）－（B）			660,774,025
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			660,774,025

○ 事業収入　15,881,388,300

・ 入場料　　1,250,500

区分	入場料（円）				
	令和元年度				平成30年度
	本場		川越場外	計	
	特観席	サイクル	特観席		
第 1回		54,000	34,000	88,000	142,000
第 2回（ﾐｯﾄﾞ）					122,500
第 3回		80,500	56,000	136,500	120,500
第 4回（ﾐｯﾄﾞ）					92,500
第 5回		83,500	145,000	228,500	249,000
第 6回（GⅡ）		171,500	162,000	333,500	
第 7回		36,500	54,000	90,500	
第 8回		113,000	184,000	297,000	243,800
第 9回（ﾐｯﾄﾞ）					278,000
第10回（ﾐｯﾄﾞ）					338,500
第11回		43,500	33,000	76,500	
第12回					78,000
計		582,500	668,000	1,250,500	1,664,800

区分	入　場　者　数　（人）					
	令和元年度			平成30年度		
	本場	川越場外	計	本場	川越場外	計
第 1回	1,843	1,406	3,249	2,548	2,637	5,185
第 2回（ﾐｯﾄﾞ）				2,328	1,807	4,135
第 3回	1,906	1,498	3,404	2,664	2,440	5,104
第 4回（ﾐｯﾄﾞ）				2,066	2,227	4,293
第 5回	2,608	3,428	6,036	4,893	3,925	8,818
第 6回（GⅡ）	14,248	3,095	17,343			
第 7回	1,629	2,290	3,919			
第 8回	3,881	4,590	8,471	5,224	3,689	8,913
第 9回（ﾐｯﾄﾞ）				7,078	2,693	9,771
第10回（ﾐｯﾄﾞ）				4,858	4,126	8,984
第11回	787	1,430	2,217			
第12回				2,032	1,411	3,443
計	26,902	17,737	44,639	33,691	24,955	58,646

・ 勝者投票券売上金　15,880,137,800

区分	勝　者　投　票　券　売　上　金　（円）					
	令和元年度					平成30年度
	本場	川越場外	電話投票	臨時場外	計	
第 1回	24,297,700	10,486,500	210,399,600	764,217,500	1,009,401,300	771,401,500
第 2回（ﾐｯﾄﾞ）			281,067,000	590,257,000	871,324,000	113,429,500
第 3回	17,887,600	8,019,300	120,597,000	388,889,800	535,393,700	882,305,300
第 4回（ﾐｯﾄﾞ）			283,606,000	602,759,500	886,365,500	398,397,700
第 5回	23,795,400	17,845,200	101,331,900	211,154,700	354,127,200	296,132,100
第 6回（GⅡ）	119,121,100	43,877,100	1,165,183,400	5,217,596,000	6,545,777,600	794,203,700
第 7回	18,600,300	17,285,800	156,270,500	787,944,000	980,100,600	874,800,200
第 8回	39,897,700	30,616,100	239,946,400	746,594,300	1,057,054,500	1,530,791,100
第 9回（ﾐｯﾄﾞ）			300,199,300	779,791,400	1,079,990,700	4,741,066,800
第10回（ﾐｯﾄﾞ）			311,228,800	740,833,000	1,052,061,800	251,385,700
第11回	22,348,700	15,530,800	246,436,800	773,403,600	1,057,719,900	993,864,400
第12回			206,852,800	243,968,200	450,821,000	962,617,000
計	265,948,500	143,660,800	3,623,119,500	11,847,409,000	15,880,137,800	12,610,395,000

総務費

○ 一般職員給　39,324,931（事業運営にかかる職員等の人件費）

○ 総務一般経費　1,856,151（一般管理事務経費）

○ 競輪事業財政調整基金積立金　205,128,750（収益、基金利子の積立金）
（令和元年度末現在高　343,650,749）

事業費

○ 普通競輪開催事業費　9,017,556,299（普通競輪開催にかかる選手賞金や払戻金ほか開催経費総額）

○ 日本競輪選手会三重支部補助金　2,240,000

・ 負担金、補助及び交付金　2,240,000

補助金名称	金額
（一社）日本競輪選手会三重支部選手育成事業補助金	2,160,000
全日本プロ選手権自転車競技大会補助金	30,000
中部地区プロ自転車競技大会補助金	50,000
計	2,240,000

○ スポーツ振興研修センター補助金　17,757,000

・ 負担金、補助及び交付金　17,757,000

補助金名称	金額
（一財）松阪スポーツ振興研修センター補助金	17,757,000

運営及び維持管理に要する経費

○ 共同通信社杯競輪開催事業費　6,148,708,683（共同通信社杯競輪開催にかかる経費）

令和元年9月13日～16日の4日間にわたり、共同通信社杯競輪を開催。本場入場者14,248人、総売上6,545,777,600円。

開催中は場内にて、来場促進及びファンサービスを目的としたイベントを実施した。「キャラクターショー」「ダンスパフォーマンス」「お笑いライブ」「グルメブース」「未確定車券抽選会」「予想会」「２＝９肉キャンペーン」等を行い、多くのファンや家族連れで賑わった。

○ 包括業務委託事業費　406,007,000（開催業務等を包括的に民間に委ねる委託料経費）

・ 開催業務委託　332,232,000

発売・払戻・開催従事員の手配・レース中継・広告宣伝・ファンサービス・イベント・施設管理など競輪開催業務全般を民間事業者に委ねることで、経費削減や事業の効率化を図った。

・ 施設整備委託　73,775,000

バンク改修工事、イベントスペース棟工事など、安心・安全な競輪運営が可能な施設を目指して改修を進めた。

○ 収益分配金　205,037,454（包括業務委託基本契約第9条第2項の規定による分配金）

公債費

○ 一時借入金利子　120,246（共同通信社杯競輪等臨時場外開設資金運用にかかる一時借入金利子）

諸支出金

○ 一般会計繰出金　30,000,000（地方財政への寄与を目的とし一般会計へ繰出）

国 民 健 康 保 険 事 業

（単位　円）

○ 決算状況

歳　　入		歳　　出	
科　　目	決 算 額	科　　目	決 算 額
1 国民健康保険税	3,284,142,936	1 総務費	311,746,995
2 使用料及び手数料	1,862,971	1 総務管理費	308,088,945
3 県支出金	11,758,226,459	2 徴税費	3,438,290
1 特定健康診査等負担金	60,768,000	3 運営協議会費	219,760
2 保険給付費等交付金	11,697,458,459	2 保険給付費	11,585,831,300
4 財産収入	353,434	1 療養諸費	10,011,695,823
5 繰入金	1,907,076,455	2 高額療養費	1,515,093,487
1 一般会計繰入金	1,514,979,455	3 移送費	0
2 国民健康保険支払		4 出産育児諸費	48,941,990
準備基金繰入金	392,097,000	5 葬祭諸費	10,100,000
6 繰越金	355,142,969	3 国民健康保険事業費納付金	4,681,380,716
7 諸収入	55,484,303	1 医療給付費分	3,231,409,500
8 国庫支出金	702,000	2 後期高齢者支援金等分	1,045,021,248
1 国民健康保険制度関係		3 介護納付金分	404,949,968
業務事業費補助金	702,000	4 共同事業拠出金	2,340
		5 保健事業費	143,384,561
		6 公債費	0
		7 諸支出金	70,756,637
		8 予備費	0
計	17,362,991,527	計	16,793,102,549
歳 入 歳 出 差 引 額			569,888,978
翌年度へ繰越すべき財源			0
実　質　収　支　額			569,888,978

総務費　311,746,995

○ 総務管理費　308,088,945

- 一般職員給　200,449,431
- 一般管理経費　102,440,029
  国民健康保険事業に係る一般事務経費
  （国民健康保険税の賦課通知・保険証更新・委託料・共同電算処理手数料等）
- 国保事業協力交付金　1,473,980
- 三重県国民健康保険団体連合会負担金　3,725,505

○ 徴税費　3,438,290

- 賦課徴収費　127,020　国民健康保険税の徴収等にかかる経費
- 納税奨励費　3,311,270　国民健康保険税の金融機関口座振替、コンビニ収納取扱及び公金クレジット決済の手数料

・ 保険税の状況

区　　分		調　定　額	収 納 額	収納率
現年課税分		3,224,170,400円	2,932,275,611円	90.95%
	一般分	3,220,610,730円	2,928,808,736円	90.94%
	退職者分	3,559,670円	3,466,875円	97.39%
滞納繰越分		1,913,445,975円	351,867,325円	18.39%
	一般分	1,850,598,221円	344,444,634円	18.61%
	退職者分	62,847,754円	7,422,691円	11.81%
計		5,137,616,375円	3,284,142,936円	63.92%

・ 保険税率　　【 】内は平成30年度

区　分	医療分	支援金分	介護分
所得割	7.6%【7.6%】	2.7%【2.7%】	2.7%【2.7%】
均等割	21,800円【21,800円】	9,500円【9,500円】	11,500円【11,500円】
平等割	17,800円【17,800円】	7,000円【7,000円】	6,000円【 6,000円】
課税限度額	58万円【54万円】	19万円【19万円】	16万円【16万円】

○ 運営協議会費　219,760　国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議するための経費

保険給付費　11,585,831,300　国民健康保険団体連合会を通じて保険医療機関等へ支払う費用

○ 療養諸費　10,011,695,823　国民健康保険団体連合会の診療報酬審査に対する費用含む
○ 高額療養費　1,515,093,487　高額療養費・高額介護合算の自己負担に対する償還払い等の費用
○ 出産育児諸費　48,941,990　出産に対する一時金の費用
○ 葬祭諸費　10,100,000　葬祭に対する一時金の費用

・ 保険給付の状況

区　　分		件　数	決算額
療養の給付等	一　般	589,056件	9,897,533,233
	退　職	1,058件	16,511,495
	小　計	590,114件	9,914,044,728
療養費	一　般	11,641件	67,245,147
	退　職	15件	126,674
	小　計	11,656件	67,371,821
高額療養費	一　般	56,329件	1,509,862,292
	退　職	12件	4,065,145
	小　計	56,341件	1,513,927,437
高額介護合算療養費	一　般	67件	1,166,050
	退　職	0件	0
	小　計	67件	1,166,050
その他の給付	審査支払手数料		30,279,274
	出産育児諸費	117件	48,941,990
	葬祭諸費	202件	10,100,000
	移 送 費	0件	0
	合　　計	658,497件	11,585,831,300

※ 一般状況

保険者負担率	一般・退職　70% 義務教育就学前　80% 70歳以上74歳までの方　80%（一定以上所得者　70%）	
加入世帯数		22,418 世帯
被保険者数	一　般	34,826 人
	退　職	43 人
	計	34,869 人
1世帯当り保険税調定額		143,821 円
被保険者1人当り保険税調定額		92,465 円
被保険者1人当り保険給付費		332,267 円
保険税調定額の保険給付費に対する割合		27.83　%
保険税調定額の歳出に対する割合		19.20　%

国民健康保険事業費納付金　4,681,380,716

三重県が、市町が支払う保険給付費の全額を賄う保険給付費等交付金の財源として市町から徴収するもので、県全体の保険給付費の必要額の見込みを立て、必要額を市町ごとの所得水準や医療費水準等を考慮して決定し、市町は納付金として県に支払う経費

○ 医療給付費分　3,231,409,500
○ 後期高齢者支援金等分　1,045,021,248
○ 介護納付金分　404,949,968

共同事業拠出金　2,340

退職者医療共同事業拠出金等を国民健康保険団体連合会へ支払う経費

保健事業費　143,384,561

被保険者の健康の保持増進に関する教育指導事業に要する経費

○ 特定健康診査等事業費　127,223,022
・事務経費　8,506,559
・委託料　118,716,463

メタボリックシンドロームの発見、予防、改善、生活習慣病の予防、健康保持と増進の自覚を高め、生活習慣病の有病者および予備群の方を減らし医療費の適正化を図る経費

特定健康診査対象者数
27,189人　受診者数　10,635人　受診率　39.1%（目標　47.0%）
動機付け支援及び積極的支援者数
875人　利用者数　157人　利用率　17.9%（目標　31.0%）

○ 保健衛生普及費　14,810,039
・レセプト点検事務経費等　4,972,586
・医療費のお知らせ通知　3,663,271
・保健事業負担金　2,663,625
・健康フェスティバル補助金　2,610,557
・歯と口腔の健康まつり補助金　900,000

○ 疾病予防費　214,500

○ 貸付事業　1,137,000　高額療養費及び出産育児一時金を基準とした資金の貸付

事業名		件数	金額
高額医療費資金貸付金		11件	1,137,000
	一 般	11件	1,137,000
	退 職	0件	0
出産費資金貸付金		0件	0
計		11件	1,137,000

諸支出金　70,756,637

○ 保険税過誤納還付金等　13,851,260

○ 平成30年度国民健康保険保険給付費等交付金の確定に伴う返還金　14,996,531

○ 平成30年度退職被保険者等に係る国民健康保険事業費納付金の確定に伴う返還金　18,580,414

○ 平成30年度特定健康診査等負担金の確定に伴う返還金　9,860,000

○ 平成30年度一般会計繰出金確定による返還金　13,114,998

○ 国民健康保険支払準備基金積立金　353,434（令和元年度末現在高　1,386,240,897）

介 護 保 険 事 業

（単位　円）

○ 決算状況

歳　　入		歳　　出	
科　　目	決 算 額	科　　目	決 算 額
1 保険料	3,647,090,742	1 総務費	390,381,054
2 使用料及び手数料	262,424	2 保険給付費	16,714,160,086
3 国庫支出金	4,503,282,915	3 地域支援事業費	659,004,410
4 支払基金交付金	4,629,207,845	4 基金積立金	139,593,000
5 県支出金	2,570,800,582	5 公債費	0
6 財産収入	257,227	6 諸支出金	378,524,121
7 繰入金	2,802,000,776		
8 繰越金	523,151,877		
9 諸収入	31,727,725		
計	18,707,782,113	計	18,281,662,671
歳　入　歳　出　差　引　額		426,119,442	
翌 年 度 へ 繰 越 す べ き 財 源		0	
実　　質　　収　　支　　額		426,119,442	

総務費

○ 一般職員給　158,120,172（事業運営にかかる職員の人件費）

○ 一般管理経費　40,308,943（介護保険事業に係る一般経費、非常勤職員賃金等）

○ 三重県国民健康保険団体連合会負担金　0（第三者行為求償事務に対する負担金）

○ 介護保険事業計画等策定事業費　284,160（次期計画策定に係る経費）

松阪市高齢者保健福祉計画等策定委員会

開催日	検　討　内　容	参加人数
R2.2.21 第1回	委嘱状の交付、第9次松阪市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定に係るスケジュール、アンケート調査等の実施	策定委員19人中18人出席

○ 賦課徴収事業費　22,694,119（介護保険第1号被保険者介護保険料に関する賦課・徴収に係る費用）

	区　　分		調　定　額	収　納　額	収納率
保険料の状況	現年度分		3,659,311,294円	3,632,113,850円	99.26%
		特別徴収	3,383,790,790円	3,383,790,790円	100.00%
		普通徴収	275,520,504円	248,323,060円	90.13%
	滞納繰越分		76,247,388円	14,976,892円	19.64%
		普通徴収	76,247,388円	14,976,892円	19.64%
	計		3,735,558,682円	3,647,090,742円	97.63%
		特別徴収	3,383,790,790円	3,383,790,790円	100.00%
		普通徴収	351,767,892円	263,299,952円	74.85%

○ 認定調査等事業費　96,125,714(要介護認定・要支援認定の処理に関する経費、主治医意見書作成、認定結果通知等に関する費用)

○ 認定審査会運営事業費　70,410,601（介護認定審査会の設置運営等に関する費用）

審査会開催回数：327回　審査会委員：224人（医師 107人、歯科医師 24人、薬剤師 22人
保健師 6人、看護師 23人、施設職員 29人、介護支援専門員 3人、柔道整復師 9人
鍼灸師 1人）

※ 一般状況

	R2年4月1日現在	H31年4月1日現在	増　減	増減率
総人口	162,867人	164,089人	△1,222人	△ 0.74%
65歳以上人口	48,204人	47,883人	321人	0.67%
高齢化率	29.60%	29.18%	0.42%	

※ 要介護（要支援）認定者数　　令和2年3月末日現在

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	1,184人	1,331人	2,205人	1,994人	1,688人	1,420人	995人	10,817人
65歳以上75歳未満	138人	167人	230人	195人	143人	96人	104人	1,073人
75歳以上	1,046人	1,164人	1,975人	1,799人	1,545人	1,324人	891人	9,744人
第2号被保険者	11人	19人	36人	35人	14人	19人	19人	153人
総　　数	1,195人	1,350人	2,241人	2,029人	1,702人	1,439人	1,014人	10,970人

※ 要介護（要支援）認定申請件数　　（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規申請	222	255	202	266	198	215	206	219	212	239	240	237	2,711
更新申請	505	535	499	520	489	488	452	450	551	509	424	418	5,840
変更申請	69	76	68	76	79	86	93	85	72	79	87	77	947
計	796	866	769	862	766	789	751	754	835	827	751	732	9,498

※ 要介護（要支援）認定審査件数　　（単位：件）

	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
件　数	72	1,142	1,281	1,816	1,551	1,274	1,273	1,010	9,419
構成比	0.76%	12.12%	13.60%	19.28%	16.47%	13.53%	13.52%	10.72%	100.0%

※ 所得段階別第1号被保険者数

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階	第13段階	第14段階	計
賦課期日（令和元年6月1日）	8,888人	5,356人	4,662人	4,656人	6,932人	3,394人	4,171人	4,725人	2,943人	1,275人	338人	211人	91人	223人	47,865人
年度末現在（令和2年3月31日）	8,522人	5,222人	4,645人	4,850人	6,822人	3,461人	4,237人	4,838人	3,193人	1,404人	371人	234人	101人	247人	48,147人

○ 趣旨普及事業費　1,800,930（介護保険制度の周知、普及、促進を図る費用）

○ 地域密着型サービス運営委員会事業費　49,840（地域密着型サービスの事業者指定、及びサービスの質の確保等に関する協議に係る費用）

○ 介護サービス事業所監査事業費　213,845（介護サービス事業所実地指導等に係る費用）

○ 弁護士委託等事業費　45,730（損害賠償請求控訴事件の委託料、旅費）

損害賠償等請求事件に伴う弁護士委託料

- 委任契約締結日　令和元年11月13日
- 契約相手方　　倉田嚴圓法律事務所
- 事件番号　令和元年（ネ）第673号損害賠償請求控訴事件

○ 医療介護連携システム事業費　327,000

在宅医療・介護情報共有システム（愛称：すずの輪）

（利用料　27,000円×6か月、27,500円×6か月）

保険給付費

○ 保険給付費　16,714,160,086

・ 保険給付の状況

区分		件数	回数（延日数）	給付額
介護サービス等	居宅介護サービス給付費	150,310件	2,379,750日	7,792,400,353円
	特例居宅介護サービス給付費	0件	－	0円
	地域密着型介護サービス給付費	13,171件	225,681日	1,895,648,758円
	特例地域密着型介護サービス給付費	0件	－	0円
	施設介護サービス給付費	17,420件	505,689日	4,587,311,996円
	特例施設介護サービス給付費	0件	－	0円
	居宅介護福祉用具購入費	616件	－	16,578,905円
	居宅介護住宅改修費	561件	－	41,093,790円
	居宅介護サービス計画給付費	65,671件	－	968,433,128円
	特例居宅介護サービス計画給付費	0件	－	0円
介護予防サービス等	介護予防サービス給付費	10,551件	221,733日	156,424,651円
	特例介護予防サービス給付費	0件	－	0円
	地域密着型介護予防サービス給付費	76件	1,463日	4,257,918円
	特例地域密着型介護予防サービス給付費	0件	－	0円
	介護予防福祉用具購入費	141件	－	3,372,127円
	介護予防住宅改修費	291件	－	23,190,029円
	介護予防サービス計画給付費	8,823件	－	38,920,891円
	特例介護予防サービス計画給付費	0件	－	0円
高額介護サービス	高額介護サービス費	36,858件	－	400,028,135円
	高額介護予防サービス費	215件	－	147,665円
特定入所者介護サービス	特定入所者介護サービス費	21,249件	535,760日	716,084,067円
	特例特定入所者介護サービス費	0件	－	0円
	特定入所者介護予防サービス費	22件	125日	142,344円
	特例特定入所者介護予防サービス費	0件	－	0円
高額医療合算介護サービス	高額医療合算介護サービス費	2,131件	－	57,746,248円
	高額医療合算介護予防サービス費	20件	－	60,804円
その他	審査支払手数料	262,091件	－	12,318,277円
計		590,217件	3,870,201日	16,714,160,086円

地域支援事業費

○ 地域包括支援センター事業費　139,232,246

地域包括支援センター運営事業委託料

センター名	委託料
第一地域包括支援センター（委託先：松阪地区医師会）	27,500,000円
第二地域包括支援センター（委託先：松阪市社会福祉協議会）	27,500,000円
第三地域包括支援センター（委託先：松阪市社会福祉協議会）	22,000,000円
第四地域包括支援センター（委託先：嘉祥会）	31,446,000円
第五地域包括支援センター（委託先：太陽の里）	27,500,000円

＊地域包括支援センター運営協議会　3回

＊高齢者実態把握訪問事業（75歳お達者訪問）　639件（実施率64.8％）

地域で潜在している要援護高齢者の早期発見と対応のため、75歳到達者宅を訪問した。

○ 介護給付適正化等事業費　7,909,933

区　　分	実　績	事業費
介護給付費用の通知	26,150通	4,970,889円
ケアプラン研修事業	2回	100,000円
介護相談員派遣事業	231回	1,663,680円
住宅改修支援事業	53件	106,000円
介護給付適正化手数料	262,091件	1,048,364円
訪問介護（生活援助中心型）の回数が多いケアプラン届出件数	2件	21,000円

○ 高齢者支援事業費　46,025,990

区　　分	実　績	事業費
徘徊高齢者家族支援サービス	3件	35,752円
徘徊SOSネットワークまつさか運営会議	1回	484,721円
紙オムツ給付事業	延8,758人	33,340,720円
家族介護慰労金支給	1件	100,000円
成年後見制度利用支援事業	実人数6人	2,927,869円
配食サービス事業	延29,316食	8,794,800円
虐待防止ネットワーク啓発実務者会議	6回	342,128円

＊徘徊SOSネットワークまつさか 本人登録者数　40人（令和元年度末　登録者累計334人）
＊徘徊SOSネットワークまつさか メール配信登録数　累計1,241件
＊徘徊SOSネットワークまつさか メール配信状況　8人（延べ23回消費者被害注意喚起含む）

高齢者虐待通報・相談件数	39件	内、虐待と判断した件数	25件 ⇨	内訳（複数回答）	身体的虐待	21件
					介護等放棄	4件
					心理的虐待	9件
					性的虐待	0件
					経済的虐待	5件

○ 安心生きがい支援事業費　85,246
＊ 家族介護教室　46 回　449人
＊ 認知症サポーター養成講座　56回、養成数　1,469人
（令和元年度末　登録者数　25,709人）

○ 在宅医療・介護連携推進事業費　24,521,674

地域包括ケア推進会議（推進会議委員36名）	2回（3月中止）
地域包括ケア推進会議　運営幹事会	10回
多職種勉強会	部会9回、勉強会2回
顔の見える連携部会	打ち合わせ6回
すずの輪（医療介護情報共有システム）勉強会	2回
すずの輪（医療介護情報共有システム）ID登録者総数	438人
まつさか医療～顔の見える連携会議	全体会議1回、実務者委員検討会2回
多気郡３町との協議・調整	1回
広報まつさか「安心のまちづくり～高齢者の暮らしを考える」	毎月連載
松阪地域在宅医療・介護連携拠点運営委員会　準備会	2回

松阪地域在宅医療・介護連携拠点	医療・介護職対象に相談、コーディネート	医療機関	13件	計50件
		介護事業所	23件	
		その他	14件	

○ 生活支援体制整備事業費　27,593,324

生活支援コーディネーター委託料

センター名	委託料
第一地域包括支援センター（委託先：松阪地区医師会）	5,500,000円
第二地域包括支援センター（委託先：松阪市社会福祉協議会）	5,500,000円
第三地域包括支援センター（委託先：松阪市社会福祉協議会）	5,500,000円
第四地域包括支援センター（委託先：嘉祥会）	5,500,000円
第五地域包括支援センター（委託先：太陽の里）	5,500,000円

＊ 生活支援サービス担い手養成研修 1回

○ 認知症総合支援事業費　35,024,360

認知症地域支援推進員委託料

センター名	委託料
第一地域包括支援センター（委託先：松阪地区医師会）	5,500,000円
第二地域包括支援センター（委託先：松阪市社会福祉協議会）	5,500,000円
第三地域包括支援センター（委託先：松阪市社会福祉協議会）	5,500,000円
第四地域包括支援センター（委託先：嘉祥会）	5,500,000円
第五地域包括支援センター（委託先：太陽の里）	5,500,000円

認知症初期集中支援チーム	チーム員会議	11回
	相談者数（訪問支援対象実人数）	55人
	延訪問件数	162回

認知症フォーラム	1回	144人
「ＲＵＮ伴」協力による市民啓発	1回	535人
高齢者安心見守り隊養成講座	16回	249人（登録者累計1,227人）
高齢者安心見守り隊フォローアップ研修	26回	310人
認知症に寄り添う部会	1回	12人

※ 介護予防・生活支援サービス事業対象者数（令和元年度末）　364人

○ 介護予防・生活支援サービス事業費　281,555,223

訪問型（現行＋緩和）サービス	延3,775件	58,895,155円
通所型（現行＋緩和）サービス	延10,064件	221,480,562円

住民主体型通所サービスB	対象	延利用人数	事業費
いきいきシニアクラブ（オレンジの会）	市全域	1,170人	190,000円
宅老所やすらぎ会通所B	久保町	605人	162,500円
五反田町サロン	五反田町	1,102人	140,000円
ザ・サークル	嬉野宇気郷	1,191人	220,000円
笑のわサロン	飯南管内	787人	122,500円
サロン優（R1.7月～）	駅部田町	595人	252,500円
計		5,450人	1,087,500円

○ 介護予防ケアマネジメント事業費　40,708,963

＊ 介護予防ケアマネジメント費用　延9,199件

○ 高額介護予防サービス費等相当事業費　1,029,222

＊ 高額介護予防サービス費用　延258件　667,769円

＊ 高額医療合算総合事業サービス費用　延26件　339,151円　［令和元年度から］

○ 一般介護予防事業費　54,236,336

地域交流型一般デイサービス

事業所名	延利用人数	事業費
うきさと憩センター	938人	11,700,000円
いきいきサロン	1,481人	8,303,000円
サテライト型	1,926人	9,021,000円
ふれんどデイ	1,635人	6,800,000円

過疎地等において、閉じこもりがちな高齢者の方に日常動作訓練や教養・スポーツ活動など、デイサービスと同等のサービスを行った。

プログラム	実施回数	延参加人数
介護予防教室	944回	14,495人
ボランティアの育成（いきサポ）	23クール	2,042人
ボランティアの育成（元気アップ）	2クール	436人
ボランティアの活動支援(いきサポフォロー等)	75回	1,027人
介護相談会・介護保険啓発等	45回	526人
イベント（健康フェスティバル等）	3回	192人

＊ 高齢者ボランティアポイント事業（登録者数）　435人

＊ 住民主体型サービス立ち上げ補助　8か所

・南徳和宅老所（南徳和（下村町））　・プラチナ会（駅部田町さつき園）

・ひの街プラチナサロン（日野町）　・令和会（松名瀬町）

・平生さくら会（嬉野平生町）　・いきいき・御殿山（御殿山町）

・田牧町寿寿喜の会（田牧町）　・沖楽会（大黒田町沖川）

○ 審査支払手数料　1,081,893

＊ 47円×23,019件

基金積立金

○ 介護保険給付費支払準備基金積立金　139,593,000（令和元年度末現在高　898,963,574円）

諸支出金

○ 第1号被保険者保険料還付金　2,556,326

○ 過年度分償還金等　375,967,795（平成30年度介護給付費等精算に伴う返還金）

後期高齢者医療事業

（単位　円）

○ 決算状況

歳入		歳出	
科目	決算額	科目	決算額
1 保険料	1,423,419,902	1 総務費	59,671,984
2 使用料及び手数料	116,880	2 後期高齢者医療広域連合納付金	3,645,971,767
3 繰入金	2,275,532,402		
4 繰越金	38,006,899	3 公債費	0
5 諸収入	69,357,432	4 諸支出金	65,527,939
		5 予備費	0
計	3,806,433,515	計	3,771,171,690
歳入歳出差引額			35,261,825
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			35,261,825

○ 対象者（被保険者）の状況

75歳以上のすべての方及び65歳以上で一定の障がいがあり、制度に加入することを選択した方（生活保護受給者を除く）

（令和元年9月30日現在）

区分	被保険者数		一部負担割合			
		うち65歳以上75歳未満障がい者	1割	比率	3割	比率
松阪市	25,309人	469人	24,252人	95.82%	1,057人	4.18%
三重県全体（松阪市分含む）	273,648人	2,868人	259,434人	94.81%	14,214人	5.19%

○ 保険料の状況

・計算方法

均等割額		所得割額		保険料賦課額	賦課限度額
42,965 円	＋	（前年中の総所得金額等－基礎控除額33万円）×8.86%	＝		62万円

・所得の低い方等に対する軽減措置

低所得の方に対し一定の軽減基準により適用される均等割軽減（8.5割軽減、8割軽減、5割軽減、2割軽減）、また、被用者保険の被扶養者であった方に適用される均等割軽減（資格取得から2年間5割軽減）をそれぞれ実施した。

〈均等割軽減の基準〉

同一世帯の世帯主及び被保険者の軽減判定所得の合計額により、下表のとおり軽減する。

軽減割合	軽減の基準
8.5割軽減	33万円以下
8割軽減	33万円以下であって被保険者全員の年金収入が80万円以下（その他各種所得がない）
5割軽減	（33万円＋28万円×当該世帯の被保険者の人数）以下
2割軽減	（33万円＋51万円×当該世帯の被保険者の人数）以下

①65歳以上の方の公的年金所得は15万円を控除

②営業、農業、不動産等所得のある方は専従者控除前の所得

③専従者給与は所得に算入しない

④土地建物等の譲渡所得があった場合は特別控除前の所得

〈被用者保険の被扶養者〉
後期高齢者医療制度に加入する前日に被用者保険の被扶養者であった場合、均等割を資格取得から2年間5割軽減し、所得割を課さない。

・保険料の徴収方法は、原則、特別徴収（年金天引き）であるが、申し出による口座振替への変更を実施した。

・災害により保険料の減免基準に該当した方に対し保険料の減免を実施した。

・賦課、収納状況　（単位　円）

区　分		松　阪　市	収納率	三 重 県 全 体（松阪市分含む）	収納率
（現年度）特別徴収	調定額	862,794,028	100.00%	11,143,168,984	100.00%
	収納額	862,794,028		11,143,168,984	
（現年度）普通徴収	調定額	560,999,382	98.95%	6,848,938,349	98.61%
	収納額	555,088,836		6,753,552,621	
（滞納繰越分）普通徴収	調定額	12,596,564	43.96%	180,218,403	41.42%
	収納額	5,537,038		74,649,323	
計	調定額	1,436,389,974	99.10%	18,172,325,736	98.89%
	収納額	1,423,419,902		17,971,370,928	

総務費

○ 一般職員給　31,115,126
　一般職員　6人

○ 一般管理経費　23,875,297
　後期高齢者医療制度の運用に伴う、電算システム委託経費及び一般事務経費

○ 徴収事業費　4,681,561
　保険料徴収に伴う、各種通知物郵送経費及び口座振替手数料

後期高齢者医療広域連合納付金

○ 共通経費負担金　16,052,000
　広域連合における一般会計運営経費（広域連合議員及び一般職員等人件費、運営協議会開催経費等）のうち、県下29市町において負担する分を、均等割　10%、人口割　45%、高齢者人口割　45%の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。

○ 一般管理事務費負担金 41,837,000
　広域連合における特別会計運営経費（被保険者証交付、医療費通知、電算システム管理経費等）のうち、県下29市町において負担する分を、共通経費負担金と同様の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。

○ 健康診査事業費負担金　20,033,000
　健康診査に係る保険給付分のうち、県下29市町において負担する分を、共通経費負担金と同様の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。

○ 健康診査事業事務費負担金　6,857,000
　健康診査に係る事務経費（審査支払手数料、受診券交付、システム管理経費等）のうち、県下29市町において負担する分を、共通経費負担金と同様の割合で各市町が按分し、松阪市負担分を広域連合に納付した。

○ 保険料負担金　1,430,748,365
　松阪市被保険者から徴収した保険料を、広域連合に納付した。

○ 保険基盤安定制度負担金　457,297,402
　松阪市被保険者における、低所得者及び被用者保険の被扶養者の保険料軽減分負担金を広域連合に納付した。

保険基盤安定制度負担金対象軽減分
・均等割8.5割及び8割軽減のうち7割軽減分
・均等割5割軽減分
・均等割2割軽減分
・被用者保険の被扶養者均等割5割軽減分
保険料軽減分における負担割合　　県 軽減総額×3／4、市 軽減総額×1／4

○ 療養給付費負担金　1,673,147,000
　松阪市被保険者の療養給付費における、松阪市負担分（1／12）を広域連合に納付した。
※下記の表（療養費の状況）と決算額の相違は、翌年度に精算により調整される。
・療養費の状況

区　　分	松　阪　市		三 重 県 全 体（松阪市分含む）	
	件 数	金　額	件 数	金　額
現物給付費	717,610件	20,580,130,028円	7,992,382件	211,880,169,342円
療養給付費	717,610件	20,580,130,028円	7,992,382件	211,880,169,342円
現金支給費	38,304件	294,004,775円	402,035件	3,580,282,466円
柔道整復師の施術	6,683件	45,428,138円	90,776件	711,440,355円
高額療養費	26,417件	159,527,495円	254,649件	1,871,359,548円
高額介護合算療養費	2,311件	25,821,166円	18,275件	211,930,588円
標準負担額差額	(57件)	154,650円	(394件)	1,550,460円
その他療養費	2,893件	63,073,326円	38,335件	784,001,515円
計	755,914件	20,874,134,803円	8,394,417件	215,460,451,808円
被保険者数（令和元年9月30日現在）	25,309人		273,648人	
年間1人当り医療費	824,771円		787,364円	
1件当り医療費	27,614円		25,667円	

諸支出金

○ 保険料還付金　3,277,087
　平成30年度以前収入分の保険料において保険料額変更（減額）等に伴う過誤納金を、松阪市被保険者及び年金保険者に還付した。

○ 保険料還付加算金　0
　保険料額変更（減額）に伴う過納金を、松阪市被保険者に還付する際、還付加算金を加算する。今年度はなし。

○ 過年度分返還金　62,250,852
　広域連合における過年度分療養給付費の精算により、平成30年度納付金に対し返還があり、特別会計で歳入したものを一般会計へ返還した。

簡 易 水 道 事 業

○ 決算状況　　（単位； 円）

歳　　入		歳　　出	
科　　目	決 算 額	科　　目	決 算 額
1 使用料及び手数料	2,615,400	1 総務費	431,768
2 繰越金	381,480	2 事業費	4,267,059
3 諸収入	2,054,000		
歳 入 合 計	5,050,880	歳 出 合 計	4,698,827
歳 入 歳 出 差 引 額		352,053	
翌 年 度 へ 繰 越 す べ き 財 源		0	
実 質 収 支 額		352,053	

総務費

○ 一般職員給　　431,768

事業費

○ 朝見簡易水道管理事業費　　4,267,059
- 簡易水道水質検査手数料　　2,299,296
- 簡易水道ポンプ電気料金　　1,273,388
- 施設維持管理等委託料　　600,000
- その他経費　　94,375

《施設の状況》

地区名	本庁管内
	朝見
戸　数	300戸

戸別合併処理浄化槽整備事業

○ 決算状況　　（単位　円）

歳入		歳出	
科目	決算額	科目	決算額
1 分担金及び負担金	2,515,346	1 総務費	24,688,767
2 使用料及び手数料	126,309,944	2 事業費	177,768,438
3 国庫支出金	13,544,000	1 業務費	135,955,977
4 県支出金	9,431,000	2 建設改良費	41,812,461
5 財産収入	41,057	3 公債費	52,608,923
6 繰入金	76,813,700		
7 繰越金	7,458,584		
8 諸収入	0		
9 市債	25,600,000		
計	261,713,631	計	255,066,128
歳入歳出差引額			6,647,503
翌年度へ繰越すべき財源			0
実質収支額			6,647,503

総務費

○ 一般職員給　17,700,862

○ 一般管理経費　2,584,848

○ 市町村整備型浄化槽減債基金積立金　4,398,837　（令和元年度末現在高　90,507,411）

○ 市町村整備型浄化槽基金積立金　4,220　（令和元年度末現在高　6,556,768）

事業費

○ 施設維持管理事業費　135,955,977

合併浄化槽設置管理基数　2,110基（令和元年度末現在）

区分		内容	事業費
需用費	消耗品費	浄化槽放流水消毒剤 他	4,292,848
	修繕料	浄化槽保守点検時等修繕料	10,240,881
役務費	手数料	浄化槽法定検査手数料	8,200,800
委託料		浄化槽清掃委託料	86,322,664
		浄化槽保守管理業務委託料	24,932,140
		浄化槽管理システム導入業務委託料　他	1,506,060
使用料及び賃借料		浄化槽管理システム使用料　他	460,584
計			135,955,977

○ 生活排水処理施設整備事業費　41,812,461

区分	内容	事業費	事業費内訳	
			工事費	その他
需用費	消耗品費	364,486		364,486
役務費	切手	16,000		16,000
使用料及び賃借料	積算システム利用料他	35,975		35,975
工事請負費	5人槽　18基	19,685,600	19,685,600	
	7人槽　9基	12,098,400	12,098,400	
	50人槽　1基	9,612,000	9,612,000	
計		41,812,461	41,396,000	416,461

公債費

○ 長期債償還元金　43,981,008

○ 長期債償還利子　8,627,915

※ 市債の状況

平成30年度末現在高	令和元年度末現在高	増減額
619,721,856	601,340,848	△ 18,381,008

農 業 集 落 排 水 事 業

○決算状況　（単位　円）

歳　入		歳　出	
科　目	決 算 額	科　目	決 算 額
1 分担金及び負担金	756,271	1 総務費	4,146,317
2 使用料及び手数料	16,874,274	2 事業費	45,960,678
3 繰入金	59,924,478	3 公債費	28,058,478
4 繰越金	424,849		
5 諸収入	284,684		
計	78,264,556	計	78,165,473
歳 入 歳 出 差 引 額			99,083
翌 年 度 へ 繰 越 す べ き 財 源			0
実 質 収 支 額			99,083

（目）一般管理費

○一般職員給　2,795,917

農業集落排水事業における担当職員1人分の人件費

○一般管理経費　1,350,400

（目）施設管理費

○小野地区施設維持管理費　（単位　円）

区分	内容	事業費	事業費内訳	
			委託料	その他
汚水処理場、中継ポンプ等の光熱水費・修繕料・通信費・汚泥引抜手数料等	施設の維持管理に係る経常経費	8,094,890		8,094,890
汚水処理施設維持管理業務委託	巡回点検 週1回、定期点検 30日に1回	3,032,380	3,032,380	
農業集落排水処理施設等維持管理業務委託	日常点検 週2回	353,600	353,600	
計		11,480,870	3,385,980	8,094,890

○高木地区施設維持管理費

区分	内容	事業費	事業費内訳	
			委託料	その他
汚水処理場、中継ポンプ等の光熱水費・修繕料・通信費・汚泥引抜手数料等	施設の維持管理に係る経常経費	8,032,914		8,032,914
汚水処理施設維持管理業務委託	巡回点検 週1回、定期点検 14日に1回	5,113,190	5,113,190	
自家用電気工作物保安管理業務委託	保安管理業務委託	159,576	159,576	
農業集落排水処理施設等維持管理業務委託	日常点検 週2回	353,600	353,600	
計		13,659,280	5,626,366	8,032,914

○須賀・川北地区施設維持管理費

区分	内容	事業費	事業費内訳	
			委託料	その他
汚水処理場、中継ポンプ等の光熱水費・修繕料・通信費・汚泥引抜手数料等	施設の維持管理に係る経常経費	9,420,351		9,420,351
須賀・川北クリーンセンター汚水処理施設保守点検業務委託	定期点検 14日に1回	3,948,961	3,948,961	
自家用電気工作物保安管理業務委託	保安管理業務委託	159,576	159,576	
農業集落排水汚水桝設置工事	汚水桝設置	251,640		251,640
計		13,780,528	4,108,537	9,671,991

○団体営農業集落排水整備促進事業費　7,040,000
　農業集落排水施設機能診断業務委託（小野、高木、須賀・川北地区）

（目）元金

○長期債償還元金　22,907,350

（目）利子

○長期債償還利子　5,151,128

※市債の状況

平成30年度末現在高	令和元年度末現在高	増減額
227,537,159	204,629,809	△22,907,350

住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業

（単位　円）

○ 決算状況

歳　　入		歳　　出	
科　　目	決 算 額	科　　目	決 算 額
1 事業収入	9,657,260	1 総務費	7,297,360
2 県支出金	654,000	2 公債費	4,437,022
3 財産収入	104,381		
4 繰越金	1,788,892		
計	12,204,533	計	11,734,382
歳 入 歳 出 差 引 額			470,151
翌 年 度 へ 繰 越 す べ き 財 源			0
実 質 収 支 額			470,151

（目）一般管理費

○ 一般職員給　1,258,000円

○ 一般管理経費　55,360円

平成8年度に貸付制度が終了したことによる貸付金回収のための事務経費

○ 住宅新築資金等貸付事業基金積立金　5,984,000円（令和元年度末現在高　78,016,698円）

（目）元金

○ 長期債償還元金　4,216,573円

（目）利子

○ 長期債償還利子　220,449円

※ 市債の状況

平成30年度末 現　在　高	令和元年度末 現　在　高	増減額
8,271,677	4,055,104	△ 4,216,573

※ 貸付金の状況

貸付金残高	平成30年度末 現　在　高	令和元年度末 現　在　高
納期未到来分	10,330,786	5,138,230
滞　納　分	241,317,008	237,719,476

※ 元金収入　8,790,088円

※ 利子収入　867,172円

地方自治法第２４１条第５項の規定による書類

基金の運用状況　　(R2.3.31現在)

土地開発基金　　(単位:金額　円、地積　㎡)

区　　分		前年度末現在高	決算年度中増減額	決算年度末現在高
基金	現　　金	493,577,226	61,502,204	555,079,430
	土地開発公社運用金	842,372,731	△60,983,880	781,388,851
	計	1,335,949,957	518,324	1,336,468,281
土地	地　　積	17,137.89	0.00	17,137.89
	価　　格	186,036,250	0	186,036,250
合　　計		1,521,986,207	518,324	1,522,504,531